V603SH 基本操作編

V603SH 基本操作編

This Manual includes an English Abridgement

V603SH
基本操作編

vodafone

マナーもいっしょに携帯しましょう。

はじめに

このたびは、「V603SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- V603SH をご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- V603SH のボーダフォンライブ！に関する説明は付属のVodafone live!編をご参照ください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.19-21）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V603SHは1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。
V603SHは、日本国外ではご使用になれません。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.19-21）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

V603SH　取扱説明書
基本操作編

2005年２月　第１版

ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
　ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：V603SH
製造元：シャープ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

TINSJA093AFZZ
05B 191.0 YM AI452①

本書の見かた

本書では、V603SHをオープンポジション（☞P.1-10）にした状態での操作を中心に説明しています。

また、本書で記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

マルチガイドボタン

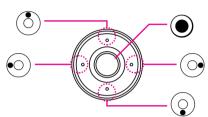
メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどは、マルチガイドボタンを使用します。

本書では、マルチガイドボタンでの操作を右のように表記しています。

●使用するボタンによっては、下のように表記していることもあります。

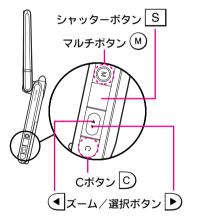
■ やを押すとき ……………………

■ やを押すとき ……………………

■ を押すとき …………………

サイドボタン

ビューアポジション（☞P.1-11）で使用するときなどは、本体右側面の各ボタンを使用します。

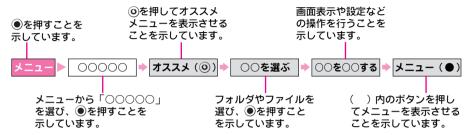
本書では、各ボタンでの操作を右のように表記しています。

●シャッターボタンには「S」の刻印はありませんが、他のボタンと区別するため「S」と表記しています。

本書の表記

■本文中のマーク

：Vodafone live!編を示しています。

■メニュー操作

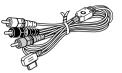
目的の操作に至るまでのメニュー操作（◉で始まる操作）は、次のように表記しています。（白背景の四角はメニューで選択する項目、グレー背景の四角はメニュー選択以外の操作を示しています。）

■補足操作

お買い上げ品の確認

■電池パック（SHBY01）※

（１タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■L型ビデオ出力ケーブル（SHPU01）※

■急速充電器（SHCV01）※

■TVアンテナ付き ステレオイヤホンマイク（SHLV01）※

■卓上ホルダー（SHEY01）※

※ オプション品としても取り扱いしております。

補足

- 付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.19-21）までご連絡ください。
- V603SHは、SDメモリカードを利用することができますが、本製品にはSDメモリカードは同梱されていません。市販のSDメモリカードをお買い求めいただくことにより、SDメモリカードに関する機能をご利用いただくことができます。

目次

6 テレビ／FM機能

7 カメラ機能

12 メモリカード

13 データ管理

14 赤外線通信

15 セキュリティ機能

16 その他の機能

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。

 警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

 注意 誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

■絵表示の意味

記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。

記号は
しなければならないこと（指示）を表しています。

記号は
気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

V603SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

V603SHに使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、ボーダフォンが指定したものを使用する（☞P.iii）

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させない

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。

正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。
（☞P.iii）
- 電池パックをV603SHに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、V603SH専用です。
それ以外の機器には使用しないでください。

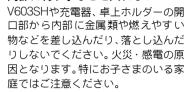
電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

V603SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない

V603SHや充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

V603SHや充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

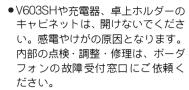
モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力傷害の原因になります。

また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックやV603SH、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、V603SHや充電器、卓上ホルダーの発熱・発煙・発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

- V603SHや充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。
- V603SHや充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは

V603SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

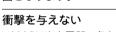
衝撃を与えない

V603SHや充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。

万一、V603SHや充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、V603SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理を依頼してください。

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

V603SHの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、V603SHを絶対にお使いにならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。
  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。（2004年11月１日改正施行）
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを絶対に使わないでください。
  交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクやストラップを持ってV603SHを振り回したり、投げない

本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、V603SHの電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定に注意してください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

- 急速充電器
  AC100V
- シガーライター充電器
  DC12／24V

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて

- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。
充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

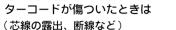
充電器の取り扱いについて

卓上ホルダーは自動車内で使用しない

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。
過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは

（芯線の露出、断線など）
ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら

安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。
火災・感電・故障の原因となります。

充電器や卓上ホルダーは、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する

感電・けがの原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

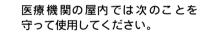
ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、V603SHの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、V603SHを持ち込まない。
- 病棟内ではV603SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、V603SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠警告

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、V603SHから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

⚠注意

V603SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
  露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
  また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

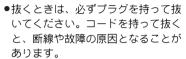
- ほこりの多い所では使わないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類をV603SHや充電器に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

⚠注意

V603SHの取り扱いについて

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

V603SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクやL型ビデオ出力ケーブルの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

自動車内でご使用のとき

V603SHを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受ける

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（ディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系焼付け塗装処理（下地：エポキシ系焼付け塗装）
キャビネット（ディスプレイ裏側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
キャビネット（ディスプレイ下側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓、カメラ透明窓	アクリル樹脂
カメラ飾り	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アルミ蒸着，アクリル系塗装）
ネジカバー（ディスプレイ上側）	ABS樹脂／塗装
ネジカバー（ディスプレイ下側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
キャビネット（操作ボタン側、電池パック側）、電池カバー	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
サイドボタン、マルチガイドボタン、ボーダフォンライブ！ボタン、メールボタン、電源ボタン、開始ボタン、ダイヤルボタン、クリアボタン、スケジュール／メモボタン、文字ボタン	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ファンクションボタン	ABS樹脂／クロムメッキ
キャビネット飾り	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
キャビネットサイド飾り	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
メモリカードスロットカバー	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
イヤホンマイク端子カバー、外部機器端子カバー	エラストマー樹脂
ネジカバー（操作ボタン上／ヒンジ部）	ウレタン樹脂
電池パック	PC樹脂
充電端子	ナイロン６T／BRASS、Auメッキ(下地：ニッケル、銅)
ネジ（ディスプレイ側）、ネジ（操作ボタン側）	SWCH12A／Niメッキ

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
- AC コンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、V603SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

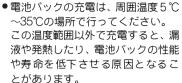
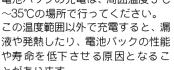
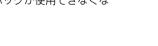
衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、濡らさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないように注意してください。

- 電池パックの充電は、周囲温度５℃～35℃の場所で行ってください。
  この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックをはじめてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などによりV603SH／SDメモリカードに登録したデータ（アドレス帳・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なアドレス帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- V603SHは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- V603SHを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- V603SHは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  V603SHは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中はV603SHを絶対にご使用にならないでください。
- V603SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- V603SHを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- V603SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- V603SHは温度：５℃〜35℃、湿度：35%〜85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- モバイルカメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- V603SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。

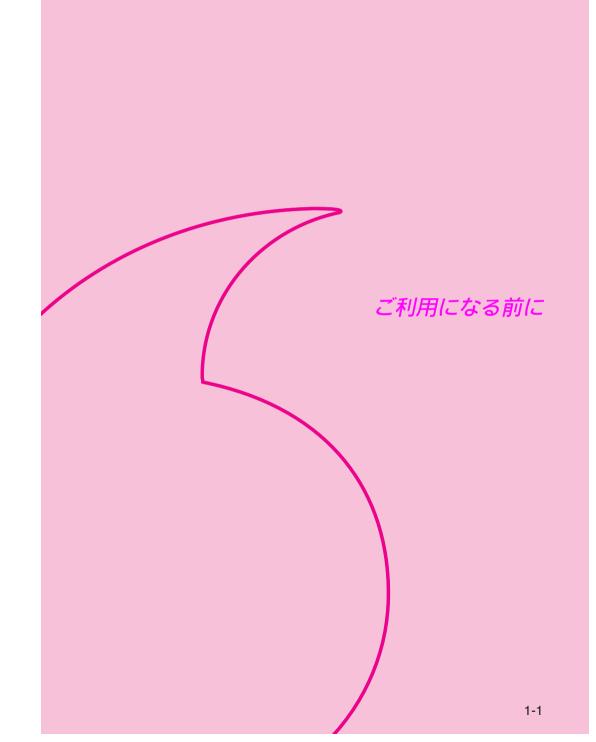
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
  また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- V603SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- V603SHのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようご注意ください。
- V603SHを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンの中には開放型のものがあり、音が外にもれることがあります。
  周囲の人の迷惑にならないように注意してください。
- **V603SHは防水仕様にはなっていません。**
  水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、バッグなどに入れて、海水がかかったり、直射日光が当たらないようにしてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗がV603SHの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- **V603SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。**
  故障やけがの原因となります。
  - V603SHをズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり、座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- V603SHのVIDEO　OUT／イヤホンマイク端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、V603SHを傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ずV603SHの電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- V603SHは、磁石を使用したセンサーにより、ポジションの検出を行っています。そのため、磁石を使用した携帯電話やアクセサリーなどを近づけると、表示が乱れるなど正常に動作しないことがあります。ご注意ください。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

- **この機種【V603SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。**
  この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
- この携帯電話機【V603SH】のSARは、0.28W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
- SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
  ■総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
  ■社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

代表的な機能

● ■の利用には、市販のSDメモリカードが必要です。

4つのポジション
ディスプレイ部分が180度回転して、使い方に応じて4つのポジションが選べます。

P.1-10

モーションコントロール
方位や加速度を検出するセンサーの搭載により、モーションコントロールショートカットやシェイクサウンダー、簡易方位計などが利用できます。

P.1-13、P.16-22、P.16-28、P.16-29

マナーモード
ボタン1つで着信音を鳴らさないようにしたり、簡易留守録に設定できます。

P.3-3

多彩な文字変換
近似予測変換、連携予測変換、推測頭出し変換、ワンタッチ変換などが利用できます。

P.4-5、P.4-12、P.4-13

アドレス帳
最大500件（1件につき電話番号とE-mailアドレス各3件）まで登録できます。

P.5-2

テレビ／FMラジオ
V603SHでテレビ／FM視聴、テレビ画面のキャプチャー、録画、FM録音などが行えます。

P.6-2

モバイルカメラ
内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。モバイルライト撮影も可能です。

P.7-2

プリント指定（DPOF）
SDメモリカード内の静止画にプリント情報を設定し、ショップなどでプリントできます。

P.7-45

画面表示設定
壁紙やマイキャラクタ、画面パターンなどが設定できます。

P.8-2、P.8-5、P.8-7

ポストカードメーカー
静止画に文字などを貼り付けてポストカードやカレンダーが作成できます。

P.7-47

ミュージックプレイヤー
V603SHで音楽を録音したり、再生できます。（有料）

P.10-2

ボイスレコーダー
V603SHで音声を録音／再生したり、録音した音声を着信音にできます。

P.11-2

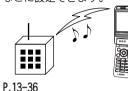
メモリカード
静止画や動画、アドレス帳など、各種データをSDメモリカードに保存できます。

P.12-2

データフォルダ
静止画や動画、メロディ、アニメなど、各種データをまとめて管理できます。

P.13-2

着うた®
着うた®（音楽）をダウンロードして、着信音やアラーム音などに設定できます。

P.13-36

電子ブック
SDメモリカード内の電子書籍データ（XMDF形式）を、閲覧できます。

P.13-42

赤外線通信
赤外線通信を利用して、他の機器との間でデータのやりとりができます。

P.14-2

スケジュール
時間や期日の決まった予定を登録して、スケジュール管理を行えます。

P.16-14

バーコード
バーコードを読み取ったり、アドレス帳などからバーコードを作成できます。

P.16-29、P.16-34

外部出力
ご家庭のテレビなどで、静止画／動画やディスプレイの表示内容を見られます。

P.16-43

ボーダフォンライブ！
メール、ウェブ、Vアプリ、ステーションの各機能が利用できます。

別冊

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

P.17-3

留守番電話サービス
電話に出られないとき、相手のメッセージをお預かりします。

P.17-4

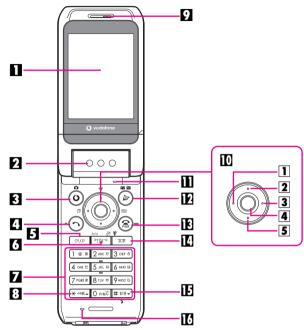
割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けられます。

P.17-6

三者通話サービス
3人で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。

P.17-7

各部の名称と機能

本体

1 ディスプレイ

2 スピーカー
着信音がここから聞こえます。また、スピーカーホン／スピーカー受話中に相手の声がここから聞こえます。

3 ボーダフォンライブ！ボタン／モバイルカメラ起動ボタン
- 短押し：ボーダフォンウェブを利用するときに使用します。
- 長押し：モバイルカメラを起動するときに使用します。

4 開始ボタン
電話をかけるときや受けるときに使用します。

5 クリアボタン
入力した電話番号、文字などを削除するときや各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

6 スケジュール／メモ／A／aボタン
スケジュールを登録／表示するときや、通話内容や声のメモを録音／再生するときに使用します。また、画像表示サイズを切り替えるときにも使用します。文字入力時には、大文字／小文字の切り替えなどに使用します。

7 ダイヤルボタン
- 短押し：電話番号や文字の入力などを行うときに使用します。
- 長押し：いろいろな機能のショートカットに使用します。

8 ✱ボタン
- 短押し：メール表示中は、前の表示へ逆戻りします。また、文字入力中は、絵文字リストの表示に使用します。
- 長押し：TVnano（EPGアプリ）を呼び出すときに使用します。他のショートカット項目に変更することもできます。

9 レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。

10 マルチガイドボタン
メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

1 リダイヤル／ノートパッドメモリボタン
- 短押し：以前かけた電話番号に再度かけるときや前の画面に戻るときに使用します。
- 長押し：ノートパッドメモリの呼び出しに使用します。

2 ショートカットボタン
- 短押し：ショートカットを呼び出すときに使用します。
- 長押し：Vアプリライブラリを呼び出すときに使用します。他のショートカット項目に変更することもできます。

3 アドレス帳ボタン
- 短押し：アドレス帳に登録した電話番号を呼び出すときや機能を選択するときに使用します。
- 長押し：アドレス帳登録に使用します。

4 ファンクション（F）／誤動作防止ボタン
- 短押し：各種機能を利用するときに他のボタンと組み合わせて使用します。
- 長押し：誤動作防止機能を設定するときに使用します。

5 着信履歴ボタン
- 短押し：かかってきた電話の履歴を表示するときに使用します。
- 長押し：受話音量調節に使用します。

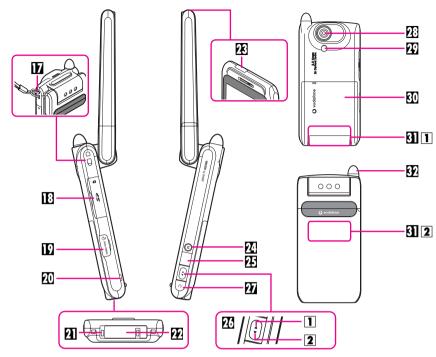
11 マイク（送話口）
ビューアポジションでの通話時に、お客様の声をここから伝えます。

12 メールボタン
- 短押し：メールを利用するときに使用します。
- 長押し：テレビ／FMを起動するときに使用します。

13 電源／終了ボタン
- 短押し：通話を終了するときや着信時の応答を保留するとき、メニューの設定中止などに使用します。
- 長押し：電源を入れるときや切るときに使用します。

14 文字／マナー（🔇）ボタン
- 短押し：文字の種類を変えたり、アドレス帳の登録をするときに使用します。
- 長押し：マナーモードを設定／解除するときに使用します。

15 ＃ボタン
オープンポジションでのモバイルカメラ撮影時、モバイルライトのON／OFFに使用します。メール表示中は、次の表示へ順送りします。また、文字入力中は、記号リストの表示に使用します。

16 マイク（送話口）
お客様の声をここから伝えます。

17 ストラップ取り付け穴
市販のストラップを取り付ける穴です。

18 メモリカードスロット
SDメモリカードを挿入する場所です。

19 VIDEO OUT／イヤホンマイク端子／光デジタル・ライン入力端子
L型ビデオ出力ケーブルやTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクなどを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

20 スモールライト
次のように点灯／点滅します。
- ●充電中：赤色で点灯
- ●テレビの録画時、テレビ画面のキャプチャー時：緑色で点灯
- ●FM録音時：橙色で点灯
- ●着信時：設定したパターンで点滅

21 充電端子

22 外部機器端子
急速充電器やシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

23 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。

24 マルチボタン
- ●短押し：ビューアポジションでのモバイルカメラ撮影時、光学ズームのON／OFFに使用します。
- ●連続2回押し：スポットライトを点灯させるときに使用します。

テレビ／FMを起動したときの動作：☞P.6-6

25 シャッターボタン
●ビューアポジション時
- ■短押し：メニュー項目を選択するときや実行するときに使用します。
- ■長押し：カメラを起動するときに使用します。

モバイルカメラのときの動作：☞P.7-5

26 ズーム／選択ボタン
●ビューアポジション時
1 メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するときに使用します。
［上または左へ移動（設定によってかわります）］
モバイルカメラのときの動作：☞P.7-5
2 メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するときに使用します。
［下または右へ移動（設定によってかわります）］
モバイルカメラのときの動作：☞P.7-5

27 Cボタン
●ビューアポジション時
- ■短押し：メールが起動します。また、各種メニュー操作をキャンセルするときなどに使用します。
モバイルカメラのときの動作：☞P.7-5
- ■長押し：テレビ／FMを起動するときや終了するときに使用します。

28 モバイルカメラ（レンズカバー）
ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。

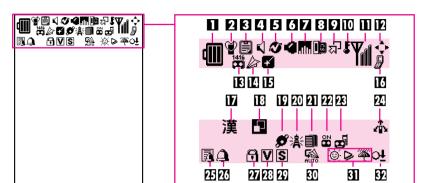
29 モバイルライト
電話がかかってくると設定したカラーパターンで点滅します。モバイルカメラでは、モバイルライト撮影に利用できます。また、待受中にはスポットライトとして利用できます。

30 電池カバー

31 内蔵アンテナ
この部分にアンテナが内蔵されています。
1 ビューアポジションのときに電波を送受信します。
2 ビューアポジション以外のときに電波を送受信します。

32 ホイップアンテナ
テレビ／FM受信用のアンテナです。2段式になっています。「**カチッ**」と音がして固定されるまで十分に引き出してください。

- ●ホイップアンテナはテレビ／FM受信用です。ホイップアンテナを伸ばしても通話品質は変わりません。
- ●ホイップアンテナを収納するときは、アンテナの下の方を持って行ってください。上の方を持って無理に押し込むと、破損の原因となります。先端が収納されるまで、完全に収納してください。
- ●内蔵アンテナ部分は、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。また、シールなどを貼らないでください。通話品質が悪くなります。

ディスプレイ

1 （電池レベル表示）／（スポットライト表示）
電池残量の目安を表示します。また、スポットライト点灯時は「」と「」が交互に表示されます。

2 （マナーモード表示）
マナーモードが設定されているときに表示されます。

3 （インフォメーションあり表示）
不在着信、簡易留守、未読のメッセージ、スーパーメール、ウェブ情報、ステーション情報、通信レポート、送信が完了した送信予約メール、自動応答メールがあるときに表示されます。

4 （スピーカーホン表示）／（スピーカー受話表示）／（ステーションメニュー手動更新表示）
スピーカーホンで通話しているときは「」が、スピーカー受話しているときは「」が表示されます。また、ステーションのメニューを手動で更新しているときには「」（グレー）が表示されます。

5 （Vアプリ起動中表示）／（Vアプリ一時停止中表示）
Vアプリを起動しているときには「」が、一時停止しているVアプリがあるときには「」が表示されます。

6 （回線接続表示）／（外部出力表示）
メールサーバーと通信しているときやウェブでサービスセンターと通信しているときなどに表示されます。また、L型ビデオ出力ケーブルを使って他の機器と接続しているときは「」が表示されます。

7 （音楽再生／音楽録音中表示）／（音声再生／音声録音中表示）
音楽や音声の再生／録音中は、「」や「」が表示されます。

8 （SDメモリカード状態表示）
SDメモリカードの状態が表示されます。

9 （ユーザーショートカット表示）／（SSL表示）
ユーザーショートカットに登録できる画面では「」が表示されます。また、SSLに対応している情報画面では「」が表示されます。

10 （シークレットモード表示）
シークレットモードのときに表示されます。シークレットメモリを呼び出したときは点滅して表示されます。

11 （電波状態表示）／（オフラインモード表示）／（赤外線通信中表示）
電波の強さを表示します。の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強 ：中 ：弱 ：微弱 圏外：圏外
また、オフラインモードに設定したときは「」が、赤外線通信中は「」が表示されます。

12 ／／／（スクロール表示）

13 （メッセージお預かり表示）
留守番電話センターに伝言メッセージが保存されているときに表示されます。

14 （メール受信表示）
スカイメールなどを受信すると表示され、未読のメールがあることをお知らせします。

15 （スーパーメール受信表示）
スーパーメールなどを受信すると表示され、未読のメールがあることをお知らせします。

16 （本体表示）／（SDメモリカード表示）
表示されている情報が、V603SHに保存されているときには「」が、SDメモリカードに保存されているときには「」が表示されます。

17 入力モード表示
入力できる文字の種類や入力方法を示します。

18 ／（等倍表示／拡大表示）
画像やメール画面、ウェブ画面の画像表示サイズを示します。

19 （ウェブ受信表示）
ウェブで情報を受信すると表示され、未読の情報があることをお知らせします。

20 （ステーション受信表示）
ステーションの更新情報を受信すると「」（赤色）で表示され、未読の情報があることをお知らせします。

21 （通信レポート受信表示）
メールの通信レポートを受信したときに表示されます。

22 （留守表示）
簡易留守録に設定したときに表示されます。

23 （録音表示）
簡易留守録の用件が録音されているときに表示されます。

24 （モーションコントロールショートカット表示）
モーションコントロールショートカットが利用できるときに表示されます。

25 ／（スケジュール表示）
スケジュールが登録されている日に、まだ設定時刻になっていないスケジュール（アラームON時：／アラームOFF時：）があることをお知らせします。

26 （アラーム表示）
アラームが設定されているときに表示されます。

27 （ダイヤル操作禁止表示）
ダイヤル操作禁止がかかっているときに表示されます。

28 （バイブレータ表示）
通常着信時にバイブレータが設定されているときに表示されます。

29 （サイレント表示）／（ステップ表示）
通常着信時の着信音量が、「サイレント」のときは「」、「ステップ」のときは「」が表示されます。

30 （自動応答メール表示）
自動応答メールが設定されているときに表示されます。

31 などなど（お天気アイコン表示）
ステーションによって、現在いるエリアの天気が表示されます。（別途申し込みが必要です。）

32 （誤動作防止表示）
誤動作防止が設定されているときに表示されます。

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。

- バイブレータと着信音量は、通常着信、ボーダフォンライブ！の各着信のそれぞれに設定できますが、ディスプレイに表示されている「」、「」、「」は、通常着信時の設定状態を示します。
- 壁紙を設定（☞P.8-2）しているときは、ディスプレイのアイコン表示を消すことができます。（☞P.8-8）

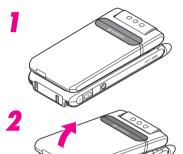
V603SHのお取り扱い

V603SHは使い方に応じて、4つのポジションが選べます。

●本書では、「**オープンポジション**」での操作を中心に説明をします。ただし、モバイルカメラ（☞P.7-2）は「**ビューアポジション**」での操作を中心に説明します。

4つのポジション

●ポジションを変更するときは、両手で持ってゆっくりと操作してください。力を入れすぎると、破損の原因になります。

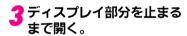
1

クローズポジション

ディスプレイを内側にして、2つ折りにした状態です。（お買い上げ時の状態です。）

●携帯するときにおすすめします。

通話することはできません。通話するときは、オープンポジションまたはビューアポジションに変更してください。

2

3 ディスプレイ部分を止まるまで開く。

オープンポジション

ディスプレイを見ながら、ダイヤルボタン操作をするときの状態です。

●通話や文字入力などに適しています。

4 ディスプレイ部分を右回りに180度回転させる。

セルフショットポジション

ディスプレイを見ながら、ダイヤルボタンを使ってモバイルカメラ操作をするときの状態です。

●お客様を撮影するときなど、ディスプレイで画像を確認しながらの撮影に適しています。

●通話はできません。通話するときは、オープンポジションまたはビューアポジションに変更してください。

●ディスプレイ部分は、左回りには回転できません。

5

6 ディスプレイ部分を閉じる。

ビューアポジション

ディスプレイ部分を外側にして、2つ折りにした状態です。

●テレビの視聴、モバイルカメラの撮影などに適しています。

●S、C、▶、◀、Ⓜを使って、オープンポジションとほぼ同様に基本的な操作ができます。

ビューアポジションのまま携帯しないでください。ディスプレイを破損する恐れがあります。

7

ボタンの押し方

一部のボタンでは、押し方によっていくつかの機能が利用できます。次の４種類の押し方を使い分けて操作してください。

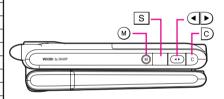
短押し※	軽く押します。（本書でのボタン操作の基本的な押し方です。）
長押し	１秒以上押し続けます。（Sは押し切った状態で、１秒以上押し続けてください。）
押し切り（Sだけの操作）	軽く押したあと、さらに押し切ります。モバイルカメラの撮影で使用します。
連続２回押し（Ⓜだけの操作）	間隔をあけずに２回連続短押しします。スポットライトを点灯するときに使用します。

※ 本書では、ことわりがない限り「**短押し**」は「**押す**」と記載しています。

ビューアポジション時のボタン操作

ビューアポジション時には、S、C、▶、◀、Ⓜの各ボタンを使って操作します。

待受画面での操作

ボタン	押し方	機能
S	長押し	モバイルカメラ起動
	短押し	インデックスメニュー表示
C	長押し	テレビ／FM起動
	短押し	メールメニュー表示
▶※1	長押し	Vアプリライブラリ表示※2
	短押し	ユーザーショートカット表示※2
◀※1	長押し	受話音量変更※2
	短押し	着信履歴表示※2
Ⓜ	短押し	ユーザーショートカット表示

※1 動作は表示方向設定によって変わります。
※2 カレンダー（☞P.8-3）が表示されているときは除きます。

待受画面以外での操作（着信中、通話中、テレビ／FM、モバイルカメラ、Vアプリを除く）

各ボタンは次のように、オープンポジション時のボタンと対応しており、基本的な操作はオープンポジション時とほぼ同様に行えます。

ビューアポジション時のボタン		オープンポジション時のボタン
S	長押し	◉
	短押し	●
C	長押し	✉
	短押し	クリア
▶※1	短押し	◎または◎※2
◀※1	短押し	◎または◎※2

※1 動作は表示方向設定によって変わります。
※2 動作する方向は、表示される画面によって異なります。

モーションコントロール

モーションコントロールとは、V603SHの方位や加速度を検出するモーションコントロールセンサーを利用した機能です。
モーションコントロールセンサーを利用した機能には、次のものがあります。

モーションコントロールカーソル	V603SHを傾けてカーソルを移動させます。	☞下記、P.1-31
モーションコントロールショートカット	V603SHを振ってユーザーショートカットを呼び出します。	☞P.1-14、P.16-22
シェイクカウンター	V603SHを振った数を数えます	☞P.16-26
シェイクサウンダー	V603SHを振って音を出します。	☞P.16-28
簡易方位計	方位を調べます。	☞P.16-29
表示方向自動切替	自動的に表示方向を切り替えます。	☞P.8-8

- V603SHを強く振りすぎないでください。誤ってV603SHを投げてしまったり、手首を痛めたりする原因になります。
- V603SHを落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- 以下のような環境では、モーションコントロールは一時的に正常に動作しないことがあります。
  - ■電車や地下鉄、自動車などへの乗車中
  - ■金属製品（金属製の机や棚など）の近く
  - ■鉄などで遮断された屋内
  - ■エレベーター内およびエレベーターの近く
  - ■磁気の強いもの（下記）の近く
- 以下のような磁気の強いものをV603SHに長時間近づけると、モーションコントロールは以後、正常に動作しなくなることがあります。このようなときは、モーションコントロール補正（☞P.16-4）を行ってください。
  - ■磁石（ホワイトボード用、家具や鞄の開閉用など）
  - ■音響製品のスピーカー、磁気ネックレスなど

モーションコントロールカーソル

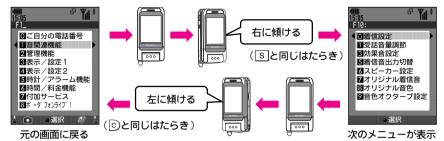
◎を押す代わりに、V603SHの傾きによってメニューなどのカーソルを移動できます。（☞P.1-31）ビューアポジションでも◀や▶を押さずに操作できます。

- 操作メニューや項目を選ぶ画面でⓂを押したあと、操作してください。操作中にⓂを押すと、モーションコントロールカーソルは終了します。
- Ⓜを押したときのV603SHの傾きを起点にカーソルが移動します。
- あらかじめ、Mボタン設定（☞P.16-4）でモーションコントロールカーソルを設定しておいてください。

■カーソルを移動する

カーソルが上に移動　　カーソルが下に移動

- インデックスメニューなどの９分割画面では、上下左右斜めにカーソルを移動します。

■メニューや項目を選ぶ／元の画面に戻る

●インデックスメニューなどの９分割画面では、カーソル移動だけの操作になります。項目を選ぶときはSを押してください。

モーションコントロールショートカット

V603SHを「上」、「左」、「右」のうち、２つの方向に振る動作の組み合わせ（モーションパターン）で、あらかじめ登録した機能（ユーザーショートカット：☞P.16-21～P.16-24）を起動できます。ビューアポジションでもユーザーショートカットを呼び出せます。

●ユーザーショートカットの画面で「」が表示されているときに、設定したモーションパターンの動作（☞P.16-23）を行ってください。（「」が表示されていないときはⓂを押したあと、設定したモーションパターンの動作を行ってください。）
１番目と２番目の動作が認識されると、それぞれの動作の認識音が鳴り、登録済のユーザーショートカットが起動します。動作を行う前にもう一度Ⓜを押すと、モーションコントロールショートカットは終了します。
●モーションパターンの動作は、１番目の動作の認識音を確認したあと、２番目の動作を行うと認識されやすくなります。
●お買い上げ時の設定は、P.16-21「簡単な操作で機能を呼び出す」を参照してください。

■例：「右」＋「上」のモーションパターン

ユーザーショートカットの画面で「」が表示されているときに

「右」に振って元の位置に戻す　　「上」（手前）に振って元の位置に戻す

●10秒以内（タイムアウトする時間）に動作を行っても認識されなかったときは、エラー音が鳴り、認識できなかったことが表示（「NG」）されたあと、ユーザーショートカットの画面に戻ります。
●モーションコントロールショートカットは振り方の個人差により、正しく認識しないときがあります。認識しやすいモーションパターンを登録してご使用ください。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

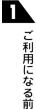
●極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の環境では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
※推奨使用温度：５℃～35℃
●指定以外の充電器で充電しないでください。指定以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）になる可能性があります。
●電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

●充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
●電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
●充電が開始されるとスモールライトが赤色点灯します。（電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。）
●充電時間は約115分です。
■常温（電源OFF時）での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。
●充電中、充電器や電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
●充電器を使用中、ご家庭のテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器をご家庭のテレビやラジオから雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

●電池パックやV603SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できなくなることがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
●次のような場所でのご使用は避けてください。
■極端な高温や低温環境
■湿気、ほこり、振動の多い場所
■直射日光のあたる場所
●電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。
電池パックが使用できなくなることがあります。
●電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

●電池パック単体で充電することはできません。
●V603SHに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電した場合、充電中は「」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
●V603SHを開いた状態でも充電することができます。

完全に充電したときの利用可能時間

連続通話時間	約130分
連続待受時間	約450時間
連続操作時間	約230分
連続再生時間	約7.5時間

※ 上記の各利用可能時間は、パネル明るさ調整が「明るさ4」(お買い上げ時)に設定されているときの時間です。

- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能「OFF」を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V603SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所(ビル内、車内、カバンの中など)や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境(充電状態、気温など)によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 連続操作時間とは、通話をしないで連続してV603SHを操作し続けたときの利用可能時間です。
- 連続再生時間とは、オフラインモードで連続して音楽(ミュージック)を再生し続けたときの利用可能時間です。
- 電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。

- 使用環境
  - ■極端な低温/高温の状態で使用/保存されているとき(5℃~35℃の温度範囲でお使いください。)
  - ■V603SHや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき(充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。)
  - ■電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき(なるべく電波状態の良い環境でお使いください。)
- 操作
  - ■テレビ/FMを視聴しているとき
  - ■Vアプリを起動しているとき
  - ■ステーションを使用しているとき
  - ■モバイルカメラ撮影/バーコード読み取りを多く使用したとき
  - ■モバイルライト撮影を多く使用したとき
  - ■動画を再生したとき
  - ■スポットライトを多く使用したとき
  - ■メール作成などの連続したボタン操作(照明の点灯時間が長くなる)を多くしたとき
  - ■音楽(ミュージック)を再生したり、ボイスレコーダーで録音/再生したとき
  - ■赤外線通信を多く使用したとき
  - ■V603SHのポジションを頻繁に変更したとき
  - ■モーションコントロールを多く利用したとき
- 設定
  - ■パネル照明やキー照明の点灯時間を長く設定したとき
  - ■壁紙にアニメーションを設定したとき
  - ■スクリーンアニメを設定したとき
  - ■パネルセーブが働かないように設定したとき
  - ■パネル照明を明るくなるように調整したとき

電池パックの消耗を軽減するには

次の機能の設定を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減することができます。

- 照明設定(☞P.8-6)
- モバイルライト(☞P.7-27)やスポットライトの継続点灯時間(☞P.16-42)
- パネルセーブ(☞P.16-39)

電池が切れたら

- 電池交換のメッセージが表示され、電池アラーム音が「ピピピ…」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。(20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。)
  電池アラーム音が鳴っているときに㊂を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。
  電池パックを充電してください。
  (マナーモード設定時には、電池アラーム音は鳴りません。)
  また、通話中に電池が切れた場合は、電池アラーム音「ピピ」と断続音が約5秒間隔で鳴ります。約20秒後に通話が切れ、そのあと電源が切れます。電池パックを充電してください。

不要になった電池パックは

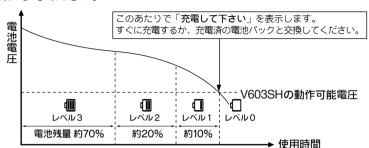
- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
  電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

電池レベル表示の確認

電池レベルを4段階で表示します

- 「▯」になると充電することをおすすめする確認メッセージが表示され、電池アラーム音が鳴り、約20秒後に電源が切れます。

■電池レベル表示について

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。
ディスプレイの電池レベル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

■ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

低温下では、レベル１が早めに表示されます。
高温下では、レベル１が遅めに表示されます。

- 上記の電池レベル表示は電池残量の目安です。
- 電池レベル表示がレベル１になると、音楽の録音や再生、ボイスレコーダーの録音、モーションカメラ（MPEG）モードでの撮影など利用できない機能があります。（☞P.7-21、P.10-4、P.10-12、P.11-3）

スモールライト／電池レベル表示

スモールライトや電池レベル表示は、次のような状態をお知らせします。

■電源が入っているとき

スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
消灯	点滅	周囲温度が５℃〜35℃以外
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了

■電源が切れているとき

スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
消灯	消灯	周囲温度が５℃〜35℃以外
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドする。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを取り付ける。

- 印刷面を上にして、本体のくぼみに電池パックの先を合わせて取り付けます。

4 電池カバーを取り付ける。

- 電池カバーとキャビネットとのすき間が生じないように電池カバーを押しながらスライドさせます。

V603SHは、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  - ■ショートさせない。
  - ■分解しない。

取り外す

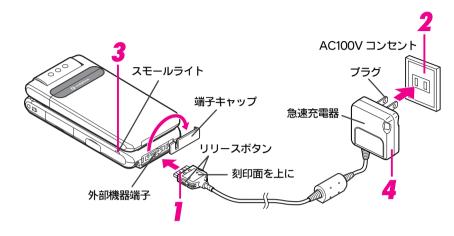
1 電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドする。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを持ち上げ、取り外す。

- 電池パックのこの部分に指をかけ、矢印①の方向に押し込み、矢印②の方向に持ち上げます。

- 電池パックは、必ず電源を切ってから取り外してください。
- 操作したあとは、すぐに電池パックを取り外さないでください。

急速充電器を利用して充電する

必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 外部機器端子の端子キャップを開き、急速充電器の接続コネクターを差し込む。

- 「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

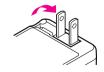
- 充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：☞P.1-18）
- ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

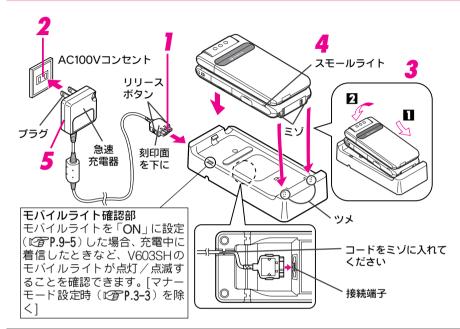
3 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

- 充電時間：☞P.1-15

4 充電が完了したら…

V603SHから接続コネクターを抜き、プラグをACコンセントから抜く。

- 接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
- V603SHの端子キャップを元に戻してください。

急速充電器を携帯するときなど、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

卓上ホルダーを利用して充電する

必ず、付属の急速充電器、卓上ホルダーを使用してください。

1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。

- 「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 卓上ホルダーの接続端子は裏側にあります。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

- ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

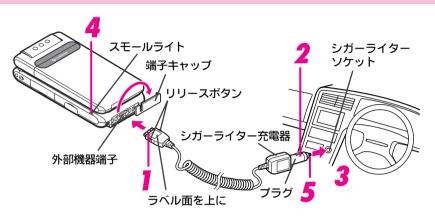
3 V603SHに電池パックを取り付け、卓上ホルダーに置く。

- ❶のようにV603SHのミゾを卓上ホルダーのツメに合わせ、❷の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。
- 充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：P.1-18）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

- 充電時間：P.1-15

5 充電が完了したら…
V603SHを卓上ホルダーから取り外し、プラグをACコンセントから抜く。

シガーライター充電器を利用して充電する

1 外部機器端子の端子キャップを開き、シガーライター充電器の接続コネクターを差し込む。

- 「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかける。

- 充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：P.1-18）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

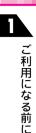
- 充電時間：P.1-15

5 充電が完了したら…
V603SHから接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く。

- 接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
- V603SHの端子キャップを元に戻してください。

- このシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。（12V、24V両用）
- シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しないことがあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。
- 自動車を運転するときは、V603SHを絶対にお使いにならないでください。

- シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
- シガーライター充電器を使って充電するときは、V603SHを固定させるため、車載ホルダーを利用することをおすすめします。

電源を入れる／切る

1 V603SH をオープンポジションにする。

2 ㊐を長く（１秒以上）押す。

3 ディスプレイが点灯する。

アニメーションのあと、上のような「待受画面」が表示されます。

4 電源を切るときは、㊐を長く（２秒以上）押す。

アニメーションが表示されたあと、ディスプレイが消灯します。

時刻が設定されていないと

■ アニメーションのあと、時刻設定の確認画面が表示されます。
「1YES」選択➡◉➡時刻設定画面へ（☞P.1-26）
「2NO」選択➡◉➡時刻未設定の待受画面へ

- はじめてお使いになるときは、V603SH内蔵の時計を合わせてください。（☞P.1-26）
- 電源を入れたときや、切ったときにディスプレイが一瞬暗くなりますが、故障ではありません。

- V603SHをクローズポジションにしたままで、メールなどのボーダフォン ライブ！の着信も自動的に受けられます。
- V603SHは、操作をしない状態（クローズポジションを除く）が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ：☞P.16-39）

誤ってボタンが押されるのを防ぐ

持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。（誤動作防止）

誤動作防止を設定する

1 ◉を長く（１秒以上）押す。

「」が表示され、誤動作防止が設定されます。

補足

誤動作防止設定中は

- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出られます。通話終了後には、再び誤動作防止が設定されます。
- ㊐を長く（２秒以上）押しても、電源は切れません。

誤動作防止を解除する

1 誤動作防止が設定されている待受中に、◉を長く（１秒以上）押す。

「O!」が消え、誤動作防止が解除されます。

日付／時刻の設定

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時計／アラーム機能

1 「時刻設定」を選び、◉を押す。

2 西暦の年を入力する。

例：2005年 ➡ 2 0 0 5

3 月・日を入力する。

例：３月15日 ➡ 0 3 1 5

4 時・分を入力する。

時刻は24時間制で入力します。

例：午後３時５分 ➡ 1 5 0 5

5 ◉を押す。

設定した時刻の「０秒」から動き始め、時刻設定が終了して、待受画面に戻ります。
曜日は自動的に設定されます。

カーソル

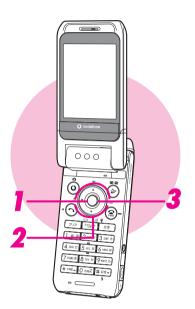
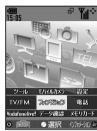
■ 文字入力時に表示される「■」および、メニューを選択するときの色帯の部分を「**カーソル**」といいます。文字入力時のカーソルは、◈を押すと１文字単位で、◈を押すと１行単位で移動できます。文字の入力や修正は、カーソル位置に対して行われます。

注意 設定した時刻は、電池パックを交換するときにも保持されますが、約１ヵ月程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、西暦／日付／時刻を再設定してください。

補足
- 西暦／日付／時刻を合わせていないとき、着信履歴やリダイヤルなどの日時表示は「--/-- --:--」と表示されます。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示できます。（☞P.8-3）
- 通話中も日付／時刻の設定が行えます。

機能の呼び出し方

インデックスメニューから機能を呼び出す

V603SHのいろいろな操作は、「インデックスメニュー」と呼ばれる画面から行います。

1 ◉を押す。

インデックスメニューが表示されます。
- インデックスメニューの表示は変更できます。（☞P.8-9）

2 ◈でメニュー項目を選ぶ。

- オススメニューの表示：◉
- インフォメーションメニューの表示：✉

3 ◉を押す。

選んだメニュー項目の画面が表示されます。

■インデックスメニューの項目

項目	説明
ツール	スケジュールや電卓、アラームなど、便利な機能が利用できます。
モバイルカメラ	モバイルカメラメニューが表示され、撮影やバーコード読み取りなどを行えます。
設定	ディスプレイや音の設定をはじめ、いろいろな設定を行えます。
TV／FM	テレビやFMラジオの視聴ができます。
ファンクション	ファンクションメニュー（☞P.1-28）が表示され、各機能の設定や確認を行えます。
電話	アドレス帳の登録／検索や、リダイヤル／着信履歴の確認などを行えます。
Vodafone live!	メールやウェブ、Vアプリ、ステーションなどの通信サービスが利用できます。
データ確認	V603SHに保存したデータを確認できます。
メモリカード	メモリカードメニューが表示され、SDメモリカードに保存したデータを確認できます。

オススメメニュー

■ インデックスメニューで、◎（オススメ）を押すと、オススメメニューが表示されます。
オススメメニューには、新しく追加された機能やおすすめの機能が表示され、簡単に各機能の画面に移動できます。

インデックスメニュー

オススメメニュー

ファンクションメニューから機能を呼び出す

インデックスメニューで「**ファンクション**」を選び、◉を押すと、ファンクションメニューが表示されます。
ファンクションメニューでは、大分類の下に各機能が分類されており、それぞれの機能に固有の番号がつけられています。（☞P.19-2）

■大分類を選ぶ

◎を押し、大分類を選んだあと、◉を押す。

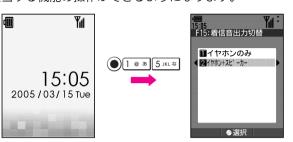
選択した項目は色帯付きで表示されます（カーソル）

<大分類>

0 着信設定
1 受話音量調節
2 効果音設定
5 着信音出力切替
6 スピーカー設定
7 オリジナル着信音
8 オリジナル音色
9 音色オクターブ設定

<各機能>

■番号を直接指定して機能を選ぶ

待受画面で◉（インデックスメニュー表示）→「**大分類の番号**」→「**機能の番号**」の順に押すと、該当する機能の操作ができるようになります。

機能を操作中にメールを利用する

■ 機能を操作中に、次の操作を行います。
　◎（１秒以上）➡**受信メールリスト画面**（☞◎P.4-3）表示➡**メール確認／受信／返信／アドレス帳登録**

■ 機能の画面に戻る：クリア

- 呼び出したメールの画面（受信メールリスト画面を除く）で◎を長く（１秒以上）押すと、新たに受信メールリスト画面が表示されます。この画面からは、メールの確認だけが行えます。クリアを押すと、最初に呼び出したメールの画面に戻ります。
- 通話中や待受画面、Vアプリ画面では操作できません。メールが呼び出せない機能や状態で操作すると、エラーメッセージが表示されます。

機能を操作中に他の機能を呼び出す

■ 機能を操作中に、次の操作を行います。
　◎（１秒以上）➡**マルチメニュー表示**➡**機能選択**➡◉

- 機能の画面に戻るときは、クリアを押します。（「**簡易電卓**」を利用したあとは、◎を押します。）
- 呼び出した機能の画面で◎を長く（１秒以上）押しても、新たに他の機能を呼び出せません。
- 呼び出した機能の画面で◎を長く（１秒以上）押すと、受信メールリスト画面が表示されます。この画面からは、メールの確認だけが行えます。メールを確認したあとは、クリアを押すと呼び出した機能の画面に戻ります。
- 通話中や待受画面、Vアプリ画面では操作できません。新たな機能が呼び出せない機能や状態で操作すると、エラーメッセージが表示されます。

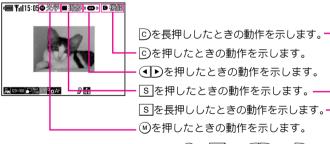
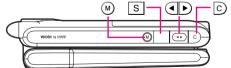
ソフトキーの使い方

各メニュー画面や操作画面では、最下行にボタン操作を示すガイダンスが表示されることがあります。

●オリジナル着信音の入力画面などで表示される「」は、文字を押したときの動作を示します。

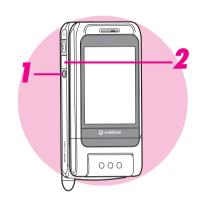
ビューアポジション時のソフトキーの使い方

ビューアポジションでは、ソフトキーの表示される位置が2通りあります。モバイルカメラ操作のときは横向きのディスプレイの最上行に、それ以外の操作のときはオープンポジションと同様に、縦向きのディスプレイの最下行に表示されます。

モバイルカメラ撮影時　モバイルカメラ以外

モーションコントロールカーソルを利用する

モーションコントロールカーソル（☞P.1-13）でメニューなどのカーソルを移動します。ビューアポジションでも◀や▶を押さずに操作できます。

●あらかじめ、Mボタン設定（☞P.16-4）で、モーションコントロールカーソルを設定しておいてください。

●Ⓜを押して、「✥」や「⇕」が画面に表示されないときや、クローズポジションでは利用できません。

1 Ⓜを押し、V603SHを傾ける。（☞P.1-13）

モーションコントロールカーソルの操作が行われ、ボタン確認音が鳴ります。

●操作中にⓂを押すと、モーションコントロールカーソルは終了します。

●ボタン確認音を消すこともできます。（☞P.9-6）

●インデックスメニューやデータフォルダなどでの9分割画面では、上下左右斜めにカーソルを移動します。

2 Sを押す。

項目が選択されます。

●ファンクションメニューなどの画面では、右に傾けても選べます。

■ オープンポジション時：◉

ボタン代用

■ Mボタン設定（☞P.16-4）を「**ボタン代用**」に設定すると、Ⓜを押したときにの短押しと同じ操作が行えます。

●ビューアポジション時、画面を待受画面に戻すのに便利です。

●の長押しと同じ操作は行えません。

●通話中にⓂを押しても、電話は切れません。

●ボタン代用とモーションコントロールカーソルは同時に設定できません。

ビューア時設定

■ ビューア時設定（☞P.16-4）を「**モーションコントロールON**」に設定すると、ビューアポジションでV603SHを振ったときに、の短押しと同じ操作ができます。

●ビューアポジション時、画面を待受画面に戻すのに便利です。

注意

- モーションコントロールカーソル利用中、次のときは操作が終了します。
  ■ポジションが変わったとき ■電話の着信などがあったとき ■パネルセーブが動作したとき
- モーションコントロールカーソルが正常に動作しなくなったときは、モーションコントロール補正（☞P.16-4）を行ってください。
- モーションコントロールカーソル利用中は、表示方向自動切替（☞P.8-8）は行われません。

クイックオペレーション

待受画面で数字を入力すると、数字のケタ数に応じて利用できる機能がディスプレイに表示されます。
（右の画面は数字を１ケタ入力したときの例です。）
この状態で、機能名の前に表示されるボタン（スピードダイヤルでは⌒）を押すと、その機能が操作できるようになります。
- ビューアポジションでは操作できません。

機能 ＼ 入力する数字のケタ数	1	2	3	4	5～6	7～12	13～24
スピードダイヤル☞P.5-16	○	○	×	×	×	×	×
マネー積算メモ☞P.16-41	○	○	○	○	○	×	×
アドレス帳登録☞P.5-3	○	○	○	○	○	○	○
アドレス帳検索※1 ☞P.5-15	○	×	×	×	×	×	×
簡易電卓☞P.16-40	○	○	○	○	○	○	×
簡単メール送信☞ⓞP.3-17	○	×	×	×	×	×	×
リピートアラーム設定※2 ☞P.16-8	×	×	×	○	×	×	×
スケジュール表示※3 ☞P.16-14	×	×	×	○	×	×	×

※1 アカサタナ検索で利用できます。
※2 設定する時刻を24時間制の４ケタで入力します。（すでに５件のリピートアラームが登録されているときはエラー表示となります。）
※3 表示する月･日を４ケタで入力します。現在の日付を含む、以後１年間のスケジュールを表示できます。

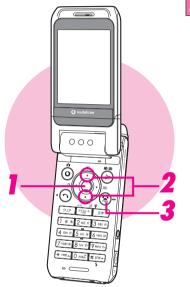
ダイヤルボタンでのショートカット

ユーザーショートカット（☞P.16-22）に登録されている機能やデータは、待受画面で、ダイヤルボタンまたは⓪を長く（１秒以上）押すと起動します。

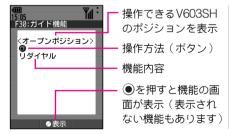
機能の操作方法を確認する

ファンクションメニューから操作できる機能以外の操作方法を確認します。（ガイド機能）

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定１

1 「0ガイド機能」を選び、◉を押す。
ガイド機能画面（スポットライト点灯の操作説明）が表示されます。

2 ⓢを押す。
別の機能の操作説明が表示されます。

3 確認を終わるときは、☎を押す。

■ガイド機能画面の見かた

暗証番号

V603SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「**9999**」もしくはご契約時にお決めいただいた4ケタの番号です。
V603SHの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「＊」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4ケタの番号です。
オプションサービスを一般電話から操作するときや、「**ウェブの有料情報**」の申し込みの際に必要な番号です。

- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになったときは、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.19-21）までご連絡ください。
- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 「**操作用暗証番号**」はV603SHの操作で変更できます。（☞P.15-2）
- 「**交換機用暗証番号**」はV603SHの操作では変更できません。「**交換機用暗証番号**」を変更するときは、所定の手続きが必要となります。
  詳しくは、お問い合わせ先（☞P.19-21）までご連絡ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

1 電源が入っていることを確認する。

●電波状態を確認してください。

●画面に「圏外」、「」、「」、「」が表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.19-8）

2 市外局番からダイヤルする。

15:05
:発信
文字:アドレス帳登録
03123XXXX1
電卓

●同一市内へ通話するときでも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

電話番号通知／非通知の設定

●電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルします。

■通知する……1 8 6

■通知しない…1 8 4

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えたら

●で、カーソル「＿」を動かしたあとクリアを押すと、カーソル位置の番号が消えます。クリアを長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

を押したあとは、を押して電話を切り、かけ直してください。

相手が話し中

●を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話が終わったら、を押す。

●V603SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。V603SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにできます。（☞P.2-3）

ビューアポジションで電話をかける アドレス帳を利用して電話をかけます。

■あらかじめアドレス帳の登録が必要です。（☞P.5-3）

S ➡「電話」選択 ➡ S ➡「2アドレス帳検索」選択 ➡ S ➡ アドレス帳呼出（☞P.5-14～P.5-15）➡ S（メニュー）➡「発信」選択 ➡ S

●ビューアポジションで通話するときは、ディスプレイが見えるように持ち、レシーバー（受話口）を耳にあてます。

●ビューアポジションでの通話中には、次のボタンを使って各操作が行えます。

ボタン	操作
S	通話中メニュー表示
C（長押し）	通話終了
▶	受話音量大
◀	受話音量小

クローズ終話設定

■通話中に、V603SHをオープンポジションからクローズポジションに変更したとき、こちらの声を相手に伝えないようにできます。（電話は切れません。）

◉ ➡「ファンクション」選択 ➡ ◉ ➡「1音関連機能」選択 ➡ ◉ ➡「0着信設定」選択 ➡ ◉ ➡「1通常着信」選択 ➡ ◉ ➡「7クローズ終話設定」選択 ➡ ◉ ➡「2OFF」選択 ➡ ◉

●お買い上げ時には、クローズポジションにすると電話が切れるよう「ON」に設定されています。

注意

●通話時マイクがふさがれていると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。

●内蔵アンテナ部分（☞P.1-7 31）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。

●体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなります。

●通話中は、オープンポジションで利用することをおすすめします。

補足

●通話後、自動的に通話時間や通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.2-20、P.2-21）

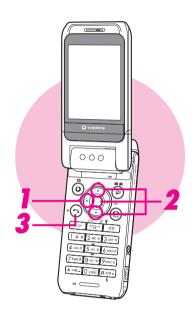
●累積の通話時間（☞P.2-20）や通話料金（☞P.2-21）の目安を確認することもできます。

●スピーカーを使って通話することもできます。（☞P.9-22）

●国際電話をかけるときは、「**サービスガイドブック**」を参照してください。

以前かけた電話番号にもう一度かける

2 基本的なご案内

以前かけた電話番号を呼び出して簡単に電話をかけられます。（リダイヤル）
●最新の20件まで記憶しています。

1 ◎（□）を押す。

記憶している電話番号と日時が新しいものから順に、一覧表示されます。
V603SHのアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

3 ⌒を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

補足

●同じ番号に2回以上の電話をかけたときは、最後に電話をかけた日時のデータだけが記憶されます。
●シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
●電源を切ってもリダイヤルの記憶は消えません。
●20件を超えたときは、古いものから消去されます。個別に消去することもできます。（☞P.2-16）

番号を付加して電話をかける

2 基本的なご案内

あらかじめ番号を登録し、アドレス帳の電話番号の先頭に付けて発信します。国際電話専用の「**国際発信**」と、184 や186 などお好みの番号を登録できる「**セット発信**」があります。

プリセット登録　国際発信またはセット発信用の番号を登録します。

お買い上げ時 国際発信：0046010、セット発信：なし

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ プリセット登録

「🅱1国際発信登録」／「🅱2セット発信登録」選択➡◉➡番号入力➡◉

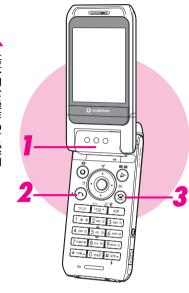
■ 登録されている番号を変更する：「🅱1国際発信登録」／「🅱2セット発信登録」選択➡◉➡クリア（1秒以上）➡番号入力➡◉

●「**国際発信**」は7桁以内、「**セット発信**」は6桁以内で入力します。

国際発信／セット発信　登録した番号を付加して電話をかけます。

メニュー ▶ 電話 ➡ アドレス帳検索 ➡ アドレス帳を呼び出す ➡ メニュー（◉）

「国際発信」／「セット発信」選択➡◉

電話を受ける

1 着信中に、V603SHをオープンポジションにする。

相手が電話番号を通知してきたときは、電話番号が表示されます。V603SHのアドレス帳に登録している相手から電話がかかってきたときは、登録している名前が表示されます。

2 ⌒を押す。

●次のボタンを押しても、電話を受けられます。（エニーキーアンサー）
0～9、＊、＃、スケジュール、クリア、◎、✉、◀、▶

■ エニーキーアンサーの有効／無効を設定する：◉➡「**ファンクション**」選択➡◉➡「**1音関連機能**」選択➡◉➡「**0着信設定**」選択➡◉➡「**1通常着信**」選択➡◉➡「**8エニーキーアンサー**」選択➡◉➡「**1ON**」／「**2OFF**」選択➡◉

3 通話が終わったら、☎を押す。

●V603SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。V603SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにできます。（☞P.2-3）

ビューアポジションで電話を受ける ビューアポジションで電話を受けます。

着信中にS（1秒以上）➡通話が終わったらC（1秒以上）➡通話終了

●ビューアポジションでの着信時には、次のボタンを使って各操作が行えます。

S	着信メニュー表示	C（長押し）	応答保留（☞P.2-9）
S（長押し）	通話開始	◀	着信音を小さくする
C	クイックサイレント（☞P.2-7）	▶	着信音を大きくする

■通話中にできること：☞P.2-3

着信時の着信音量調節

■ 着信音が鳴っているときに、◀（小さくする）／▶（大きくする）を押します。押すたびに着信音量が調節できます。
●上記の操作で着信音量を調節すると、通常着信の着信音量設定（☞P.9-2）に反映されます。
●マナーモード設定時（☞P.3-3）は、調節できません。

着信音量を一時的に「サイレント」にする（クイックサイレント）

■ 着信中に文字を押すと、その着信に限り、着信音量が「**サイレント**」になります。
■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.16-3）を「**2クイックサイレント**」に設定しているときは、着信中に設定したサイドボタンを長く（1秒以上）押すと、クイックサイレントが行えます。（クローズポジション時だけ）

電話に出られないときの対応

■ 着信中に次の操作を行います。

☎	着信を保留して、相手をお待たせします。	☞P.2-9
◉ 文字	V603SHの簡易留守録で応答します。	☞P.2-10
◉☎	留守番電話サービスセンターなどに転送します。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）	☞P.17-4

●着信中に◉を押して、表示されるメニューから操作することもできます。
●ビューアポジション時の操作については、P.2-6を参照してください。
●クローズポジション時の操作については、P.2-11を参照してください。

簡易留守録設定中に着信があると

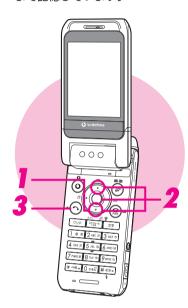
■ 応答メッセージが流れ、簡易留守録を開始します。（☞P.16-6）
簡易留守録を解除しているときでも着信中に簡易留守録が利用できます。
着信中に◉➡文字
●いずれのときも相手に通話料金がかかります。

表示について

■ 電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。（☞P.2-2）
■ SDメモリカード内のアドレス帳に登録している相手からの着信時は、名前やピクチャーコール／メールの画像は表示されません。また、指定着信音で設定した着信音も鳴りません。（☞P.5-7～P.5-10）
■ 着信内容や時刻は20件まで記憶されており、あとで確認できます。（☞P.2-8）

●アドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号からの着信について、着信時の動作を約3秒間遅らせられます。（ワンコールサイレント：☞P.2-12）
●着信音の音量やパターン、モバイルライトの色や点滅パターン、スモールライトの点滅パターンは変更できます。（☞P.9-2）

かけてきた相手にかけ直す

発信者番号を通知してかかってきた電話は、その番号を利用して電話をかけられます。
●過去にかかってきた電話の着信内容と時刻は、着信履歴（☞P.2-16）として最新の20件まで記憶しています。

1 ◎を押す。

記憶している電話番号と日時が新しいものから順に、一覧表示されます。
V603SHのアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選び、◉を押す。

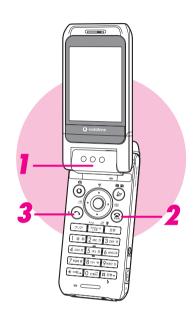
3 ⌒を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

補足
●シークレットメモリの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
●電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。
●20件を超えたときは、古いものから消去されます。個別に消去することもできます。（☞P.2-16）

電話に出られないとき

着信を保留にする

相手にアナウンスを流し、電話を保留します。（応答保留）

1 着信中に、V603SHをオープンポジションにする。

2 ㊋を押す。

約5秒間、応答保留音が鳴り、そのあと無音状態になります。
●着信音が「サイレント」に設定されているときは、応答保留音は鳴りません。

3 電話に出られる状態になったら、⌒を押す。

●エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押しても電話に出られます。

ビューアポジションでの応答保留 ビューアポジションで応答保留の操作を行います。

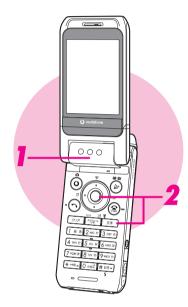
着信中にⓒ（1秒以上）➡電話に出られる状態になったらS（1秒以上）
●着信中にSを押したあと、着信メニューから操作することもできます。

クローズポジションでの応答保留／着信拒否

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.16-3）を「1応答保留／3着信拒否」に設定しているときは、着信中に、設定したサイドボタンを長く（1秒以上）押すと、応答保留／着信拒否が行えます。（クローズポジション時だけ）

注意
●応答保留中に㊋を押すかV603SHをクローズポジションにすると、応答保留中の電話は切れます。［クローズ終話設定（☞P.2-3）を「OFF」に設定しているときは、電話は切れません。］
●応答保留中に相手が電話を切ると、保留中の電話は切れます。

メッセージを録音する

かかってきた電話を簡易留守録で応答し、相手のメッセージを録音します。（簡易留守録）

1 **着信中に、V603SHをオープンポジションにする。**

2 **着信音が鳴っている間に、●（文字）の順に押す。**

応答文が流れたあと、録音が始まります。このときは、その着信に限り留守録音します。

■ 録音されたメッセージを聞く：●（スケジュール/メモ）
（☞P.16-6）

補足 録音できる時間が7秒以下のときや、すでに20件録音されているときに操作すると、空き容量不足の確認メッセージが表示され、留守録音はしません。

留守番電話サービス

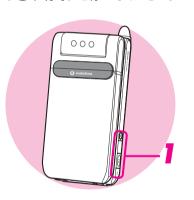
■ 留守番電話サービスを開始しておくと、電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.17-4）

クローズポジションのままで応答する

着信中、電話に出られないとき、サイドボタンのいずれかを長く（1秒以上）押して、応答します。

●応答の動作は次のとおりです。

応答保留	相手にアナウンスを流し、電話を保留にする	☞P.2-9
クイックサイレント	かかってきた着信に限り、着信音を「**サイレント**」にする	☞P.2-7
着信拒否	かかってきた電話を切る	☞P.2-9
簡易留守録	V603SHで相手のメッセージを録音する	☞P.16-5
留守電センター転送	留守番電話センターに転送し、相手の伝言を録音する（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）	☞P.17-4

●お買い上げ時には、Ⓒを長押し（1秒以上）すると「**簡易留守録**」が起動するように設定されています。Ⓒ以外のサイドボタンを着信中に使用するときは、サイドキー設定（☞P.16-3）を行ってください。

1 **着信中に、Ⓜ、Ⓢ、◀、▶、Ⓒのいずれかを長く（1秒以上）押す。**

設定した機能で応答が始まります。

注意 簡易留守録を設定していても、録音が利用できない状態（☞P.16-5）のときは、自動的にクイックサイレントが動作します。

補足 サイドボタンごとに、動作を設定（☞P.16-3）できます。

迷惑電話を防止する

「**ワンコールサイレント**」を「ON」にすると、V603SHのアドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号から電話がかかってきたとき、着信音が約３秒間遅れて鳴ります。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 「1ON」を選び、◉を押す。

通話中の操作

受話音量を調節する

レシーバー（受話口）から聞こえる相手の声の大きさを、５段階で調節できます。
- お買い上げ時には、「**音量５**」に設定されています。

1 通話中に、◎を押す。

2 ◎（小さくする）または◎（大きくする）を押す。

押すたびに受話音量が調節できます。
- 約５秒間そのままにしておくか ◉ を押すと、設定されます。
- 一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に、[スケジュール/メモ]を長く（1秒以上）押す。

録音が開始されます。

2 録音を終了するときは、もう1度[スケジュール/メモ]を押す。

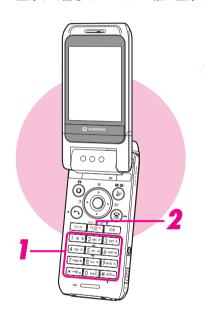
●電源を切っても録音内容は保存されています。

■ 音声メモの再生方法や消去方法：☞P.16-7

注意　クローズ終話設定（☞P.2-3）が「ON」に設定されているときに、V603SHをクローズポジションにすると、通話が切れ、録音も終わります。

数字のメモを登録する

通話中に入力した数字を、最大3件まで登録できます。（ノートパッドメモリ）
相手から聞いた電話番号などを控えるときに便利です。

- 1件につき、最大24ケタまで登録できます。（数字0～9、＊、＃）
- すでに3件登録されている状態で登録すると、古いものから順に消去されます。
- 登録した番号を、アドレス帳に登録することもできます。

1 通話中に、数字を入力する。

2 [スケジュール/メモ]を押す。

●通話中に着信があったり、通話を終了したときなどは、自動的に登録されます。

ノートパッドメモリの確認　登録したノートパッドメモリを確認します。

メニュー ▶ 電話

「6ノートパッドメモリ」選択➡◉

■ 確認終了：[終話]
■ アドレス帳への登録：ノートパッドメモリ選択➡[メニュー]（**メニュー**）➡「**アドレス帳登録**」選択➡◉➡P.5-3
■ ノートパッドメモリの消去：ノートパッドメモリ選択➡[メニュー]（**メニュー**）➡「**一件消去**」／「**全消去**」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

- 新しいものから順に3件まで表示されます。
- [発信]を押すと、表示されている番号に電話をかけられます。
- ノートパッドメモリがないときは、確認メッセージが表示されます。
- リダイヤルがあるときは、[左]◎（**ノートパッド**）の順に押しても、ノートパッドメモリを表示できます。

リダイヤル／着信履歴の確認

リダイヤルを確認する

1 ◎（□）を押す。

記憶している日時と電話番号が新しいものから順に、一覧表示されます。

●リダイヤルがないときは、着信履歴が表示されます。

■ 表示されている電話番号に電話をかける：◯
■ 待受画面に戻る：◯

着信履歴を確認する

1 ◎を押す。

記憶している日時と電話番号が新しいものから順に、一覧表示されます。

■ 表示されている電話番号に電話をかける：◯
■ 待受画面に戻る：◯

リダイヤル／着信履歴の消去

リダイヤル／着信履歴を消去します。

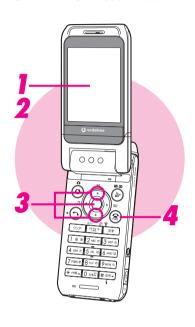
メニュー ▶ 電話

「4リダイヤル」／「5着信履歴」選択➡◉➡◎（メニュー）➡「一件消去」／「全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

着信履歴に表示されるもの

着信通話	かかってきた電話に出たもの
不在着信	かかってきた電話に出なかったもの（ワンコールサイレントを含む）
応答保留	応答保留から切断されたもの
簡易留守	簡易留守録で録音されたもの
留守転送	かかってきた電話を留守番電話センターに転送したもの（着信留守電転送）
着信拒否	かかってきた電話を拒否したもの
公衆電話	公衆電話からかかってきたもの
非通知設定	相手が電話番号を通知してこなかったもの

インフォメーションメニュー

電話に出られなかったときや、メールなどを受信してすぐに確認できなかったときには、インフォメーションメニューが表示されます。インフォメーションメニューを利用すると、簡単な操作で情報を確認できます。

1 着信があると…

着信が終了すると、着信のあった日時と不在着信や簡易留守録の件数が表示されます。

2 約５秒後、インフォメーションメニューが表示される。

3 ◎で確認する項目を選び、◉を押す。

●◎を押すたびに着信日時の新しいものから、◎を押すたびに着信日時の古いものから順に表示されます。

●◯を押すと、表示されている電話番号に電話をかけられます。

4 確認を終わるときは、◯を押す。

未確認のインフォメーションメニューを確認する

■ インフォメーションメニューに未確認の情報があるときは、待受画面に「□」が表示されます。

待受画面で◉➡◎（インフォメーション）

●情報を確認しないで、インフォメーションメニューを終了するときは、操作２のあと◯を押します。（待受画面に「□」が表示されています。）

●インフォメーションメニューを終了したあとで不在時の着信内容を確認できます。（☞P.2-16）

インフォメーションメニューの見かた

不在着信	不在時に着信があったときは、件数が表示されます。
簡易留守	V603SHがお預かりしている、メッセージの件数が表示されます。（☞P.16-5）
メール受信	受信メッセージが届いたことを示しています。（☞P.4-2）
自動応答メール	自動応答メール（☞P.6-3）を送信したことを示しています。
通信レポート受信	サービスセンターからの通信レポートが届いたことを示しています。（☞P.4-20）
ウェブ受信	自動配信サービスによるメッセージが届いたことを示しています。（☞P.8-13）
ステーション受信	新着情報や緊急情報が届いたことを示しています。（☞P.13-8）

- サービスセンター内のメールサーバーの蓄積量が、保存できる全容量の80%以上になると、インフォメーションメニューが表示されます。「**メール蓄積量警告**」を選び、◉を押すと、警告画面が表示されます。サーバーからメールを受信するか、サーバーのメールを消去してください。（☞P.5-2、P.5-4）
- V603SHの蓄積メモリの容量がなくなると、インフォメーションメニューが表示されます。「**本体メモリフル警告**」を選び、◉を押すと、警告画面が表示されます。不要なデータを削除してください。
- メールボックスを確認しても、「**自動応答メール**」の表示は消えません。インフォメーションメニューで、「**自動応答メール**」の結果表示を確認すると、表示が消えます。
- 自動応答メールの送信に失敗したときも、インフォメーションメニューに「**自動応答メール**」が表示されます。
- 送信予約メールの送信が完了すると、インフォメーションメニューに「**送信予約メール**」が表示されます。

各種設定

インフォメーションリセット　インフォメーションメニューをリセットします。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ インフォメーションメニュー設定 ▶ インフォメーションリセット

「1YES」選択▶◉

インフォメーションリセットを行っても「**メール蓄積量警告**」、「**本体メモリフル警告**」の表示はそのままです。

ランプ表示設定　インフォメーションメニューに未確認の情報があるとき、モバイルライトやスモールライトを点滅させます。

お買い上げ時 モバイルライト（すべての項目）

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ インフォメーションメニュー設定 ▶ ランプ表示設定

ランプ表示する項目選択▶◉▶「1モバイルライト」選択▶◉▶カラーパターン選択▶◉

■ スモールライト選択時：「2スモールライト」選択▶◉

- スモールライトのカラーパターンは選べません。
- ランプ表示設定は、不在着信、メール受信、ウェブ受信など、項目ごとに設定できます。
- ワンコールサイレントを「ON」に設定した場合、V603SHのアドレス帳やオーナー情報に登録されていない電話番号からの着信でワンコールサイレントの動作を行ったときは、ランプ表示しません。

モバイルライト設定時

- オフラインモード設定中（☞P.3-6）にV603SHをクローズポジションにしているときは、オフラインモード中のランプ表示が優先されます。
- 「**ランプ表示なし**」に設定しているときに比べて、電池の利用可能時間が短くなります。

スモールライト設定時

- オフラインモード設定中（☞P.3-6）にV603SHをクローズポジションにしているときは、オフラインモード中のランプ表示が優先されます。
- 「**ランプ表示なし**」に設定しているときに比べて、電池の利用可能時間が短くなります。

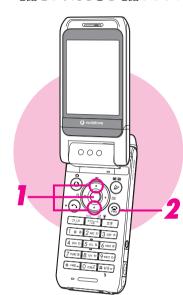
タイムアウト設定　インフォメーションメニューを表示したあと、約10秒後に自動的に待受画面に戻るかどうかを設定します。

お買い上げ時 タイムアウトしない

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ インフォメーションメニュー設定 ▶ タイムアウト設定

「1タイムアウトする」／「2タイムアウトしない」選択▶◉

通話時間表示

通話が終わったあと、直前（前回）の通話時間および累積通話時間の目安を確認します。
●電話をかけたときと電話がかかってきたときの両方とも表示します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時間／料金機能

1「3通話時間」を選び、◉を押す。
累積通話時間を確認する：「2累積通話時間」選択➡◉

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積通話時間消去 累積の通話時間の目安を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時間／料金機能 ▶ 累積通話時間 ▶ 消去（◉）
操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

通話時間の自動表示 通話後、自動的に通話時間の目安を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時間／料金機能
「4即時表示」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉
●通話料金も自動的に表示されます。

補足
●電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積通話時間の記憶は消えません。
●着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。（応答保留中は計算されます。）

通話料金表示

通話が終わったあと、直前（前回）の通話料金および累積通話料金の目安を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時間／料金機能

1「1通話料金」を選び、◉を押す。
累積通話料金を確認する：「0累積通話料金」選択➡◉

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積通話料金消去 累積の通話料金の目安を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時間／料金機能 ▶ 累積通話料金 ▶ 消去（◉）
操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

通話料金の自動表示 通話後、自動的に通話料金の目安を表示するかどうかを設定します。

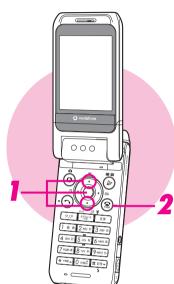
お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 時間／料金機能
「4即時表示」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉
●通話中転送を行ったときは、通話料金は表示されません。
●通話時間も自動的に表示されます。

補足
●電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積通話料金の記憶は消えません。
●直前の通話が着信通話のときなどは、「-------円」と表示されます。
●オプションサービスの三者通話サービスを利用したときは、合算した通話料金を表示します。
●電波が弱くなって通話が切断されたときなど（サービスエリア内からサービスエリア外へ移動したときや、トンネル内などに入ったとき）は、通話料金は表示されません。

電話番号とプロフィールの確認

お客様ご自身のV603SHの電話番号を確認します。

- V603SH にオーナー情報（プロフィール）として名前、ヨミ、電話番号、E-mail アドレス、郵便番号、パーソナルデータ、フォト設定が登録できます。
- V603SHの電話番号の変更や消去はできません。

メニュー ▶ ファンクション

1 「0ご自分の電話番号」を選び、◉を押す。

■ オーナー情報（プロフィール）の確認：
（詳細）➡操作用暗証番号（4ケタ）入力

- オーナー情報画面の見かたは、アドレス帳と同様です。（☞P.5-13）
- オーナー情報を利用してバーコードを作成できます。（☞P.16-35）

2 確認を終わるときは、を押す。

オーナー情報の登録　オーナー情報を登録します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ ご自分の電話番号 ➡ 詳細（） ➡ 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する ➡ メニュー（◉） ➡ 修正

編集項目選択➡P.5-17「アドレス帳を修正する」操作1～3

オーナー情報の消去　登録したオーナー情報を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ ご自分の電話番号 ➡ 詳細（） ➡ 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する ➡ メニュー（◉） ➡ 消去

「1YES」選択➡◉

オーナー情報のコピー　オーナー情報の内容をコピーします。

メニュー ▶ ファンクション ➡ ご自分の電話番号 ➡ 詳細（） ➡ 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する ➡ コピーする情報を表示する ➡ メニュー（◉）

「コピー」選択➡◉➡P.4-16「コピー／切り取り／貼り付けを行う」操作5以降

- フォト設定の画像はコピーできません。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
- 劇場や映画館、美術館などでは、まわりの人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

■ **マナーモード**：☞P.3-3
着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。
また、マナートークモード、簡易留守録を同時に設定できます。
電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナーモード内容変更の設定による）

■ **バイブ設定**：☞P.9-4
電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに振動でお知らせします。

■ **音量調節**：☞P.9-2
「**サイレント**」に設定すると、電話がかかってきたときなどの音を鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。

■ **マナートークモード**：☞P.3-4
通話中にマイクの感度を上げて、小さな声で話しても伝わるようにします。

■ **メール着信音、ウェブ着信音、ステーション着信音の各設定**：☞P.9-2
メールやウェブ、ステーションの情報が届いたときの音を鳴らさないようにできます。

■ **オフラインモード**：☞P.3-6
電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり、受けたりできないようにします。メールの送受信やウェブ、ステーションの利用などもできなくなります。

■ **簡易留守録**：☞P.16-5
電話に出られないときに、相手の用件をV603SHに録音できます。

マナーモード設定

マナーモードを設定／解除する

マナーモードを設定する

1 **［文字］を長く（1秒以上）押す。**

「♥：**マナーモード**」が点灯します。
また、マナーモードの設定内容に応じて「留」（留守表示）、「V」（バイブレータ）、「S」（サイレント）、「ステ」（ステップ）も表示されます。
（☞P.3-4）
- ウェブの情報画面やメールの画面（リスト画面、メッセージ画面など）、Vアプリ利用中でも設定／解除できます。

マナーモードを解除する

1 **マナーモードが設定されている待受中に、［文字］を長く（1秒以上）押す。**

「♥」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードに設定すると

■ ボタン確認音／エラー音／パワーON／パワーOFF時の効果音やバーコード認識完了音、警告音が鳴らなくなります。ただし、割込通話中や切替通話中の警告音は鳴ります。
■ シェイクサウンダーの音量は、マナーモードのサウンド再生音量に従います。
■ マナーモードを設定しても、モバイルカメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
■ テレビ／FM視聴中、ミュージックプレイヤーで再生中の音楽や、ボイスレコーダーで再生中の音声が、V603SHのスピーカーから聞こえなくなります。（TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを使用しているときは、イヤホンから聞けます。）
■ TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを使用しているとき、マナーモード設定中に着信があると、着信音はイヤホンへ音量1で出力されます。
■ 簡易留守録、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、アラーム音量、アラームバイブレータ、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータが自動的に設定されます。

補足
- マナートークモードが設定されると、通話中に小さな声でお話しできるようになります。（このとき「♥」が点滅します。）
- マナートークモードを設定していなくても、通話中にを長く（1秒以上）押すと、マナートークモードの設定ができます。通話を終了すると、マナートークモードは解除されます。
- 簡易留守録の録音中は、相手の声がレシーバー（受話口）から聞こえます。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモードを設定したとき、自動的に設定される機能（簡易留守録、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、アラーム音量、アラームバイブレータ、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータ）を変更します。

●お買い上げ時には、次のように設定されています。

簡易留守録	ON	着信音量	すべてサイレント	バイブレータ	すべてON
ランプ設定	スモールライト	マナートークモード	ON	サウンド再生音量	サイレント
アラーム音量	サイレント	アラームバイブレータ	ON	Vアプリ再生音量	サイレント
Vアプリバイブレータ	ON				

簡易留守録／マナートークモード

簡易留守録とマナートークモードを設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更

「1簡易留守録」／「5マナートークモード」選択 ▶ ● ▶ 「1ON」／「2OFF」選択 ▶ ●

●マナートークモードに設定すると、マイクの感度が上がり、通話中に小さな声で話しても伝わるようになります。

着信音量

着信音量を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更 ▶ 着信音量

「1通常着信」～「6配信確認」選択 ▶ ● ▶ 「1サイレント」／「2ステップ」／「3音量１」選択 ▶ ●

●サイレントに設定すると、スピーカーから音が鳴らなくなりますが、イヤホンへは音量１で出力されます。

バイブレータ

バイブレータを設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更 ▶ バイブレータ

「1通常着信」～「6配信確認」選択 ▶ ● ▶ 「1ON」／「2OFF」選択 ▶ ●

アラーム音量

アラーム音量を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更 ▶ アラーム音量

音量選択 ▶ ●

アラームバイブレータ

アラーム時のバイブレータを設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更 ▶ アラームバイブレータ

「1ON」／「2OFF」選択 ▶ ●

ランプ設定

「通常動作」、「スモールライト」、「OFF」のいずれかに設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更 ▶ ランプ設定

「1通常動作」～「3OFF」選択 ▶ ●

●変更できる内容は次のとおりです。

通常動作	着信設定（☞P.9-2）などで設定されている内容に従う
スモールライト	スモールライトが点滅
OFF	すべて点滅しない

サウンド再生音量／Vアプリ再生音量

サウンド再生音量とVアプリ再生音量を設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更

「6サウンド再生音量」／「9Vアプリ再生音量」選択 ▶ ●

■「6サウンド再生音量」選択時：音量選択 ▶ ●
■「9Vアプリ再生音量」選択時：「1サイレント」／「2音量１」選択 ▶ ●

Vアプリバイブレータ

Vアプリバイブレータを設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ マナー設定変更 ▶ Vアプリバイブレータ

「1ON」／「2OFF」選択 ▶ ●

マナー設定変更でバイブレータを「ON」に設定

■着信設定のバイブ設定（☞P.9-4）やアラーム設定のバイブ設定（☞P.16-11）を「OFF」または「SMAF連動」に設定していても、「ON」として動作します。

電波の送受信を停止する

電源を切らずに、電波の送受信を停止します。(オフラインモード)

- オフラインモードを「ON」に設定すると、電話の発着信、ボーダフォンライブ！など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

マナーモード

オフラインモードを設定する

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ オフラインモード

1 「1ON」を選び、●を押す。

「📵」が点灯します。

オフラインモードを解除する

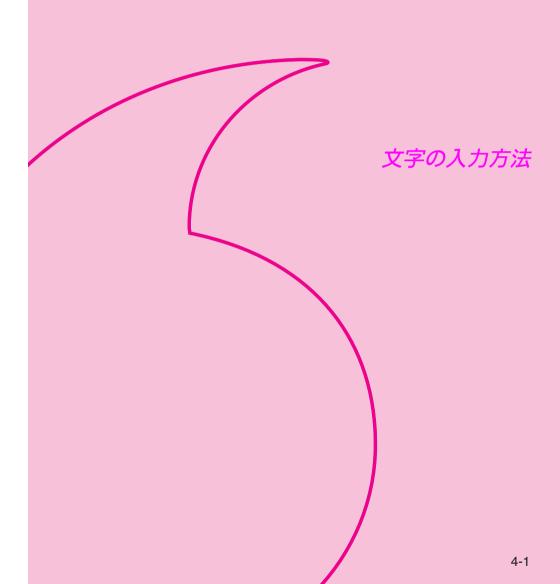
メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ オフラインモード

1 「2OFF」を選び、●を押す。

「📵」が消え、オフラインモードが解除されます。

補足

- ネットワーク接続型のVアプリ(☞ P.10-7)を一時停止しているときにオフラインモードを設定すると、ネットワーク接続不可の確認画面が表示されます。確認画面で、「1YES」を選び、●を押すと、オフラインモードが「ON」に設定されます。(オフラインモードを「OFF」に設定するまで、ネットワークには接続できません。)
- オフラインモードを「ON」に設定している場合に、V603SHをクローズポジションにしているときやパネルセーブ動作中は、スモールライトが次の順に点滅します。
  - 赤色→緑色→橙色→赤色…

文字の入力方法

文字入力について

ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。また文字入力には、かな入力方式とポケベル入力方式（☞P.4-9）があります。

●文字入力については、一部（P.4-9「ポケベル方式で入力する」）を除き、かな入力方式での操作を中心に説明します。

文字入力モード

文字入力モードは、文字入力画面で[文字]を押して切り替えます。このあと[文字]を押すたびに、入力できる文字（入力モード）が次のように切り替わります。

漢→ア→ｱ→Ａ→A→１→絵→漢・・・

●入力モード切替中は、◎を押しても切り替わります。

選択できる入力モード

現在の入力モード

漢	漢字（ひらがな）	A	半角英数字（大／小文字）
ア	全角カタカナ	a	半角英数字（小／大文字）
ｱ	半角カタカナ	1	半角数字
Ａ	全角英数字（大／小文字）	絵	絵文字コード
ａ	全角英数字（小／大文字）	区	区点コード

大小文字と小文字の切り替え

■かな入力方式では、全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[スケジュール/メモ]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。また、ポケベル入力方式（☞P.4-9）では全角入力モード、半角入力モードで[スケジュール/メモ]を押すと大文字⇔小文字が切り替わります。

漢アｱＡA１絵 漢アｱａA１絵

絵文字コード入力モードと区点コード入力モードの切り替え

■◎を押すと次の順に切り替わります。

絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード→絵文字コード１…

●絵文字コード番号（１～６）は、画面下部で確認できます。

●変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。

●アドレス帳のヨミ入力やE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

ダイヤルボタンの割り当て

１つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：全角カタカナ入力モードで[1@あ]を３回押すと、「ウ」が表示されます。

●文字入力中に⌒を押すと、表示される文字を逆順に切り替えることができます。（半角数字入力モード、絵文字コード入力モード、区点コード入力モードは除く。）

例：「い」を入力しているときに⌒を押すと、「あ」になります。

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	絵文字コード1～6／区点コード
[1@あ]	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@．／＿ー1 □（スペース）	1	1
[2ABCか]	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ２	2	2
[3DEFさ]	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ３	3	3
[4GHIた]	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ４	4	4
[5JKLな]	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ５	5	5
[6MNOは]	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ６	6	6
[7PQRSま]	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	7	7
[8TUVや]	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ８	8	8
[9WXYZら]	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	9	9
[0わをん]	わをんー、。 ↵（改行）	ワヲンー、。 ↵（改行）	，．０↵（改行）	0	0
[＊゛゜絵]	゛゜／履歴／記号入力（全角）／絵文字入力（全角）※1	゛ ゜ -※2	E-mailアドレス用／URL用変換（半角）※3	＊-，（ポーズ）※4	――――
[＃記号]	履歴／記号入力（全角）※5／絵文字入力（全角）			#	――――
◎（上）	変換（前候補）	カーソル上移動			
◎（下）	変換（後候補）	カーソル下移動 ↵（改行）			
◎（左）	カーソル左移動				
◎（右）	カーソル右移動				
[文字]	文字入力モードの切り替え				
[スケジュール/メモ]	小文字／大文字変換（変換できる文字で有効）		小文字／大文字変換+大文字／小文字入力モードの切り替え	――――	――――
[クリア] 短押し	１文字消去、変換中止	１文字消去			入力済コード消去／１文字消去
[クリア] 長押し	全文字消去				
⌒	最大64文字まで復元※6				
●	決定				
◎	音訓変換	――――			絵文字／区点コードの切り替え+絵文字1～6／履歴のリスト表示
✉	カナ英数変換	――――			絵文字１～６／履歴のリスト表示

※1　変換中の文字があるときは入力できません。
※2　「-」は半角カタカナ入力モード選択時だけ入力できます。
※3　E-mailアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。
※4　「ー」や「,（ポーズ）」は、電話番号入力時だけ有効です。
※5　半角カタカナ入力モードと半角英数字入力モード選択時は半角で入力されます。
※6　[クリア]（短押し）で消去した文字は、直後に⌒を連続して押すと、最大64文字まで復元できます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

ここでは、漢字（ひらがな）入力モードで「鈴木」と入力するのを例に説明します。

- カタカナは、全角カタカナ入力モードまたは半角カタカナ入力モードで入力します。
  漢字（ひらがな）入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。

1 漢字（ひらがな）入力モードで、[3 DEF さ]を3回押す。

ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。

2 ◎を押す。

- 同じボタンを使って次の文字を入力するときは、必ず◎を押します。

3 [3 DEF さ]を3回押したあと、[＊ ゛゜]を押す。

4 [2 ABC か]を2回押す。

- ひらがなをそのまま入力するときは、このあと操作6へ進みます。

5 ◎（変換）を押したあと、◎で文字を選ぶ。

- 他の変換候補画面：◎（次へ）／◎（前へ）
- 変換の中止：[クリア]
- 文字の区切りを変えて変換する：☞下記

6 ●を押す。

学習機能について

■ 漢字変換では、最後に変換した漢字が優先してリストに表示されます。

近似予測変換と連携予測変換

■ 漢字変換では、「**近似予測変換**」と「**連携予測変換**」という便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力／変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

- お買い上げ時には、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。（☞P.4-13）

ユーザー辞書

■ よく使う単語はユーザー辞書に登録しておくと便利です。（☞P.4-14）

- ユーザー辞書は、見出し語を付けて単語登録することで、変換候補に表示できるようになります。

■目的の漢字に変換されないとき

上記操作5のあと、[クリア]を押し文字入力画面にカーソルを戻したあと、◎で変換の対象となる文字の区切りを変えて変換し直します。

例：「み」と「ち」の区切りを変えて変換し直すとき

■複数の変換の対象を一度に採用するとき

文字を変換したあと、◉を押す代わりに[スケジュール/メモ]を押します。

例：「西山大輔」と変換するとき

にしやまだいすけ → 西山大輔 → 西山大輔

小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「あいうえおつやゆよ」を小文字に変換します。

1 文字を入力し、[スケジュール/メモ]を押す。

●小文字にできない文字では、[スケジュール/メモ]を押しても変わりません。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

1 文字を入力し、[＊ ゛゜小]を押す。

●漢字（ひらがな）入力モードや全角カタカナ入力モードでは、「か行」、「さ行」、「た行」は１回押すとだく点が付き、２回押すと元に戻ります。また、「は行」は１回押すとだく点が付き、２回押すと半だく点が付き、３回押すと元に戻ります。

●だく点や半だく点を付けられない文字では、[＊ ゛゜小]を押しても変わりません。

補足

半角カタカナ入力モードのとき

●[＊ ゛゜小]を１回押すとだく点が、２回押すと半だく点が半角１文字分で入力されます。

●だく点や半だく点を消去するときは、[クリア]を押します。

英数字を入力する

全角英数字入力モード（大文字／小文字）または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

●全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[スケジュール/メモ]押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

●同じボタンを使って、次の文字を入力するとき（例：「ＡＢ」）は、必ず◎でカーソルを移動させてから入力してください。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号／絵文字を入力する

1 記号変換が可能なモードで[＃ 記号]または[＊ ゛゜小]を押す。

これまで入力した記号や絵文字が、新しいものから順に一覧表示されます。（履歴リスト）

●お買い上げ時または記号／絵文字の履歴を消去したとき（☞下記）、履歴リストは「--」と表示されます。

2 ◎で記号／絵文字を選び、◉を押す。

●１つの記号／絵文字を入力したあとも、続けて他の記号／絵文字を入力できます。

■ 他の記号／絵文字の入力：◎／[＃ 記号]（押すたびに履歴リスト→記号リスト１～３、絵文字リスト６～１の順に切替）

■ 逆順でリストを切り替える：[＊ ゛゜小]

■ ◎を押すと、記号／絵文字リストの隠れている部分を表示できます。

3 絵文字の入力を解除し、文字を入力するときは、[0 わをん]～[9 WXYZ]のいずれかを押す。

押したボタンに割り当てられている文字が、そのまま入力されます。

●◎（戻る）を押しても、絵文字の入力を解除できます。

記号／絵文字履歴の消去

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。

◎（メニュー）➡「0入力／変換設定」選択➡◉➡「5絵／記号履歴リセット」選択➡◉➡「1実行」選択➡◉

■ 文字入力画面に戻るときは、上記操作のあと、[クリア]を２回押します。

■ 絵文字コード入力モードでは、記号／絵文字履歴は消去できません。

絵文字コード入力モードからの操作

■ 絵文字をコードで入力するときは、文字入力画面で次の操作を行います。

絵文字コード入力モードで絵文字コード（２ケタ：☞P.17-8～P.17-10）入力

■ 絵文字コードを押し間違えたときは、２ケタ目を押す前に[クリア]を押します。

■ 絵文字をリストから入力するときは、文字入力画面で次の操作を行います。

◎（リスト）➡絵文字選択➡◉

●絵文字リストは、◎を押すたびに絵文字リスト１～６→履歴リストの順に切り替わります。

補足

●半角記号を入力したときは、履歴リストには残りません。

●全角のモードで操作したときは全角の記号、半角のモードで操作したときは半角の記号が入力できます。（絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。）

●漢字（ひらがな）入力モードで、「きごう」と入力し◎（変換）を押すと、一部の記号を入力できます。

文字の入力方法

顔文字を入力する

1 文字入力画面で、(メニュー)を押す。

2「8顔文字」を選び、●を押す。

3 顔文字を選び、●を押す。

- 漢字(ひらがな)入力モードで、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し(**変換**)を押しても、顔文字が入力できます。
- 2ケタの数字(01～50)を入力すると、番号の候補を確認できます。

補足
- 絵文字1～6入力モードでは、顔文字は入力できません。
- 漢字(ひらがな)入力モードで、「**かお**」と入力し(**変換**)を押すと、上記の操作で入力できる(表示される)顔文字以外の顔文字も入力できます。

スペースを入力する

1 文字入力画面で、を押す。

- 英数字入力モードでは、1を7回押してスペースを入力することもできます。

改行する

メールの本文や、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力などで有効です。

1 文末で、を押す。

- 文の途中で改行するときは、改行する位置で0を数回押して「↵」を表示させます。漢字(ひらがな)入力モードでは、このあと●を押します。
- 0を押す回数は入力モードによって異なります。(☞P.4-3)

E-mailアドレス/URLの一部を簡単に入力する

1 英数字入力モードで、＊を押す。

2 文字を選び、●を押す。

- 全角/半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

区点コードで入力する

目的の文字が変換候補に表示されないときや、読み方のわからない文字を入力するときは、区点コードで文字を入力できます。

1 区点コード入力モードで、区点コード(4ケタ:☞P.19-9～P.19-12)を入力する。

ポケベル方式で入力する

1 文字入力画面で、(メニュー)を押す。

2「0入力/変換設定」を選び、●を押す。

3「1入力方式」を選び、●を押す。

4「2ポケベル」を選び、●を押す。

ポケベルコードで入力できる状態に切り替わります。

かな入力方式に戻す:「1かな」選択➡●

5 ポケベルコード(2ケタ:☞P.4-10)を入力する。

- ポケベル入力方式は、かな入力方式に切り替えるまで継続します。

ポケベル方式の文字入力モードの切替

■ ポケベル入力方式では、文字入力画面で文字を押すたびに、次のように切り替わります。
全角大文字入力モード(「P」反転)→半角大文字入力モード(「P」反転)
→絵文字コード1～6(「絵」反転)/区点コード入力モード(「区」反転)
- 絵文字コード1～6と区点コード入力モードは、を押すと切り替わります。

■ 全角入力モード、半角入力モードでを押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

補足
- ポケベル入力方式では、カナ英数字変換はできません。
- だく点、半だく点の入力は、ポケベルコード一覧(☞P.4-10)を参照してください。

文字の入力方法

■ポケベルコード一覧

- 空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）
- ■部分は、文字入力後[スケジュール/メモ]を押すたびに、大文字⇔小文字が切り替わります。

全角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	－	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&		☎	※1
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	#	スペース	❤	※2
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

全角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ゃ		ゅ		ょ					※2
9										
0				、	。					

半角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	＊	#	スペース	❤	※2
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

半角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
9										
0				,	.					

※1 [7][0]の順に押すと、改行が入力されます。（改行は、メールの本文や、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力などで有効です。）

※2 [8][0]の順に押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。

- 「❤」、「☎」は半角２文字分となります。

文字の変換機能

音訓変換を利用する

通常変換で入力する漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して１文字ずつ変換します。

1 **漢字（ひらがな）入力モードで、ひらがなを入力する。**

2 **◎（音訓）を押す。**

3 **漢字を選び、●を押す。**

一度入力した文字を利用する

一度、通常の変換方法で入力した漢字は、次回入力するときに先頭の１文字を入力するだけで、漢字に変換できます。（１文字変換）

例：以前に「鈴木」を変換したとき

- １文字変換で記憶されるメモリは、ユーザー辞書（☞P.4-14）と共用しています。
  （１文字変換は、ユーザー辞書の空きメモリに自動的に記憶されます。）
  そのため、ユーザー辞書の登録内容や件数によっては、１文字変換が記憶できないことがあります。
- １文字変換で記憶される件数は、同じ見出し語（１文字）に対して、ユーザー辞書と合わせて最大20件です。
  記憶可能な件数を超えると、古い１文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

カナ英数字変換を利用する

漢字（ひらがな）入力モードのまま、カタカナや英字、数字が入力できます。

1 文字を入力し、（カナ英数）を押す。

●「AM」と入れるときは、[2][6]の順に押したあと、（カナ英数）を押します。

2 で文字を選び、を押す。

●英字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

あ	@	い	.	う	/	え	_	お	スペース
か	A	き	B	く	C	け	スペース	こ	スペース
さ	D	し	E	す	F	せ	スペース	そ	スペース
た	G	ち	H	つ	I	て	スペース	と	スペース
な	J	に	K	ぬ	L	ね	スペース	の	スペース
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	スペース	ほ	スペース
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	スペース
や	T	ゆ	U	よ	V	—	—	—	—
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	スペース
わ	,	を	.	ん	スペース	ー（長音）、。改行			スペース

●数字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）
■あ行…1　■か行…2　■さ行…3　■た行…4　■な行…5　■は行…6　■ま行…7
■や行…8　■ら行…9　■わ／を／ん／ー（長音）／、／。／改行…0

ワンタッチ変換を利用する

押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換できます。目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

●ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換できません。

例：「微妙」を入力するとき

通常の変換	[6][6][＊]（び）[7][7]（み）[8][8][8][8][8][8]（よ）[1][1][1]（う）（変換）
ワンタッチ変換	[6][＊]（ば）[7]（ま）[8]（や）[1]（あ）（ワンタッチ変換）

1 ひらがなを入力し、を押す。

カーソルが緑色に変わります。

●ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）でを押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えられます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。

■ 通常変換に戻す：[クリア]➡（通常変換）

2 で文字を選び、を押す。

補足　ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。（主に名詞に対応しています。）

推測頭出し変換

1文字だけ入力してワンタッチ変換すると、その行の文字（「あ」を入力すると「あ」「い」「う」「え」「お」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

例：「あ」を入力したとき

5:00～10:59	11:00～16:59	17:00～22:59	23:00～4:59
朝一番 朝帰り 行ってきます いってらっしゃい ⋮	あちぃ～ 後でね いただきま～す♪ 移動中 ⋮	遊ぼう 明日 急いで行くよ 今どこ？ ⋮	アウチ！！ ありがとう いぇーい！！！ 行こうね ⋮

●表示される言葉は、時間帯ごとであらかじめ登録されています。
●時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00～16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ1文字学習

以前にワンタッチ変換した文字列の先頭の1文字を入力してワンタッチ変換すると、以前の変換結果が最初に表示されます。

例：以前に「あたあさわ」でワンタッチ変換し、「お父さん」を採用していたとき

その他の機能

変換方法の設定　「近似予測変換」および「連携予測変換」（☞P.4-5）を利用できないようにします。

お買い上げ時　ON（利用する）

文字入力画面で（メニュー）➡「0入力／変換設定」選択➡➡「2近似予測」／「3連携予測」選択➡➡「2OFF」選択➡

変換履歴の消去　これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

文字入力画面で（メニュー）➡「0入力／変換設定」選択➡➡「4学習辞書リセット」選択➡➡「1実行」選択➡

●ユーザー辞書に登録している単語は消去されません。

よく使う言葉を登録する

よく使う言葉（単語）に見出し語をつけて、最大100件まで登録できます。（ユーザー辞書）
登録した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示されます。
●同じ見出し語は5件まで登録できます。

ユーザー辞書の登録 ユーザー辞書に新しい単語を登録します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ ユーザー辞書 ▶ 新規登録

単語入力➡◉➡見出し語入力➡◉
●単語は最大全角15文字（半角30文字）まで、見出し語はひらがなで最大8文字まで入力できます。

ユーザー辞書の編集 登録したユーザー辞書を修正／削除します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ ユーザー辞書 ▶ 辞書編集

ユーザー辞書の修正
単語選択➡◉➡単語修正➡◉➡見出し語修正➡◉➡「1上書登録」／「2新規登録」選択➡◉

ユーザー辞書の1件消去
消去する単語選択➡ⓟ（メニュー）➡「2消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ユーザー辞書の全消去
ⓟ（メニュー）➡「3全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ダウンロードした辞書を設定する

ボーダフォンライブ！などでダウンロードした日本語変換用の辞書を2件使用できます。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。
●辞書ファイルの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞ P.8-12）でご案内しています。

ダウンロード辞書の設定 ダウンロードした辞書ファイルを使用できるよう設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ ユーザー辞書 ▶ ダウンロード辞書

番号選択➡◉➡辞書ファイル選択➡◉
■ダウンロード辞書設定済の番号への登録：番号選択➡◉➡ⓟ（メニュー）➡「変更」選択➡◉➡辞書ファイル選択➡◉

データフォルダからの辞書ファイルの設定

■ 次の操作を行います。
◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡辞書ファイルの保存されているフォルダから辞書ファイル選択➡ⓟ（メニュー）➡「ダウンロード辞書登録」選択➡◉➡番号選択➡◉
■辞書ファイル設定済の番号への登録時：「1YES」／「2NO」選択➡◉

ダウンロード辞書の解除 ダウンロード辞書の使用を解除します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定2 ▶ ユーザー辞書 ▶ ダウンロード辞書

使用を解除する番号選択➡◉➡ⓟ（メニュー）➡「設定解除」選択➡◉

文字の編集

指定した文字を削除する

1 ◈で削除する文字を選び、クリアを押す。
カーソル上の1文字が消えます。
●クリアで消去した文字は、直後に⊙を連続して押すと、最大64文字まで復元できます。（⊙を押して復元途中に、⊙以外のボタンを押すと、それ以上の復元はできません。）

木の下 ⬇ クリア 木下

注意 クリアを長く（1秒以上）押すと、すべての文字が消えます。このときは⊙を押しても、消去した文字は復元できません。

入力した文字を修正する

1 クリアで不要な文字を削除する。

2 正しい文字を入力する。

美紀子 ⬇ クリア 美子 ⬇ 美樹子

コピー／切り取り／貼り付けを行う

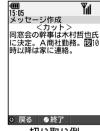
連続した文字列を、最大全角約7500文字（半角約15000文字）まで他の場所にコピー／移動できます。
●「メニュー」が表示される画面に、コピー／移動できます。

1 文字入力画面で、（メニュー）を押す。

2「1コピー」または「2カット」（移動するとき）を選び、●を押す。

3 コピー／切り取る文字列の最初の文字を選び、●を押す。
文字列の開始位置が指定されます。（画面下部中央に「終了」が表示されます。）
■ 開始位置の再指定：クリア

切り取り例

4 コピー／切り取る文字列の最後の文字を選び、●を押す。
●切り取ると、指定した文字列が元の画面から消去されます。

5 コピー／貼り付け先を表示し、（メニュー）を押す。

6「3ペースト」を選び、●を押す。

7 コピー／貼り付けする位置を選び、●を押す。
記憶している文字列が挿入されます。

カーソル前後の文字をまとめて消去する

カーソルの位置を基準にして、それより前または後の文字を、まとめて消去します。

1 （メニュー）を押す。

2「6カーソル後消去」または「7カーソル前消去」を選び、●を押す。

3 ●を押す。

アドレス帳を利用する

文字入力中にアドレス帳を呼び出し、登録している電話番号やE-mailアドレスなどの文字列を作成中の文章に挿入します。
●利用できる項目は、「名前」、「電話番号1〜3」、「E-mailアドレス1〜3」、「パーソナルデータ」です。

1 文字入力画面で、（メニュー）を押す。

2 ◎（TEL）を押す。

3 利用する相手のアドレス帳を呼び出す。
■ アドレス帳検索方法：☞P.5-14「アドレス帳の各種検索方法」操作2〜4

4 で項目を選び、●を押す。
選んだ項目の内容が記憶されます。

5 で文字列を挿入する位置を選ぶ。

6 ●を押す。
記憶されていた文字列が挿入されます。

電話番号やE-mailアドレスの前に「TEL:」や「mailto:」を付ける

■ アドレス帳の電話番号やE-mailアドレスをメール本文に挿入するときは、上記操作4のあと次の操作を行うと、電話番号やE-mailアドレスの前に「TEL:」や「mailto:」を付けられます。
（セット）➡「1TEL:」／「2mailto:」選択➡●

文字入力中にオーナー情報を呼び出す

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。
（メニュー）➡スケジュール➡「1オーナー情報入力」選択➡●➡操作用暗証番号（4ケタ）入力
●呼び出したオーナー情報内の電話番号やE-mailアドレスを利用するときは、上記「アドレス帳を利用する」操作4〜6と同様に操作します。

テキストメモ

よく使う文章をテキストメモとして登録しておくと、メッセージの本文入力などで利用できます。

- V603SHには最大20件、SDメモリカードには最大300件のテキストメモを登録できます。
- テキストメモを最大件数まで登録すると、新規作成できません。不要なテキストメモを消去するときは、P.4-20を参照してください。

4

文字の入力方法

テキストメモに文章を登録する

- 1件のテキストメモに登録できる最大文字数は、メモ形式で最大全角約500文字(半角約1000文字)、ノート形式で最大全角約64文字(半角約128文字)です。
- お買い上げ時には、「記号絵文字」が10件登録されています。これらの記号絵文字を編集した内容を登録することもできます。

メモ形式で登録する

メニュー ▶ ツール

1 「9テキストメモ」を選び、◉を押す。

あらかじめ登録されている記号絵文字のタイトルや、登録した文章の最初の部分が表示されます。

- テキストメモの確認:テキストメモ選択➡◉
- SDメモリカード内のテキストメモの利用:(メニュー)➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2 (メニュー)を押す。

3 「新規作成」を選び、◉を押す。

4 「1新規メモ」を選び、◉を押す。

5 文章を入力し、◉を押す。

- SDメモリカードへの登録:◎()
  - ■V603SHに戻す:上記操作のあと◎()

6 「1YES」を選び、◉を押す。

テキストメモに登録されます。

- 他のテキストメモを登録するときは、操作2〜6をくり返します。

メールやアドレス帳などの文字入力画面からの登録

■文字入力画面で、次の操作を行います。
(メニュー)➡「4テキストメモ登録」選択➡◉➡登録する最初の文字選択➡◉➡登録する最後の文字選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ノート形式で登録する

メニュー ▶ ツール ▶ テキストメモ

1 (メニュー)を押す。

2 「新規作成」を選び、◉を押す。

3 「2新規ノート」を選び、◉を押す。

4 「本文」を選び、◉を押す。

5 文章を入力し、◉を押す。

6 「カテゴリ」を選び、◉を押す。

7 カテゴリを選び、◉を押す。

- 作成日時/修正日時の確認:「詳細」選択➡◉
  - ■作成画面に戻る:上記操作のあとクリア

8 ◎(完了)を押す。

- SDメモリカードへの登録:◎()
  - ■V603SHに戻す:上記操作のあと◎()

9 「1YES」を選び、◉を押す。

- 他のテキストメモを登録するときは、操作1〜9をくり返します。

補足 ノート形式のテキストメモは、赤外線通信で送信できます。(☞P.14-3)

4

文字の入力方法

その他のテキストメモ関連機能

テキストメモの編集 テキストメモを修正／消去します。

メニュー ▶ ツール ▶ テキストメモ

メモ形式のテキストメモの修正

テキストメモ選択➡✉（メニュー）➡「メモ編集」選択➡●➡内容修正➡●➡「❶新規登録」／「❷上書登録」選択➡●

ノート形式のテキストメモの修正

テキストメモ選択➡✉（メニュー）➡「メモ編集」選択➡●➡「本文」／「カテゴリ」選択➡●➡内容修正／カテゴリ選択➡●➡◎（完了）➡「❶新規登録」／「❷上書登録」選択➡●

テキストメモの1件消去

テキストメモ選択➡✉（メニュー）➡「消去」選択➡●➡「❶YES」選択➡●

vファイルとして保存 ノート形式のテキストメモをvファイルとしてデータフォルダのetcフォルダに保存します。（☞P.13-40）

メニュー ▶ ツール ▶ テキストメモ

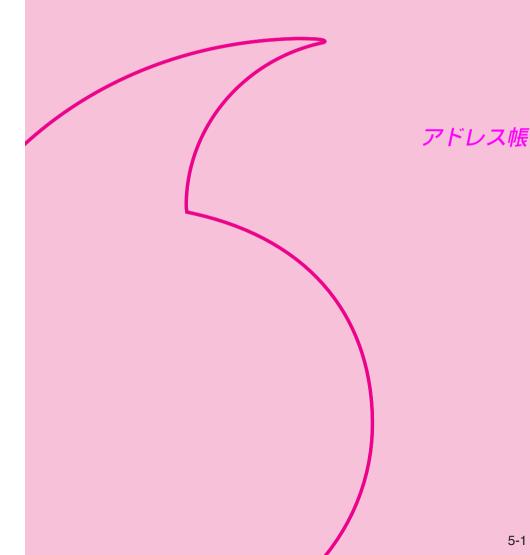
テキストメモ選択➡✉（メニュー）➡「データフォルダに保存」選択➡●➡タイトル入力➡●➡登録先選択➡●

- メモ形式のテキストメモはvファイルとして保存できません。Text形式として保存されます。
- 新規作成したフォルダにも保存できます。

メモ形式➡ノート形式に変換 メモ形式のテキストメモを、ノート形式に変換します。

メニュー ▶ ツール ▶ テキストメモ

テキストメモ選択➡✉（メニュー）➡「ノート形式へ変換」選択➡●

- テキストメモの内容によっては、変換時に内容が変化することがあります。
- ノート形式のテキストメモは、メモ形式には変換できません。

アドレス帳

アドレス帳登録

アドレス帳に登録できる項目

項目		内容
:名前		最大全角９文字（半角18文字）まで登録できます。 漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、絵文字が登録できます。
:ヨミ		名前を入力すると、入力した文字がカタカナ、英数字、記号で自動的に入力されます。最大半角18文字（だく点、半だく点含む）まで登録できます。
:電話番号		アドレス帳１件につき、最大３件の電話番号を登録できます。（「⁎」や「#」も入力できます。）
:E-mailアドレス		アドレス帳１件につき、最大３件のE-mailアドレスを登録できます。それぞれ最大半角60文字まで登録できます。
:グループ		アドレス帳を、最大10種類のグループ（グループ０～グループ９）に分けて管理できます。グループ名を登録／変更したり、グループごとに着信音を設定できます。
:パーソナルデータ		登録した相手の個人情報を、最大全角30文字（半角60文字）まで登録できます。
:シークレット設定		他人に見られたくないアドレス帳を、秘密のアドレス帳として登録できます。
:フォト設定		画像をアドレス帳の画面に表示できます。オプション設定のピクチャーコール／メールを「ON」に設定すると、登録した相手から電話がかかってきたときやメールが届いたときに、登録した画像が表示されます。
オプション設定	指定着信音	登録した相手から電話がかかってきたときの着信パターンなどを設定できます。
	メールコール	登録した相手からメールが届いたときの着信パターンなどを設定できます。
	ピクチャーコール／メール	着信時に、フォト設定に登録している画像を表示するかどうかを設定します。フォト設定に画像を登録したときは、自動的に「ON」に設定されます。
	メールフォルダ	送受信したメールを、自動的に設定したフォルダに振り分けられます。
	自動応答メール設定	登録した相手からメールを受信したとき、あらかじめ設定した内容のスカイメールを自動的に返信できます。

- V603SHのアドレス帳には、000～499番まで最大500件登録できます。
- SDメモリカードのアドレス帳には、0000～9999番まで最大10000件登録できます。

大切なデータを失わないために
アドレス帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なアドレス帳などは、控えをとっておくことをおすすめします。なお、アドレス帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アドレス帳を誤って削除しないように、また他人が使用できないように設定することができます。（☞P.15-3）

アドレス帳に登録する

ここでは、V603SHのアドレス帳に、相手の名前とヨミ、電話番号、E-mailアドレスを新規登録するときの流れを順に説明します。

名前を入力する

メニュー ▶ 電話 ▶ アドレス帳登録

1 相手の名前を入力する。

2 ◉を押す。

「:」の行に、名前に入力した文字（漢字の読み）が半角カタカナで自動的に入力され表示されます。

- ワンタッチ変換、コピー／貼り付けなどで入力したとき、絵文字を入力したときは、ヨミは入力されません。
- カタカナ、英字、数字、記号を入力したときは、入力した文字が半角で自動的に表示されます。

■ ヨミの変更：「:」選択➡◉➡ヨミ入力➡◉
■ 登録の中止：◎（取消）➡「1YES」選択➡◉

アドレス帳入力画面

電話番号を入力する

名前を入力したあと、続けて次の操作を行います。

1 アドレス帳入力画面で、「:」を選び、◉を押す。

電話番号の入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力する。

- 一般電話のときは、市外局番も必ず入力してください。
- [＊]を２回押すと、「-」が表示されます。（「-」も電話番号の１ケタとしてカウントされます。）

■ 入力間違い：◎（カーソルを間違った数字に移動）➡[クリア]（数字が消去）➡正しい数字を入力［[クリア]を長く（１秒以上）押すと、数字がすべて消えます。］

3 ◉を押す。

4 アイコンを選び、◉を押す。

■ 複数の電話番号の登録：「:<未登録>」選択➡◉➡操作２～４

プッシュトーンを入力するとき
[＊]を３回押すと「,」が表示され、ポーズが入力されます。
「,」ひとつにつき、約1秒のポーズが入力されます。以降に入力した数字などは、プッシュトーンとして送信できます。（☞P.16-2）

E-mailアドレスを入力する

電話番号を入力したあと、続けて次の操作を行います。

1 アドレス帳入力画面で、「✉:」を選び、◉を押す。

2 E-mailアドレスを入力する。

3 ◉を押す。

4 アイコンを選び、◉を押す。

■ 複数のE-mailアドレスの登録：「✉:<未登録>」選択➡◉➡操作2～4

グループの設定

■ アドレス帳入力画面で、次の操作を行います。
「👥:」選択➡◉➡グループ選択➡◉

パーソナルデータの設定

■ アドレス帳入力画面で、次の操作を行います。
「👤:」選択➡◉➡パーソナルデータ入力➡◉

フォトの設定

■ データフォルダの画像を登録するときは、アドレス帳入力画面で次の操作を行います。
「📷:」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
●データフォルダから画像を選択するとき、サイズが大きな画像は選択できないことがあります。

■ モバイルカメラを起動して撮影した画像を登録するときは、アドレス帳入力画面で次の操作を行います。
「📷:」選択➡◉➡「2写メール撮影」選択➡◉➡画像をディスプレイに表示➡◉➡◉
●モバイルカメラ撮影時の詳細：☞P.7-11

アドレス帳編集中に着信があると

■ 編集中の内容は一時的に記憶（保護）されています。通話終了後、編集中の画面に戻ります。

登録する

1 アドレス帳入力画面で、✉（登録）を押す。

メモリ番号（1件ごとのアドレス帳に付けられている固有の番号）の入力画面が表示されます。

■ SDメモリカードへ登録：☞P.5-7

2 メモリ番号（3ケタ：000～499）を入力する。

1件分のアドレス帳が登録されます。

■ TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを使った発信用：メモリ番号000を入力（☞P.16-45）

■ スピードダイヤルを使った発信用：メモリ番号000～099を入力（☞P.5-16）

空いているメモリ番号に自動登録する

■ [＊]を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登録されます。

■ 百の位、十の位の数字を押したあと[＊]を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定できます。

●**百の位を指定する（数字を1ケタ入力後➡[＊]）**
[3][＊]と押すと、300～399の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

●**十の位を指定する（数字を2ケタ入力後➡[＊]）**
[2][1][＊]と押すと、210～219の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

こんな表示が出たときは

画面表示	理由	操作
メモリNoXXXに上書しますか?	指定したメモリ番号がすでに使われています。	上書きするときは、「1YES」を選び、◉を押します。他のメモリ番号に登録するときは、「2NO」を選び、◉を押してから、他のメモリ番号を入力してください。 空いているメモリ番号に登録するときは、上記を参照してください。
これ以上登録できません	空いているメモリ番号がありません。	不要なメモリ番号に上書きするか、不要なアドレス帳を消去してください。（☞P.5-17）
シークレットデータが登録されています	シークレットメモリに登録されているメモリ番号を指定しています。	シークレットモードに設定すると、書き換えられます。（☞P.15-7）

リダイヤル／着信履歴の電話番号を登録する

メニュー ▶ 電話

1 「4リダイヤル」または「5着信履歴」を選び、◉を押す。（☞P.2-16）

2 ✉（メニュー）を押す。

3 「アドレス帳登録」を選び、◉を押す。

4 ***新規登録する***

1「1新規登録」を選び、◉を押す。

2 名前を入力し、◉を押す。

自動的に電話番号が入力されます。このあと、他の項目を入力してアドレス帳の登録を完了します。

追加登録する

1「2追加登録」を選び、◉を押す。

2 追加登録するアドレス帳を呼び出す。（☞P.5-14〜P.5-15）

アイコンを選ぶ画面が表示されます。

- すでに3件の電話番号を登録しているときは、追加登録できません。
- このあと、他の項目を入力してアドレス帳の登録を完了します。

着信履歴のデータには、発信者番号通知がないものも記憶されます。発信者番号通知がないものは、アドレス帳に登録できません。

- 赤外線通信機能を利用して、他の機器との間で、アドレス帳のやりとりができます。（☞P.14-2）
- 受信メールやノートパッドメモリ（☞P.2-15）からも追加登録できます。

アドレス帳の登録件数を確認する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定１

1 「1メモリ確認」を選び、◉を押す。

アドレス帳に登録されている件数が表示されます。

- 詳しい登録状況を確認するときは、「1アドレス帳」を選び◉を押します。電話番号とE-mailアドレスの登録件数が表示されます。（最大登録数は電話番号：1500件、E-mailアドレス：1500件です。）

■ 確認終了：PWR

メモリカードに登録する

1 名前、電話番号、E-mailアドレスなどを入力し、✉（登録）を押す。（☞P.5-3〜P.5-5）

2 ◎（SD）を押す。

- SDメモリカードが取り付けられていないときは、「SD」は表示されません。

■ V603SHに登録：再度◎（📱）

3 メモリ番号（4ケタ：0000〜9999）を入力する。

SDメモリカードに登録されます。

SDメモリカードの空いているメモリ番号に自動登録する

■ ＊を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登録されます。

■ 千の位や百の位、十の位の数字を押したあと＊を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定できます。

- 千の位を指定する（数字を１ケタ入力後➡＊）

3＊と押すと、3000〜3999の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

- 百の位を指定する（数字を２ケタ入力後➡＊）

21＊と押すと、2100〜2199の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

- 十の位を指定する（数字を３ケタ入力後➡＊）

123＊と押すと、1230〜1239の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

V603SHとSDメモリカードの間で、アドレス帳のやりとりができます。（☞P.12-9）

アドレス帳登録時のオプション設定

電話番号やE-mailアドレスを入力したあと（☞P.5-3〜P.5-4）、オプション設定を行えます。オプション設定では、指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メール、メールフォルダ、自動応答メール（☞◎P.6-3）の設定ができます。

- １件のアドレス帳に複数の電話番号／E-mailアドレスが登録されているときは、オプション設定の一括設定／個別設定が行えます。

設定	説明
一括設定	１件のアドレス帳内の複数の電話番号／E-mailアドレスに、オプション設定を一括で設定します。すでに個別設定が行われているときは、あとで設定した一括設定が優先されます。
個別設定	１件のアドレス帳内のそれぞれの電話番号／E-mailアドレスに、オプション設定を個別に設定します。すでに一括設定が行われているときは、あとで設定した個別設定が優先されます。

相手別に着信音などを設定する（音声着信時）

登録した相手から電話がかかってきたときの着信パターンやバイブレータ、モバイルライト／スモールライトの色や点滅のしかたを設定します。

1 ***一括設定する***

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定する

1「2個別設定」を選び、◉を押す。

2 電話番号を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉➡操作５へ

指定着信音を解除する

1「3OFF」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面に戻ります。

●設定を完了するときは、操作６へ進みます。

2「1着信パターン」を選び、◉を押す。

3 着信パターンを選び、◉を押す。

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.9-3

4 他の項目を設定するときは、「2バイブ設定」～「4ランプ設定」のいずれかを選び、◉を押す。

選んだ項目の設定画面が表示されます。

■ バイブレータ／ランプの設定方法：☞P.9-4～P.9-5

5 ⦿（完了）を押す。

指定着信音の相手先として設定され、オプション設定の画面に戻ります。

■ 個別設定時：⦿（完了）➡オプション設定画面へ

6 ⦿（完了）を押す。

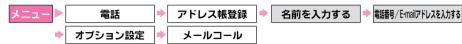
●指定着信音の着信パターンにデータフォルダ内のファイルを設定しているとき、以下の操作を行うと、着信パターンは「**パターン１**」に変更されます。

■ファイルの消去　■ファイル名の変更　■ファイルの移動

●設定したアドレス帳がシークレットメモリの場合、シークレットモードに設定されていないときは、指定着信音の設定は無効となります。

相手別に着信音などを設定する（メール受信時）

登録した相手からメッセージが届いたときの着信パターンなどを設定します。（メールコール）

●ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールコールを設定しても、設定は無効となります。

1 ***一括設定する***

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定する

1「2個別設定」を選び、◉を押す。

2 E-mailアドレス／電話番号を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉➡操作５へ

メールコールを解除する

1「3OFF」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面に戻ります。

●設定を完了するときは、操作６へ進みます。

2「1着信パターン」を選び、◉を押す。

3 着信パターンを選び、◉を押す。

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.9-3

4 他の項目を設定するときは、「2バイブ設定」～「5着信呼出時間」のいずれかを選び、◉を押す。

選んだ項目の設定画面が表示されます。

■ バイブレータ／ランプの設定方法：☞P.9-4～P.9-5

■ 着信呼出時間の設定方法：「**5着信呼出時間**」選択➡◉➡呼出時間入力（01～99秒）➡◉

5 ⦿（完了）を押す。

メールコールの相手先として設定され、オプション設定の画面に戻ります。

■ 個別設定時：⦿（完了）➡オプション設定画面へ

6 ⦿（完了）を押す。

●メールコールの着信パターンにデータフォルダ内のファイルを設定しているとき、以下の操作を行うと、着信パターンは「**効果音 メール**」に変更されます。

■ファイルの消去　■ファイル名の変更　■ファイルの移動

●設定したアドレス帳がシークレットメモリの場合、シークレットモードに設定されていないときは、メールコールの設定は無効となります。

着信時に指定した画像を表示する

フォト設定に画像を登録した相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたとき、登録している画像を画面に表示します。

- フォト設定に画像を登録していないとき、「3ピクチャーコール／メール」は選べません。
- お買い上げ時には、「OFF」（表示しない）に設定されています。

メニュー ▶ 電話 ➡ アドレス帳登録 ➡ 名前を入力する ➡ 電話番号/E-mailアドレスを入力する ➡ フォトを設定する ➡ オプション設定 ➡ ピクチャーコール/メール

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 設定の解除：「2OFF」選択➡◉

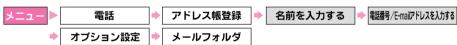
2 ⊙（完了）を押す。

注意 フォト設定にデータフォルダ内の画像を登録しているとき、次の操作を行うと、ピクチャーコール／メールは解除（OFF）されます。
▪画像の消去　▪ファイル名の変更　▪ファイルの移動

相手別にメールフォルダを設定する

登録した相手から届いたメールや送信したメールを、指定したメールフォルダに自動的に振り分けます。

- ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールフォルダを設定しても、設定は無効となります。（相手先がボーダフォン携帯電話以外のときは、E-mailアドレスにメールフォルダを設定してください。）

メニュー ▶ 電話 ➡ アドレス帳登録 ➡ 名前を入力する ➡ 電話番号/E-mailアドレスを入力する ➡ オプション設定 ➡ メールフォルダ

1 「1受信メール自動振分け」または「2送信メール自動振分け」を選び、◉を押す。

2 *一括設定する*

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定する

1「2個別設定」を選び、◉を押す。

2 電話番号／E-mailアドレスを選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉

メールフォルダを解除する

1「3OFF」を選び、◉を押す。

メールフォルダ設定画面に戻ります。

- 設定を完了するときは、操作4へ進みます。

3 メールフォルダを選び、◉を押す。

振り分けるメールフォルダが設定され、メールフォルダ設定の画面に戻ります。

■ 個別設定時：⊙（完了）➡メールフォルダ設定の画面へ

4 ⊙（完了）を押す。

オプション設定の画面に戻ります。

5 ⊙（完了）を押す。

自動応答メールを設定する

自動応答メールを設定した相手からメールが届いたとき、自動的にメールを返信できます。

- ボーダフォン携帯電話以外の電話番号に自動応答メールを設定しても、設定は無効となります。（相手先がボーダフォン携帯電話以外のときは、E-mailアドレスに自動応答メールを設定してください。）
- 自動応答メールを送信するにはあらかじめ、「**メール設定**」で自動応答メールを「ON」に設定しておく必要があります。（☞ P.6-3）
- お買い上げ時には、「**一括設定**」に設定されています。

メニュー ▶ 電話 ➡ アドレス帳登録 ➡ 名前を入力する ➡ 電話番号/E-mailアドレスを入力する ➡ オプション設定 ➡ 自動応答メール設定

1 *一括設定する*

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定する

1「2個別設定」を選び、◉を押す。

2 ボーダフォン携帯電話の電話番号／E-mailアドレスを選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉

4 ⊙（完了）を押す。

自動応答メールを解除する

1「3OFF」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面に戻ります。

- 設定を完了するときは、操作2へ進みます。

2 ⊙（完了）を押す。

グループ設定

アドレス帳で使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音などを設定します。

●指定着信音やメールコールを設定しているとき（☞P.5-8～P.5-9）は、グループ着信の設定は無効となります。

グループ名を変更する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定１ ▶ グループ設定 ▶ グループ名変更

1 グループ名を選び、◉を押す。

●「グループ０（名称なし）」はグループ名を変更できません。

2 グループ名を入力する。

●最大全角５文字（半角10文字）まで入力できます。

3 ◉を押す。

●別のグループ名を変更するときは、操作１～３をくり返します。

4 変更を終わるときは、㊣を押す。

グループ着信音を設定する

グループ別に着信音（通常着信、メール着信）を設定します。

●グループ着信音を「OFF」に設定しているときは、通常着信音の設定に従います。
●お買い上げ時には、すべてのグループが「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定１ ▶ グループ設定 ▶ グループ着信

1 グループ名を選び、◉を押す。

2「1通常着信」または「2メール着信」を選び、◉を押す。

●項目名が選べないときは、利用できません。

3「1着信設定」を選び、◉を押す。

●項目名が選べないときは、利用できません。

4「1ON」を選び、◉を押す。

■ 着信設定の解除：「2OFF」選択➡◉

5「2着信パターン」～「6着信呼出時間」のいずれかを選び、◉を押す。

●「6着信呼出時間」は、メール着信のときだけの設定です。

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.9-3
■ バイブレータ／ランプの設定方法や注意点：☞P.9-4～P.9-5
■ 着信呼出時間の設定方法：☞P.9-6

6 設定を終わるときは、㊣を押す。

アドレス帳の利用

アドレス帳から電話をかける

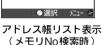
ディスプレイ

※「:」（パーソナルデータ）を選んだときは、登録内容が表示されます。また「📷:」（フォト設定）を選んだときは、登録されている画像が表示されます。いずれのときも⊙（戻る）を押すと、アドレス帳リストに戻ります。

補足
●⊙で各項目を選べます。
●メモリ使用禁止を「ON」に設定（☞P.15-3）しているときは、アドレス帳は使えません。
●シークレットメモリを使って電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。（☞P.15-7）

アドレス帳リストに画像を表示する

アドレス帳のフォト設定に登録されている画像を、アドレス帳リストの画面に表示します。

アドレス帳リスト表示（メモリNo検索時）

フォト付アドレス帳リスト表示（メモリNo検索時）

1 ◎（TEL）◎（検索）の順に押す。

2 ◎（メニュー）を押す。

3「フォト付表示」を選び、◉を押す。

フォト設定に登録されている画像が表示されます。

■ リスト表示に設定：フォト付表示時に◎（メニュー）➡「リスト表示」選択➡◉

アドレス帳の各種検索方法

アドレス帳検索には、次の４つの方法があります。

メモリNo検索	指定したメモリ番号のアドレス帳を表示します。
アカサタナ検索	指定した「ヨミ」の行のアドレス帳を表示します。
グループ検索	指定したグループ内のアドレス帳を表示します。
読み検索	入力した「ヨミ」ではじまるアドレス帳を表示します。

●お買い上げ時には、「メモリNo検索」に設定されています。

1 ◎（TEL）を押す。

前回利用した検索方法の画面が表示されます。

2 ◎（メニュー）を押す。

3 検索方法を選び、◉を押す。

選んだ検索方法の画面が表示されます。

4 各検索方法の操作を行い、アドレス帳を呼び出す。（☞P.5-15）

■ 複数の電話番号やE-mailアドレス登録時：◎（他のマーク選択）➡他の電話番号やE-mailアドレスの表示

■ 登録されていないアドレス帳を指定したとき：エラー表示のあと、◎（他のアドレス帳リスト表示）

SDメモリカード内のアドレス帳の呼び出し

■ P.5-14「アドレス帳の各種検索方法」操作１のあと、次の操作を行います。

◎（切替）➡SDメモリカードのメモリ番号を選択➡◉➡◎（メニュー）➡検索方法を選択

●SDメモリカードのアドレス帳は、メモリ番号500件ごとに分類されています。アドレス帳が１件も登録されていない番号は表示されません。

メモリNo検索

メモリ番号を入力してアドレス帳を表示します。

■検索方法を「メモリNo検索」に設定してください。（☞P.5-14）

メニュー ▶ 電話 ▶ アドレス帳検索

３ケタのメモリ番号（000〜499）入力➡アドレス帳選択➡◉

■ 発信：上記操作のあと◎

アカサタナ検索

「ヨミ」の行を指定してアドレス帳を表示します。

■検索方法を「アカサタナ検索」に設定してください。（☞P.5-14）

メニュー ▶ 電話 ▶ アドレス帳検索

ヨミの行指定➡アドレス帳選択➡◉

■ 発信：上記操作のあと◎

●読みの行の指定方法

ア行	1	カ行	2	サ行	3	タ行	4
ナ行	5	ハ行	6	マ行	7	ヤ行	8
ラ行	9	ワ行	0	その他	#		

■英字、数字、記号または「ヨミ」の入力がされていないデータのときは、「その他」になります。

グループ検索

グループを選択してアドレス帳を表示します。

■検索方法を「グループ検索」に設定してください。（☞P.5-14）

メニュー ▶ 電話 ▶ アドレス帳検索

グループ選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉

■ 発信：上記操作のあと◎

読み検索

「◎:」に登録した「ヨミ」を入力してアドレス帳を表示します。

■検索方法を「読み検索」に設定してください。（☞P.5-14）

メニュー ▶ 電話 ▶ アドレス帳検索

ヨミ（最大半角18文字まで）入力➡◉➡アドレス帳選択➡◉

■ 発信：上記操作のあと◎

スピードダイヤルで電話をかける

V603SHのメモリ番号000～099に登録したアドレス帳は、簡単な操作で発信できます。

1 ***メモリ番号000～009にかける***

❶アドレス帳のメモリ番号の下１ケタの数字（０～９）を押す。

メモリ番号010～099にかける

❶アドレス帳のメモリ番号の下２ケタの数字（10～99）を押す。

2 **Ⓢを押す。**

相手の名前と電話番号が表示され、ダイヤルされます。

- メモリ番号000～099のアドレス帳に登録されていないときは、電話番号未登録の確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。
- 複数の電話番号が登録されているときは、１番目に登録されている電話番号がダイヤルされます。

- メモリ使用禁止を「ON」に設定しているときは、この機能は使用できません。（☞P.15-3）
- シークレットメモリを使って電話をかけるときは、この操作の前にシークレットモードに設定しておいてください。（☞P.15-7）
  通常モードのままで操作すると、確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

アドレス帳の登録内容をコピーする

アドレス帳に登録している電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータをコピーして、文字入力画面に貼り付けられます。

メニュー ➡ 電話 ➡ アドレス帳検索 ➡ アドレス帳を呼び出す ➡ コピーする項目を選択する ➡ メニュー（◉）

1 **「コピー」を選び、◉を押す。**

選んだ電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータが記憶されます。

■ 以降の操作：☞P.4-16「コピー／切り取り／貼り付けを行う」操作５以降

アドレス帳の編集

アドレス帳を修正する

1 **修正する項目を選び、◉を押す。**

選んだ項目が修正できるようになります。

- このあと、アドレス帳の登録時と同様の操作で修正を行います。（☞P.5-3）

2 **修正が終われば、◉を押す。**

アドレス帳入力画面が表示されます。

- 続けて他の項目を修正するときは、操作１～２をくり返します。

■ 操作の中止：Ⓒ（取消）➡「❶YES」選択➡◉

3 **Ⓜ（登録）を押す。**

4 **◉を押す。**

5 **「❶YES」を選び、◉を押す。**

変更した内容が元のメモリ番号に登録されます。

■ 別のメモリ番号で登録：「❷NO」選択➡◉➡メモリ番号入力／Ⓜ

名前を修正したとき、「ヨミ」は自動的に修正されません。「ヨミ」も修正してください。

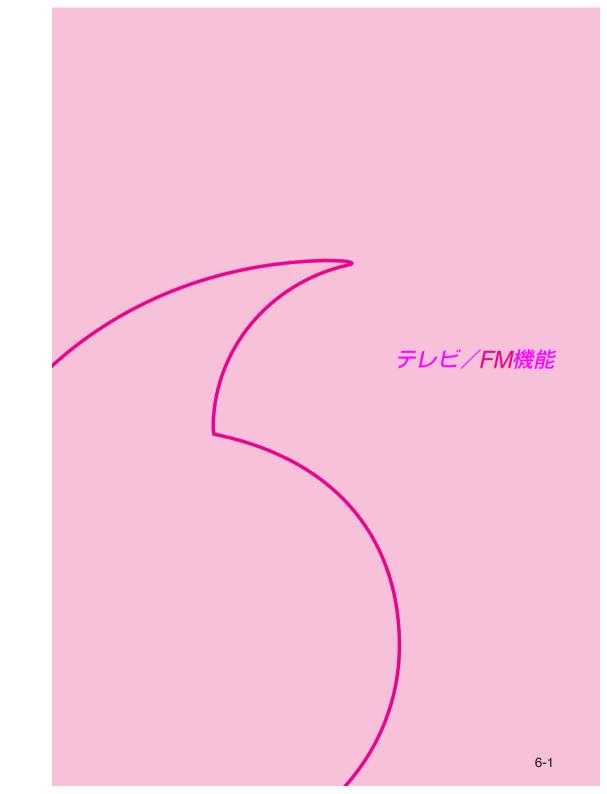
アドレス帳を消去する

1 **「❶YES」を選び、◉を押す。**

アドレス帳が消去されたあと、次のアドレス帳が表示されます。次のアドレス帳がないときは、待受画面に戻ります。

指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メールが登録されているアドレス帳を消去しても、データフォルダ内のメロディやオリジナル着信音、着うた®、ボイスファイル、画像は消去されません。

MEMO

テレビ／FM機能

テレビ／FMをご利用になる前に

テレビ／FMを視聴する前に、次のことをご確認ください。

- テレビ／FMをご利用中は、V603SHが温かくなります。長時間直接肌に触れさせたり、紙／布／布団などをかぶせたりしないでください。やけどや故障の原因となります。
- V603SHのテレビとFMは日本国内専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため利用できません。
- V603SHは地上アナログ放送専用です。
- 自転車やバイク、自動車などの運転中は、テレビ／FMを視聴しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられるため、交通事故の原因になります。
  ［道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。(2004年11月1日改正施行)］
  また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。踏切や横断歩道では特にご注意ください。
- テレビ／FMの視聴中にメールを受信すると、テレビ／FMの映像や音声に影響を与えることがあります。
- テレビ／FMの視聴中に他の携帯電話を近づけると、テレビ／FMの映像や音声に影響を与えることがあります。

テレビ／FM利用時のご注意

電池残量をご確認ください。

- 電池レベル表示が「▯」のときは、テレビ／FMは起動できません。(充電中を除く)
  視聴中に電池レベル表示が「▯」になると、テレビ／FMは自動的に終了します。

オートオフ機能により、テレビ／FMは自動的に終了します。

- 自動的にテレビ／FMが終了するまでの時間は、変更できます。(☞P.6-20)

テレビ／FMの音声出力はモノラルです。

- TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを使用しても、音声の出力はモノラルのままです。

テレビ／FMの視聴は、ホイップアンテナを伸ばすか、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを取り付けてください。または、TVアンテナ接続ケーブルで外部アンテナに接続してください。

- ホイップアンテナをご使用になるときは、十分引き出してください。ただし、放送局が極端に近いときは、アンテナを縮めたほうがテレビがきれいに映ることがあります。
- TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクをご使用になるときは、コードを伸ばすことをおすすめします。コードを伸ばしていないと、テレビ／FMの電波を十分に受信できないことがあります。ただし、放送局が極端に近いときは、画質や音質が劣化することがあります。
- 使用するアンテナは、受信するチャンネルとイヤホンマイク端子に接続する機器によって異なります。詳しくは、P.6-4の表を参照してください。

充電について

充電しながらテレビ／FMを視聴できます。ただし、オートオフ機能により充電中でも30分または60分で自動的に終了します。

- 充電しながらテレビを視聴するときは、指定の急速充電器をご使用ください。
  指定の急速充電器は、ノイズを抑えることができます。
- 充電中に急速充電器のコードをアンテナに近づけると、映像が乱れることがあります。
- テレビ／FMを視聴しながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかります。

テレビ／FM視聴中に電話などの着信があると

テレビ／FM視聴中でも、以下の機能を利用できます。操作終了後は、再びテレビ／FMの視聴画面に戻ります。

- 電話発信（TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク利用時：☞P.16-45）
- 電話着信
- メール着信※
- ステーション受信※
- ウェブ受信※
- アラーム起動※
- 受信メールボックスの確認／受信メールボックスからの操作（返信、アドレス帳登録など）
- ウェブ接続（リンク先アクセス／NOW ON AIR情報取得）

※ 着信時優先動作（☞P.6-21）を、「**着信優先動作／アラーム優先動作**」に設定しているときです。

テレビ／FM視聴中に自動電源OFFの設定時刻になると

■ 電源を切るかどうかの確認画面が表示されます。
- 約1分間何も操作せずそのままにしておくか、「1YES」を選び◉を押すと、電源が切れます。
- テレビ／FMの視聴を継続するときは、「2NO」を選び、◉を押します。

テレビ／FM視聴中に動作しない機能

■ テレビ／FM視聴中は、次の機能は利用できません。
- スクリーンアニメ
- スポットライト
- パネルセーブ

ディスプレイ

1 操作ガイド表示
2 チャンネル表示
●テレビで表示されます。
3 音量表示
4 周波数表示
5 チャンネル名表示
●FMで表示されます。

テレビ　FM

●画面の表示方向は変更できます。P.6-20の表でご確認ください。

電波とアンテナについて

電波について

電波の受信状況が悪い次のような場所では、画質や音質が劣化することや、視聴できないことがあります。

- ●放送局から遠い地域または放送局から極端に近い地域
- ●山間部やビルの陰
- ●移動中の電車や自動車の中
- ●高圧線、ネオン、無線局の近くなど
- ●線路や高速道路の近くなど
- ●地下街、トンネルの中など
- ●その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

受信地域に応じて、感度のよいチャンネルを自動で選局できます。（オート選局：☞P.6-7、P.6-12）

利用できるアンテナ

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクやTVアンテナ接続ケーブルを利用できます。アンテナ入力は接続内容によって、下表のとおり自動で切り替わります。

接続内容	テレビ			FM
	VHF	UHF	CATV	
接続なし	ホイップアンテナ	ホイップアンテナ	ー	ホイップアンテナ
TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク	TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク	ホイップアンテナ	ー	TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク
TVアンテナ接続ケーブル	TVアンテナ接続ケーブル	TVアンテナ接続ケーブル	TVアンテナ接続ケーブル	TVアンテナ接続ケーブル

CATVの受信ができるのは、TVアンテナ接続ケーブルを接続しているときだけです。

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用する

1 **V603SHのイヤホンマイク端子キャップを開く。**

2 **イヤホンマイク端子に、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込む。**

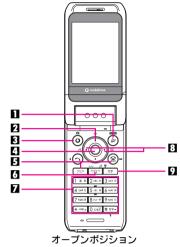
●TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクで音声を聴くときは、音声の出力先を「イヤホン優先」に切り替えてください。（☞P.6-22）

●TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクは、V603SHおよびV402SH専用品です。他の携帯電話には接続しないでください。正常に動作しないことがあります。
●テレビ／FMを視聴中に、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクをV603SHやホイップアンテナ、急速充電器、卓上ホルダーに巻き付けたり、急速充電器のコードと束ねたりしないでください。電波を正常に受信できなくなることがあります。
●テレビを利用中に、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを抜くと、選択されていたチャンネルが受信できなくなったり、受信感度が落ちることがあります。

テレビ／FM視聴中でも、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して電話をかけることができます。通話終了後は、再びテレビ／FMの視聴画面に戻ります。

テレビ／FMで使用するボタン

オープンポジション

ビューアポジション

1 テレビ／FM起動、テレビ⇔FM切替
待受画面で長く（1秒以上）押すと、前回視聴していたテレビまたはFMが起動します。また、視聴中に押すとテレビ⇔FMが切り替わります。

2 音量調整
（上げる）／（下げる）

3 番組表（テレビ）、リンク先アクセス（FM）
●長く（1秒以上）押すと、マルチメニューを表示できます。（テレビの録画／キャプチャー中、FMの録音中を除く）

4 メニュー表示、音声ミュート
音声ミュートは長く（1秒以上）押します。

5 テレビ／FM終了

6 横／縦表示切替、全方向自動切替解除（テレビ）、周波数入力（FM）

7 チャンネルのダイレクト選局
お買い上げ時には、1～9、*、0、#のダイヤルボタンに各チャンネルが設定されています。（☞P.6-16）
●FMでは長く（1秒以上）押すと、現在聴取している周波数を上書き登録できます。

8 チャンネルの選局
（前へ）／（次へ）
長く（1秒以上）押すと自動選局できます。（オート選局：☞P.6-7、P.6-12）

9 チャンネル／音量表示
テレビの視聴画面を横表示にしているときに使います。
●長く（1秒以上）押すと、マナーモードの設定／解除ができます。

10 録画／キャプチャー（テレビ）、録音（FM）
押すとキャプチャー／録音、長く（1秒以上）押すと録画できます。

11 テレビ／FMの起動および終了、チャンネルの選局（ビューアポジションだけ）
●起動は、待受画面で長く（1秒以上）、終了は、テレビ／FM視聴中に長く（1秒以上）押します。
●チャンネルの選局は、次チャンネルの選局だけできます。

注意
（長押し）でのテレビ／FM起動は、テレビ／FM間共通の機能です。一度起動すると、前回起動していたテレビまたはFMが終了時の設定で起動するようになります。（お買い上げ時「**テレビ**」）

テレビを見る

受信地域に応じて感度のよいチャンネルを自動で選局したり（オート選局：☞下記）、番組表（TVnano）で見たい番組を検索したりして、テレビを視聴できます。
●番組表の入手には、別途通信料がかかります。

メニュー ▶ TV/FM

1 「1TV起動」を選び、●を押す。

お買い上げ時には、「**設定1**」の表示チャンネル1（1ch）の視聴画面が表示されます。
●「**設定1**」以外の登録済のチャンネルを受信するときは、チャンネル設定を切り替えてください。（☞P.6-18）
■ テレビで使用するボタン：☞P.6-6

2 チャンネルを選局する。
●ダイヤルボタンで選局（☞P.6-6）するか、で1チャンネルずつ選局します。
●設定にかかわらずチャンネルを視聴するときは、マニュアル選局（☞P.6-8）を行ってください。
●スキップ設定（☞P.6-17）しているチャンネルのボタンを押したときは、チャンネルは変わりません。
■ 番組表（TVnano）を起動する：（**番組表**）➡番組選択➡●
　■Vアプリ一時停止中：「1YES」選択➡●➡番組選択➡●
■ 音量調整：（上げる）／（下げる）
■ 音声ミュート：●（1秒以上）
　■音声ミュートの解除：上記操作のあと、●（1秒以上）
　■音声ミュート中に／を押すと、ミュート前の音量＋1／－1の音量で解除できます。（音量5で、音量0でを押したときは、元の音量のまま解除されます。）
■ 便利なテレビ機能：☞P.6-20

補足
オート選局
受信地域に応じて感度のよいチャンネルを自動で選局するときは、テレビ視聴画面でまたはを長く（1秒以上）押します。
受信できるチャンネルがなかったとき
選局を続けるかどうかの確認画面が表示されます。「2NO」を選び、●を押すと、オート選局を開始したときのチャンネルに戻ります。

3 テレビを終了するときは、またはクリアを押す。
●次回起動時は、終了時に起動していたチャンネル／表示方向／音量／音声出力先でテレビが起動するようになります。ただし、前回FMを利用していたときは、FM利用時の音量／音声出力先が反映されます。

マニュアル選局

■「設定1」〜「設定5」に設定されていないチャンネルを視聴するときは、テレビ視聴中に次の操作を行います。

◉➡「1チャンネル設定」選択➡◉➡「6マニュアル選局」選択➡◉

- 受信できるチャンネル（☞P.6-16）の範囲で、手動でチャンネルを選局できる状態になります。◈で1チャンネルずつ送ったり、オート選局でチャンネルを選んでください。
- 画面のチャンネル表示には、受信しているチャンネル（例：U13）が表示されます。

番組を録画する

テレビ視聴中に、本体（V603SH）に最長約28秒、SDメモリカードに最長約60分のテレビ映像を録画できます。

- 映像は視聴中の表示方向にかかわらず横320×縦240サイズで録画され、V603SHまたはSDメモリカードのTV録画フォルダ（☞P.6-10）に登録されます。あらかじめどちらに登録するか設定できます。（☞P.6-9）
- 録画した映像を、編集したりメールに添付して送信することはできません。また、外部機器に出力して見ることもできません。

メニュー ▶ TV/FM ➡ TV起動

1 ⓜを長く（1秒以上）押す。

録画が始まります。（録画中はスモールライトが緑色で確認点灯します。）

- 録画中に音量を変更しても、録画音量には反映されません。

■ Vアプリ一時停止中：「1YES」選択➡◉

■ 録画中の動作／録画中にできる操作：☞P.6-9

2 *本体への登録*

1 ◉またはⓜを押す。

録画が終わります。録画可能時間を経過したときは、自動的に終了します。

- ☏または クリア （ビューアポジションでは S ）を押しても、同様に操作できます。

2 録画した映像を登録するときは、「1完了」を選び、◉を押す。

■ 録画の取消：「2取消」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

メモリカードへの登録

1 ◉またはⓜを押す。

録画が終わり、映像が登録されます。

- ☏または クリア （ビューアポジションでは S ）を押しても、同様に操作できます。
- 録画中にメモリ容量が不足したときは、録画は自動的に終了し、その時点までの録画映像が登録されます。

2 ◉を押す。

録画中の動作

■ 録画（録音）中に自動電源OFFの設定時刻になったときは、録画（録音）は終了し、電源を切るかどうかの確認画面が表示されます。

- 登録先が本体（V603SH）のとき
  - 約1分間何も操作せずそのままにしておくか、「1YES」を選び、◉を押すと、録画（録音）内容を登録せずに電源が切れます。
  - 登録するときは、「2NO」を選び◉を押します。（録画映像を登録するときは、このあと画面に従って操作してください。）
- 登録先がSDメモリカードのとき
  - 録画（録音）内容は登録されています。
  - 約1分間何も操作せずそのままにしておくか、「1YES」を選び、◉を押すと、電源が切れます。テレビ／FMの視聴を継続するときは、「2NO」を選び◉を押してください。

■ 録画（録音）中にアラーム設定時刻になると、アラームは鳴りません。このときは、テレビ／FM機能終了後、待受画面に戻るとアラームが動作します。

■ 次のときは録画（録音）を終了し、それまでの録画（録音）内容が登録されます。録画内容を本体（V603SH）に登録するときは、確認画面が表示されます。「1完了」または「2取消」を選び、◉を押してください。

- 着信があったとき
- 着信時優先動作（☞P.6-21）を「着信優先動作」に設定してメールなどの着信があったとき
- オートオフの設定時間（☞P.6-20）が経過したとき
- 本体クローズ終了設定（☞P.6-21）を「ON」に設定している場合に、V603SHをクローズポジションにし、再びオープンポジションにしたとき

録画中にできる操作

- 音量変更（ミュート除く）
- マナーモードの設定／解除

録画設定

録画した映像の登録先や、録画中に着信があったときの動作を設定します。

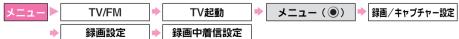
登録先設定　録画した映像を「本体」または「メモリカード」のどちらに登録するかを選べます。

お買い上げ時 本体

「1本体」／「2メモリカード」選択➡◉

録画中着信設定　録画中に電話やメールなどの着信を受けるかどうかを設定します。

お買い上げ時 着信あり

「1着信あり」／「2着信なし」選択➡◉

- 「着信あり」に設定すると、着信時優先動作（☞P.6-21）の設定内容に従います。

録画した映像の確認

テレビ視聴中に録画した映像を再生します。
●録画した映像は、録画日時のファイル名で登録されています。

メニュー ▶ データ確認

1 **「6TV録画フォルダ」を選び、◉を押す。**

SDメモリカード内の映像の確認：Ⓟ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2 **映像を選び、◉を押す。**

●映像確認中にできることは、ビデオカメラデータの動画と同様です。（☞P.7-34）

録画した映像の消去

■ V603SH（本体）に登録した映像を消去するときは、次の操作を行います。
上記操作1のあと映像選択➡Ⓟ（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

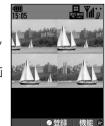
■ SDメモリカードに登録した映像を消去するときは、次の操作を行います。
上記操作1のあとⓅ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉➡映像選択➡Ⓟ（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

画面を静止画として保存する

テレビ視聴中に、テレビの画面映像を静止画として登録（キャプチャー）できます。
● 1回のキャプチャーで保存できる枚数を、1枚～最大9枚に変更できます。（☞P.6-11）
●キャプチャーした静止画は、待受画面や壁紙などでは利用できません。また、SDメモリカードへの登録、編集、メール添付送信、外部機器への出力などもできません。
●縦表示では240×180ドット、横表示では320×240ドットの画像が次のフォルダに登録されます。
■ピクチャーフォルダ（キャプチャー枚数「1枚」のとき／複数枚キャプチャーし、表示画像だけを登録したとき）
■連写フォルダ（キャプチャー枚数2～9枚のとき）

メニュー ▶ TV/FM ▶ TV起動

1 **Ⓜを押す。**

キャプチャーした静止画が表示されます。
●保存枚数を「4枚」または「9枚」に設定してキャプチャーしたときは、右画面のように分割画像が表示されます。
分割画像が表示されているときに◎を押すと、キャプチャー画像内の静止画を1枚ずつ確認できます。
●キャプチャー中は、停止以外の操作はできません。
キャプチャーの途中停止：キャプチャー中に◉／Ⓜ

2 **キャプチャーした静止画を登録するときは、◉を押す。**

キャプチャーした静止画の確認

■ キャプチャーした静止画は、データフォルダのピクチャーフォルダまたは連写フォルダに登録されます。（☞P.6-10）
データフォルダ内のデータの確認方法は、「データフォルダ内のファイルを確認する」（☞P.13-6）を参照してください。

キャプチャーした静止画の消去

■ ピクチャーフォルダに登録されている静止画を消去するときは、次の操作を行います。
◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡ピクチャーフォルダ選択➡◉➡静止画選択➡Ⓟ（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

■ 連写フォルダに登録されている静止画を消去するときは、次の操作を行います。
◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡連写フォルダ選択➡◉➡静止画選択➡Ⓟ（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

キャプチャー設定

テレビの画面映像を静止画として登録（キャプチャー）するときの、枚数や間隔（スピード）を変更できます。

キャプチャー枚数 1回のキャプチャーで保存する枚数を「1枚」、「4枚」、「9枚」から選べます。

お買い上げ時 1枚

メニュー ▶ TV/FM ▶ TV起動 ▶ メニュー（◉） ▶ 録画/キャプチャー設定 ▶ キャプチャー設定 ▶ キャプチャー枚数

枚数選択➡◉

●テレビを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

キャプチャー間隔 キャプチャー枚数を複数に設定しているときのキャプチャー間隔（スピード）を「速い」、「普通」、「遅い」から選べます。

お買い上げ時 普通

メニュー ▶ TV/FM ▶ TV起動 ▶ メニュー（◉） ▶ 録画/キャプチャー設定 ▶ キャプチャー設定 ▶ キャプチャー間隔

スピード選択➡◉

●テレビを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

FMを聴く

メニュー ▶ TV/FM

1「2FM起動」を選び、◉を押す。

- FMで使用するボタン：☞P.6-6
- NOW ON AIR情報を利用する：☞P.6-13

2 チャンネルを選局する。

- ダイヤルボタンで選局（☞P.6-6）するか、◎で-0.1MHz／+0.1MHzずつ選局します。
- 音量調整：◎（上げる）／◎（下げる）
- 音声ミュート：◉（１秒以上）
  - 音声ミュートの解除：上記操作のあと、◉（１秒以上）
  - 音声ミュート中に◎／◎を押すと、ミュート前の音量＋１／－１の音量で解除できます。（音量５で◎、音量０で◎を押したときは、元の音量のまま解除されます。）
- 便利なFM機能：☞P.6-20

補足

FM聴取中にダイヤルボタンを長く（１秒以上）押すと、押したボタンに現在受信している周波数を上書き登録できます。（上書きしても、個別設定のチャンネル名、URLなどの設定は変わりません。）

オート選局

受信地域に応じて感度のよい周波数を自動で選局するときは、FM聴取画面で◎または◎を長く（１秒以上）押します。

受信できる周波数がなかったとき

選局を続けるかどうかの確認画面が表示されます。「2NO」を選び、◉を押すと、オート選局を開始したときの周波数に戻ります。

3 FMを終了するときは、◎またはクリアを押す。

- 次回起動時は、終了時に起動していたチャンネル／音量／音声出力先でFMが起動するようになります。ただし、前回テレビを利用していたときは、テレビ利用時の音量／音声出力先が反映されます。

◎で選局中に登録済の周波数を受信すると

■ 設定されているチャンネル名（お買い上げ時：☞P.6-16）が表示されます。
- チャンネルにリンク先を登録しているときは、画面左下の「⊙リンク」を押すと、登録しているリンク先へアクセスすることができます。

周波数の直接選局

■ FMの聴取画面でスケジュールを押すと、周波数が直接入力できる状態になります。このあと、受信できる周波数（☞P.6-16）の範囲で数字を入力し、◉を押します。

NOW ON AIR情報を利用する

NOW ON AIRの受信エリアを設定する

現在聴取しているFM局の情報（曲名／アーティスト名など）を、NOW ON AIR情報として画面に表示できます。このときに必要な受信エリアを、自動または手動で設定します。

- 自動で設定するときは、ステーションの位置情報を利用します。
  このときは、通信料がかかります。
- 手動で設定できる受信エリアおよび都道府県名は、「**受信エリア一覧**」でご確認ください。

メニュー ▶ TV/FM ▶ FM起動 ▶ メニュー（◉） ▶ NOW ON AIR ▶ 受信エリア設定

1「1エリア自動更新」または「2エリア手動選択」を選び、◉を押す。

- 「**1エリア自動更新**」を選んだときは、エリアが設定され、NOW ON AIRの画面に戻ります。（操作完了）

2 受信エリアを選び、◉を押す。

3 都道府県を選び、◉を押す。

エリアが設定され、NOW ON AIRの画面に戻ります。

■受信エリア一覧

受信エリア	都道府県名
1北海道・東北エリア	1北海道、2青森県、3岩手県、4宮城県、5秋田県、6山形県、7福島県
2北陸・甲信越エリア	1新潟県、2山梨県、3長野県、4富山県、5石川県、6福井県
3関東エリア	1茨城県、2栃木県、3群馬県、4埼玉県、5千葉県、6東京都、7神奈川県
4東海エリア	1静岡県、2愛知県、3岐阜県、4三重県
5関西エリア	1滋賀県、2京都府、3大阪府、4兵庫県、5奈良県、6和歌山県
6中国エリア	1鳥取県、2島根県、3岡山県、4広島県、5山口県
7四国エリア	1徳島県、2香川県、3愛媛県、4高知県
8九州・沖縄エリア	1福岡県、2佐賀県、3長崎県、4熊本県、5大分県、6宮崎県、7鹿児島県、8沖縄県

NOW ON AIR情報を取得する

現在聴取しているFM局の情報（曲名／アーティスト名など）を、画面に表示します。（番組によっては、情報提供されないことがあります。）

- あらかじめ、受信エリアを設定しておいてください。
- NOW ON AIR情報を取得したときのURLは、履歴には残りません。

メニュー ▶ TV/FM ➡ FM起動 ➡ メニュー（◉） ➡ NOW ON AIR

1 「1情報取得」を選び、◉を押す。

2 「1YES」を選び、◉を押す。

情報の取得が完了すると、受信結果が表示されます。

- このあと㊋で情報の確認を終わると、FMの聴取画面に戻ります。

番組を録音する

FM聴取中に、本体（V603SH）に最長約10分、SDメモリカードに最長約60分のFMの音声を録音できます。

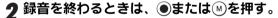
- 録音した音声は、V603SHまたはSDメモリカードのボイスフォルダに登録されます。あらかじめどちらに登録するか設定できます。（☞P.6-15）
- 録音した音声は、着信音として利用することや、編集、コピー／転送、メール添付送信などはできません。

メニュー ▶ TV/FM ➡ FM起動

1 Ⓜを押す。

録音が始まります。（録音中はスモールライトがオレンジ色で確認点灯します。）

- 録音中に音量を変更しても、録音音量には反映されません。
- ■ 録音中の動作／録音中にできる操作：☞P.6-9「録画中の動作」、「録画中にできる操作」

2 録音を終わるときは、◉またはⓂを押す。

録音が終わります。録音可能時間を経過したときは、自動的に終了します。

- ビューアポジションではSを押しても、同様に操作できます。

録音設定

録音したＦＭの音声の登録先や、録音中に着信があったときの動作を設定します。

登録先設定	録音した音声を「**本体**」または「**メモリカード**」のどちらに登録するかを選べます。

お買い上げ時 本体

メニュー ▶ TV/FM ➡ FM起動 ➡ メニュー（◉） ➡ 録音設定 ➡ 登録先

「1本体」／「2メモリカード」選択➡◉

録音中着信設定	録音中に電話やメールなどの着信を受けるかどうかを設定します。

お買い上げ時 着信あり

メニュー ▶ TV/FM ➡ FM起動 ➡ メニュー（◉） ➡ 録音設定 ➡ 録音中着信設定

「1着信あり」／「2着信なし」選択➡◉

- 「**着信あり**」に設定すると、着信時優先動作（☞P.6-21）の設定内容に従います。

録音した音声の確認

ＦＭ聴取中に録音した音声を再生します。

メニュー ▶ データ確認

1 「7ボイスフォルダ」を選び、◉を押す。

■ SDメモリカード内の音声の確認：㋱（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

2 「FM」を選び、◉を押す。

- 録音した音声は、FMフォルダに保存されています。（はじめて録音したときに、自動的にFMフォルダが作成されます。）

3 音声を選び、◉を押す。

■ 再生中にできること：☞P.11-7

4 ◉を押す。

録音した音声の消去

■ V603SH（本体）に登録した音声を消去するときは、次の操作を行います。

上記操作２のあと音声選択➡㋱（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

■ SDメモリカードに登録した音声を消去するときは、次の操作を行います。

上記操作１のあと㋱（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉➡「FM」選択➡◉➡音声選択➡㋱（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

チャンネルを設定する

よく利用するチャンネルを設定しておくと、次回簡単な操作でテレビ／FMを視聴できます。受信できるチャンネルは次のとおりです。

テレビ	VHF1ch～VHF12ch、UHF13ch～UHF62ch、CATV13ch～CATV63ch※
FM	76.0MHz～90.0MHz

※ TVアンテナ接続ケーブルを接続しているときだけ設定できます。

- テレビは5パターン（「設定1」～「設定5」）登録でき、あらかじめダイヤルボタンに登録されている、受信チャンネルの割り当ても変更できます。（☞P.6-19）
- お買い上げ時には、次のとおりに設定されています。

■テレビ

設定名	ボタン	受信チャンネル	画面表示
設定1～設定5	1	V1（VHF1ch）	1
	2	V2（VHF2ch）	2
	3	V3（VHF3ch）	3
	4	V4（VHF4ch）	4
	5	V5（VHF5ch）	5
	6	V6（VHF6ch）	6
	7	V7（VHF7ch）	7
	8	V8（VHF8ch）	8
	9	V9（VHF9ch）	9
	*	V10（VHF10ch）	*
	0	V11（VHF11ch）	0
	#	V12（VHF12ch）	#

■FM

チャンネル名	ボタン	受信周波数（MHz）	画面表示
FM1	1	77.8（FM名古屋）	1
FM2	2	78.7（FM九州）	2
FM3	3	80.0（FM東京）	3
FM4	4	80.2（FM802）	4
FM5	5	80.7（FM愛知／FM福岡）	5
FM6	6	81.3（FMジャパン）	6
FM7	7	81.9（NHK横浜）	7
FM8	8	82.5（NHK東京／NHK名古屋）	8
FM9	9	84.7（横浜FM放送）	9
FM*	*	84.8（NHK福岡）	*
FM0	0	85.1（FM大阪）	0
FM#	#	88.1（NHK大阪）	#

テレビの受信チャンネルを設定する

エリア情報で設定する

受信地域に対応したチャンネルに設定できます。

メニュー ▶ TV/FM ▶ TV起動 ▶ メニュー（◉） ▶ チャンネル設定

1「設定1」～「設定5」のいずれかを選び、✉（メニュー）を押す。

2「1エリア情報設定」を選び、◉を押す。

エリア情報の設定画面が表示されます。P.6-13「NOW ON AIRの受信エリアを設定する」操作1～3を行い、受信エリアを設定してください。

- 地域によっては自動更新できないことがあります。このときは手動選択してください。
  - ■手動選択時：地域選択➡◉

3「1YES」または「2NO」を選び、◉を押す。

自動で設定する

テレビ受信できるチャンネルの中から、受信地域に応じて感度のよいチャンネルを受信し、自動的に12個のチャンネルを設定できます。

メニュー ▶ TV/FM ▶ TV起動 ▶ メニュー（◉） ▶ チャンネル設定

1「設定1」～「設定5」のいずれかを選び、✉（メニュー）を押す。

2「2自動チャンネル設定」を選び、◉を押す。

3「1YES」を選び、◉を押す。

自動設定中のメッセージが表示されます。自動設定が完了すると、見つかったチャンネルが1から順に設定されます。

■ 受信可能チャンネルなし：「1YES」／「2NO」選択➡◉

補足

- すべてのチャンネルを検索し、設定できるチャンネルが12個に満たないとき、残りのチャンネルは、自動設定を開始したときのままです。
- 設定名（「設定1」～「設定5」）は、受信した地域の名前などに変更できます。（☞P.6-18）

個別に設定する

自動設定したあとの受信チャンネルを個別に設定できます。また、見ないチャンネルを表示しないようにできます。

メニュー ▶ TV/FM ▶ TV起動 ▶ メニュー（◉） ▶ チャンネル設定

1「設定1」～「設定5」のいずれかを選び、✉（メニュー）を押す。

2「3個別チャンネル設定」を選び、◉を押す。

3 チャンネルを選び、◉を押す。

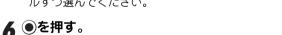
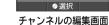
4「1受信チャンネル」を選び、◉を押す。

現在設定されているチャンネル画面が受信表示されます。

5 チャンネルを選ぶ。

- ◎を使ってオート選局（☞P.6-7）したり、手動で1チャンネルずつ選んでください。

チャンネルの編集画面

6 ◉を押す。

チャンネルの編集画面に戻り、設定したチャンネルが表示されます。

補足

チャンネルのスキップ設定

テレビ画面を◎で選局したとき、見ないチャンネルを表示しないようにできます。

チャンネルの編集画面で「2スキップ」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉

■ 12個のチャンネルすべてをスキップ設定することはできません。

6 テレビ／FM機能

チャンネル設定を切り替える

●お買い上げ時には、「設定１」を受信するように設定されています。

メニュー ▶ TV/FM ▶ TV起動 ▶ メニュー（◉） ▶ チャンネル設定

1 「設定１」〜「設定５」のいずれかを選び、◉を押す。

設定名の変更

■ 設定名（「設定１」〜「設定５」）を変更するときは、次の操作を行います。

◉➡「TV/FM」選択➡◉➡「1TV起動」選択➡◉➡◉➡「1チャンネル設定」選択➡◉➡設定名（「設定１」など）選択➡✉（メニュー）➡「4設定名変更」選択➡◉➡名前入力（最大全角９文字まで）➡◉

●名前を何も入力せずに◉を押すと、お買い上げ時の設定名に戻ります。
●受信した地域の名前などを付けておくと便利です。

6 テレビ／FM機能

FMの受信チャンネルを設定する

メニュー ▶ TV/FM ▶ FM起動 ▶ メニュー（◉） ▶ チャンネル設定 ▶ チャンネル名を選ぶ

1 「2受信チャンネル」を選び、◉を押す。

現在設定されている周波数の受信画面が表示されます。

2 周波数を選ぶ。

●◈を使ってオート選局（☞P.6-12）したり、手動で0.1MHzずつ調整してください。

3 ◉を押す。

補足

チャンネル名の変更

微調整して設定したチャンネルの名前を、次の操作で変更できます。

「1チャンネル名変更」選択➡◉➡名前入力（最大全角７文字まで）➡◉

■名前を何も入力せずに◉を押すと、お買い上げ時のチャンネル名に戻ります。

その他のチャンネル設定関連機能

リンク先の登録 各チャンネルにリンク先を登録し、簡単な操作でアクセスできるようにします。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ TV/FM ▶ 視聴画面を表示する ▶ メニュー（◉） ▶ チャンネル設定

テレビのリンク先登録

設定名選択➡✉（メニュー）➡「3個別チャンネル設定」選択➡◉➡チャンネル選択➡◉➡「3URL」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡URL入力➡◉

FMのリンク先登録

チャンネル名選択➡◉➡「3URL」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡URL入力➡◉

チャンネル番号入替 チャンネル番号を入れ替えることで、ダイヤルボタンに割り当てられているチャンネルを変更できます。

メニュー ▶ TV/FM ▶ 視聴画面を表示する ▶ メニュー（◉） ▶ チャンネル設定

テレビのチャンネル番号入替

設定名選択➡✉（メニュー）➡「3個別チャンネル設定」選択➡◉➡入れ替えるチャンネル選択➡◉➡「4チャンネル番号入替」選択➡◉➡入れ替え先のチャンネル選択➡◉

FMのチャンネル番号入替

入れ替えるチャンネル名選択➡◉➡「4チャンネル番号入替」選択➡◉➡入れ替え先のチャンネル選択➡◉

設定リセット 受信チャンネルや設定の名前など、変更していた内容をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ TV/FM ▶ 視聴画面を表示する ▶ メニュー（◉） ▶ チャンネル設定

テレビの設定リセット

設定名選択➡✉（メニュー）➡「5設定リセット」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

FMの設定リセット

✉（リセット）➡「1YES」選択➡◉

注意

設定リセットすると、すべてのチャンネルがお買い上げ時の状態に戻ります。

6 テレビ／FM機能

便利なテレビ／FM機能

便利な機能には、テレビ／FM共通で利用できるものと、テレビだけまたはFMだけで利用できるものがあります。詳細は下表のとおりです。

機能名	内容	機能あり／なし	
		テレビ	FM
横／縦表示切替	画面を横表示または縦表示に切り替えます。（☞P.6-24）	○	×
LCD画面表示OFF	画面の表示を消し、音声だけを聴くようにします。（☞P.6-22）	○	○
ビューア時表示方向	ビューアポジション時の画面の表示方向を変更します。（☞P.6-22）	○	○
横画面表示方向	横表示にしているときの表示方向を設定します。（☞P.6-24）	○	×
全方向自動切替	画面の表示方向を自動的に切り替えるようにします。（☞P.6-24）	○	×
TV時パネル明るさ調整	画面の明るさを変えます。（☞P.6-23）	○	×
音声出力先	音声の出力先を変更します。（☞P.6-22）	○	○
録画設定	録画時の登録先、着信動作を設定します。（☞P.6-9）	○	×
キャプチャー設定	テレビ画面を静止画として保存するときの枚数、スピードを設定します。（☞P.6-11）	○	×
録音設定	録音時の登録先、着信動作を設定します。（☞P.6-15）	×	○
TVへ切替／FMへ切替	テレビ／FMの受信を切り替えます。（☞P.6-23）	○	○
リンク先へアクセス	リンク先へアクセスします。（☞P.6-23）	○	○
NOW ON AIR	FM聴取中のFM局の情報を画面に表示します。（☞P.6-13）	×	○

テレビ／FM共通の機能

オートオフ時間設定　テレビまたはFMを起動してから、自動的に終了するまでの時間を設定します。

お買い上げ時30分

メニュー ▶ TV/FM ➡ オートオフ設定 ➡ オートオフ時間設定

「1 30分」／「2 60分」選択➡◉

オートオフ時間設定は、テレビ／FM共通の設定です。テレビまたはFMで個別に設定することはできません。

本体クローズ終了設定　V603SHをクローズポジションにしたとき、自動的にテレビ／FMを終了するかどうかを設定します。

お買い上げ時OFF（終了しない）

メニュー ▶ TV/FM ➡ オートオフ設定 ➡ 本体クローズ終了

「1 ON」（する）／「2 OFF」（しない）選択➡◉

本体クローズ終了設定は、テレビ／FM共通の設定です。テレビまたはFMで個別に設定することはできません。

TV受信禁止　テレビを受信できないようにします。

お買い上げ時OFF

メニュー ▶ TV/FM ➡ TV受信禁止

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1 ON」選択➡◉

■ テレビ受信禁止の解除：操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「2 OFF」選択➡◉

FM受信禁止　FMを受信できないようにします。

お買い上げ時OFF

メニュー ▶ TV/FM ➡ FM受信禁止

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1 ON」選択➡◉

■ FM受信禁止の解除：操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「2 OFF」選択➡◉

着信時優先動作　テレビ／FM視聴中に着信などがあったときの動作を設定します。

お買い上げ時着信通知表示／アラーム通知表示

メニュー ▶ TV/FM ➡ 着信時優先動作

メール／ステーション／ウェブ着信時の優先動作設定

「1 メール着信」～「3 ウェブ着信」選択➡◉➡「1 着信優先動作」／「2 着信通知表示」選択➡◉

アラーム通知の優先動作設定

「4 アラーム通知」選択➡◉➡「1 アラーム優先動作」／「2 アラーム通知表示」選択➡◉

●各設定の内容は、次のとおりです。

着信（アラーム）優先動作	テレビ／FMは自動的に一時停止し、着信などが受けられるようになります。
着信（アラーム）通知表示	テレビ／FMは継続し、通知内容が画面上部に表示されます。（横表示でテレビ視聴中のときは、通知内容は表示されません。）

●着信時優先動作は、テレビ／FM共通の設定です。テレビまたはFMで個別に設定することはできません。
●テレビの録画中／FMの録音中のアラーム動作は、設定にかかわらずアラーム通知表示となります。

LCD画面表示OFF

画面の表示を消し、音声だけを聴くようにします。

お買い上げ時 表示ON

メニュー ▶ TV/FM ➡ 視聴画面を表示する ➡ メニュー（◉）➡ LCD画面表示OFF

「1YES」選択➡◉

- テレビ／FMを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 画面の表示を消しているときも音量調整／音声ミュートが利用できます。
［オープンポジション時：◎／◉（1秒以上）、ビューアポジション時：◁▷／S（1秒以上）］
- 画面の表示を消したあとで再び表示ONにするときは、◎／◁▷以外のボタンを押します。

本体クローズ終了設定（☞P.6-21）を「OFF」にしているときにクローズポジションにすると、ここでの設定にかかわらず自動的に画面表示は消えます。このあとオープンポジションにすると、再び画面が表示されます。（「LCD画面表示OFF」に設定したあと、クローズポジションにしていたときは、画面は表示されません。）

ビューア時表示方向

ビューアポジションでの縦方向の画面表示を、180度回転させたり、V603SHを持つ方向によって自動的に切り替わるようにできます。

お買い上げ時 表示方向1（オープンポジションと同じ）

メニュー ▶ TV/FM ➡ 視聴画面を表示する ➡ メニュー（◉）

テレビのビューア時表示方向

「5表示方向設定」選択➡◉➡「1ビューア時表示方向」選択➡◉➡「1表示方向1」／「2表示方向2」／「3自動切替」選択➡◉

- 「全方向自動切替」（☞P.6-24）を設定しているときは、利用できません。

FMのビューア時表示方向

「4ビューア時表示方向」選択➡◉➡「1表示方向1」／「2表示方向2」／「3自動切替」選択➡◉

ビューア時表示方向を「自動切替」に設定すると、「ビューア時設定」（☞P.16-4）はお買い上げ時の状態に戻ります。

- オープンポジションでも設定はできますが、表示方向は切り替わりません。
- ここでの設定は、「ビューア時表示方向」（☞P.8-8）に反映されます。

音声出力先切替

音声の出力先を「イヤホン優先」または「スピーカー」に設定します。

お買い上げ時 イヤホン優先

メニュー ▶ TV/FM ➡ 視聴画面を表示する ➡ メニュー（◉）➡ 音声出力先

「1イヤホン優先」／「2スピーカー」選択➡◉

- マナーモード設定中でも、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクからの音声は流れます。

- 「スピーカー」に設定しているときは、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを差し込んだだけでは、出力先は切り替わりません。上記の操作で「イヤホン優先」に切り替えてください。
- 音声出力先はテレビ／FMで連動するため、どちらかで音声出力先を切り替えると、テレビ／FM両方に設定が反映されます。

リンク先へアクセス

各チャンネルに登録しておいたリンク先へアクセスします。

■あらかじめリンク先を登録（☞P.6-19）しておいてください。

メニュー ▶ TV/FM ➡ 視聴画面を表示する ➡ メニュー（◉）➡ リンク先へアクセス

登録したリンク先へアクセスする

「1YES」選択➡◉➡「1送信」選択➡◉

- テレビ／FM視聴画面に戻る：◎（メニュー）➡「TVへ切替」／「FMへ切替」選択➡◉
  - ■アクセスした視聴画面にかかわらず、テレビ／FMどちらにも切り替えられます。
- アクセスしたウェブの情報画面に戻る：◉➡「ウェブへ戻る」選択➡◉
- アクセスした内容は、履歴（☞P.7-8）として残ります。
- リンク先を登録（☞P.6-19）していないときは、利用できません。

登録したリンク先以外へアクセスする

「1YES」選択➡◉➡「2編集」選択➡◉➡ P.7-7操作3以降

- テレビ／FM視聴画面に戻る：◎（メニュー）➡「TVへ切替」／「FMへ切替」選択➡◉
  - ■アクセスした視聴画面にかかわらず、テレビ／FMどちらにも切り替えられます。
- アクセスしたウェブの情報画面に戻る：◉➡「ウェブへ戻る」選択➡◉
- ここで編集したアドレスは、チャンネル設定のURL（☞P.6-19）には反映されません。

- リンク先アクセスは、TV視聴中のマニュアル選局中（☞P.6-8）、オート選局中（☞P.6-7、P.6-12）には利用できません。
- ウェブを「OFF」（利用禁止）に設定しているとき、またはインターネットアクセス規制を設定しているときは、利用できません。

TV／FMへ切替

テレビからFMへ、FMからテレビへ切り替えます。

メニュー ▶ TV/FM ➡ 視聴画面を表示する ➡ メニュー（◉）

「0FMへ切替」／「9TVへ切替」選択➡◉

- ◎を押して、簡単に操作することもできます。（☞P.6-6）

便利なテレビ機能

テレビ視聴中の画面の表示方向や明るさなどを設定します。

TV時パネル明るさ調整

テレビ視聴中の画面の明るさを3段階で調整します。

お買い上げ時 明るさ3

メニュー ▶ TV/FM ➡ TV起動 ➡ メニュー（◉）➡ TV時パネル明るさ調整

◎（明るくする）／◎（暗くする）➡◉

ここでの設定は、「パネル明るさ調整」（☞P.8-6）には反映されません。

横／縦表示切替

テレビ視聴中の画面の表示を横または縦に切り替えます。

お買い上げ時 縦表示

メニュー ▶ TV/FM ▶ TV起動 ▶ メニュー（◉）

「2横表示切替」／「2縦表示切替」選択 ▶ ◉

●［スケジュール/メモ］を押して、簡単に操作することもできます。（☞P.6-6）

横表示でのテレビ視聴

■ マニュアル選局（☞P.6-8）でのテレビ視聴中に［文字］を押したり、次の操作を行うと、画面の左上にチャンネル、右下に音量が約3秒間表示されます。（再度［文字］を押すと消えます。）

- チャンネルまたは音量の調整を行ったとき
- テレビを起動したとき
- メニュー画面や◎／◎ボタン操作からテレビの視聴画面に戻ったとき
- 自動切替設定時（☞下記）に、画面の方向が切り替わったとき

■ マニュアル選局以外でのテレビ視聴中は、［文字］を押すたびに画面の左上にダイヤルボタンの番号→チャンネルが順に表示されます。（チャンネル表示中に［文字］を押すと消えます。）

横画面表示方向設定

テレビの横方向の画面表示を、180度回転させたり、V603SHを持つ方向によって自動的に方向が切り替わるようにできます。

お買い上げ時 表示方向１

メニュー ▶ TV/FM ▶ TV起動 ▶ メニュー（◉） ▶ 表示方向設定 ▶ 横画面表示方向

「1表示方向１」／「2表示方向２」／「3自動切替」選択 ▶ ◉

●縦表示にしているときにも設定はできますが、表示方向は切り替わりません。

●横画面表示方向を「**自動切替**」に設定すると、「**ビューア時設定**」（☞P.16-4）は解除されます。

●下記「**全方向自動切替**」を設定しているときは、利用できません。

全方向自動切替

V603SHを持つ方向によって、画面の表示方向が４方向に自動的に切り替わるようできます。

メニュー ▶ TV/FM ▶ TV起動 ▶ メニュー（◉） ▶ 表示方向設定

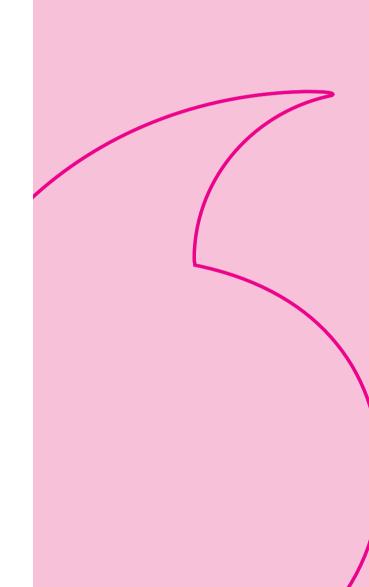
「3全方向自動切替」選択 ▶ ◉

■ 全方向自動切替の解除：テレビ視聴中に［スケジュール/メモ］

●上記の操作を行うと、オープン／セルフショット／ビューアのどのポジションにしているときも、画面の表示方向が自動的に90度ずつ切り替わるようになります。

V603SHを水平面に置いたり傾ける角度によっては、うまく切り替わらないことがあります。また、以下のような環境では、正常に動作しないことがあります。

- 電車や地下鉄、自動車などへの乗車中
- 金属製品（金属製の机や棚など）の近く
- 鉄などで遮断された屋内
- エレベーター内およびエレベーターの近く
- 磁気の強いもの（☞P.1-13）の近く

正常に動作しなくなったときは、モーションコントロール補正（☞P.16-4）を行ってください。

カメラ機能

カメラをご利用になる前に

V603SHは有効画素数202万画素、オートフォーカス対応のCCDモバイルカメラを搭載し、静止画や動画の撮影が可能です。

- 静止画（☞P.7-9）　●動画（☞P.7-19）
- カメラ機能で使用するボタン（☞P.7-5）　●各種撮影方法（☞P.7-25）

※ カメラ機能はオープンポジション、ビューアポジションで利用できるため、操作方法は以下のように併記して説明しています。
　例：[S]（[D]）または◉、[S]（[D]）／◉

■保存形式や登録場所について

モード	保存形式	登録場所
写メールモード	JPEG（.jpg）	V603SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）（☞P.13-3）
デジタルカメラモード	JPEG（.jpg）	V603SHまたはSDメモリカードのデジタルカメラフォルダ（☞P.12-7）
ムービー写メールモード	MPEG-4（.3gp）	V603SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ムービー）（☞P.13-3）
モーションカメラ（MPEG）モード	MPEG-4（.3gp）	V603SHまたはSDメモリカードのモーションカメラフォルダ（☞P.12-7）
ビデオカメラモード	MPEG-4（.ASF）	V603SHまたはSDメモリカードのビデオカメラフォルダ（☞P.12-8）

カメラ利用時のご注意

- 撮影前に、レンズカバー（☞P.1-7）が汚れていないかご確認ください。レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。V603SHが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所においてセルフタイマー（☞P.7-26）で撮影してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- V603SHを暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を登録したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

自動終了

■ モバイルカメラ起動中、画像を撮影する前に約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

静止画撮影直後／動画撮影中に着信があると

■ 撮影した静止画／動画は保護されています。通話などを終わると、撮影後の画面に戻ります。◉を押すと、登録できます。
■ メールの着信があったときは、お知らせ表示されます。

デジタルカメラモード／ビデオカメラモード撮影時のご注意

■ オープンポジション（縦向き）で、デジタルカメラモードで撮影した静止画／ビデオカメラモードで撮影した動画は、パソコンなど他の機器で確認したとき、90度回転した横長の画像となります。デジタルカメラモード／ビデオカメラモードで撮影するときは、ビューアポジション（横向き）にすることをおすすめします。

外部出力

■ L型ビデオ出力ケーブルを利用して、テレビやビデオなど他の機器を接続し、他の機器にV603SHの画面を表示することができます。（☞P.16-43）

ビューアポジションにしていても、フレームや装飾を付けて撮影するときの種類選択画面や、撮影後の画像をメール添付したあとのメール作成画面などは、オープンポジション同様縦に表示されます。

ディスプレイ

ビューアポジション　オープンポジション

1 光学ズームON表示（☞P.7-28）

2 フォーカス表示（☞P.7-28）

AF：標準／MF：マニュアル／：接写／：風景

3 明るさ表示（☞P.7-29）

暗い ⇐標準⇒ 明るい

4 シーン別撮影表示（☞P.7-29）

：オート／：夜景／：スポーツ／：文字

5 マイク表示（☞P.7-30）

：マイクON［モーションカメラ（MPEG）モードでは：マイクON（ノーマル）／：マイクON（ファイン）］／：マイクOFF

6 画質表示（☞P.7-30）／録画表示（☞P.7-30）

：ノーマル／：ファイン／HQ：ハイクオリティ（デジタルカメラモード）

：動き優先／：画質優先（ビデオカメラモード）

7 画像表示（☞P.7-25）

：等倍／：２倍（写メールモード）

：等倍／：拡大［ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モード］

8 撮影サイズ表示（☞P.7-29）／ムービー変装表示（☞P.7-16、P.7-24）

：ムービー変装撮影時（写メールモード、ムービー写メールモード）

9 撮影モード表示（☞P.7-31）

：写メールモード／：デジタルカメラモード／

：ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モード、ビデオカメラモード

10 モバイルライトON表示（☞P.7-27）

：通常／：オート／：接写

11 登録先表示（☞P.7-31）

：本体（V603SH）／：メモリカード（SDメモリカード）

12 登録可能件数表示（☞P.7-10、P.7-20）

各モード（写メールモード、デジタルカメラモード、ムービー写メールモード）での撮影（登録）可能件数が表示されます。

- 100件以上撮影（登録）可能なときは、「」が表示されます。
- 5件以下になると、背景が赤く表示されます。

13 枚数表示※

～：「撮影済または表示中の枚数」／「連写枚数」を表します。

：分割画像（オーバーラップ連写は合成画像）を確認中に表示されます。

14 連写モード表示※

：４枚連写ON／：９枚連写ON／：25枚高速連写ON

：ブラケット連写ON／：オーバーラップ連写ON

15 連写スピード表示※

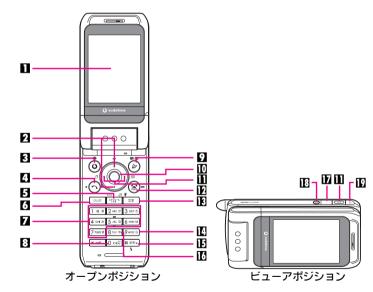
（◀赤）：速い／（◀黄）：やや速い／：普通／：やや遅い／：遅い／

：マニュアル（ブラケット連写、オーバーラップ連写は（◀赤）：高速／：通常）

16 セルフタイマー ON表示（☞P.7-26）

※ 13～15は連写撮影時に表示されます。（写メールモード／デジタルカメラモード）

カメラ機能で使用するボタン

オープンポジション　ビューアポジション

1 ファインダー

2 明るさ調整（☞P.7-29）

（明るくなる）／（暗くなる）

3 カメラ起動、ムービー変装認識

待受画面で長く（１秒以上）押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。（お買い上げ時「写メールモード」）

- オープンポジションでは、ムービー変装撮影時（☞P.7-16、P.7-24）に、顔と装飾の位置を合わせるときに使います。

4 フォーカスロック（☞P.7-8）

オープンポジションでフォーカスロックするときに使います。

5 表示切替（☞P.7-25）、マーク表示ON/OFF（☞P.7-25）
押すたびに、次のように切り替わります。
●写メールモード（撮影サイズ「240×320」を除く）
「２倍（アイコンあり）」→「２倍（アイコンなし）」→「等倍（アイコンあり）」
●ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モード
「拡大（アイコンあり）」→「拡大（アイコンなし）」→「等倍（アイコンあり）」
●写メールモード（撮影サイズ「240×320」）、デジタルカメラモード、ビデオカメラモード
「アイコンなし」⇔「アイコンあり」

6 キャンセル
オープンポジションで、撮影をやり直すときやカメラを終了するときに使います。

7 カメラモード切替（☞P.7-31）
カメラモード起動後に押すと、次のモードに切り替わります。

キー	モード	キー	モード
1	写メールモード（☞P.7-9）	5	ビデオカメラモード（☞P.7-19）
2	デジタルカメラモード（☞P.7-9）	6	バーコード読み取り（☞P.16-29）
3	ムービー写メールモード（☞P.7-19）	7	文字読み取り（☞P.16-37）
4	モーションカメラ（MPEG）モード（☞P.7-19）		

8 撮影サイズ切替（☞P.7-29）
撮影前、押すたびに次のように切り替わります。
●写メールモード：「120×128」→「240×320」→「120×160」
●デジタルカメラモード：「768×1024」→「960×1280」→「1224×1632」→「480×640」
●ムービー写メールモード：「80×60」⇔「128×96」
●モーションカメラ（MPEG）モード：「176×144」⇔「128×96」

9 メニュー表示

10 シャッター

11 デジタルズーム
◀／◎：ズームダウン（画像縮小）、▶／◎：ズームアップ（画像拡大）
●ビューアポジションでは、メニュー項目を選ぶときにも使います。

12 カメラ終了

13 AFモード切替（☞P.7-28）
押すたびに、「**マニュアル**」→「**接写**」→「**風景**」→「**標準**」の順に切り替わります。
●光学ズームを設定しているときは、「**接写**」は表示されません。

14 瞬間ズーム（最大）
写メールモードは、9を押したあと◎を押すと、最大ズームに切り替わります。

15 モバイルライト（☞P.7-27）
押すたびに、「ON（**通常撮影用**）」（「⚡」点灯）→「ON（**オート撮影用**）」（「⚡」点灯）→「ON（**接写撮影用**）」（「⚡」点灯）→「OFF」の順に切り替わります。
●動画の撮影では、「**オート**」は利用できません。

16 瞬間ズーム（等倍）

17 カメラ起動／シャッター
押すとフォーカスロック、押し切るとシャッターの役割をします。このほかメニュー項目を選んだあとの決定などにも使います。
●ビューアポジションの待受画面で長く（１秒以上）押すとカメラが起動します。

18 光学ズームON／OFF
ビューアポジションで、光学ズームのON／OFFを切り替えるときに使います。
●AFモードを「**接写**」にしているときは、利用できません。

19 メニュー表示／キャンセル／カメラ終了
撮影前にメニューを表示するときや、撮影後に撮影をやり直すときに使います。
また、撮影前にカメラを終了するときや、撮影後にメニューを表示するときは、長く（１秒以上）押します。

補足
●ビューアポジションの主な操作は、メニュー画面から行います。詳しくは、各機能のページを参照してください。
●撮影モードによって利用できる機能は異なります。各モードで利用できる機能（☞P.7-14、P.7-23）などでご確認ください。
●利用できるボタン操作を、画面に表示することもできます。（☞P.7-31）

光学ズーム

V603SHではモバイルカメラのズーム機能として、光学ズームを利用できます。
●光学ズームは、レンズを動かすことで被写体との焦点距離を変えています。実際に写る大きさも変わりますので、画質が劣化することはありません。
●光学ズームは、デジタルズームと併用できます。

注意
●AFモード切替（☞P.7-28）を「**接写**」にしているときは、光学ズームは利用できません。
●光学ズーム（２倍）を利用しているときは、近い距離で焦点（ピント）を合わせることはできません。
●光学ズーム／オートフォーカスを操作したときや、モバイルカメラを終了したときは、カメラのモーター音が鳴りますが、故障ではありません。
●動画撮影時に、光学ズームやオートフォーカスが動作しているときは、音声は録音されません。

オートフォーカス

V603SHには自動的に被写体との距離を検知し焦点（ピント）を合わせる、「**オートフォーカス（AF）**」が搭載されています。
撮影操作を行う（Sまたは◉を押す）と、ピントの自動調整を行ったあと、画像が撮影されます。

撮影前　　ピント自動調整中　　ピント合致後撮影

- 被写体やまわりの状況に応じて、オートフォーカスモード（AFモード）を「**接写**」、「**風景**」に切り替えたり、手動でピントを合わせて撮影（マニュアル撮影）することもできます。（☞P.7-28）

7 カメラ機能

フォーカスロック

あらかじめピントを合わせた状態（フォーカスロック）で構図を変えて撮影できます。

	ビューアポジション	オープンポジション
フォーカスロックの操作	Sを軽く押し続けます。（押し続けているときだけフォーカスロックされます。）	◠を押します。
フォーカスロック操作後の動作	画面中央に白枠が表示されたあと、ピントの自動調整が行われます。ピントが合えば、枠が緑色に変わり、「**ピピ**」と鳴ったあと、フォーカスロックされます。	
フォーカスロック状態での撮影	Sを押し切ります。	◉を押します。

- フォーカスロック状態で撮影すると、ピントの自動調整の動作なしに、すぐに撮影されます。
- フォーカスロックを解除するときは、押したSを離すか、もう一度◠を押します。

注意　手ぶれがあるときや、動いている被写体を撮影するとき、また、被写体との距離やまわりの明るさなどによっては、ピントの自動調整やフォーカスロックができないことがあります。

静止画の撮影

静止画撮影モード

写メールモード
メール添付や壁紙登録が可能
連写、装飾なども可能
V603SHの画面に合ったサイズなどで撮影可能

メール添付や壁紙登録など、V603SHで利用する静止画を手軽に撮影するとき

デジタルカメラモード
最大横1632×縦1224ドットの大きな静止画が撮影可能
SDメモリカード経由でパソコンなどに取り込み可能
DPOFに対応、V603SHでプリントアウトの指定が可能

パソコンで加工／印刷するなど、いろいろな用途に利用できる静止画を撮影するとき

7 カメラ機能

補足
- V603SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラの画像ファイルなどを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『**Design rule for Camera File system**』の略称です。
ただし、「**DCF規格**」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した中から、プリントする画像や枚数などの設定情報をSDメモリカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。

- ムービー変装はN-VisionのVirtual Accessoryエンジンを利用しています。

静止画撮影モードの機能比較

	写メールモード	デジタルカメラモード
撮影サイズ	横240×縦320ドット（QVGA） 横120×縦160ドット（QQVGA） 横120×縦128ドット	横1632×縦1224ドット※1 横1280×縦960ドット（SXGA）※1 横1024×縦768ドット（XGA）※1 横640×縦480ドット（VGA）※1
静止画の登録先	V603SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）	V603SHまたはSDメモリカードのデジタルカメラフォルダ（DCIM）
画質	ノーマル／ファイン	ノーマル／ファイン／ハイクオリティ
光学ズーム	2倍（2段階）	
デジタルズーム	横240×縦320ドット：1～10倍 横120×縦160ドット：1～20倍 横120×縦128ドット：1～20倍	横1632×縦1224ドット：なし 横1280×縦960ドット：なし 横1024×縦768ドット：1～1.6倍 横640×縦480ドット：1～2.5倍
スーパーメール添付	可能	可能※2
保存形式	JPEG（.jpg）	
登録可能数（目安）	1900ファイル※3	310ファイル※3

※1 デジタルカメラモードで撮影すると、指定したサイズの画像とサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）が同時に保存されます。

※2 サムネイルまたは横240×縦320ドットの縮小画像が添付できます。また、データフォルダに登録した画像も添付できます。

※3 お買い上げ時の状態（撮影サイズ、画質）で撮影し、V603SHに登録したときの画像数です。

- V603SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（登録）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.7-35を参照してください。

静止画のファイル名

写メールモード	撮影（登録）日時のファイル名が付きます。（例：2005年03月15日午後12時34分に撮影→「05-03-15_12-34.jpg」）※
デジタルカメラモード	「VFSH0001.JPG」、「VFSH0002.JPG」…の順に、ファイル名が付きます。

※ 登録先に同じ名前のファイルがあるときは、登録したファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

- 写メールモードのファイル名は、変更できます。（☞P.13-46）

注意 デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は、V603SHでは変更できません。パソコンなどでファイル名を変更すると、V603SHで静止画が表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

静止画を撮影する

ビューアポジションで撮影する

- カメラモードの選択画面や撮影モードの選択画面では、利用できるボタン操作や内容を画面に表示できます。（☞P.7-31）

1 ビューアポジション（☞P.1-11）で、Sを長く（1秒以上）押す。

お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。

2 C（機能）を押したあと、「カメラモード選択」を選び、Sを押す。

3 「1写メールモード」または「2デジタルカメラモード」を選び、Sを押す。

4 画像を画面に表示する。

- カメラ機能で使用するボタン：☞P.7-5
- 各種撮影方法：☞P.7-25
- マニュアル撮影：☞P.7-28
- フォーカスロック撮影：☞P.7-8

5 Sを押し切る。

ピントの自動調整（☞P.7-8）を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

- シャッター音のパターンは変更できます。（☞P.7-25）

- 撮影のやり直し：C➡「1YES」選択➡S
- 画像編集：☞P.13-23～P.13-30
- SDメモリカードへ登録：C（1秒以上）➡「登録先」選択➡S➡「2メモリカード」選択➡S
  （登録先を再び変更するまで、SDメモリカードに登録されます。）

シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

撮影後自動的に静止画を登録するように設定できます。（自動保存設定：☞P.7-32）
このとき、操作6は必要ありません。

6 静止画を登録するときは、Sを押す。

登録中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

7 モバイルカメラを終了するときは、Cを長く（1秒以上）押す。

オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する

メニュー ▶ モバイルカメラ

1 「1写メールモード」または「2デジタルカメラモード」を選び、◉を押す。

2 画像を画面に表示する。

- カメラ機能で使用するボタン：☞P.7-5
- 各種撮影方法：☞P.7-25
- マニュアル撮影：☞P.7-28
- フォーカスロック撮影：☞P.7-8

3 ◉を押す。

ピントの自動調整（☞P.7-8）を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

●シャッター音のパターンは変更できます。（☞P.7-25）

- 撮影のやり直し：クリア ➡「1YES」選択 ➡ ◉
- 画像編集：☞P.13-23～P.13-30
- SDメモリカードへ登録：✉（機能）➡「登録先」選択 ➡ ◉ ➡「2SDメモリカード」選択 ➡ ◉
  （登録先を再び変更するまで、SDメモリカードに登録されます。）

シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

撮影後自動的に静止画を登録するように設定できます。（自動保存設定：☞P.7-32）
このとき、操作4は必要ありません。

4 静止画を登録するときは、◉を押す。

登録中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

5 モバイルカメラを終了するときは、PWRを押す。

セルフショットポジションで撮影するとき

撮影前の画面には、鏡で映したように反転した画像が表示されますが、撮影後の画面には反転していない画像が表示されます。

登録していない画像があるとき

終了の確認画面が表示されます。

●「1YES」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を登録せずに、モバイルカメラを終了し、待受画面に戻ります。

●「2NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

撮影後にできること

アドレス帳登録　写メールモードで撮影した静止画をアドレス帳に登録します。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 写メールモード ➡ 静止画を撮影する

C（1秒以上）／✉（機能）➡「5アドレス帳登録」選択 ➡ S／◉ ➡ P.5-6操作4

サムネイル登録　デジタルカメラモードで撮影したサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）だけを、データフォルダのピクチャーフォルダに登録します。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ デジタルカメラモード ➡ 静止画を撮影する

C（1秒以上）／✉（機能）➡「1サムネイル登録」選択 ➡ S／◉

サムネイル90度回転　デジタルカメラモードで撮影したサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）を回転し、画像の向きを変えて登録できます。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ デジタルカメラモード ➡ 静止画を撮影する

C（1秒以上）／✉（機能）➡「2サムネイル90度回転」選択 ➡ S／◉

●さらに回転するときは、C（1秒以上）または✉（回転）を押します。

- 回転後のサムネイル登録：S／◉

自動保存設定（☞P.7-32）を「ON」に設定しているときは、上記の操作はできません。静止画の撮影前に、自動保存設定を「OFF」にしておいてください。

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にⓒまたは◎（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

画質設定		画質を設定します。（☞P.7-30）
撮影サイズ設定		撮影する静止画のサイズを設定します。（☞P.7-29）
AFモード切替		オートフォーカス撮影／マニュアル撮影を設定します。（☞P.7-28）
光学ズームON／OFF		光学ズームを設定します。（☞P.7-28）
モバイルライト		モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／カラーを設定します。（☞P.7-27）
ムービー変装※		顔に装飾を付けて撮影します。（☞P.7-16）
シーン別撮影		シャッターを撮影シーンに合わせて設定します。（☞P.7-29）
表示切替		画面の表示を切り替えます。（☞P.7-25）
特殊撮影設定	タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.7-26）
	連写設定	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.7-16）
	フレーム設定※	画像にフレームを付けます。（☞P.7-15）
オプション設定	シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.7-25）
	登録先	静止画の登録先（V603SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-31）
	自動保存設定	撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。（☞P.7-32）
	オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.7-32）
データ消去		V603SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-35）
キー操作ガイド		現在の撮影モードで利用できるボタン操作を表示します。（☞P.7-31）
明るさ設定		明るさを調整します。（☞P.7-29）
カメラモード選択		モバイルカメラの撮影モードを設定します。（☞P.7-31）

※ 写メールモードで利用できます。

撮影直後（静止画登録前）

静止画の撮影直後（画像登録前）にⓒを長く（１秒以上）押すか、◎（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

■写メールモード

1表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-25）
2画像編集	撮影した静止画を編集します。（☞P.13-23～P.13-30）
3登録先	静止画の登録先（V603SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-31）
4メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.7-42）
5アドレス帳登録	撮影した静止画をアドレス帳に登録します。（☞P.7-13）
6データ消去	V603SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-35）

■デジタルカメラモード

1サムネイル登録	サムネイルだけを登録します。（☞P.7-13）
2サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.7-13）
3メール添付	サムネイルまたは縮小した画像をメールに添付します。（☞P.7-44）
4登録先	静止画の登録先（V603SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-31）
5データ消去	V603SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-35）
6表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-25）

フレームを付けて撮影する

写メールモードで利用可能

- ボーダフォンライブ！などで入手した画像（透過PNG形式の画像）も、フレームとして利用できます。
- 連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 写メールモード ▶ 機能（ⓒ／◎） ▶ 特殊撮影設定 ▶ フレーム設定

1 *あらかじめ登録されているフレームを利用する*

1「1固定フレーム」を選び、Sまたは●を押す。

2フレームを選び、Sまたは●を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：◁または◎（前へ）／▷または◎（次へ）

3 Sまたは●を押す。

オリジナルフレームを利用する

1「2オリジナル」を選び、Sまたは●を押す。

- フレームに利用できない画像は、選択できません。

2フレームを選び、Sまたは●を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：ⓒ／◎（戻る）➡画像選択➡S／●

3 Sまたは●を押す。

- 撮影サイズ「240×320」のときに、横120×縦160ドットよりも小さいフレームを選択すると、フレームは拡大して表示されます。

フレームを解除する

1「3OFF」を選び、Sまたは●を押す。

顔に装飾を付けて撮影する

写メールモードで利用可能

- ボーダフォンライブ！などで入手したムービー変装ファイル（MSK形式の画像）も利用できます。
- ムービー変装は、撮影サイズ「240×320」で起動します。ムービー変装起動中は、撮影サイズの切替、フレーム／連写設定、撮影モードの切替などはできません。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 写メールモード ➡ 機能（C／✉）➡ ムービー変装

1 「1固定アイテム」または「2オリジナル」を選び、Sまたは◉を押す。

2 装飾の種類を選び、Sまたは◉を押す。

- ムービー変装に利用できないファイルは、選択できません。

■ 装飾の変更：◀または◎（前へ）／▶または✉（次へ）

3 Sまたは◉を押す。

選んだ装飾を付けて撮影できる状態になります。

- フォーカスロック（☞P.7-8）したり、オープンポジションで ◎（認識）を押すと、顔の位置に合わせて装飾が表示されます。

■ ムービー変装の解除：C／✉（機能）➡「ムービー変装終了」選択➡S／◉

静止画を連続して撮影する

撮影前に連写モードを設定しておくと、静止画を連続して撮影できます。

- 連写モードでは、1枚目のシャッター（Sまたは◉）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。
- 連写モードの種類と利用できる撮影モードは、次のとおりです。

連写モード	概　要	写メールモード	デジタルカメラモード
4枚連写	4枚の静止画を連続して撮影し、4枚の静止画と分割画像を作成します。	○	※1
9枚連写	9枚の静止画を連続して撮影し、9枚の静止画と分割画像を作成します。	○	×
25枚高速連写	25枚の静止画を連続して撮影し、25枚の静止画と分割画像を作成します。	※2	×
ブラケット連写	画像の明るさやモバイルライトの色を変えて9枚の静止画を撮影し、9枚の静止画と分割画像を作成します。	○	×
オーバーラップ連写	連続して5枚の静止画を撮影し、5枚の静止画と合成画像を作成します。	○	×

※1 撮影サイズ「480×640」のときだけ利用できます。
※2 撮影サイズ「240×320」のときは利用できません。

補足　連写画像から1枚の静止画を選択して登録したり（☞P.13-22）、スーパーメールに添付して送信する（☞P.7-42）こともできます。

連写モードを設定する

連続撮影するモードと、1枚目のシャッターを押したあと自動的に撮影されるスピードを設定します。

- 4枚連写／9枚連写では、設定した回数分シャッターを押す「**マニュアル**」に設定することもできます。
- 25枚高速連写では、スピードは変更できません。
- お買い上げ時には、連写スピードは「**普通**」または「**通常**」に設定されています。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（C／✉）➡ 特殊撮影設定 ➡ 連写設定

1 ***写メールモードの連写モード設定***

1「1 4枚連写ON」〜「5オーバーラップ連写ON」のいずれかを選び、Sまたは◉を押す。

「25枚高速連写」を選んだときは連写モードが表示され（☞P.7-5）、撮影画面に戻ります。

■ 連写モードの解除：「OFF」選択➡S／◉（操作完了）

デジタルカメラモードの連写モード設定

1「1 4枚連写ON」を選び、Sまたは◉を押す。

■ 連写モードの解除：「2OFF」選択➡S／◉（操作完了）

2 連写スピードを選び、Sまたは◉を押す。

連写モードが表示され（☞P.7-5）、撮影画面に戻ります。

注意
- 暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
- モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

連写モードで撮影する

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 撮影モードを選ぶ ▶ 連写モードを設定する

1 画像を画面に表示し、[S]を押し切るか、◉を押す。

１枚目の静止画が撮影されます。このあと、一定間隔おきに、残りの回数分の画像が撮影されます。

- 連写の中止：Ⓒ／Ⓟ（停止）
  - ■中止前に撮影した枚数分の連写画像の登録：上記操作のあと[S]／◉
- 連写の取消（マニュアル時）：Ⓒ（１秒以上）／◎（取消）➡「1 YES」選択➡[S]／◉
  （途中まで撮影した画像は消去されます。）

手動（マニュアル）で撮影するとき（4枚連写／9枚連写）
１枚目の静止画を撮影したあと、同様に残りの回数分シャッターを押します。
［[S]（押し切り）／◉］

2 連写が終われば、連写画像が表示される。

デジタルカメラモードは、１枚目に撮影した静止画が表示されます。

- 連写画像内の静止画の確認：◀▶／⊙
- 連写画像内の静止画の登録：◀▶／⊙（画像選択：分割画像も可能）➡Ⓒ（１秒以上）／Ⓟ（機能）➡「1表示画像登録」選択➡[S]／◉
- 連写画像内の静止画のメール送信：◀▶／⊙➡Ⓒ（１秒以上）／Ⓟ（機能）➡「2表示画像添付」選択➡[S]／◉
  （画像サイズによっては、選択メニューが表示されます。）

４枚連写

3 連写画像を登録するときは、[S]または◉を押す。

連写モードのままで元のカメラモードに戻ります。

- 写メールモードは、分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像が登録されます。（登録場所：データフォルダ内の連写フォルダ）
- デジタルカメラモードは、１枚ずつ個別に登録されます。（登録場所：デジタルカメラフォルダ）

■撮影直後に利用できる機能

画像登録前にⒸを長く（１秒以上）押すか、Ⓟ（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

1表示画像登録	撮影した静止画を選んで登録します。
2表示画像添付	撮影した静止画をメールに添付します。
3登録先	連写画像の登録先（V603SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-31）
4データ消去	V603SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-35）
5表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-25）

動画の撮影

動画撮影モード

ムービー写メールモード
最大横128×縦96ドットで、
５秒間または10秒間の動画が撮影可能
MPEG-4形式に対応
メール添付も可能
こんなときに ➡ ムービー写メール用の画像やちょっとした記録用として、手軽に動画を撮影するとき

モーションカメラ（MPEG）モード
１回の撮影で、最長30分の動画撮影が可能
メール添付用の切り出しや簡単な編集が可能
こんなときに ➡ 簡易ビデオカメラとして、長めの動画を撮影するとき

ビデオカメラモード
横320×縦240ドットの大画面で動画が撮影可能
簡単な編集が可能
こんなときに ➡ より高品位な動画を撮影するとき

●動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

動画を撮影するときは、なるべくカメラから1.5mまでの距離で、明るい状態で撮影することをおすすめします。

動画撮影モードの機能比較

	ムービー写メールモード	モーションカメラ（MPEG）モード	ビデオカメラモード
撮影サイズ	横128×縦96ドット（SubQCIF） 横80×縦60ドット	横176×縦144ドット（QCIF） 横128×縦96ドット（SubQCIF）	横320×縦240ドット（QVGA）
動画の登録先	V603SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ムービー）※1	V603SHまたはSDメモリカードのモーションカメラフォルダ	V603SHまたはSDメモリカードのビデオカメラフォルダ
最長録画時間（1回あたり）	5秒（横128×縦96ドット） 10秒（横80×縦60ドット）	約3分45秒（登録先：V603SH） 最長30分（登録先：SDメモリカード）	約30秒（登録先：V603SH） カード容量により変動（登録先：SDメモリカード）
画質	—	ノーマル／ファイン	—
光学ズーム	2倍（2段階）		
デジタルズーム	1～9.5倍（横128×縦96ドット） 1～15倍（横80×縦60ドット）	1～6.9倍（横176×縦144ドット） 1～9.5倍（横128×縦96ドット）	1～2.5倍（録画設定：動き優先） 1～5倍（録画設定：画質優先）
スーパーメール添付	可能	切り出した部分だけ可能	不可
保存形式	MPEG-4（.3gp）		MPEG-4（.ASF）
登録可能数(目安)	380ファイル※2	約30分※3	約200秒※3

※1 登録時にフォルダを選択できます。
※2 お買い上げ時の状態で撮影したときの画像数です。
※3 お買い上げ時の撮影サイズ、マイク設定、画質設定［モーションカメラ（MPEG）モード］で、V603SHに登録したときの録画時間です。

補足
- V603SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（登録）できる動画数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.7-35を参照してください。

動画のファイル名

ムービー写メールモード／モーションカメラ（MPEG）モード	撮影（登録）日時のファイル名が付きます。（例：2005年3月15日午後12時34分に撮影→「05-03-15_12-34.3gp」）※
ビデオカメラモード	「MOL001.ASF」、「MOL002.ASF」…の順に、ファイル名が付きます。

※ 登録先に同じ名前のファイルがあるときは、登録したファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。
- ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モードのファイル名は変更できます。（☞P.13-46）

動画を撮影する

- ご利用前に電池残量をご確認ください。モーションカメラ（MPEG）モードやビデオカメラモードは、電池レベル表示が「▭」のときは撮影できません。また、撮影中に電池レベル表示が「▭」になると、撮影が中止されます。

1 ビューアポジション（☞P.1-11）で、Sを長く（1秒以上）押す。

お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。

■ オープンポジションの操作：◉➡「モバイルカメラ」選択➡◉➡操作3へ

2 C（機能）を押したあと、「カメラモード選択」を選び、Sを押す。

3 「3ムービー写メールモード」、「4モーションカメラ（MPEG）モード」、「5ビデオカメラモード」のいずれかを選び、Sまたは◉を押す。

■「4モーションカメラ（MPEG）モード」、「5ビデオカメラモード」選択時：「1YES」／「2NO」選択➡S／◉

- 通常は着信しない（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。

4 画像を画面に表示する。

■ カメラ機能で使用するボタン：☞P.7-5
■ 各種撮影方法：☞P.7-25
■ マニュアル撮影：☞P.7-28
■ フォーカスロック撮影：☞P.7-8

ムービー写メールモード

補足

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの撮影可能残り時間

- 「-000」のときは、1分未満であることを示しています。
- モーションカメラ（MPEG）モードの1回あたりの撮影可能時間は、可能残り時間の表示にかかわらず、最長30分です。（SDメモリカードに登録時）1回の撮影で30分が経過すると自動的に撮影が終了し、確認メッセージが表示されます。
- 撮影する画像によっては、表示される撮影可能残り時間まで撮影できないことや、撮影可能残り時間より長く撮影できることがあります。あくまで目安としてご利用ください。

モーションカメラ（MPEG）モード

5 Sを押し切るか、◉を押す。

ピントの自動調整（☞P.7-8）を行ったあと、撮影開始音が鳴り、動画の撮影が始まります。（撮影開始まで、しばらく時間がかかることもあります。）

- マイク設定を「**マイクON**」に設定しているときは、音声はマイクから50cm程度の距離を目安に録音してください。

撮影開始音や撮影終了音は、マナーモードを設定していても鳴ります。
また、音量も変更できません。

撮影前にメモリが不足しているとき
空き容量不足の確認メッセージが表示され、撮影前の状態に戻ります。不要な画像を消去（☞P.7-35）すると、撮影できます。
モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの撮影中にメモリが一杯になると
自動的に撮影が終了し、空き容量不足の確認メッセージが表示されます。このあと「**1完了**」を選び、Sまたは◉を押すと、途中まで撮影した動画が登録されます。

6 *ムービー写メールモードの撮影*

1 撮影を終了するときは、Sを押し切るか、◉を押す。

撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。

- 撮影可能時間が経過したときは、自動的に終了します。
- 撮影した動画の再生：「**2画像確認**」選択➡S／◉
- 撮影のやり直し：「**3取消**」選択➡S／◉➡「**1YES**」選択➡S／◉
- テロップ編集：「**6テロップ編集**」選択➡S／◉➡P.7-40操作４以降

2「1登録」を選び、Sまたは◉を押す。

撮影した動画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

メモリが一杯のとき

- P.7-35の操作で他の画像を消去したあとに、登録できます。
- SDメモリカードを取り付けているときは、撮影後の画面で「**4登録先**」を選び、Sまたは◉を押すと、登録先を変更できます。

モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードの撮影

1 撮影を終了するときは、Sを押し切るか、◉を押す。

撮影終了音が鳴り、完了確認画面が表示されます。

- 登録先をSDメモリカードに設定時：S／◉（操作完了）
- 撮影のやり直し（登録先「V603SH」）：「**2取消**」選択➡S／◉➡「**1YES**」選択➡S／◉

2「1完了」を選び、Sまたは◉を押す。

撮影した動画が登録されます。撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

7 モバイルカメラを終了するときは、Ⓒを長く（１秒以上）または終話キーを押す。

P.7-21操作３で「**2NO**」を選び、オフラインモードを設定していたときは、自動的にオフラインモードは解除されます。

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にⒸまたは◎（**機能**）を押すと、次の機能が利用できます。

機能		内容
画質設定※1		画質を設定します。（☞P.7-30）
撮影サイズ設定※2		撮影する動画のサイズを設定します。（☞P.7-29）
AFモード切替		オートフォーカス撮影／マニュアル撮影を設定します。（☞P.7-28）
光学ズームON／OFF		光学ズームを設定します。（☞P.7-28）
モバイルライト		モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／カラーを設定します。（☞P.7-27）
ムービー変装※3		顔に装飾を付けて撮影します。（☞P.7-24）
タイマー設定		セルフタイマーを設定します。（☞P.7-26）
表示切替※2		画面の表示を切り替えます。（☞P.7-25）
マーク表示ON／OFF※4		撮影時のアイコンを表示するかどうかを切り替えます。（☞P.7-25）
マイク設定		音声録音を設定します。（☞P.7-30）
録画設定※4		録画方法（動き優先／画質優先）を設定します。（☞P.7-30）
オプション設定	登録先	動画の登録先（V603SH／SDメモリカード）を指定します。（☞P.7-31）
オプション設定	オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.7-32）
データ消去		V603SHまたはSDメモリカード内の動画を消去します。（☞P.7-35）
キー操作ガイド		現在の撮影モードで利用できるボタン操作を表示します。（☞P.7-31）
明るさ設定		明るさを調整します。（☞P.7-29）
カメラモード選択		モバイルカメラの撮影モードを設定します。（☞P.7-31）

※1　モーションカメラ（MPEG）モードで利用できます。
※2　ムービー写メールモード、モーションカメラ（MPEG）モードで利用できます。
※3　ムービー写メールモードで利用できます。
※4　ビデオカメラモードで利用できます。

撮影直後（動画登録前）

ムービー写メールモードでの動画の撮影直後（登録前）には、メニュー画面が自動的に表示され次の機能が利用できます。

1登録	撮影した動画を登録します。（☞P.7-22）
2画像確認	撮影した動画を再生します。（☞P.7-22）
3取消	撮影をやり直します。（☞P.7-22）
4登録先	動画の登録先（V603SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-31）
5メール添付	撮影した動画をメールに添付します。（☞P.7-44）
6テロップ編集	動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を表示できます。（☞P.7-39）

顔に装飾を付けて撮影する

ムービー写メールモードで利用可能

- ボーダフォンライブ！などで入手したアイテム（MSK形式の画像）も利用できます。
- ムービー変装は、撮影サイズ「128×96」で起動します。ムービー変装起動中は、撮影サイズの切替、撮影モードの切替はできません。

1 **「1固定アイテム」または「2オリジナル」を選び、Sまたは◉を押す。**

2 **装飾の種類を選び、Sまたは◉を押す。**

- ムービー変装に利用できないファイルは、選択できません。

■ 装飾の変更：◀または◎（前へ）／▶または⊘（次へ）

3 **Sまたは◉を押す。**

選んだ装飾を付けて撮影できる状態になります。

- フォーカスロック（☞P.7-8）したり、オープンポジションで ◎（認識）を押すと、顔の位置に合わせて装飾が表示されます。

■ ムービー変装の解除：C／⊘（機能）➡「ムービー変装終了」選択➡S／◉

各種撮影方法

AFモード切替や光学ズームなど、撮影時の状態に合わせて撮影方法を設定できます。
- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。

表示切替　撮影時の画面表示を大きくしたり、アイコンの表示を消します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 等倍

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（C／⊘）

「表示切替」選択➡S／◉

- モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

マーク表示ON／OFF　撮影時にアイコンを表示するかどうかを設定します。

写メールモード	×	デジタルカメラモード	×	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 マーク表示ON

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（C／⊘）

「5マーク表示ON」／「5マーク表示OFF」選択➡S／◉

- アイコンを表示しているときは「マーク表示OFF」、アイコンを消しているときは「マーク表示ON」を選んで押すと切り替わります。
- モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

シャッター音設定　撮影時に鳴るシャッター音を設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 パターン1

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（C／⊘）➡ オプション設定 ➡ シャッター音設定

シャッター音選択➡S／◉

■ シャッター音確認：◎（再生）
- 再生の停止：上記操作のあと◎（停止）

- シャッター音の音量は変更できません。
- 連写撮影時のシャッター音は固定です。ここでの設定は、反映されません。

セルフタイマー

タイマーの動作／動作するまでの時間を設定し、セルフタイマーで撮影します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 OFF／10秒

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 撮影モードを選ぶ ▶ 機能（ⓓ／ⓟ）

セルフタイマー設定（静止画）

「特殊撮影設定」選択➡S／◉➡「タイマー設定」選択➡S／◉➡「1タイマー ON」選択➡S／◉

●「 」が表示され、タイマーが設定されます。

セルフタイマー設定（動画）

「タイマー設定」選択➡S／◉➡「1タイマー ON」選択➡S／◉

●「 」が表示され、タイマーが設定されます。

タイマーが動作するまでの時間設定（静止画）

「特殊撮影設定」選択➡S／◉➡「タイマー設定」選択➡S／◉➡「2時間設定」選択➡S／◉➡時間選択➡S／◉

タイマーが動作するまでの時間設定（動画）

「タイマー設定」選択➡S／◉➡「2時間設定」選択➡S／◉➡時間選択➡S／◉

セルフタイマー撮影（静止画）

撮影画面でS（押し切り）／◉

●タイマー音のあと、設定した時間経過後に撮影されます。

撮影後の画像の登録：S／◉

セルフタイマー撮影（動画）

撮影画面でS（押し切り）／◉➡設定した時間経過後に撮影開始（タイマー音）➡S／◉

撮影後の画像の登録（登録先「V603SH」）：「1完了」／「1登録」選択➡S／◉

セルフタイマー撮影時のご注意（静止画／動画）

■ 撮影をやり直すときは、次の操作を行います。

タイマー動作中にⓒ／◎（取消）／クリア

●タイマーが解除されないまま、撮影できる状態に戻ります。

■ タイマー動作中Sまたは◉を押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。

■ 着信やアラーム動作があると、撮影は中止されます。このとき、タイマー設定は解除されません。

●モーションカメラ（MPEG）モード／ビデオカメラモードで撮影中は、カメラを終了すると、アラームが動作します。

■ タイマー動作中は、次の操作はできません。

●明るさの調整、モバイルライトの点灯、撮影モードの変更

モバイルライト

モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／点灯カラーを設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	※
モーションカメラ（MPEG）モード	※	ビデオカメラモード	※		

※動画の撮影では、「**オート**」は利用できません。

お買い上げ時 OFF／1分／ライチフルーツ（白色系統）

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 撮影モードを選ぶ ▶ 機能（ⓓ／ⓟ） ▶ モバイルライト

モバイルライト設定

「通常」～「OFF」選択➡S／◉

●点灯するときは次のモードから選びます。

通常	モバイルライトが点灯します。静止画撮影時には、さらに強い光で発光します。
オート（静止画限定）	周囲の明るさによって、自動的にモバイルライトが点灯します。シャッターを押したときには、さらに強い光で発光します。
接写	撮影時も同じ光量のまま、モバイルライトが点灯します。

継続点灯時間設定

「点灯設定」選択➡S／◉➡「1継続点灯時間」選択➡S／◉➡点灯時間選択➡S／◉

点灯カラー設定

「点灯設定」選択➡S／◉➡「2点灯カラー」選択➡S／◉➡カラー選択➡S／◉

モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。

モバイルライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減することができます。

AFモード切替

オートフォーカスの状態を設定したり、マニュアル撮影に切り替えられます。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 標準

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 撮影モードを選ぶ ▶ 機能（Ⓒ／Ⓟ） ▶ AFモード切替

撮影状態選択 ▶ S ／◉

●光学ズームを「ON」に設定しているときは、「接写」は利用できません。
●切り替えられる撮影状態は次のとおりです。

標準	自動的に被写体との距離を感知し、ピントを合わせます。お買い上げ時の設定です。
マニュアル	手動でピントを合わせて撮影できます。（☞下記）
接写	近い距離を撮影するときに、すばやくピントを合わせます。
風景	遠い距離を撮影するときに、すばやくピントを合わせます。

マニュアル撮影

■ 次の操作を行います。
画像を画面に表示 ▶ ◀▶／◉でピント調整 ▶ S ／◉
■ピント調整中は、ズームは利用できません。
●以降の操作：☞P.7-11操作５以降／☞P.7-12操作３以降／☞P.7-22操作５以降

光学ズーム

光学ズームを「ON（２倍）」または「OFF（等倍）」に切り替えます。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 光学ズームOFF

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 撮影モードを選ぶ ▶ 機能（Ⓒ／Ⓟ）

「光学ズームON」／「光学ズームOFF」選択 ▶ S ／◉

●ビューアポジションで撮影中は、Ⓜ（光学）を押して切り替えることができます。
●AFモードを「接写」に設定しているときは、光学ズームは利用できません。
●近い距離で撮影するときに光学ズームを「ON（２倍）」に設定すると、フォーカスロックできないことがあります。

補足

撮影モードによっては、デジタルズーム（☞P.7-6）を併用できます。利用できる倍率など詳しくは、P.7-10、P.7-20でご確認ください。

各種画像の設定

画像の明るさや画質など、撮影する画像に関する設定を変更できます。
●撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。

明るさ設定

静止画や動画の明るさを調整します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 0（標準）

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 撮影モードを選ぶ ▶ 機能（Ⓒ／Ⓟ） ▶ 明るさ設定

明るさ選択 ▶ S ／◉

●モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

撮影サイズ設定

静止画や動画の撮影サイズを変更します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 写メールモード：120×160、デジタルカメラモード：480×640、ムービー写メールモード／モーションカメラ（MPEG）モード：128×96

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 撮影モードを選ぶ ▶ 機能（Ⓒ／Ⓟ） ▶ 撮影サイズ設定

サイズ選択 ▶ S ／◉

シーン別撮影

光の少ない場所にいるときや動きのあるものなどを静止画で撮影するときに、環境に合わせて設定を変更できます。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 オート

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 撮影モードを選ぶ ▶ 機能（Ⓒ／Ⓟ） ▶ シーン別撮影

撮影環境選択 ▶ S ／◉

●設定できる撮影環境は、次のとおりです。

1オート	周りの環境に応じて自動的に調整します。
2夜景	夜景など光の少ない場所での撮影に適しています。
3スポーツ	スポーツなど動きの多い被写体の撮影に適しています。
4文字	白と黒などコントラストがはっきりした被写体の撮影に適しています。

画質設定

撮影前に画質を設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 ノーマル（写メールモード「240×320」：ファイン）

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（Ⓒ／Ⓟ） ➡ 画質設定

画質選択 ➡ S ／◉

- デジタルカメラモードでは、「**ハイクオリティ**」も利用できます。
  - フィルター（画像補正）の解除（デジタルカメラモード限定）：画質設定画面でⒸ（１秒以上）／Ⓟ（**フィルター**）➡「**2**OFF」選択 ➡ S ／◉

「**ノーマル**」→「**ファイン**」→「**ハイクオリティ**」の順に画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、登録可能画像数や録画可能時間は減ります。

録画設定

ビデオカメラモードで撮影するときの録画方法を、「**動き優先**」または「**画質優先**」に設定します。

写メールモード	×	デジタルカメラモード	×	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 動き優先

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（Ⓒ／Ⓟ） ➡ 録画設定

「**1**動き優先」／「**2**画質優先」選択 ➡ S ／◉

- 「**動き優先**」は、「**画質優先**」に比べて画質は落ちますが、動きはなめらかになります。

マイク設定

動画の撮影時に、音声も同時に録音するかどうかを設定します。

写メールモード	×	デジタルカメラモード	×	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 マイクON

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（Ⓒ／Ⓟ） ➡ マイク設定

内容選択 ➡ S ／◉

- モーションカメラ（MPEG）モードでは、音質［「**ノーマル**」（お買い上げ時）、「**ファイン**」］も選べます。

- 「**マイクON**」と「**マイクOFF**」では、画質が若干異なります。
- モーションカメラ（MPEG）モードで「**マイクON（ファイン）**」に設定するとファイル容量が大きくなるため、登録できる録音時間は減ります。

その他の設定

画像の登録先を変更するなど、撮影方法や画像に関する設定以外にも、いろいろな機能が利用できます。

- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各機能にある表でご確認のうえ、ご利用ください。

キー操作ガイド

現在の撮影モード利用中に、オープンポジションでできるボタン操作を画面に表示します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（Ⓒ／Ⓟ）

「キー操作ガイド」選択 ➡ S ／◉

登録先設定

画像の登録先を「**本体**」（V603SH）または「**メモリカード**」（SDメモリカード）に設定します。

写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 本体

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（Ⓒ／Ⓟ） ➡ オプション設定 ➡ 登録先

「**1**本体」／「**2**メモリカード」選択 ➡ S ／◉

カメラモード選択

モバイルカメラの撮影モードを切り替えます。

写メールモード	※	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	※
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

※「**ムービー変装**」に設定しているときは、利用できません。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 撮影モードを選ぶ ➡ 機能（Ⓒ／Ⓟ） ➡ カメラモード選択

カメラモード選択 ➡ S ／◉

- カメラモードを変更すると、以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動するようになります。

自動保存設定 撮影した静止画を自動的に保存するかどうかを設定します。

モード		モード		モード	
写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	×
モーションカメラ（MPEG）モード	×	ビデオカメラモード	×		

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 撮影モードを選ぶ ▶ 機能（Ⓒ／Ⓜ）▶ オプション設定 ▶ 自動保存設定

「1ON」／「2OFF」選択 ▶ Ⓢ／◉

オートリセット設定 モバイルカメラを終了したときに、各設定をお買い上げ時の状態に戻すかどうかを設定します。

モード		モード		モード	
写メールモード	○	デジタルカメラモード	○	ムービー写メールモード	○
モーションカメラ（MPEG）モード	○	ビデオカメラモード	○		

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ 撮影モードを選ぶ ▶ 機能（Ⓒ／Ⓜ）▶ オプション設定 ▶ オートリセット設定

「1ON」（リセットする）／「2OFF」（リセットしない）選択 ▶ Ⓢ／◉

- オートリセットは、各カメラモード共通の設定です。いずれかのモードで設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。

撮影した画像の確認

静止画の確認

- データフォルダの操作で確認することもできます。（☞P.13-6）
- テレビやビデオなど、他の機器で見ることもできます。（☞P.16-43）

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ カメラデータ確認

1 **「1写メールデータ」または「2デジタルカメラデータ」を選び、Ⓢまたは◉を押す。**

■「2デジタルカメラデータ」選択時：フォルダ選択 ▶ Ⓢ／◉
■ SDメモリカード内の画像の確認：Ⓒ（1秒以上）／Ⓜ（メニュー）▶「メモリカードへ切替」選択 ▶ Ⓢ／◉

写メールデータ

2 **静止画を選び、Ⓢまたは◉を押す。**

静止画が表示されます。

■ 別の静止画の確認：Ⓒ／[クリア]

補足 静止画表示中にⒸを長く（1秒以上）押すか、Ⓜ（メニュー）を押すと、その画像に対して利用できる機能が表示されます。以降の操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.13-21〜P.13-34）

連写画像の確認

■ 写メールモードで撮影した連写画像は、データフォルダの連写フォルダに登録されます。データフォルダ内のデータの確認方法は、「**データフォルダ内のファイルを確認する**」（☞P.13-6）を参照してください。
- デジタルカメラモードで撮影した連写画像の確認は、「**静止画の確認**」（☞P.7-32）で行えます。

デジタルカメラデータの静止画

■ 画面のサイズに合わせて、縮小されたサイズで表示されます。原寸で表示することもできます。（☞下記）
- ✥を押すと、上下左右にスクロールします。
- Ⓢまたは◉を押すと、90度ずつ静止画が回転します。

サムネイル／原寸で確認する

デジタルカメラデータで操作します。

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ カメラデータ確認 ▶ デジタルカメラデータ ▶ フォルダを選ぶ ▶ 静止画を選ぶ

1 **Ⓒを長く（1秒以上）押すか、Ⓜ（メニュー）を押す。**

2 **「サムネイル表示」または「実画像表示」を選び、Ⓢまたは◉を押す。**

サムネイルまたは実画像（原寸画像）が表示されます。

■ 元の画像サイズに戻す：Ⓒ（1秒以上）／Ⓜ（メニュー）▶「通常表示」選択 ▶ Ⓢ／◉

壁紙登録／データフォルダに保存する

デジタルカメラモードで撮影した静止画を壁紙として登録したり、データフォルダに保存します。データフォルダに保存した静止画は、写メールモードで撮影した静止画と同様にメール添付などに利用できます。

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ カメラデータ確認 ▶ デジタルカメラデータ ▶ フォルダを選ぶ ▶ 静止画を選ぶ

1 **Ⓒを長く（1秒以上）押すか、Ⓜ（メニュー）を押す。**

2 **「壁紙登録」または「データフォルダに保存」を選び、Ⓢまたは◉を押す。**

■ 壁紙登録時：Ⓢ／◉
■ データフォルダに保存時：フォルダ選択 ▶ Ⓢ／◉

補足
- 静止画を壁紙に登録したり、データフォルダに保存したときは、画質が変わることがあります。
- 通常表示状態からデータフォルダに保存したときは、画面サイズに縮小された画像が登録されます。
- サムネイル表示状態からデータフォルダに保存したときは、横120×縦160ドットの画像（サムネイル）が登録されます。
- 実画像表示状態からデータフォルダに保存したときは、画面に表示されている画像（横240×縦320ドット）部分が登録されます。

動画の確認

- データフォルダの操作で確認することもできます。（☞P.13-6）
- テレビやビデオなど、他の機器で見ることもできます。（☞P.16-43）

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ カメラデータ確認

1 「3 ムービー写メールデータ」、「4 モーションカメラ（MPEG）データ」、「5ビデオカメラデータ」のいずれかを選び、Sまたは◉を押す。

■「5ビデオカメラデータ」選択時：フォルダ選択➡S／◉
■ SD メモリカード内の動画の確認：c（1秒以上）／ⓜ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡S／◉

ムービー写メールデータ

2 動画を選び、Sまたは◉を押す。

動画が再生されます。再生が終わると、自動的に停止します。

- SDメモリカード内のビデオカメラデータは、前回再生した続きから再生が開始されます。
- ムービー写メールデータを再生しているときは、#を押すと次のファイル、*を押すと前のファイルが再生できます。

■ 動画を回転：c（1秒以上）／ⓜ（メニュー）➡「回転表示」選択➡S／◉➡角度／回転無し選択➡S／◉
■ 先頭から再生（ビデオカメラデータだけ）：c（1秒以上）／ⓜ（メニュー）➡「先頭から再生」選択➡S／◉
■ ムービー写メールデータのテロップ編集：c（1秒以上）／ⓜ（メニュー）➡「その他編集機能」選択➡S／◉➡P.7-40操作3以降
■ 別の動画の確認：c／◎（戻る）

V603SHで再生できるモーションカメラデータは、「MPEG-4形式」だけです。Nancy形式のモーションカメラデータは再生できません。

再生中に文字を長く（1秒以上）押すと、マナーモードの設定／解除ができます。

再生中にできること

早送りする※1	◎を押します。早送り中に◉を押すと、一時停止します。
早戻しする※1	◎を押します。早戻し中に◉を押すと、一時停止します。
停止する	◉を押します。一時停止します。
音量を変える	◎（音量大）または◎（音量小）を押します。（マイク設定「ON」時） 音量は「0」～「5」の6段階で調整できます。
表示を変える※2	スケジュール/メモを押すたびに、「拡大」→「拡大（アイコンなし）」→「等倍」…の順に切り替わります。 （表示サイズを「拡大」にすると、表示画像の一部が切れることがあります。）

※1 ムービー写メールデータでは、利用できません。
※2 ビデオカメラデータでは、「アイコンなし」⇔「アイコンあり」に切り替わります。

メモリ使用状況を確認する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定1 ▶ メモリ確認

1 「3ファイルBOX」を選び、Sまたは◉を押す。

各メモリの使用状況（%）が表示されます。

■ SDメモリカードの使用状況の確認：c（1秒以上）／ⓜ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡S／◉

メモリが一杯のとき

静止画の撮影後の登録時に、空き容量不足の確認メッセージが表示されることがあります。このときは、cまたは⊜を押すと撮影後の状態に戻りますので、次の操作を行い他の画像を消去すると、撮影した静止画を登録できます。

1 cを長く（1秒以上）押すか、ⓜ（機能）を押す。

2 「データ消去」を選び、◉を押す。

3 データの種類を選び、Sまたは◉を押す。

■ SD メモリカード内の画像の選択：c（1秒以上）／ⓜ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡S／◉

4 消去する画像を選び、Sまたは◉を押す。

5 「1YES」を選び、Sまたは◉を押す。

撮影した動画の編集

撮影モードによって、次の編集が行えます。

切り出し※1	指定したコマから切り出し可能秒数までを別の動画として登録します。
静止画キャプチャー※1	動画の１場面を静止画として保存します。
２点間切り出し※2	指定した２点間の動画を別の動画として登録します。
前部分消去 後部分消去※2	指定したコマより前または後の部分を消去して、残った部分を新しい動画として登録します。
全消去※2	再生中の動画を消去します。
テロップ編集※3	画像の再生に合わせて、文字（テロップ）を流します。

※1　モーションカメラ（MPEG）モードで利用できます。
※2　モーションカメラ（MPEG）モード、ビデオカメラモードで利用できます。
※3　ムービー写メールモードで利用できます。

注意
- 動画のデータ内容によっては、編集できないことがあります。
- V603SH以外でフォーマットしたSDメモリカードを使用しているときは、編集した動画が正しく再生されないことがあります。

補足
「切り出し」を行うと、新しいMPEG-4ファイル（.3gp）として、データフォルダのムービーフォルダに登録されます。この動画を利用すると、スーパーメール送信用の動画を作成したり、テロップ編集できるようになります。

動画を切り出す

切り出し後の画像サイズを設定したり、切り出しモード（縮小／切り抜き）を設定できます。

- マイク設定を「マイクON（ファイン）」に設定して撮影した動画を切り出すと、「マイクOFF」で切り出されます。
- 切り出し時の画像サイズ（☞P.7-37）で「80×60」を選んでいるときは最長10秒まで、「128×96」を選んでいるときは最長５秒まで切り出しできます。

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ カメラデータ確認 ▶ モーションカメラ（MPEG）データ ▶ 動画を再生する

1 再生中に、切り出すコマの付近で、◉を押す。
一時停止状態になります。

2 ✉（編集）を押す。

3「1切り出し」を選び、◉を押す。

4「1YES」を選び、◉を押す。

5 ◎で切り出す最初のコマを表示する。
■ 切り出しの中止：◎（戻る）

6 ◉を押す。
選んだコマから切り出し可能秒数までの動画が切り出されます。
切り出し可能秒数以内に切り出しを終わるときは、このあと◉を押します。
■ 切り出した動画の確認：「2画像確認」選択➡◉
■ 切り出しのやり直し：「3取消」選択➡◉
■ 切り出した動画の登録先を指定：「4登録先」選択➡◉➡登録先選択➡◉
■ 切り出した動画の送信：「5 メール添付」選択 ➡◉➡P.7-44「撮影した動画を添付する」操作２
■ テロップ入力：「6テロップ編集」選択➡◉➡P.7-40操作４以降

7 動画を登録するときは、「1登録」を選び、◉を押す。
画像サイズ設定（☞下記）で設定されているサイズに切り出され、データフォルダのムービーフォルダに登録されます。

画像サイズや切り出しモードを設定する

切り出し時の画像サイズを「80×60」または「128×96」に設定できます。
（画像サイズ設定）
また、撮影サイズがこの画像サイズより大きいときには、次の方法で切り出せます。

縮小	設定されている画像サイズに合わせて動画全体を縮小します。
切り抜き	設定されている画像サイズに合わせて中央部を切り抜きます。

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ カメラデータ確認 ▶ モーションカメラ（MPEG）データ ▶ 動画を再生する

1 再生中に、切り出すコマの付近で、◉を押す。
一時停止状態になります。

2 ✉（編集）を押す。

3「2切り出し設定」を選び、◉を押す。

4 *モードを設定する*
1「1モード設定」を選び、◉を押す。
2「1切り抜き」または「2縮小」を選び、◉を押す。

画像サイズを設定する
1「2画像サイズ設定」を選び、◉を押す。
2 画像サイズを選び、◉を押す。

7 カメラ機能

動画の１場面を静止画として保存する

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認 ➡ モーションカメラ（MPEG）データ ➡ 動画を再生する

1 再生中に、保存するコマで、◉を押す。
一時停止状態になります。
●このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

2 ㊂（編集）を押す。

3「3静止画キャプチャー」を選び、◉を押す。

4 ◉を押す。
静止画として保存され、一時停止中の画面に戻ります。

指定した２点間の動画を切り出す

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認 ➡ カメラデータを選ぶ ➡ 動画を再生する

1 再生中に、切り出す最初のコマで、◉を押す。
一時停止状態になります。
●このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

2 ㊂（編集）を押す。

3「２点間切り出し」を選び、◉を押す。

4「1YES」を選び、◉を押す。
●このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

5 ◉を押す。
切り出しの開始点が指定され、再生が再開されます。

6 切り出す最後のコマで、◉を押す。

7 ㊂（完了）を押す。
切り出した動画が保存され、一時停止中の画面に戻ります。

7 カメラ機能

動画の一部を消去する

指定したコマから前または後ろの部分を消去して、残った部分を新しい動画として保存します。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認 ➡ カメラデータを選ぶ ➡ 動画を再生する

1 再生中に、消去の開始位置で、◉を押す。
一時停止状態になります。
●このあと◎を押すと、コマを変更することができます。

2 ㊂（編集）を押す。

3「前部分消去」または「後部分消去」を選び、◉を押す。
■ 一時停止中の動画の消去：「全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉（操作完了）

動画の最初と最後のコマは、消去の開始位置として指定できないため、「前部分消去」／「後部分消去」が選択できません。

4「1YES」を選び、◉を押す。

5 ◎で消去の開始位置となるコマを表示する。
●前部分消去は、ここで表示したコマから前の動画がすべて消去されます。また、後部分消去は、ここで表示したコマから後の動画がすべて消去されます。
■ 消去の中止：◎（戻る）

6 ◉を押す。

7「1YES」を選び、◉を押す。
登録の確認メッセージが表示され、新しい動画として登録されます。

テロップを編集する

動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を画面の中央に表示します。
●表示位置を変更したり、文字を装飾することもできます。
●テロップ表示、編集はムービー写メールモードの動画だけ可能です。

テロップ編集中に着信があると

■ 編集中のデータは保護されています。通話などを終わると、続きから編集できます。

ビューアポジション時は、テロップは表示されません。

7 カメラ機能

テロップを入力する

テロップは最大10件まで入力できます。また、1件あたり最大全角24文字（半角48文字）、3行まで登録できます。

- テロップを入力したあとは、動画のどの位置に表示するか（表示時間）を指定してください。
- ムービー写メールモードの撮影直後からテロップ編集できます。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認 ➡ ムービー写メールデータ

1 ファイルを選び、（メニュー）を押す。

2「その他編集機能」を選び、●を押す。

3「テロップ編集」を選び、●を押す。

4 番号を選び、●を押す。

- 登録済のテロップの編集：（メニュー）➡「2変更」選択➡●
- 登録済のテロップの消去：（メニュー）➡「3消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●（操作完了）
- 登録済のテロップの全消去：（メニュー）➡「4一括消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●（操作完了）

5「1テロップ文字列」を選び、●を押す。

6 テロップを入力し、●を押す。

7「2表示時間」を選び、●を押す。

動画の再生画面が表示されます。

8 でテロップを流す最初の位置を表示し、（開始）を押す。

- ●を押すたびに、再生／停止します。でコマを変更したり、●を押したりして、テロップの位置を指定してください。

注意 すでにテロップが設定されている位置は指定できません。[（開始）が表示されません。]

9 テロップを流す最後の位置で、（終了）を押す。

- 文字の装飾：☞P.7-41

10（設定）を押す。

1件のテロップが入力されます。

- 他のテロップを入力するときは、操作4～10をくり返します。
- テロップ入力の終了：（完了）
- テロップ編集の中止：／クリア➡「1YES」選択➡●

テロップを装飾する

入力したテロップは、文字色や背景色を変えたり、文字を点滅させたり、テロップが流れる方向を変えたりすることで、いろいろな装飾効果を楽しめます。

- 1件のテロップに複数の装飾を組み合わせて設定できます。
- 文字色の「**文字指定**」、「**ハイライト**」、「**点滅文字**」の組み合わせは、2種類まで利用できます。
- 「**ハイライト**」と「**スクロール**」は、同時には設定できません。

文字装飾　テロップ入力した文字を装飾します。

■P.7-40操作9のあとに行います。

文字全体の色を変更する

「3文字装飾」選択➡●➡「1文字色」選択➡●➡「1全体」選択➡●➡色選択➡●

一部の文字色を変更する

「3文字装飾」選択➡●➡「1文字色」選択➡●➡「2文字指定」選択➡●➡で開始文字選択➡●➡で終了文字選択➡●➡色選択➡●

背景色を変更する

「3文字装飾」選択➡●➡「2テロップ背景色」選択➡●➡色選択➡●

文字を強調する

「3文字装飾」選択➡●➡「4ハイライト」選択➡●➡で開始文字選択➡●➡で終了文字選択➡●➡色選択➡●

文字を点滅させる

「3文字装飾」選択➡●➡「5点滅文字」選択➡●➡で開始文字選択➡●➡で終了文字選択➡●

文字サイズを変更する

「3文字装飾」選択➡●➡「6文字サイズ」選択➡●➡「1中」／「2小」選択➡●

表示方法設定　テロップの流れる方向や、表示効果などを設定します。

■P.7-40操作9のあとに行います。

表示方向の設定

「3文字装飾」選択➡●➡「3スクロール」選択➡●➡「1方向」選択➡●➡「1左から右」／「2右から左」選択➡●

効果の設定

「3文字装飾」選択➡●➡「3スクロール」選択➡●➡「2効果」選択➡●➡効果選択➡●

効果	説明
スクロールイン	画面の外から中へテロップが流れます。
スクロールアウト	画面の中から外へテロップが流れます。
スクロールイン＆スクロールアウト	画面の外から中へ、そして画面の外へテロップが流れます。

装飾の取消	文字装飾中に指定した内容をすべて解除します。

■P.7-40操作9のあとに行います。

「3文字装飾」選択➡◉➡「7装飾取消」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

静止画／動画のメール添付

写メールモードで撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接スーパーメールに添付して送信します。

●連写画像を添付するときは、分割画像を含め、◎で添付する静止画を選んでから操作してください。

●撮影した静止画を登録したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.13-10）

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 写メールモード ➡ 静止画を撮影する

撮影直後（登録前）の状態で、◎（写メール）を押す。

静止画がデータフォルダに登録されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞P.6-8）

補足

簡単メール宛先が登録されているとき

●登録されている相手先の一覧が表示されます。送信する相手を選び、◉を押すと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（☞P.3-3）

●簡単メール宛先の登録方法：☞P.6-2

簡単メール宛先に登録されていない相手に送信するとき

「0＜宛先入力＞」を選び、◉を押します。

2 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞P.3-3）

相手機種のサービス対応状況については、「ボーダフォンライブ！ガイドブック」の機能一覧でご確認ください。

QVGAサイズの静止画を添付する

撮影サイズ「240×320」で撮影した静止画を、そのままのサイズ（実画像）で送信したり、横120×縦160ドットに縮小して送信します。

●相手機種によっては、実画像を受信できないことがあります。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 写メールモード ➡ 静止画を撮影する ➡ 機能（◎） ➡ メール添付

1 「1実画像添付」または「3 1/4サイズで添付」を選び、◉を押す。

静止画がデータフォルダに登録されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞P.6-8）

■ 簡単メール宛先登録時：☞P.7-42

2 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞P.3-3）

画像を4分割して添付する

撮影サイズ「240×320」で撮影した静止画を、4分割してメール送信します。

●画像分割メールを送信すると、4通分のスーパーメール料金がかかります。

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ 写メールモード ➡ 静止画を撮影する ➡ 機能（◎） ➡ メール添付

1 「2画像分割メール添付」を選び、◉を押す。

静止画がデータフォルダに登録されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞P.6-8）

■ 簡単メール宛先登録時：☞P.7-42

2 宛先を選択または入力する。（☞P.3-4）

分割された画像を添付した4通のメールが、送信トレイに保存されます。

送信トレイに保存された4通のメールには、それぞれ「件名」に「画像分割メール左上」「画像分割メール右上」「画像分割メール左下」「画像分割メール右下」が自動的に入力されています。

3 ***送信トレイに保存したスーパーメールを送信する***

1「1YES」を選び、◉を押す。

●このあと、送信トレイからメールを送信します。（☞P.4-20）

送信トレイへの保存だけを行う

1「2NO」を選び、◉を押す。

デジタルカメラモードで撮影した静止画を添付する

サムネイルを送信したり、横240×縦320ドットに縮小して送信します。
●相手機種がロングメール対応機やスーパーメール対応機であっても、横240×縦320ドットの静止画を受信できないことがあります。

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ デジタルカメラモード ▶ 静止画を撮影する ▶ 機能（ ） ▶ メール添付

1 「1サムネイル添付」または「2240×320サイズで添付」を選び、◉を押す。

静止画がデジタルカメラフォルダに登録されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）
●デジタルカメラフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ P.6-8）
■ 簡単メール宛先登録時：☞P.7-42

2 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞ P.3-3）

補足 相手機種のサービス対応状況については、「ボーダフォンライブ！ガイドブック」の機能一覧でご確認ください。

撮影した動画を添付する

ムービー写メールモードで撮影した動画を、直接メールに添付して送信します。
●撮影した動画を登録したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.13-10）
●相手機種がスーパーメール対応機であっても、動画を受信できないことがあります。

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ ムービー写メールモード ▶ 動画を撮影する

1 撮影直後（登録前）の状態で、◎（写メール）を押す。

動画がデータフォルダに登録されたあと、スーパーメールの送信画面が表示されます。（動画はあらかじめ添付されています。）
●データフォルダに登録せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ P.6-8）
■ 簡単メール宛先登録時：☞P.7-42

2 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。（☞ P.3-3）

注意
●スーパーメール非対応のボーダフォン携帯電話には動画は送信できません。
●ムービー写メールで撮影した動画は、MPEG-4 対応機以外のボーダフォン携帯電話には送信できません。

補足
●モーションカメラ（MPEG）モードで撮影した動画は、切り出し（☞P.7-36～P.7-37）を行うと、スーパーメールに添付して送信できます。（MPEG-4対応機限定）
●相手機種のサービス対応状況については、「ボーダフォンライブ！ガイドブック」の機能一覧でご確認ください。

静止画のプリント指定（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。V603SHのデジタルカメラモードで撮影したSDメモリカード内の静止画の中から、プリントする静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントを行えます。
●ボーダフォンライブ！などから入手した静止画はプリント指定できません。
●操作中にSDメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、一旦操作を終了し、不要なデータを削除してからやり直してください。
●プリント時の操作など、詳しくはプリントする機器の操作説明書をご覧ください。

プリントする静止画と枚数を指定する

●SDメモリカード内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定することもできます。（☞P.7-46）

メニュー ▶ メモリカード ▶ プリント指定（DPOF）

1 フォルダを選び、◉を押す。

選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（この画面がプリントの指定画面となります。）

2 で静止画を選び、（枚数）を押す。

3 プリント枚数（01～99枚）を入力し、◉を押す。

●最大99枚まで指定できます。
■ 指定の解除：「00」入力➡◉

4 操作2～3をくり返し、静止画と枚数を指定する。

5 ◎（完了）を押す。

プリントが指定されます。

6 プリント指定が終われば、◎（完了）を押す。

注意
●他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）は、V603SHでは変更できません。
●他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）がある場合に、V603SHで新しくプリント指定を行ったときは、以前設定されていたプリント指定は消去されます。
●デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
●プリント指定する画像数が多いと、プリント指定に時間がかかることがあります。
●パソコンなどでSDメモリカード内の画像を削除したり名前の変更を行うと、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、枚数一括解除（☞P.7-46）を行ってからプリント指定し直してください。

DPOFの便利な機能

枚数一括指定　デジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定できます。

メニュー ▶ メモリカード ▶ プリント指定（DPOF） ▶ DCIM

「1枚数一括指定」選択➡●➡プリント枚数（01〜99枚）入力➡●

- 最大99枚まで指定できます。
- 枚数一括指定の解除：「2枚数一括解除」選択➡●➡「1実行」選択➡●

日付付加指定　デジタルカメラフォルダ内の静止画をプリントするときに日付を付けるかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ メモリカード ▶ プリント指定（DPOF） ▶ DCIM ▶ 日付付加指定

「1ON」（付ける）／「2OFF」（付けない）選択➡●

インデックスプリント指定　静止画の画像一覧を並べたインデックスプリントが、必要かどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ メモリカード ▶ プリント指定（DPOF） ▶ DCIM ▶ インデックスプリント指定

「1ON」（必要）／「2OFF」（不要）選択➡●

指定状況確認　印刷画像数や総印刷枚数などのプリントの指定状況を確認します。

メニュー ▶ メモリカード ▶ プリント指定（DPOF） ▶ DCIM

「5指定状況確認」選択➡●

7 カメラ機能

ポストカード／カレンダー作成

デジタルカメラモードで撮影した静止画に、文字やカレンダースタンプを貼り付けて、オリジナルのポストカードやカレンダーを作成します。

- 作成したポストカード／カレンダーは、新しい画像として、デジタルカメラフォルダに登録されます。（登録後の操作は、デジタルカメラモードで撮影した静止画と同様です。）
- ポストカードメーカーで作成した画像は、再圧縮されるため、画質が変わることがあります。

ポストカードを作成する

メニュー ▶ モバイルカメラ ▶ カメラデータ確認 ▶ デジタルカメラデータ ▶ フォルダを選ぶ

1 静止画を選び、●を押す。
- 静止画を選び、（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作3へ進みます。
- 静止画表示中の画像回転：●（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

2 （メニュー）を押す。

3「ポストカードメーカー」を選び、●を押す。

4「1テキスト」を選び、●を押す。

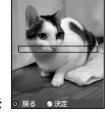
5 文字を入力し、●を押す。
- 最大全角100文字（全角20文字×5行）まで、入力できます。
- 動く絵文字を利用しても、ポストカードメーカーで作成した画像では動きません。

6 文字色の種類を選び、●を押す。
- 文字を縁取らない：「0縁どり設定」選択➡●➡「2OFF」選択➡●➡文字色の種類選択➡●

7 文字サイズを選び、●を押す。
テキスト貼付位置が枠で表示されます。

8 で貼付位置を選び、●を押す。
画像確認画面が表示されます。

9 ●を押す。

10「1本体」または「2メモリカード」を選び、●を押す。

補足　ポストカードを登録すると、サムネイル（☞P.7-10）も同時に登録されます。ただし、利用する静止画のサイズによっては、サムネイルの一部が黒く塗られることがあります。

7 カメラ機能

カレンダーを作成する

メニュー ▶ モバイルカメラ ➡ カメラデータ確認 ➡ デジタルカメラデータ ➡ フォルダを選ぶ

1 静止画を選び、◉を押す。

●静止画を選び、㋱（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作３へ進みます。

■ 静止画表示中の画像回転：◉（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

2 ㋱（メニュー）を押す。

3「ポストカードメーカー」を選び、◉を押す。

4「2カレンダー」を選び、◉を押す。

5「1 1ヶ月（小）」または「2 2ヶ月」を選び、◉を押す。

現在月が表示されます。

6 カレンダーの表示月を入力し、◉を押す。

カレンダー表示位置が枠で表示されます。

7 ✥で貼付位置を選び、◉を押す。

画像確認画面が表示されます。

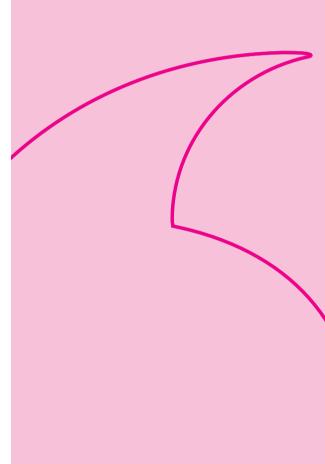
8 ◉を押す。

9「1 本体」または「2 メモリカード」を選び、◉を押す。

補足

●カレンダーの曜日色は、カレンダー表示形式の「**曜日色設定**」（☞P.8-3）の内容が反映されます。

●カレンダーを登録すると、サムネイル（☞P.7-10）も同時に登録されます。ただし、利用する静止画のサイズによっては、サムネイルの一部が黒く塗られることがあります。

7 カメラ機能

ディスプレイ設定

壁紙設定

あらかじめ登録されている内蔵画像や、モバイルカメラで撮影した静止画、ボーダフォンライブ！などで入手した画像やアニメーションを、待受画面の壁紙として利用します。

●「オリジナル」を選ぶと、最大4枚まで壁紙を設定できます。複数の壁紙を設定すると、2時間ごとに表示が切り替わります。（表示が切り替わる間隔も変更できます。）
●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ 画面表示設定 ➡ 壁紙設定

1 ***内蔵画像を利用する***

1「**1**内蔵画像」を選び、◉を押す。

2 画像を選び、◉を押す。

オリジナル画像を利用する

1「**2**オリジナル」を選び、◉を押す。

■ 複数の壁紙設定時の表示時間の変更：✉（メニュー）➡「**3**切替時間設定」選択➡◉➡ 切替時間（01〜24時間ごと）入力➡◉

2「**1**」を選び、◉を押す。

■ 登録済の画像の消去：番号選択➡✉（メニュー）➡「**2**消去」選択➡◉➡「**1**YES」選択➡◉
（「**2**」〜「**4**」に壁紙が設定されているときは、「**1**」の画像は消去できません。）

3 データフォルダ（☞P.13-6）から画像を選び、◉を押す。

表示方法の選択画面が表示されます。利用する画像のサイズによっては、選んだ画像が表示されます。このときは、操作**5**へ進みます。

4 表示方法を選び、◉を押す。

センタリング表示	そのままのサイズで画面中央に表示
並べて表示	そのままのサイズで、同じ画像を並べて表示
全画面表示	画面サイズいっぱいに拡大表示
拡大表示	縦横どちらかが、画面サイズになるまで拡大表示

5 ◉を押す。

すでに登録されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登録せずに、ボーダフォンライブ！などから直接壁紙に設定していたときは、画像は消去されます。）

■ 複数の壁紙の設定：操作**2**〜**5**をくり返す
▪このとき操作**2**では、「**2**」〜「**4**」の番号を選んでください。

6 設定を終わるときは、◎（完了）を押す。

壁紙を解除する

1「**3**OFF」を選び、◉を押す。

補足

●ボーダフォンライブ！やデータフォルダで、画像を壁紙に登録すると、壁紙は自動的に設定されます。（待受画面に戻ると、壁紙が表示されます。）
●Vアプリ待受を設定していると、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
●壁紙を設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。（アニメーションを選んだときや複数の画像を設定すると、さらに短くなります。）
●カレンダー（☞下記）を「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ+スケジュール表示**」に設定すると、壁紙は表示されません。
●アニメーションを選んでも、待受画面で約15秒間何も操作しないときは、静止画像になることがあります。また、カレンダー（☞下記）を「**1ヶ月表示（大）**」〜「**6ヶ月表示**」に設定中のアニメーションは「**時計小1**」で表示されます。

時計／カレンダー表示設定

待受画面に表示される時計／カレンダーの表示形式を設定します。

時計の表示形式を設定する

●お買い上げ時には、「**時計大1**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 時計表示設定

1「**1**時計大1」〜「**4**時計小2」のいずれかを選び、◉を押す。

■ 時計の非表示：「**6**OFF」選択➡◉

補足

「**6**OFF」を選ぶと、カレンダー表示の設定内容（☞下記）にかかわらず、カレンダーも表示されなくなります。

カレンダーの表示形式を設定する

1ヶ月表示（「**スタンプ表示（大）**」、「**スタンプ+スケジュール表示**」、「**大**」、「**小**」）2ヶ月／4ヶ月／6ヶ月表示の7種類から選べます。

●「**スタンプ表示（大）**」を選ぶと、1ヶ月表示（大）のカレンダーに、スケジュールで登録したスタンプを表示できます。また、「**スタンプ+スケジュール表示**」を選ぶと、スケジュール内容もあわせて表示できます。
●「**1ヶ月表示（小）**」、「**2ヶ月表示**」は、表示位置を変更できます。
●お買い上げ時には、「**スタンプ表示（大）**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 時計表示設定

1「**5**カレンダー」を選び、◉を押す。

■ カレンダーの非表示：「**6**OFF」選択➡◉

補足

「**6**OFF」を選ぶと、時計表示の設定内容（☞上記）にかかわらず、時計も表示されなくなります。

2「**1**スタンプ表示（大）」〜「**7**6ヶ月表示」のいずれかを選び、◉を押す。

■「**4**1ヶ月表示（小）」、「**5**2ヶ月表示」選択時：表示位置指定➡◉
■ カレンダー曜日色の設定：「**8**曜日色設定」選択➡◉➡曜日選択➡◉➡色選択➡◉

カレンダーの見かた

現在の日付
●現在の日付は、反転表示されています。

スケジュールが設定されている日付
●スケジュール（☞P.16-14）が設定されている日付には、アンダーラインが表示されます。（スタンプ設定時は除く）

スタンプ
●スケジュールで設定したスタンプが表示されます。（☞P.16-15）

「スタンプ+スケジュール表示」設定時

●⃝を押すと前の月のカレンダーが、⃝を押すと次の月のカレンダーが表示されます。⃝を押し続けると、表示される月が連続して変わります。
（「２ヶ月表示」はひと月ずつ順に、「４ヶ月表示」、「６ヶ月表示」はふた月ずつ順に送られます。）クリアを押すと、現在日のカレンダー表示に戻ります。
●カレンダー表示中に⃝を押し一時的にカレンダー表示を消すと、⃝（ユーザーショートカット）や⃝（着信履歴の確認）を行うことができます。
このあとカレンダー表示に戻るときは、もう一度⃝を押します。

補足
●壁紙を設定しているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。ただし、カレンダーを「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ+スケジュール表示**」に設定しているときは壁紙は表示されません。
●壁紙でアニメーションが動作しているときは、アニメーション終了後、カレンダーが表示されます。
●Vアプリ待受を設定していると、カレンダーが表示されないことがあります。

文字サイズ（フォント）変更

画面に表示される文字の大きさ、太さ、書体を変更します。
●文字の大きさは、メニュー／リスト表示や文字入力時、メール、ウェブ、それぞれ別に指定できます。（太さや書体は、共通です。）
●書体の変更は、漢字以外の文字（ひらがな、カタカナ、英字など）に対して有効です。
●お買い上げ時には、大きさは「**中**」、太さは「**ふつう**」、書体は「**通常**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定１ ▶ 文字表示設定

1 大きさを設定する

1「1文字サイズ設定」を選び、◉を押す。
2「1メニュー／リスト表示中」～「4ウェブ閲覧中」のいずれかを選び、◉を押す。
3 文字サイズを選び、◉を押す。

太さを設定する

1「2文字太さ設定」を選び、◉を押す。
2「1極細」～「4太い」のいずれかを選び、◉を押す。

書体を設定する

1「3書体設定」を選び、◉を押す。
2「1通常」または「2ポップ」を選び、◉を押す。

文字入力中の文字サイズ変更

■ 文字入力中に、次の操作を行います。
⃝（メニュー）➡「9文字サイズ設定」選択➡◉➡「1小」／「2中」／「3大」選択➡◉
●文字入力を終了しても、次回文字入力時には、変更した文字サイズで表示されます。

注意
●Vアプリ、E-アニメータ、SMAFファイルなど、あらかじめ各ファイルに設定されている文字の大きさ、太さ、書体は変更できません。
●電子ブックの書体は変更できません。

補足
この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONT及びLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。

マイキャラクタ設定

電源ON／OFF時やアラーム動作時、着信中に、モバイルカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像などを表示します。
●お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定 ▶ マイキャラクタ

1 表示場面を選び、◉を押す。

2「1キャラクタ１」、「2キャラクタ２」、「3オリジナル」のいずれかを選び、◉を押す。
●「**1キャラクタ１**」または「**2キャラクタ２**」を選んだときは、このあと操作５へ進みます。
■ マイキャラクタ設定の解除：「4OFF」選択➡◉（操作完了）
■ オリジナル選択時の画像の変更：⃝（変更）

3 データフォルダ（☞P.13-6）から画像を選び、◉を押す。
選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。

パワー ON	横120×縦130ドット	着信	横120×縦38ドット
パワー OFF	横120×縦130ドット	アラーム	横120×縦51ドット

●利用できない画像は表示されません。また、「**3着信**」または「**4アラーム**」のときは、E-アニメータ／MNGファイルの画像は利用できません。
●マイキャラクタとして表示されるときは、２倍に拡大表示されます。
■ 画像の表示サイズの変更：スケジュール（「等倍」⇔「２倍」切替）

4 ⃝で画像の表示範囲を指定する。
●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。
■ 画像の変更：クリア➡操作３からやり直す

5 ◉を押す。

マイキャラクタが設定されます。

- すでに登録されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登録せずに、ボーダフォンライブ！などから直接マイキャラクタに設定していたときは、画像は消去されます。）

注意　マイキャラクタの「3着信」を「3オリジナル」に設定している場合に、アドレス帳のピクチャーコール／メールを登録している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、マイキャラクタの設定は無効になります。

ディスプレイ／ボタンの照明設定

画面やボタンの照明の点灯時間を変更したり、点灯しないようにします。

- 1日の中で特定の時間帯だけ点灯するようにも設定できます。
  このときは、あらかじめ現在時刻を合わせておいてください。（☞P.1-26）
- お買い上げ時には、「ON」（15秒）に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ 照明設定

1 ***画面の照明を設定する***

1「1パネル照明ON／OFF」を選び、◉を押す。

ボタンの照明を設定する

1「2キー照明ON／OFF」を選び、◉を押す。

2 ***点灯時間を変更する***

1「1ON」を選び、◉を押す。

2 点灯時間（01〜99秒）を入力し、◉を押す。

点灯時間が設定されます。

点灯しないようにする

1「2OFF」を選び、◉を押す。

- 「OFF」に設定しても、モバイルカメラ起動中はパネル照明が点灯します。

点灯する時間帯を設定する

1「3点灯時間帯」を選び、◉を押す。

2 開始時刻と終了時刻（各4ケタ）を入力し、◉を押す。

開始時刻から終了時刻までの間、パネル照明が点灯します。

3 点灯時間（01〜99秒）を入力し、◉を押す。

補足

- 時刻を設定していないときは、点灯時間帯での設定は反映されません。
- ビューアポジションでは、キー照明は点灯しません。
- パネル照明やキー照明の点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

パネル明るさ調整　画面の照明の明るさを調整します。（4段階）

お買い上げ時 明るさ4

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ 照明設定 ➡ パネル明るさ調整

（明）／（暗）➡◉

車載時設定　シガーライター充電器で充電するとき、画面やボタンの照明を点灯するようにします。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ 照明設定 ➡ 車載時設定

「1ON」選択➡◉

- 車載時設定の解除：「2OFF」選択➡◉

画面パターン設定

背景パターン（メニュー画面やリスト画面などの背景）やフレーム（メニュー項目を囲んでいる枠）、ボタンマーク（メニュー項目前にあるアイコン）、カーソル（メニュー項目選択時の色帯）などの表示形式を設定します。

背景パターン　メニュー画面やリスト画面などの背景（背景パターン）を9種類の中から選べます。

お買い上げ時 背景1

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ 画面表示設定 ➡ 画面パターン設定 ➡ 背景パターン

「1背景1」〜「9背景9」選択➡◉

フレーム　メニュー項目を囲んでいる枠（フレーム）を5種類の中から選べます。

お買い上げ時 フレーム1

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ 画面表示設定 ➡ 画面パターン設定 ➡ フレーム

「1フレーム1」〜「5フレーム5」選択➡◉

ボタンマーク　メニュー項目前にあるアイコン（ボタンマーク）を5種類の中から選べます。

お買い上げ時 ボタンマーク1

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ 画面表示設定 ➡ 画面パターン設定 ➡ ボタンマーク

「1ボタンマーク1」〜「5ボタンマーク5」選択➡◉

カーソル　メニュー項目選択時の色帯（カーソル）を5種類の中から選べます。

お買い上げ時 カーソル1

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定2 ➡ 画面表示設定 ➡ 画面パターン設定 ➡ カーソル

「1カーソル1」〜「5カーソル5」選択➡◉

その他のディスプレイ関連機能

マーク表示設定

壁紙設定時の待受画面のアイコン表示（電池レベル表示や電波状態表示）を設定します。

お買い上げ時 待受け表示：ON、電池レベル表示：アイコン１、電波状態表示：アイコン１

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定 ▶ マーク表示設定

待受画面のアイコン表示

「1待受け表示」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

「待受け表示」を「OFF」に設定している場合にアイコンを表示するときは、を押します。（約５秒間表示されます。）

電池レベル表示の変更

「2電池レベル」選択➡◉➡「1アイコン１」〜「5アイコン５」選択➡◉

電波状態表示の変更

「3電波状態」選択➡◉➡「1アイコン１」〜「5アイコン５」選択➡◉

ビューア時表示方向

ビューアポジションでの縦方向の画面表示を、180度回転させたり、V603SHを持つ方向によって自動的に切り替わるようにできます。

お買い上げ時 表示方向１

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定 ▶ ビューア時表示方向

「1表示方向１」／「2表示方向２」／「3自動切替」選択➡◉

- 各設定内容は次のとおりです。

表示方向１	画面の表示方向は、オープンポジションと同じ向きです。
表示方向２	画面の表示方向は、オープンポジションから180度回転した向きです。
自動切替	V603SHを持つ方向によって、画面の表示方向が上向きになるように、表示している向きから自動的に180度切り替わります。

- 「自動切替」に設定しているとき、以下のような環境では、正常に動作しないことがあります。
  - ■電車や地下鉄、自動車などへの乗車中 ■金属製品（金属製の机や棚など）の近く
  - ■鉄などで遮断された屋内 ■エレベーター内およびエレベーターの近く
  - ■磁気の強いもの（☞P.1-13）の近く
- 次のときは、「2表示方向２」／「3自動切替」に設定しても、180度回転して表示されません。
  - ■モバイルカメラ撮影時 ■動画再生中 ■着信中 ■通話中 ■発信中
  - ■通話終了後、通話関連画面表示中
- ビューア時表示方向が正常に動作しなくなったときは、モーションコントロール補正（☞P.16-4）を行ってください。
- 「自動切替」に設定すると、「ビューア時設定」（☞P.16-4）はお買い上げ時の状態に戻ります。

- オープンポジションでも設定はできますが、表示方向は切り替わりません。
- ここでの設定は、テレビ／FM視聴中の「ビューア時表示方向」（☞P.6-22）に反映されます。

スクリーンアニメ設定

操作しない状態（クローズポジション除く）で一定時間（スクリーンアニメ起動時間）以上経過したとき、アニメーションを表示します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ アニメーション設定 ▶ スクリーンアニメ

内蔵アニメーションの利用

「1ON」選択➡◉➡「1アニメーション選択」選択➡◉➡「1ラバーダンス」／「2Box Man」選択➡◉➡◉

ボーダフォンライブ！などで入手したアニメーションの利用

「1ON」選択➡◉➡「1アニメーション選択」選択➡◉➡「3オリジナル」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

スクリーンアニメ起動時間の設定

「1ON」選択➡◉➡「2起動時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

スクリーンアニメの解除

「2OFF」選択➡◉

- スクリーンアニメに利用できるアニメーションは、E-アニメータ（.nva）だけです。
- スクリーンアニメ表示中に何かボタンを押すと、スクリーンアニメは停止します。
- 待受画面やモバイルカメラ起動中などV603SHの動作状態や操作内容によっては、スクリーンアニメが表示されないことがあります。

スクリーンアニメを「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

ボーダフォンライブ！アニメ設定

メール送受信時や情報受信時にアニメーションを表示するかどうかを、表示場面ごとに設定します。

お買い上げ時 すべてON

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ アニメーション設定 ▶ ボーダフォンライブ！アニメ

「1メール送信」〜「5ステーション受信」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

インデックスメニュー設定

インデックスメニューの表示を設定します。

お買い上げ時 3Dパターン１

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定 ▶ インデックスメニュー設定

「13Dパターン１」〜「32Dパターン」選択➡◉

ダイヤル表示設定

電話番号入力中などに、電話番号をアニメーションで表示するように設定します。

お買い上げ時 2D

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ 画面表示設定 ➡ ダイヤル表示設定

「1 3D」／「2 2D」選択➡●

背景アニメ設定

インデックスメニューの９つの項目のいずれかを選んだときに、アニメーションを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ 背景アニメ

「1 ON」／「2 OFF」選択➡●

- SDメモリカードの使用中（データの読み出し中や書き込み中など）は、背景アニメが表示されないことがあります。

ウェイクアップ

電源を入れたときに、画面にメッセージを表示します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ 画面表示設定 ➡ ウェイクアップ

「1 ON」選択➡●➡内容入力➡●

- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

■ ウェイクアップの解除：「2 OFF」選択➡●

日本語／英語切替（Language）

画面の表示を、日本語または英語に設定します。

お買い上げ時 日本語

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ Language

「1 日本語」／「2 English」選択➡●

音の設定

着信設定

着信音のパターンや音量、バイブレータの動作、ランプの色や点滅パターン、着信音の鳴る時間を設定します。着信の種類とお買い上げ時の設定は次のとおりです。

	通常着信	メール着信	ウェブ着信	ステーション着信	受信完了通知	配信確認
着信パターン	パターン1	効果音 メール	効果音 ウェブ	効果音 ステーション	パターン5	効果音 レポート
着信音量	音量5	音量5	音量5	音量5	音量1	音量5
バイブ設定	OFF					
バイブパターン	バイブ1	バイブ2	バイブ3	バイブ4	バイブ5	バイブ2
ランプ設定	モバイルライト	スモールライト				
モバイルライトカラーパターン	マスカット（緑色系統）	—				
モバイルライト／スモールライト点滅パターン	パターン1					
着信呼出時間	—	10秒	10秒	10秒	1秒	10秒

- 「**受信完了通知**」とは、次のようなときの動作です。
  - ■メールサーバーからメッセージの続きやメールリストを取得したとき
  - ■メールサーバーのメッセージを消去したとき
  - ■ステーションのメインリストや位置情報履歴を手動で更新したとき
- 「**配信確認**」とは、サービスセンターから通信レポートを受信したときの動作です。（☞ P.4-20）
- 設定した内容は、電源を切っても保持されます。
- マナーモード設定中は、マナーモードの設定内容（☞P.3-4）が優先されます。

補足　着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定していると、着信設定で設定している着信パターンやバイブパターンとは異なる動作をすることがあります。

着信音量を設定する

メニュー ➡ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ 着信音量

1 **で音量を選ぶ。**

- 「**音量5**」が最大です。「**ステップ**」に設定すると、約3秒ごとに、「**音量1**」～「**音量5**」の順に段々と音が大きくなります。

■ 音量の確認：◎（♪**再生**）
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）
- ■マナーモード設定中の音量はマナー設定内容と連動します。

2 **◉を押す。**

通常着信を「**ステップ**」に設定すると「図」が、「**サイレント**」に設定すると「図」が待受画面に表示されます。

着信パターンを設定する

あらかじめ登録されているパターンやメロディ（☞P.9-4）の他に、オリジナル着信音、着うた®、ボイスファイルなどから選べます。

メニュー ➡ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定 ➡ 着信の種類を選ぶ ➡ 着信パターン

1 ***あらかじめ登録されているパターンを選ぶ***

1「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、◉を押す。

データフォルダに登録したメロディを選ぶ

1「3データフォルダ（メロディ）」を選び、◉を押す。

- V603SHには、あらかじめ「**永遠にともに**」が登録されています。

許諾番号：T-0510083 JASRAC

データフォルダに登録した着うた®を選ぶ

1「4データフォルダ（オーディオ）」を選び、◉を押す。

ボイスフォルダに登録したボイスファイルを選ぶ

1「5ボイスフォルダ」を選び、◉を押す。

注意
- SDメモリカード内のサウンドは、着信パターンに設定できません。
- 着うた®、ボイスファイルは、「**受信完了通知**」には利用できません。
- FM聴取中に録音した音声は設定できません。
- ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、着信パターンに設定できません。
- 音声やサウンドのデータ内容などによっては、着信音として登録できないことがあります。

2 **メロディなどを選ぶ。**

■ パターンの確認：◎（♪**再生**）
- ■再生の停止：上記操作のあと◎（**停止**）

■ サウンドの再生：◎（**メニュー**）➡「**再生**」選択➡◉
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）
- ■マナーモード設定中や、着信音量をサイレント、ステップに設定しているときでも、「**音量1**」で再生されます。

補足　あらかじめ登録されているメロディによっては、バイブ設定（☞P.9-4）を「**SMAF連動**」に設定しているときにメロディを再生すると、メロディ内のバイブレータが動作することがあります。

3 **◉を押す。**

補足　着信パターンを設定したデータフォルダ内のサウンドまたはボイスファイルを消去したり、ファイル名を変更すると、着信パターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

あらかじめ登録されているメロディ

曲　　名	作曲者名	画面表示
喜怒哀楽	古河　弘基	喜怒哀楽-HUNGRY DAYS
森のくまさん	アメリカ民謡	森のくまさん
アメージンググレース	NEWTON JOHN	アメージンググレース
ジュ・トゥ・ヴ	SATIE ERIK ALFREDI LE	ジュ・トゥ・ヴ
ジムノペディ	SATIE ERIK ALFREDI LE	ジムノペディ
アンネンポルカ	STRAUSS JUN JOHANN	アンネンポルカ
組曲「惑星」より「木星」	HOLST GUSTAV	組曲「惑星」より「木星」
ノクターン	CHOPIN FREDERIC FRANCOIS	ノクターン
JAZZY HOLIDAY	TJK	JAZZY HOLIDAY
ROMANTIC CITY	TJK	ROMANTIC CITY

「喜怒哀楽」 HUNGRY DAYS
words：古河　弘基　music & arrangement：古河　弘基
Licensed by TOSHIBA-EMI LTD.

許諾番号
T-0510083

着信をバイブレータでお知らせする

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 着信設定 ▶ 着信の種類を選ぶ ▶ バイブ設定

1 **「1ON」を選び、◉を押す。**

- バイブレータの解除：「2OFF」選択▶◉
- SMAF連動の設定：「3SMAF連動」選択▶◉

- 通常着信のバイブ設定を「ON」にすると「V」（緑色）が、「SMAF連動」に設定すると「V」（黄色）が待受時に表示されます。
- 「3SMAF連動」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータを動作させるときに選びます。
- バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効です。

バイブレータを設定中、V603SHを机の上などに置いておくと、着信があったとき振動により落下することがあります。充電するときは、落下防止のためにもバイブ設定を「OFF」にすることをおすすめします。

バイブパターンを設定する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 着信設定 ▶ 着信の種類を選ぶ ▶ バイブパターン

1 **バイブパターンを選び、◉を押す。**

バイブパターン	動作
バイブ1	「0.75秒振動→0.75秒停止」のくり返し
バイブ2	「0.25秒振動→0.25秒停止→0.25秒振動→1秒停止」のくり返し
バイブ3	「1秒振動→2秒停止」のくり返し
バイブ4	「1秒振動→1秒停止→1秒振動→2秒停止」のくり返し
バイブ5	「0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1秒停止」のくり返し

モバイルライト／スモールライトを設定する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 着信設定 ▶ 着信の種類を選ぶ ▶ ランプ設定

1 ***モバイルライトを設定する***

1「1モバイルライト」を選び、◉を押す。

2カラーパターンを選び、◉を押す。

スモールライトを設定する

1「2スモールライト」を選び、◉を押す。

- スモールライトは、固定色（緑色）です。

点滅しないようにする

1「3OFF」を選び、◉を押す。

- 「3OFF」を選ぶと、ランプ設定選択画面に戻ります。（操作完了）

2 **点滅パターンを選ぶ。**

- 点滅パターンの確認：◎（点灯）
- 点滅の停止：上記操作のあと、点滅中に◎（停止）

点滅パターン	動作
パターン1	「0.75秒点灯→0.75秒消灯」のくり返し
パターン2	「0.25秒点灯→0.25秒消灯→0.25秒点灯→1秒消灯」のくり返し
パターン3	「1秒点灯→2秒消灯」のくり返し
パターン4	「1秒点灯→1秒消灯→1秒点灯→2秒消灯」のくり返し
パターン5	「0.5秒点灯→0.5秒消灯→0.5秒点灯→1秒消灯」のくり返し
SMAF連動	SMAFに連動（モバイルライトで設定可能）

「6SMAF連動」は、メロディ（SMAFファイル）にランプが設定されている場合、メロディ内のランプを動作させるときに選びます。

3 **◉を押す。**

着信呼出時間を設定する

●通常着信では設定できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信設定

1 **着信の種類（「1通常着信」以外）を選び、◉を押す。**

2 **「6着信呼出時間」を選び、◉を押す。**

3 **呼出し時間（01〜99秒）を入力し、◉を押す。**

各種効果音の設定

効果音設定は、操作音の種類ごとに設定します。操作音の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	ボタン確認音	エラー音	パワー ON	パワー OFF	サウンド再生音量	サウンドランプ設定	ショートカット認識音
設定	ON	ON	ON	ON	音量５	スモールライト	ON
サウンド選択	プッシュトーン	効果音 エラー音	効果音 オープニング1	効果音 エンディング1			—
サウンド音量	音量中	音量中	音量5	音量5			音量中
サウンド時間	0.05秒	0.5秒	３秒	３秒			—

●「パワー ON」は電源を入れたとき、「パワー OFF」は電源を切ったときを意味します。
●「サウンド再生音量」はデータフォルダのサウンドや、メールに添付されたサウンド、ウェブ上のサウンドなどの再生音量を意味します。
●「サウンドランプ設定」はサウンドを再生したときのランプ設定を意味します。
●「ショートカット認識音」は、モーションコントロールショートカット（☞P.16-23）を利用中、モーションパターンのそれぞれの動作が正しく認識されたときに鳴ります。
●設定した各種効果音設定は、電源を切っても保持されます。

操作音のパターンを設定する

●操作音を鳴らないようにすることもできます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 効果音設定

1 **「1ボタン確認音」、「2エラー音」、「3パワー ON」、「4パワー OFF」、「7ショートカット認識音」のいずれかを選び、◉を押す。**

■ サウンド再生音量の設定：「5サウンド再生音量」選択➡◉➡🔘（音量選択）➡◉（操作完了）

■ サウンドランプの設定：「6サウンドランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」／「2スモールライト」／「3OFF」選択➡◉（操作完了）

▪モバイルライト選択時：上記操作のあと、カラーパターン選択➡◉（操作完了）

補足　「サウンドランプ設定」の点滅パターンは固定です。変更することはできません。（モバイルライト選択時：「SMAF連動」、スモールライト選択時：「パターン１」）

2 **「1ON」を選び、◉を押す。**

■ 効果音なし：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

■ ショートカット認識音選択時：🔘（音量選択）➡◉（操作完了）

3 **「1サウンド選択」を選び、◉を押す。**

4 ***あらかじめ登録されているパターンを選ぶ***

1「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、◉を押す。

●「喜怒哀楽-HUNGRY DAYS」は設定できません。

データフォルダに登録したメロディを選ぶ

1「3データフォルダ（メロディ）」を選び、◉を押す。

●SDメモリカード内のサウンドは、操作音のパターンに設定できません。
●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、操作音のパターンに設定できません。
●サウンドのデータ内容などによっては、操作音として登録できないことがあります。

「ピッ」という音にする（ボタン確認音）

1「4プッシュトーン」を選び、◉を押す。

操作音のパターンが設定されます。（操作完了）

5 **メロディなどを選ぶ。**

■ パターンの確認：◎（♪再生）

▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

■ サウンドの再生：✉（メニュー）➡「再生」選択➡◉

▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

6 **◉を押す。**

操作音に設定したデータフォルダ内のサウンドを消去したり、ファイル名を変更すると、操作音のパターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

その他の設定

サウンド音量　操作音を「ON」に設定したときの音量を設定します。

お買い上げ時 ☞P.9-6

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 効果音設定

ボタン確認音／エラー音／パワー ON／パワー OFFのサウンド音量設定

「1ボタン確認音」〜「4パワー OFF」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「2サウンド音量」選択➡◉➡🔘（音量選択）➡◉

ショートカット認識音のサウンド音量設定

「7ショートカット認識音」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡🔘（音量選択）➡◉

サウンド時間 操作音をどれくらいの時間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時☞P.9-6

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 効果音設定

ボタン確認音／エラー音のサウンド時間設定

「1ボタン確認音」／「2エラー音」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「3サウンド時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

パワー ON／パワー OFFのサウンド時間設定

「3パワー ON」／「4パワー OFF」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「3サウンド時間」選択➡◉➡時間（01～10秒）入力➡◉

- ボタン確認音やエラー音で選択したサウンドによっては、サウンド時間が短いと操作音が鳴らないことがあります。
- ボタン確認音を「4プッシュトーン」に設定しているときは、サウンド時間の設定にかかわらず「10.05秒」で鳴ります。

着信用ボイス録音

V603SHで録音した音声を、着信音やアラーム音として利用できます。

- 録音可能時間は最長30秒です。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル着信音 ▶ 着信用ボイス録音

1 タイトルを入力し、◉を押す。

- 入力したタイトルは、自動的にファイル名として登録されます。
- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

2 ◉を押す。

録音が始まります。

3 録音を終わるときは、◉を押す。

V603SHのボイスフォルダのフォルダ１に登録されます。

- 録音可能時間が経過したときは、自動的に録音が終了してV603SHのボイスフォルダのフォルダ１に登録されます。

録音内容の確認

■ 操作３のあと、次の操作を行います。

ボイスファイル選択➡◉

▪ 再生の停止：上記操作のあと、再生中に ◎（戻る）

ボイスファイルの着信音設定

■ 操作３のあと、次の操作を行います。

ボイスファイル選択➡◎（メニュー）➡「着信音設定」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉

- 「受信完了通知」は設定できません。

録音中に着信があると録音は中止されます。（録音内容は消去されます。）

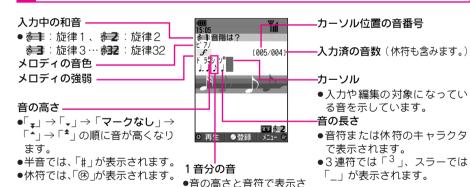
オリジナル着信音の作成

お客様がメロディを作り、着信音として利用したり、スーパーメールに添付して送信できます。

- １曲あたり95音×32和音または190音×16和音、380音×８和音のいずれかまで入力できます。
- オリジナル着信音は、データフォルダ（☞P.13-3）に登録されます。

- オリジナル着信音はSJM形式で保存されます。オリジナル着信音をシャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外の相手機種に送信するときは、メロディ形式またはSMAF形式に変換したあと、送信してください。ファイル形式によっては、旋律（和音）が削除されたり、設定が変わることがありますので、変換の際は「**ファイル形式を変換して添付する**」（☞ P.3-12）をご確認ください。
- 受信側の相手機種によっては、変換したファイルを再生できないことがあります。

オリジナル着信音の基礎知識

ディスプレイ

入力できる音の高さ

約４オクターブ入力できます。（半音も使えます。）

入力できる音符／休符

音符	休符	長　さ	音符	休符	長　さ
𝅝	𝄻	全音符（休符）	𝅗𝅥.	𝄼.	付点２分音符（休符）
𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）	③	③	全音３連符（休符）
♪	𝄾	８分音符（休符）	③	③	16分３連符（休符）
♪.	𝄾.	付点８分音符（休符）	③	③	８分３連符（休符）
♩	𝄽	４分音符（休符）	③	③	４分３連符（休符）
♩.	𝄽.	付点４分音符（休符）	③	③	２分３連符（休符）
𝅗𝅥	𝄼	２分音符（休符）			

設定できる音色

128種類の基本音色と、61種類の拡張音色があります。

- お客様が作成したオリジナル音色を音色ごとに８種類登録できます。
- それぞれの音色の音程（オクターブ）も変更できます。（音色オクターブ設定：P.9-22）

作成の流れ

1 オリジナル着信音のタイトルを入力する

- ここで入力したタイトルが、着信音選択時に表示されます。
- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

2 曲のテンポを指定する

- 「**速い**」、「**普通**」、「**やや遅い**」、「**遅い**」のいずれかを選びます。
- テンポの目安は、次のとおりです。（「♩」の数は１分間に鳴る４分音符の数です。）

1速い	♩=150	3やや遅い	♩=107
2普通	♩=125	4遅い	♩=94

3 和音数を指定する

- 「**８和音**」、「**16和音**」、「**32和音**」のいずれかを選びます。

4 メロディ（旋律１ 1）を１音ずつ入力する

- 音の高さやオクターブ、長さなどを順に入力します。半音や３連符の入力も可能です。（P.9-11～P.9-12）
- 入力中に◎（**再生**）を押すと、それまで入力したすべての旋律のメロディが流れます。
  また[スケジュール/メモ]を押すと、表示している旋律のメロディがカーソルのある位置まで流れます。音量は、サウンド再生音量（P.9-6）と連動します。
  マナーモード設定中でも、◎（**再生**）や[スケジュール/メモ]を押すとメロディが流れます。（音量を「**サイレント**」に設定していても、「**音量１**」で流れます。）
- 入力中に◎（**メニュー**）を押すと、入力中の旋律の音色や強弱を設定できます。

5 ハーモニー（旋律２ 2、旋律３ 3…旋律32 32）を入力する

- [文字]を押すと、他の旋律の入力画面に切り替わります。
- 入力方法は、旋律１と同様です。

6 メロディの音色を設定する

- お買い上げ時には、すべての旋律が「**ピアノ**」に設定されています。
- あらかじめ登録されている音色やオリジナル音色（P.9-17）から選びます。
- 旋律１と旋律17、旋律２と旋律18、旋律３と旋律19…旋律16と旋律32は、それぞれ同じ音色になります。

7 メロディの強弱を設定する

- お買い上げ時には、すべての旋律が「**強い**」に設定されています。
- 旋律ごとに「**強い**」、「**普通**」、「**弱い**」のいずれかを選びます。

8 入力したメロディを登録する

- すべて入力できれば、登録します。
- 着信パターン（P.9-3）で、データフォルダに登録したオリジナル着信音を選べば、着信音として利用できます。

メロディの入力方法

１音ごとに次の手順で入力します。

- 旋律１～旋律32とも、同様の操作で入力します。

1 音の高さや休符を指定する

下表のボタンを使用します。

ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	休符
1	2	3	4	5	6	7	0

<音の高さの指定>

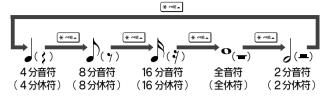
- 上記のボタンを１回押すと、４分音符が指定されます。同じボタンをくり返し押すと、同じ音で１オクターブ上または下の音が順番に選択できます。

- 音が指定された状態で◎を押すと、半音ずつ上または下に高さが変わります。

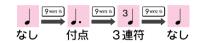
<休符の入力>

- [0]を押します。「休」が表示され、４分休符が入力されます。

2 音符や休符の種類を指定する

[＊]または[＃]をくり返し押します。[＃]を押すと、逆の順に切り替わります。

＜付点付きの音符や3連符の指定＞

●音符を選んだあと、[9]を押します。

付点が利用できるのは、2分音符（2分休符）、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）です。

●3連符は3つ続けて入力してください。

例）

注意 3つ続いていない3連符が入力されているメロディは、正しく再生できなかったり、スーパーメールに添付できないことがあります。
また、音の高さが極端に違う3連符が入力されているメロディも、スーパーメールに添付できないことがあります。

＜スラーの指定＞

●音符を選んだあと、[8]を押します。音符の右に「_」が表示され、次の音となめらかにつながるようになります。

■これで、1つの音の指定は終了です。

次の音を入力するときは、◎で、カーソルを1つ右に進めたあと、前ページの操作からくり返します。

●音符が入力されていない位置にカーソルがあるとき、◎を押すと、直前の音符と同じ音符が入力できます。

●同じ音階（高さ）の音を複数の旋律で同時に鳴らしたときは、正しく再生されないことがあります。

●同時に多くの旋律を鳴らすと、ひずみや音割れを起こすことがあります。

メロディを入力するとき、ボタンを押すと指定した音が鳴ります。ただし、マナーモード（☞P.3-3）設定中は鳴りません。

オリジナル着信音を作成する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、オリジナル着信音を登録できません。不要なファイルを消去（☞P.13-47）してから作成してください。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル着信音 ▶ 新規作成

1 タイトルを入力し、◉を押す。

●全角12文字（半角24文字）以内で必ず入力してください。

●入力したタイトルは、自動的にファイル名としても登録されます。ファイル名は変更できます。（☞P.13-46）

2 テンポ（☞P.9-10）を選び、◉を押す。

3 和音数を選び、◉を押す。

4 音の高さや休符を指定する。（☞P.9-11）

5 音符や休符の種類を指定する。（☞P.9-12）

6 1つの音が入力できれば、◎を押す。

カーソルが1つ右に移動し、次の音が入力できます。

7 操作4～6をくり返し、音を順に入力する。

●このあと◎（**メニュー**）を押すと、操作9「**音色設定**」と操作14「**強弱設定**」をここで行うこともできます。

■ すべての旋律のメロディの再生：◎（**再生**）
 ▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

■ 表示中の旋律のメロディを再生（カーソル位置まで）：[スケジュール]
 ▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

■ 他の旋律のメロディ入力：[文字]（押すたびに旋律切り替え）

8 すべての音が入力できれば、◉を押す。

●音色や強弱を設定しないときは、このあと**P.9-14**操作19へ進み、作成したオリジナル着信音を登録してください。

■ 入力済のメロディ修正：「**2修正**」選択➡◉（修正の詳細：☞P.9-15操作4～P.9-16）

9 「音色設定」を選び、◉を押す。

10 旋律を選び、◉を押す。

11 ◎で音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。

●オリジナル音色を選ぶときは、「**オリジナル（FM）**」または「**オリジナル（WT）**」を選んでください。

■ 音色の確認：◎（**確認**）➡「ドレミファソラシド」再生
 ▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

12 ◉を押す。

●他の旋律を設定するときは、操作10～12をくり返します。

■ 作成したメロディ再生：◎（**再生**）
 ▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

13 ⓟ（完了）を押す。
- 強弱を設定しないときは、このあと操作19へ進みます。

14「強弱設定」を選び、◉を押す。

15 旋律を選び、◉を押す。

16「❶強い」～「❸弱い」のいずれかを選ぶ。
- ■ メロディの強弱の確認：ⓞ（再生）
  - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中にⓞ（停止）

17 ◉を押す。
- 他の旋律を設定するときは、操作15～17をくり返します。
- ■ 設定したメロディの確認：ⓞ（再生）
  - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中にⓞ（停止）

18 ⓟ（完了）を押す。

19「❶登録」を選び、◉を押す。

20 ◉を押す。

V603SHのデータフォルダのメロディフォルダに登録されます。
- 別のフォルダを選んで登録したり、SDメモリカードに登録することもできます。

フォルダ内に同じ名前のオリジナル着信音があるときは、ファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

オリジナル着信音作成中に着信があると

■ 作成中の内容は保存されています。通話終了後、オリジナル着信音の画面に戻ります。

スピーカーから聞こえる音は、実際の楽器の音色とは異なることがあります。
また、音色や音階によっては、聞こえる音量が異なったり、ひずんだように聞こえることがあります。

多くの旋律に16分音符のような短い音符や３連符を多く入力すると、ⓞ（再生）を押しても再生できないことがあります。また、◉（登録）を押したときも確認メッセージが表示され、登録できないことがあります。
このときは、旋律の数を減らしたり、短い音符を長い音符に変更したり、３連符を普通の音符に変更するとエラーを解消できます。

オリジナル着信音を修正する

- データフォルダ内のメモリが一杯のときは、修正したオリジナル着信音を登録できません。不要なファイルを消去（☞P.13-47）してから修正してください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ オリジナル着信音 ➡ データフォルダ

1 オリジナル着信音を選び、ⓟ（メニュー）を押す。
- オリジナル着信音には「♫」が表示されています。
- ■ SDメモリカード内のオリジナル着信音の修正：ⓟ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2「その他編集機能」を選び、◉を押す。

3「データ編集」を選び、◉を押す。
- ■ 音色の修正：☞P.9-13操作９～P.9-14操作13（操作完了）
- ■ 強弱の修正：☞P.9-14操作14～18（操作完了）

4 タイトルを修正し、◉を押す。

5 テンポを選び、◉を押す。

6 和音数を選び、◉を押す。
- ■ 他の旋律の修正：[文字]

7 修正する音に、カーソルを移動する。

和音数の変更

■ 和音数を変更するときに、データの一部が失われる旨の確認画面が表示されることがあります。このときは、次の操作を行うと、和音数が変更されます。（下記表参照）
「❶YES」選択➡◉
■変更の中止：確認画面表示➡「❷NO」選択➡◉

元の和音	変更後の和音	消去される内容
８和音	16和音	各旋律の191音目以降の音
８和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	８和音	旋律９～16
32和音	８和音	旋律９～32
32和音	16和音	旋律17～32

■ 和音数を変更すると、音色が変わることがあります。

9 音の設定

8 ***音を変更する***

1 ◎で音の高さを、#/*/8/9の各ボタンで音符や休符の種類を変更する。（☞P.9-12）

●1～7の各ボタンで音の高さを変えたり、音符⇔休符の変更はできません。

音を追加する

1 追加する音を入力する。

カーソル位置に、新しく入力した音が追加されます。

●入力できる音数（☞P.9-9）を超えると、追加できません。

音を消去する

1 クリアを押す。

カーソル位置の1音が消去されます。

●すべての音を消去するときは、クリアを1秒以上押します。

■ カーソル後／前の連続したメロディの消去：◎（メニュー）➡「6 カーソル後消去」／「7カーソル前消去」選択➡◉➡◉

コピー／切り取りを行う

1 ◎（メニュー）を押したあと、「3コピー」または「4カット」を選び、◉を押す。

2 コピー／切り取るメロディの最初の音を指定し、◉を押す。

3 コピー／切り取るメロディの最後の音を指定し、◉を押す。

切り取ると、指定したメロディが元の画面から消去されます。

4 貼り付け先を表示する。

●他のメロディに貼り付けするときは、コピー／貼り付け元の編集を中止するか登録したあと、貼り付け先を表示させてください。

5 ◎（メニュー）を押したあと、「5ペースト」を選び、◉を押す。

6 コピー／貼り付けする位置で、◉を押す。

9 修正が終われば、◉を押す。

■ 音色や強弱の修正：☞P.9-13操作9～P.9-14操作18

10「1登録」を選び、◉を押す。

11「2上書登録」を選び、◉を押す。

修正したオリジナル着信音が登録されます。

「1新規登録」を選び◉を押すと、登録先選択画面が表示されます。このあと、登録先（フォルダ）を選び◉を押すと、修正前のメロディは変更されず、新しいメロディとして登録できます。［ファイル名には自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。］

オリジナル着信音を消去する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル着信音 ▶ データフォルダ

1 オリジナル着信音を選び、◎（メニュー）を押す。

■ SDメモリカード内のオリジナル着信音の消去：◎（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2「消去」を選び、◉を押す。

3「1YES」を選び、◉を押す。

オリジナル音色の作成

新しく音色を作り、オリジナル着信音などの音色として利用できます。

●8和音用／16和音用、32和音用、WT音源それぞれ、8種類まで登録できます。

オリジナル音色の基礎知識

オリジナル音色は、FM音源のしくみを利用し「アルゴリズム」、「オペレータ」、「エフェクト周波数」の動作（パラメータ）を設定することにより、お好みの音色を作成するものです。

●あらかじめ登録されている音色、または新しく作成したオリジナル音色を利用します。

●実際に音色を再生しながら、オリジナル音色を作成してください。

●WT音源の音色も作成できます。

作成の流れ

1 和音の種類を選ぶ

●「8,16和音用」、「32和音用」、「WT音源」のいずれかを選びます。

2 オリジナル音色の登録先を選ぶ

3 オリジナル音色の名前を入力する

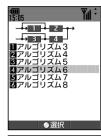
●ここで入力した名前が、音色選択時に表示されます。

●最大全角6文字（半角12文字）まで入力できます。

4 ベースになる音色を選ぶ

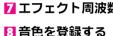
●あらかじめ登録されている音色から選びます。

5 アルゴリズムを選ぶ

- 8,16和音は6種類、32和音は２種類のアルゴリズムから選びます。
- WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

6 各オペレータのパラメータを設定する

- 8,16 和音は4 種類、32 和音は２種類のオペレータが設定できます。
- 選んだ音色のパラメータが自動的に設定されています。
- で設定するパラメータを選び、で内容を変更できます。
- 設定中に◎（再生）を押すと、音色が流れます。

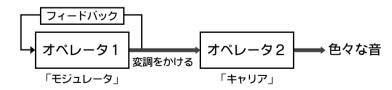
7 エフェクト周波数や基本オクターブなどを設定する

8 音色を登録する

- 設定が完了すれば、登録します。
- 登録したオリジナル音色は、オリジナル着信音などの音色として利用できます。

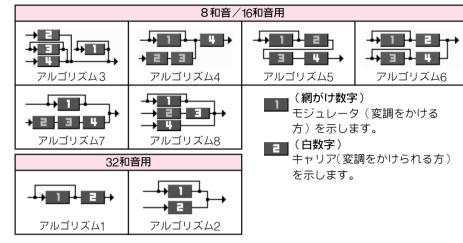
WT音源

■ 楽器などの音色の波形データを記録したものを読み出して利用する形式の音源です。原音に近い音色を着信音として利用できます。

FM音源

「**オペレータ**」と呼ばれる１つの正弦波を発生させる機能を組み合わせることで、色々な音色を合成します。
オペレータの組み合わせ方法を「**アルゴリズム**」といいます。
オペレータはこのアルゴリズムの違いにより、「**モジュレータ**」（変調をかける方）、「**キャリア**」（変調をかけられる方）として動作します。

- 各オペレータには、マルチプルやサスティーンといった様々な動作（パラメータ）を設定することができます。
- 特定のオペレータに対して、フィードバックを設定することで、より幅広い音色を作ることができます。

アルゴリズムの設定

オペレータの組み合わせを設定します。８和音／16和音用は６種類、32和音用は２種類の組み合わせから選びます。

- 選んだアルゴリズムにより、機能するオペレータが変化します。
- WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

オペレータの設定

オペレータに設定できるパラメータの意味と設定内容は次のとおりです。
- 和音数によっては、設定できるパラメータの項目が制限されることがあります。

パラメータ	意　味
マルチプル（13段階）	音色に最も影響を与えるパラメータで、キャリアの値が大きいと高い音になります。モジュレータの値を変えることでいろいろな音色を設定できます。
サスティーン（ON/OFF）	１音符の発音長（１つの音符の長さ）終了後もそのまま音を伸ばすかどうかを設定します。ピアノ、打楽器系などで余韻を残す音を作りたいときは、「ON」に設定してください。
キースケールレート（２段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど音の立ち上がりや立ち下がりが早くなります。「２」に設定すると、より強調されます。
キースケールレベル（４段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど、音量が小さくなるものがあります。この度合いをキースケールレベルをかけないものを含めて、４段階から選択します。
トータルレベル（64段階）	（１）キャリア この値が大きくなると音量も大きくなります。 音量を抑えたい伴奏などは小さい値に設定し、それ以外は最大（64）に設定することをおすすめします。 （２）モジュレータ この値が大きくなると明るい、きらびやかな音色になります。 逆に値が小さくなると柔らかい音色になります。通常はこの値を目安として40～64の範囲に設定すると、音色の変化を楽しめます。

パラメータ	意　味
アタックレート（15段階）	音が出始めてから最大音量になるまでの時間を設定します。 時間を長く設定すると音が出ないことがありますので、この時間を長くする音色を使用するときは長い音符にしたり、テンポを遅く設定するようにしてください。
ディケイレート（16段階）	最大音量になったあと、サスティーンレベル（持続音量、減衰開始音量）まで音量が下がる時間を設定します。
サスティーンレベル（16段階）	持続音では持続して出る音量を表し、減衰音では減衰を開始する音量を表します。この値が大きいほど音量は大きくなります。
サスティーンレート（16段階）	サスティーンレベルに達してからの減衰を設定します。値が小さいほどサスティーンレベルを持続する時間が長くなります。また、「16」に設定すると持続音、それ以外では減衰音となります。
リリースレート（16段階）	持続音では音符の長さの発音を終了してから音が出なくなるまでの時間を表し、減衰音では減衰開始から音が出なくなるまでの時間を表します。 この時間が短いほど早く鳴り終わります。 余韻が必要な音色では時間を長く設定してください。
KEYOFF無視（ON/OFF）	ドラムなどの減衰音では「ON」にすることにより、音が急に途切れる現象を防ぐことができます。
波形選択（29種類）	基本となる波形を選択します。
ビブラート（４段階/OFF）	音程の変化（ビブラート）を有効にするかどうかを設定します。
AM変調（４段階/OFF）	音の強さの変化（トレモロ）を有効にするかどうかを設定します。
フィードバック（8段階）	フィードバックされるオペレータを選択します。

補足　リリースレートが大きい持続音は、音符の次に休符があっても、鳴り続けます。

その他の設定

パラメータ	意　味
エフェクト周波数（４段階）	音程の変化（ビブラート）および音の強さの変化（トレモロ）の揺れの周期を設定します。数字が大きくなるほど、周期が短くなります。
基本オクターブ（４段階）	音色の音程（オクターブ）を設定します。
パンポット（31段階）	音の左右の定位を設定します。L（左）、R（右）の組み合わせで設定し、数字が大きいほど、左または右によった音になります。
サスティーン（ON/OFF）	音をのばすかどうかを設定します。
ビブラート倍率（４段階/OFF）	ビブラートの倍率を設定します。また、ビブラートを無効にすることもできます。

●WT音源では、「基本オクターブ」、「サスティーン」、「ビブラート倍率」の設定はありません。

9 音の設定

オリジナル音色を作成する

 ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ オリジナル音色

1 「1 8,16和音用」、「2 32和音用」、「3 WT音源」のいずれかを選び、◉を押す。
すでに名前を変更して音色を設定しているときは、変更された名前が表示されます。

2 登録先を選び、◉を２回押す。
●名前を変更しないときは、◉を１回押したあと、操作４へ進みます。

3 名前を入力し、◉を押す。
●最大全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

4 「ベース音色設定」を選び、◉を押す。

5 ◎でベースとなる音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。
■ 選んだ音色の確認：◎（再生）
■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

6 ◉を押す。

7 「音色設定」を選び、◉を押す。
●アルゴリズムを変更しないときは、このあと操作10へ進みます。

8 「アルゴリズム」を選び、◉を押す。
設定できるアルゴリズムが表示されます。

9 利用するアルゴリズムを選び、◉を押す。
●オペレータを変更しないときは、このあと操作14へ進みます。

10 OP1などのオペレータ（☞P.9-18）を選び、◉を押す。
ベース音色のパラメータが、あらかじめ設定されています。

11 ◎でパラメータを選び、◎で内容を変更する。
■ パラメータの内容：☞P.9-19～P.9-20

12 操作11をくり返し、必要なパラメータをすべて変更する。
■ 変更後の音色の確認：◎（再生）
■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

13 ◉または◎（完了）を押す。

14 「エフェクト周波数」（☞P.9-20）を選び、◉を押す。

15 ビブラート／トレモロの周期を選び（☞P.9-20）、◉を押す。
エフェクト周波数設定完了の確認メッセージが表示されます。

16 「基本オクターブ」（☞P.9-20）を選び、◉を押す。

17 音色の音程を選び、◉を押す。

9 音の設定

18「パンポット」を選び、で値を選ぶ。

19「サスティーン」を選び、で「ON」または「OFF」を選ぶ。

20「ビブラート倍率」を選び、で倍率を選ぶ。

21 （完了）を押す。

22 すべての設定が終われば、（完了）を押す。

●続けて別のオリジナル音色を作成するときは、P.9-21操作２～P.9-22操作22をくり返します。

その他の音関連機能

スピーカーホン／スピーカー受話設定　スピーカーを使っての通話時に「**スピーカーホン**」か「**スピーカー受話**」に設定できます。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ スピーカー設定

「1スピーカーホン」／「2スピーカー受話」選択▶◉

通常の着信に戻す：「3OFF」選択▶◉

スピーカー利用時の通話方法

■ ダイヤル前やダイヤル後、または着信中や通話中に、を長く（１秒以上）押します。
- 「1 **スピーカーホン**」に設定しているときは「」が、「2 **スピーカー受話**」に設定しているときは「」が表示されます。
- 「3OFF」に設定しているときは、通常の通話となります。

■ 通話を終了すると、スピーカーを使っての通話も解除されます。
■ 通話中にスピーカーを使っての通話を解除するときは、を長く（１秒以上）押します。

注意
- TV アンテナ付きステレオイヤホンマイクなどの利用中は、スピーカーでの通話はできません。
- 「**スピーカーホン**」にして電話をかけると、呼出音がスピーカーから聞こえないことがあります。また、周りの騒音が大きいときなどは、会話が聞こえにくくなることがあります。
- 「**スピーカー受話**」にすると、こちらの声は相手に届きませんので、通話できません。

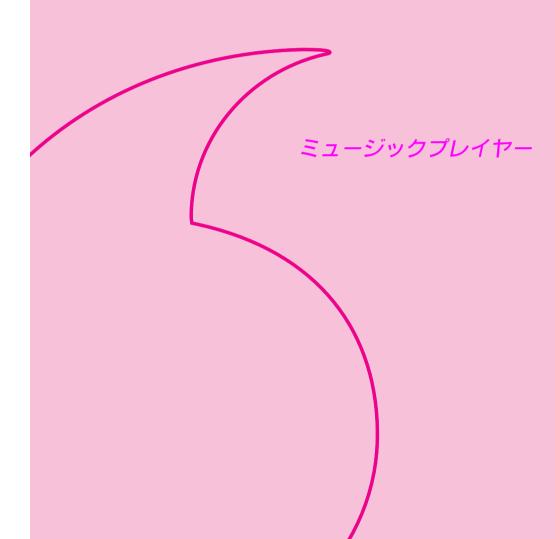
音色オクターブ設定　音色の音程（オクターブ）を、音色ごとに４段階で設定します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 音関連機能 ▶ 音色オクターブ設定

でジャンル、で音色選択▶◉▶音程選択▶◉

音色や音程の確認：（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）

●オリジナル音色の音程は、「**基本オクターブ**」（☞P.9-21操作16～17）で変更してください。

ミュージックプレイヤーをご利用になる前に

ミュージックプレイヤーのはたらき

V603SHとオーディオ機器を接続して、V603SHに取り付けたSDメモリカードにCDなどの音楽を録音できます。この録音した音楽を、V603SHのミュージックプレイヤーで再生します。

- パソコンなどでSDメモリカードに保存した音楽データ（SD-Audio規格で保存されたセキュアMP3データ）を、V603SHで再生できます。ただし、音楽データの形式やSDメモリカードの状態、保存方法などにより、再生できないこともあります。
- V603SHにはSDMI（Secure Digital Music Initiative）の取り決めに従い、著作権保護のための暗号技術が組み込まれています。データを記録する際にSDメモリカードとの間でデータの暗号化／認証の処理を行うことで、データの不正な複製や再生ができなくなっています。認証された機器以外ではこの暗号化されたデータは再生できません。また、SDMIの取り決めに従い、コピーが禁止されているデータは録音できません。

ミュージックプレイヤーをご利用になるために必要なもの

- ボーダフォンライブ！のご契約
- ミュージックキー（有料）のダウンロード
- 市販のSDメモリカードのご購入（８Mバイト／16Mバイト／32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512Mバイト推奨）

オーディオ機器から録音するために必要なもの

デジタル入力録音	光デジタル変換ケーブル（☞P.10-6）、市販の光接続ケーブルのご購入
アナログ入力録音	アナログ変換ケーブル（☞P.10-7）、市販の接続ケーブルのご購入

はじめてお使いになるとき（ミュージックキーのご購入とミュージックプレイヤーの起動）

次の手順でミュージックキーをダウンロード（有料）してください。

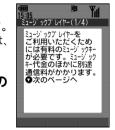
- ミュージックキーのダウンロードはウェブを利用します。電波の届く場所で操作してください。
- 一度ミュージックキーをダウンロードいただくと、以降は通常の機能と同様にご利用いただけます。

メニュー ▶ オススメ（◎）

1 「ミュージックプレイヤー」を選び、◉を押す。

ミュージックプレイヤーのご利用に関する画面が表示されます。

- すでにミュージックキーをダウンロードされているときは、ミュージックプレイヤーの画面が表示されます。

2 ◎を３回押し、「ミュージックプレイヤー（4／4）」の画面を表示する。

3 ◎（YES）を押す。

ウェブに接続され、ミュージックキーダウンロードの画面が表示されます。

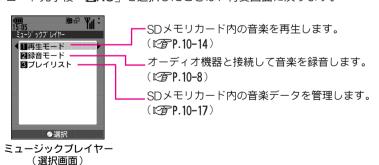
- ミュージックキーダウンロードの画面では、次の内容などが確認できます。
  - ■ミュージックキーの料金
  - ■お支払方法
  - ■利用規約
  - ■ミュージックキーに関するお問い合わせ先

■ 操作の中止：◎（NO）

4 利用規約などの内容を十分確認したうえで、画面の内容に従い、ミュージックキーをダウンロードする。

5 ダウンロード完了後、「1YES」を選び、◉を押す。

ミュージックプレイヤーが起動します。

- ダウンロード完了後「2NO」を選択したときは、待受画面に戻ります。

ミュージックプレイヤー（選択画面）

■ ミュージックプレイヤーの終了：◎

補足　ミュージックプレイヤー（選択画面）で約５分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

音楽の録音

録音時のご注意

充電しながら録音してください。

●録音中に電池が切れることを防ぐため、必ず急速充電器を使用して、充電しながら録音してください。
●電池レベル表示が「▯」のときは録音できません。また、録音中に電池レベル表示が「▯」になると、録音が中止されます。

音楽データは、SDメモリカードに保存されます。

●あらかじめ、V603SHでフォーマット（初期化）したSDメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.12-3、P.12-6）

録音中は、オフラインモードに設定することをおすすめします。（☞P.10-8）

●録音中に電話の着信やメールの受信があると、オーディオ機器の出力端子を傷める恐れがあります。また、録音が正常に行えないことがあります。
（オフラインモードにすると、電話やメールの発着信はできなくなります。）

録音中は、絶対にSDメモリカードを取り出さないでください。

●録音データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。

注意
●お客様が録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
●録音した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●録音したデータを、別のSDメモリカードなど他のメディアにデジタル録音（コピー）することはできません。

ミュージックプレイヤー

録音時間

データが何も保存されていないSDメモリカードの録音時間の目安は、次のとおりです。

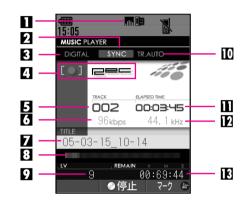
SDメモリカード容量	ビットレート	録音時間
64Mバイト	96kbps	約80分
	128kbps	約60分

●録音できる時間は、SDメモリカードの容量やビットレートの設定によって異なります。
●ビットレートとは、音楽データを記録する際の1秒あたりのデータ量を示す単位です。数字が大きいほどデータ量が多く、音の再現性がよくなります。

デジタル入力録音とアナログ入力録音

接続するオーディオ機器の出力端子に応じて、録音方法を選びます。

デジタル入力録音	光出力端子の付いたオーディオ機器と接続して録音が行えます。CDなどのデジタル信号を直接圧縮するため、高音質の音楽をSDメモリカードに保存できます。
アナログ入力録音	ライン出力端子やヘッドホン端子の付いたオーディオ機器と接続して録音が行えます。アナログ信号をデジタル信号に変換するため、デジタル録音に比べて音質は劣ります。

ディスプレイ

1 録音中表示
録音中に固定表示されます。

2 シンクロ録音表示（☞P.10-10）
シンクロ録音が「ON」に設定されているときに表示されます。

3 録音入力識別表示
DIGITAL：デジタル入力録音／**ANALOG**：アナログ入力録音

4 動作状態表示
［●］rec：録音中／［■］stop：停止中

5 トラック番号

6 ビットレート設定表示（☞P.10-10）

7 タイトル

8 録音レベルメーター（☞P.10-8）
アナログ録音のときに表示されます。

9 録音レベル（☞P.10-8）

10 トラックマーク表示（☞P.10-11）

11 現在の録音経過時間

12 サンプリング周波数表示（☞P.10-11）
デジタル入力録音のときに表示されます。

13 録音可能な残り時間
1トラックごとに変化します。

10 ミュージックプレイヤー

オーディオ機器の接続方法

V603SHとオーディオ機器の接続方法を、デジタル入力録音、アナログ入力録音別に説明します。

接続時のご注意

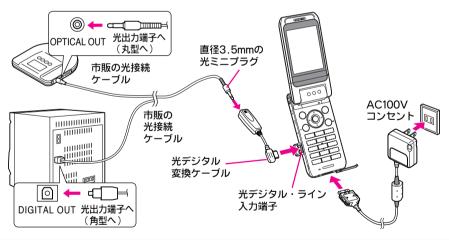
光デジタル変換ケーブル／アナログ変換ケーブルは、市販の光接続ケーブルまたは接続ケーブルを取り付けたあと、V603SHへゆっくりと確実に差し込んでください。また、抜くときは、光デジタル変換ケーブル／アナログ変換ケーブルとV603SHを持って、まっすぐに引き抜いてください。

- ケーブルを強くひっぱったり、無理な力を加えると、V603SHの光デジタル・ライン入力端子が破損する恐れがあります。

光デジタル変換ケーブル／アナログ変換ケーブルは、指定されたオプション品以外は使用しないでください。

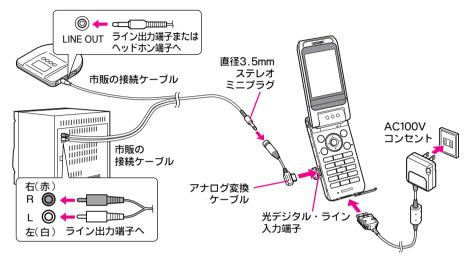
- 指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V603SHや接続先のオーディオ機器を傷める恐れがあります。

デジタル入力録音

市販の光接続ケーブルと光デジタル変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**光出力端子**」とV603SHの「**光デジタル・ライン入力端子**」を接続します。

- 光デジタル変換ケーブルは、音楽を録音するとき以外は接続しないでください。音が出なくなります。
- 光デジタル変換ケーブルは、V603SHや指定のボーダフォン携帯電話以外には接続しないでください。誤動作や故障の原因になります。

アナログ入力録音

市販の接続ケーブルとアナログ変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**ライン出力端子**」または「**ヘッドホン端子**」と、V603SHの「**光デジタル・ライン入力端子**」を接続します。

- V603SHとオーディオ機器との接続は、P.10-8操作1～2でオフラインモードにしてから行います。

抵抗入りの接続ケーブルは使用できません。（市販の接続ケーブルは抵抗が入っているものがあります。）

録音する

接続したオーディオ機器で音楽を再生し、V603SHで録音します。
- 録音の前に、録音時のご注意（☞P.10-4）をご確認ください。
- 録音中の音を聞きながら録音することができます。（録音モニター）
  このときの録音モニター音量は、録音前に設定します。（☞P.10-10）
- 再生側のオーディオ機器は、あらかじめ電源を入れ、再生する曲の頭出しを行ったうえで、一時停止状態にしておいてください。

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ミュージックプレイヤー

1 **「2録音モード」を選び、◉を押す。**

オフラインモードの設定画面が表示されます。
- 通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。（☞P.10-4）
- すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」に設定しているときは、操作3へ進みます。

2 **「2NO」を選び、◉を押す。**

録音画面が表示されます。
- 録音前に、「音楽録音に関する設定」（☞P.10-10）で録音状態を設定できます。

■ オフラインモードにせずに録音する：「1YES」選択➡◉

録音レベルメーター　赤いバー

3 **オーディオ機器と接続したあと、オーディオ機器で音楽を再生し、録音レベルを確認／調整する。**

補足
- デジタル入力録音の録音レベルは、自動的に調整されます。
- アナログ入力録音の録音レベルは、オーディオ機器で音楽を再生しながら、録音開始前に◎で調整してください。（録音中は調整できません。）
  ■ 最も大きいときでも、録音レベルメーターの赤いバーが表示しないように調整してください。
- 録音停止中に約20分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

4 **◉を押す。**

シンクロ録音（☞P.10-10）の待機状態になります。
- シンクロ録音を「ON」に設定しているときは、録音一時停止状態が約15秒間続くと、録音を終了します。

■ シンクロ録音を「OFF」に設定しているときの操作：◉➡オーディオ機器で音楽再生
  ■ 録音の終了：上記操作のあと◉

注意
- 録音中は、録音が終了するまで、絶対にSDメモリカードを取り出したり、電池パックを外さないでください。録音データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。
- 録音中は、接続ケーブルや変換プラグに触れないでください。雑音や音とびの原因となります。

5 **接続したオーディオ機器で、音楽を再生する。**

接続した機器のデータ（音）を検知して、自動的に録音を開始します。このあと、オーディオ機器で再生が終了し、一定時間以上無音が続くと、自動的に録音が終了します。
- アナログ入力録音は、接続した機器によっては、オーディオ機器が一時停止中でも録音を開始することがあります。
- P.10-8操作2で「2NO」を選びオフラインモードを設定していたときは、録音終了後自動的に、オフラインモードは解除されます。

■ 録音停止：◉

補足
録音中にトラックマーク（☞P.10-11）を手動で付けるとき
録音中に、トラックマークを付けたいところで、◎（マーク）を押します。

注意
- パソコンやサウンドボード、BS／CSデジタルチューナーで再生すると、録音レベルが低くなることがあります。
- 録音未チェック曲が入ってるSDメモリカードを、V603SHに取り付けてミュージックプレイヤーを利用すると、録音未チェック曲は削除されます。
  （録音未チェック曲は、J-SH51またはJ-SH52で録音時、チェックせずに録音モードを終了したときに作成されます。）

補足
- 録音中にアラームなどの設定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、録音モード終了後、待受画面に戻るとアラームが動作します。
- V603SHで録音（保存）した音楽データには、自動的に録音日時のタイトルが付きます。タイトルは、あとで変更することができます。（☞P.10-18）

音楽録音に関する設定

録音モニター音量設定　録音中の音を聞きながら録音するときの音量を設定します。

お買い上げ時 音量3

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ミュージックプレイヤー ▶ 録音画面を表示する ▶ メニュー（✉） ▶ 録音モニター音量設定

（音量選択）▶◉

シンクロ録音設定　オーディオ機器の再生と同時に録音を開始するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ミュージックプレイヤー ▶ 録音画面を表示する ▶ メニュー（✉） ▶ シンクロ録音

「1ON」／「2OFF」選択▶◉

ビットレート設定　録音時のビットレート（☞P.10-4）を設定します。

お買い上げ時 96kbps

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ミュージックプレイヤー ▶ 録音画面を表示する ▶ メニュー（✉） ▶ ビットレート設定

「196kbps」／「2128kbps」選択▶◉

- 数字が大きいほど音質はよくなりますが、データ量が多くなるため、録音可能時間は短くなります。

無音検出レベル設定　自動的にトラックマークを付けるとき、無音部分として判別するレベルを設定します。

お買い上げ時 -41dB

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ミュージックプレイヤー ▶ 録音画面を表示する ▶ メニュー（✉） ▶ 無音検出レベル設定

「1-41dB」／「2-59dB」選択▶◉

- 音量レベルの低い状態が続く曲で「-59dB」に設定すると、トラックマークを付きにくくできます。

トラックマーク

トラックマークとは、プレイリスト内のトラック（曲）にトラック番号を付ける機能です。リピート再生やランダム再生は、このトラック単位で行います。録音開始後、下表の状態を検知すると、トラックマークが自動的に付きます。

デジタル入力録音	曲間の無音データを検知したとき（CDやMDなどのトラック情報を含むデータは、録音元のトラックに従ってトラックマークが付きます。）
アナログ入力録音	曲間の無音状態を検知したとき

- 曲間の無音状態が正しく検知できないときは、1つのトラックとして扱われます。
- シンクロ録音を「ON」に設定しているときは、上記の状態が検知されると、録音一時停止状態になります。次のデータ（または音）を検知すると録音を再開します。
  - ■シンクロ録音を「ON」に設定しているときは、録音一時停止状態が約15秒間続くと、録音を終了します。
- トラックマークを付けると、音が一瞬途切れます。
- 接続した機器によっては、トラックマークが自動的に付かないことがあります。このときは、手動でトラックマークを付けてください。（☞P.10-9）

無音（または音量レベルの低い音）が続く曲を録音すると、無音（または音量レベルの低い音）だけのトラックが作られることがあります。

サンプリング周波数

サンプリング周波数とは、1秒間に何回データ量（音の強さ）を記録するかを示すものです。ビットレートと同様に録音時の音質を左右し、数字が大きいほど記録回数が増え、音の再現性がよくなります。V603SHでは、録音方法や再生側の機器によって、自動的にサンプリング周波数が設定されます。

録音方法	サンプリング周波数
デジタル入力録音	再生側の機器に従い、32kHz／44.1kHz／48kHzのいずれかに自動的に設定されます。 （DVDプレーヤー出力では、DTSを「OFF」に設定してください。）
アナログ入力録音	44.1kHz固定になります。

デジタル入力録音では、信号形式の内容によっては、うまく録音できないことがあります。

音楽の再生

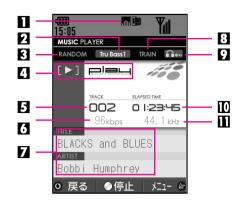
SDメモリカードに録音（保存）した音楽を再生します。

●再生音は、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して聞くことができます。右の図を参考に差し込んでください。
●V603SHのスピーカーから聞くこともできます。

再生時のご注意

●TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを取り付けたり、取り外すときは、接続プラグを持って行ってください。また、このとき接続プラグに無理な力を加えないでください。V603SHのイヤホンマイク端子が破損したり、コードが切れたりする恐れがあります。
●TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクや指定されたオプション品以外は、使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V603SHのイヤホンマイク端子が破損する恐れがあります。
●電池レベル表示が「▯」のときは再生できません。また、再生中に電池レベル表示が「▯」になると、ミュージックプレイヤーは終了します。

補足
●TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを取り付けて再生している場合に、電話がかかってきたときは、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクのスイッチを長く（1秒以上）押すと通話できます。
●スピーカーでの再生時に、曲や再生音量によっては、ひずんだように聞こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。

ディスプレイ

1 再生中表示
2 音質表示（☞P.10-16）
Tru Bass1：BASS1（低音強調小）／Tru Bass2：BASS2（低音強調大）／SRS：サラウンド／WOW：サラウンドバス
●何も表示されないときは、「ノーマル」設定です。
3 再生モード表示（☞P.10-16）
1：1曲リピート再生／ALL：全曲リピート再生／RANDOM：ランダム再生
●何も表示されないときは、「リピート再生OFF」設定です。
4 動作状態表示
[▶] play：再生中／[■] stop：停止中／[▶▶] FF：早送り中／[◀◀] rew：早戻し中
5 トラック番号
6 ビットレート表示（☞P.10-10）
7 タイトル／アーティスト名
8 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.10-17）
TRAIN：再生音量制限「ON」
●何も表示されないときは、「OFF」設定です。
9 着信優先設定（☞P.10-17）
着信優先／着信通知
10 現在の再生経過時間
11 サンプリング周波数表示（☞P.10-11）

再生する

メニュー ▶ オススメ（◎）▶ ミュージックプレイヤー

1 「1再生モード」を選び、◉を押す。

再生画面が表示されます。

- 他のトラック（曲）の再生：（メニュー）➡「プレイリスト」選択➡◉➡トラック（曲）選択➡◉
- 音楽ファイルの管理／編集：☞P.10-17

2 ◉を押す。

1曲目から再生が始まります。（途中で再生を停止していたときは、続きから再生が始まります。）

●最後のトラック（曲）まで再生すると、自動的に停止します。（「リピート再生OFF」時：☞P.10-16）

- 再生の停止：◉
- 音量の調整：（上げる）／（下げる）
  - ■TRAIN（再生音量制限：☞P.10-17）を「ON」に設定しているときは、「音量13」より大きくはなりません。
- 音楽再生に関する設定：☞P.10-16

補足 音楽を再生しない状態の再生画面で、約5分間操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

再生中に電話やメールの着信などがあると

■再生中に電話やメール、ウェブ、ステーション（緊急情報を除く）の着信があると、再生は継続したまま、専用の着信音でお知らせします。（再生画面上部にメールの着信通知、「」や「」などが点滅します。）

●自動的に再生を停止するように設定しておくこともできます。（☞P.10-17）

■再生中に次のような動作があると、再生が自動的に停止します。続きを再生するときは、上記「**再生する**」操作2を行ってください。

●アラームやスケジュール、自動電源ONなどのアラームが鳴ったとき
●ステーションの緊急情報を受信したとき
●簡易留守録設定時に電話がかかり、応答文が流れたとき
●指定着信拒否の非通知拒否、公衆電話拒否設定時に、拒否先から電話がかかり、おことわりのメッセージが流れたとき

補足 再生中または停止中に［文字］を長く（1秒以上）押すと、マナーモードの設定／解除ができます。

再生中にできること

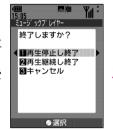
再生中の曲を最初から再生する	を押します。 くり返し押すと、前の曲を再生します。※1
次の曲を再生する	を押します。 くり返し押すと、次の曲を再生します。※2
早送りする	を押し続けます。 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
早戻しする	を押し続けます。 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
一時停止する	◉を押します。※3 もう一度◉を押すと、再生が再開します。

※1 ランダム再生中は、をくり返し押しても再生中の曲を最初から再生します。
※2 リピート再生OFF再生中は、最後の曲の再生中に押しても無効となります。
※3 一時停止中は、早送り（早戻し）や、次（前）曲再生はできません。

再生中の操作

■終了操作

再生中にを押すと、右の画面が表示されます。

●「**1再生停止し終了**」を選び◉を押すと、再生が停止し、待受画面に戻ります。
●「**2再生継続し終了**」を選び◉を押すと、再生を継続したまま、待受画面に戻ります。
●「**3キャンセル**」を選び◉を押すと、再生画面に戻ります。

■他の機能の操作

再生中でもアドレス帳入力やメール作成など、他の機能の操作ができます。ただし、次の操作を行うと、再生を中止するかどうかの確認画面が表示されます。

電話の発信／カメラの利用／SDメモリカードの利用／スーパーメールの送信／メロディ再生／データフォルダの利用／Vアプリの起動　など

●「**1YES**」を選び◉を押すと、再生を中止し各機能が利用できるようになります。（スーパーメールは、メール送信完了後、自動的に再生が再開されます。）
●「**2NO**」を選び◉を押すと、各機能の動作を中止し、再生を継続します。

補足 再生中の待受画面でを押しても、同様の確認画面が表示されます。

音楽再生に関する設定

再生設定

トラック（曲）を再生するときの再生方法を設定します。

■1曲リピート再生に設定するときは、そのトラック（曲）の表示中（再生中または停止中）に操作してください。

お買い上げ時 リピート再生OFF

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ミュージックプレイヤー ➡ 再生画面を表示する ➡ トラック（曲）を選ぶ ➡ メニュー（◎）➡ 各種設定 ➡ 再生設定

再生モード選択➡◉

音質設定

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク利用時にサラウンドで再生したり、低音を強調し迫力のある音にします。

お買い上げ時 ノーマル

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ミュージックプレイヤー ➡ 再生画面を表示する ➡ メニュー（◎）➡ 各種設定 ➡ 音質設定

音質選択➡◉

●音質の種類は、次のとおりです。

ノーマル	保存データをそのまま再生
BASS1	低音強調小
BASS2	低音強調大
サラウンド	SRS（サラウンド効果が得られます）
サラウンドバス	サラウンド＋BASSの効果

注意

ここでの設定は、スピーカーでの再生時には、無効となります。
また、モノラル音楽では、「**サラウンド**」は無効となります。

補足

●「BASS1」は「**音量14**」以上に設定したとき、「BASS2」は「**音量12**」以上に設定したときに音のひずみを少なくするため、強調レベルが自動的に調整されます。

●SRS、TruBass、WOWと(●)®記号は、SRS Labs, Inc.の商標です。
SRS、TruBass、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

再生音量制限（TRAIN）

再生音量の上げすぎを防ぐため、音量を「**音量13**」より大きくならないように設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ミュージックプレイヤー ➡ 再生画面を表示する ➡ メニュー（◎）➡ 各種設定 ➡ TRAIN

「1ON」選択➡◉

補足

「**音量14**」以上に設定されている状態で、TRAINを「**ON**」に設定すると、自動的に「**音量13**」に切り替わります。ただし、このあとTRAINを「**OFF**」に設定しても、「**音量14**」以上の元の状態には戻りません。

着信優先設定

音楽再生中に電話がかかってきたときの動作を設定します。

お買い上げ時 着信通知

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ミュージックプレイヤー ➡ 再生画面を表示する ➡ メニュー（◎）➡ 各種設定 ➡ 着信優先設定

「1着信優先」／「2着信通知」選択➡◉

●設定できる動作は、次のとおりです。

着信優先	設定されている着信音が鳴り、再生は停止します。
着信通知	専用の着信音が鳴り、再生は継続します。

音楽ファイルを管理／編集する

「**プレイリスト**」は、録音（保存）時にSDメモリカードに作成される、トラック（曲）の管理リストです。

●電池残量をご確認ください。プレイリストの編集や消去中に電池レベル表示が「▭」になると、ミュージックプレイヤーは終了します。

●プレイリストの編集や消去中に、SDメモリカードを取り出したり、電池パックを取り外さないでください。データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。

●再生中には、プレイリストの編集はできません。

プレイリスト名

15:05
プレイリスト
デフォルトプレイリスト
001.05-03-22_20-10
002.05-03-22_23-14
003 05-03-22_27-19
再生 メニュー

トラック番号　トラックのタイトル

情報確認

プレイリストやトラック（曲）の情報を表示します。

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ミュージックプレイヤー ➡ プレイリスト

プレイリスト名／タイトル選択➡◎（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

タイトル変更	プレイリスト名、タイトル（曲名）、アーティスト名を変更できます。

 オススメ（◎）➡ ミュージックプレイヤー ➡ プレイリスト

タイトル名の変更

タイトル選択➡（メニュー）➡「トラック情報編集」選択➡●➡「1タイトル」選択➡●➡タイトル入力➡●

アーティスト名の変更

タイトル選択➡（メニュー）➡「トラック情報編集」選択➡●➡「2アーティスト」選択➡●➡アーティスト名入力➡●

プレイリスト名の変更

「♪」の行選択➡（メニュー）➡「リストタイトル編集」選択➡●➡リストタイトル入力➡●

曲移動	プレイリストに表示されるトラック（曲）の順番を入れ替えることで、再生順を変更できます。

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ミュージックプレイヤー ➡ プレイリスト ➡ メニュー（）➡ 移動

タイトル選択➡●➡移動先選択➡●➡◎（完了）

曲消去	1曲ずつまたはプレイリスト内のすべてのトラック（曲）を消去します。

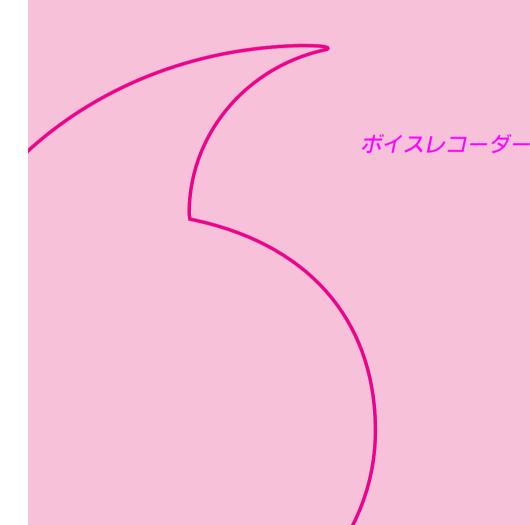
メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ミュージックプレイヤー ➡ プレイリスト

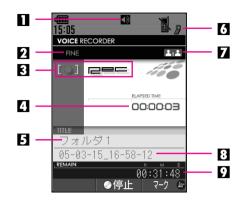
1曲消去

タイトル選択➡（メニュー）➡「消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

プレイリスト内の全曲消去

「♪」の行選択➡（メニュー）➡「リスト内全消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

ボイスレコーダー

音声の録音

ディスプレイ

1 録音中表示
録音中に赤色表示されます。
2 録音モード表示（☞P.11-4）
LONG：ロング／FINE：ファイン
3 動作状態表示
［●］ rec：録音中／［■］ stop：停止中
4 現在の録音経過時間
5 登録フォルダ名
6 登録先表示
：本体（V603SH）／：メモリカード（SDメモリカード）
7 マイク感度表示（☞P.11-4）
：会議用／：口述用
8 タイトル
9 録音可能な残り時間
録音を終了する（録音した音声を登録する）か、録音中に（マーク）を押すと変化します。

録音する

V603SHのマイクを利用して、V603SHやSDメモリカードに音声を録音します。
●ご利用の前に、電池残量をご確認ください。（電池レベル表示が「」のときは録音できません。また、録音中に電池レベル表示が「」になると、録音が中止されます。）
●通話中の音声の録音はできません。
●外部マイクとして利用できないプラグなどをイヤホンマイク端子に接続すると、録音が正しくできないことがあります。
●１フォルダあたり最大100ファイルまで録音して登録できます。
●お買い上げ時の状態でV603SHに録音できるのは、録音モード「**ロング**」で最長約200分、録音モード「**ファイン**」で最長約40分です。（最長録音時間10分／１回あたり）

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ボイスレコーダー

1 「2録音モード」を選び、◉を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。
●録音中に着信があると録音は停止します。通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。
●すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」に設定しているときは、操作３へ進みます。

はじめて録音するときや前回登録したフォルダが消去されているとき
●ボイスフォルダ画面が表示されます。このあと、録音した音声を登録するフォルダを選び、◉を押します。
●フォルダを作成するときは、次の操作を行います。
（**メニュー**）➡「**フォルダ作成**」選択➡◉➡**フォルダ名入力**➡◉
■このあと、作成したフォルダを選び◉を押すと、録音した音声の登録先として指定されます。

2 「2NO」を選び、◉を押す。

録音画面が表示されます。
■ 登録先の変更：（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉
■ 新しいフォルダの作成：（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択 ➡◉➡（**メニュー**）➡「**フォルダ作成**」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉
■ 登録先の切替（V603SH⇔SDメモリカード間）：（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択➡◉➡（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」／「**本体へ切替**」選択➡◉
■ オフラインモードにせずに録音する：「1YES」選択➡◉

3 ◉を押す。

録音が始まります。（録音中はスモールライトが確認点灯します。）
●録音中に（**マーク**）を押すと、以降の音声を別ファイルに分割できます。

●録音中は、V603SHに衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。
●SDメモリカードに音声が大量に保存されているときは、録音開始までにしばらく時間がかかることがあります。

4 録音を終了するときは、◉を押す。

録音した音声が登録されます。

- もう一度◉を押すと、録音を再開できます。このときは、別のファイルとして同じフォルダに登録されます。
- P.11-3操作２で「2NO」を選びオフラインモードを設定していたときは、録音モードを終了すると、自動的にオフラインモードは解除されます。

補足

- V603SHで録音した音声には、自動的に録音日時のタイトルが付きます。タイトルは、あとで変更することができます。
- クローズポジションで音声を録音することもできます。（☞P.16-3）
- オフラインモードが設定されていない状態で録音中に着信があると、録音は自動的に終了します。設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。（途中までの録音内容は保護されています。）
- 録音中にアラーム設定時刻になっても、アラーム音は鳴りません。このときは、録音終了後◉を押すとアラームが動作します。

音声録音に関する設定

マイク感度設定 広い場所に適した「会議用」または対面打合せなどに適した「口述用」に設定できます。

お買い上げ時 会議用

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ボイスレコーダー ➡ 録音画面を表示する ➡ メニュー（◎）➡ マイク感度設定

「1会議用」／「2口述用」選択➡◉

- ご使用の目安は、「会議用」でV603SHのマイクから２ｍ前後、「口述用」で20〜30cmです。（いずれも、一度試しに録音することをおすすめします。）

録音モード設定 録音モードを「ロング」または「ファイン」に設定します。

お買い上げ時 ファイン

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ボイスレコーダー ➡ 録音画面を表示する ➡ メニュー（◎）➡ 録音モード設定

「1ロング」／「2ファイン」選択➡◉

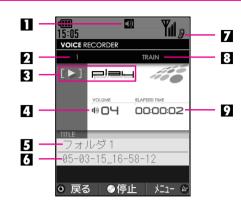
- 「ファイン」に設定すると音質は良くなりますが、ファイル容量が大きくなるため、録音可能時間は短くなります。
- ボイス着信音用の音声を録音するときは、「ファイン」に設定してください。

ファイル消去 録音した音声を１件ずつ消去します。

メニュー ▶ オススメ（◎）➡ ボイスレコーダー ➡ 録音画面を表示する ➡ メニュー（◎）➡ データ消去

音声選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

音声の再生

ディスプレイ

1 再生中表示
再生中に緑色表示されます。

2 再生モード表示（☞P.11-7）
1：１件再生／ALL：全件再生

3 動作状態表示
［▶］play：再生中／［■］stop：停止中／［▶▶］FF：早送り中／［◀◀］REW：早戻し中

4 再生音量表示（☞P.11-6）

5 登録フォルダ名

6 タイトル

7 登録先表示
：本体（V603SH）／：メモリカード（SDメモリカード）

8 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.11-7）
TRAIN：再生音量制限「ON」
- 何も表示されないときは、「OFF」設定です。

9 現在の再生経過時間

再生する

●再生音は、V603SHのスピーカーから聞こえます。
●TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して再生することもできます。
（☞P.10-12）

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ボイスレコーダー

1 「1再生モード」を選び、●を押す。

再生画面が表示されます。

■ 別フォルダの音声の再生：（メニュー）➡「ボイスフォルダ」選択➡●➡➡フォルダ選択➡●➡音声選択➡●

はじめて再生するときや前回再生したフォルダが消去されているとき
ボイスフォルダ画面が表示されますので、次の操作を行い、再生する音声を指定します。
フォルダ選択➡●➡音声選択➡●

ボイスフォルダ画面での操作
●フォルダの作成
➡（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡●➡フォルダ名入力➡●
●名前の変更
音声選択➡（メニュー）➡「名前の変更」選択➡●➡「1YES」選択➡●➡ファイル名入力➡●
●ファイルの消去
音声選択➡（メニュー）➡「消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●
●ファイルのコピー／移動（V603SH⇔SDメモリカード間）
音声選択➡（メニュー）➡「コピー」／「移動」選択➡●➡「1本体」／「2メモリカード」選択➡●➡移動先フォルダ選択➡●➡●

SDメモリカード内の音声を再生するとき
ボイスフォルダ画面で、次の操作を行います。
（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡●➡フォルダ選択➡●➡音声選択➡●

2 ●を押す。

再生が始まります。

■ 音量の調整：（上げる）／（下げる）
■TRAIN（再生音量制限：☞P.11-7）を「ON」に設定しているときは、「音量4」より大きくはなりません。

再生中に電話やメールの着信などがあると

■ 電話がかかってきたときは、再生は停止します。設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。
■ メール、ウェブ、ステーション（緊急情報を除く）の着信があったときは、再生は継続したまま着信をお知らせします。（再生画面上部にメールの着信通知、「」や「」などが点滅します。）

再生中または停止中にを長く（1秒以上）押すと、マナーモードの設定／解除ができます。

再生中にできること

再生中の音声を最初から再生する	を押します。 くり返し押すと、前の音声を再生します。
次の音声を再生する	を押します。 くり返し押すと、次の音声を再生します。
早送りする	を押し続けます。※1 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。※2
早戻しする	を押し続けます。※1 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。※2
一時停止する	●を押します。 もう一度●を押すと、再生が再開します。

※1 停止中は操作できません。
※2 1件再生にしているときは、ファイルをまたいでの早送り、早戻しはできません。

音声再生に関する設定

1件再生／全件再生 指定した音声だけを再生するか、同じフォルダ内の音声を連続再生するかを設定します。

お買い上げ時 1件再生

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ボイスレコーダー ▶ 再生画面を表示する ▶ メニュー（） ▶ 各種設定 ▶ 再生設定

「1 1件再生」／「2全件再生」選択➡●

再生音量制限（TRAIN） 再生音量の上げすぎを防ぐため、音量を「音量4」より大きくならないように設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ボイスレコーダー ▶ 再生画面を表示する ▶ メニュー（） ▶ 各種設定 ▶ TRAIN

「1ON」選択➡●

「音量5」に設定されている状態で、TRAINを「ON」に設定すると、自動的に「音量4」に切り替わります。ただし、このあとTRAINを「OFF」に設定しても、「音量5」には戻りません。

ファイル分割 再生中に指定した位置または一時停止している位置で、ファイルを2つに分割します。

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ ボイスレコーダー ▶ 再生（一時停止）画面を表示する ▶ メニュー（） ▶ データ分割

「1YES」選択➡●

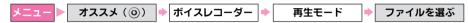
●音声の先頭および末尾から約20秒の間は、データ分割はできません。
●V603SHまたはSDメモリカードの空き容量によっては、分割できないことがあります。
●V603SH以外でフォーマットしたSDメモリカードを使用すると、データ分割したファイルが正しく再生されないことがあります。

録音した音声を着信音に登録

ボイスレコーダーで録音した音声の一部を切り出し、ボイス着信音に利用できるボイスファイルを作成します。

●ボイス着信音に利用できるのは、録音モード「**ファイン**」のV603SHのボイスフォルダ（フォルダ１）に登録したファイルです。

●切り出しは、再生中に指定した位置、または一時停止している位置から行います。（最長約30秒）

着信ボイスを作成する

1 再生中または一時停止中に、切り出しを始める位置で、（メニュー）を押す。

2「切り出し」を選び、◉を押す。

3 ◉を押す。

再生が再開されます。

4 切り出しを終わる位置で、◉を押す。

●切り出し可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■ ボイスファイルの確認：「2再生確認」選択➡◉

▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◉

■ 切り出しのやり直し：「3取消」選択➡◉

5「1登録」を選び、◉を押す。

切り出したボイスファイルが、新しいファイルとしてV603SHのボイスフォルダ（フォルダ１）に登録されます。

着信音に設定する

メニュー ▶ オススメ（◎） ➡ ボイスレコーダー ➡ 再生画面を表示する ➡ メニュー（） ➡ ボイスフォルダ

1 ボイスファイルを選び、（メニュー）を押す。

2「着信音設定」を選び、◉を押す。

●「着信音設定」が選択できないボイスファイルは、利用できません。

3 着信の種類を選び、◉を押す。

メモリカード

SDロゴは商標です。

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

メモリカードをご利用になる前に

撮影した画像や音楽の保存、V603SH内のデータフォルダやアドレス帳などのデータの保存に、SDメモリカードを利用できます。

- V603SHには、SDメモリカードは同梱されておりません。市販のSDメモリカードをご購入のうえ、ご利用ください。
  - ■市販のSDメモリカードを使用するときは、V603SHでフォーマットしてください。（☞P.12-6）
- SDメモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。

- V603SHは「**SDメモリカード**」および「**SD-ROMカード**」に対応しています。
- V603SHで推奨するSDメモリカードは、8Mバイト／16Mバイト／32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512MバイトのSDメモリカードです。
- 8MバイトのSDメモリカードは容量が少ないため、ご使用方法によっては、用途が制限されることがあります。

メモリカードの取り扱いについて

SDメモリカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- V603SHの電源を入れた状態でSDメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- 貼られているラベルは、はがさないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。SDメモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。
  鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- SDメモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- SDメモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。
- SDメモリカードは、推奨のものをご使用ください。推奨以外のSDメモリカードは使用できないことや正しく動作しないことがあります。

SDメモリカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。
なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付ける

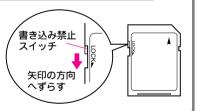
必ずV603SHの電源を切った状態で取り付けてください。

1 メモリカードスロットのカバーを開く。

2 SDメモリカードを「カチッ」と音がするまで、ゆっくり奥まで入れる。

3 カバーを閉じる。

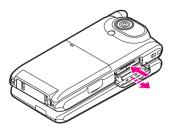
書き込み禁止スイッチ

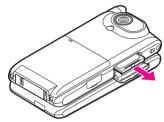
■SDメモリカードには、データの誤消去を防止する「**書き込み禁止スイッチ**」がついています。「**書き込み禁止スイッチ**」を「LOCK」にすると、データの消去や保存などができなくなります。
詳しくは、SDメモリカードの取扱説明書を参照してください。

- 他の機器で使用していたSDメモリカードをお使いになるときは、必ず「**カード手動シンクロ**」（☞P.12-12）を行ってください。ただし、他の機器で使用していたSDメモリカードは、データが正しく表示されないことがあります。
- SDメモリカード以外のものを挿入しないでください。カードやV603SHが破損する恐れがあります。

取り外す

必ずV603SHの電源を切った状態で取り外してください。

1 メモリカードスロットのカバーを開き、SDメモリカードを軽く押し込む。

- SDメモリカードは、軽く押し込んで手を離すと少し飛び出てきますので、指で軽く押さえてください。

2 SDメモリカードを取り出す。

- ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。SDメモリカードを取り出したあと、カバーを閉じます。

データの読み出し中や書き込み中は、絶対にSDメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外さないでください。SDメモリカードまたはV603SHが破損する恐れがあります。

V603SHにSDメモリカードを取り付け、電源を入れたときは、SDメモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。（SDメモリカードの容量や書き込まれているデータ量により、待受画面が表示されるまでの時間が異なります。）
また、Vアプリライブラリ手動シンクロの確認メッセージが表示されることがあります。（☞ P.10-4）

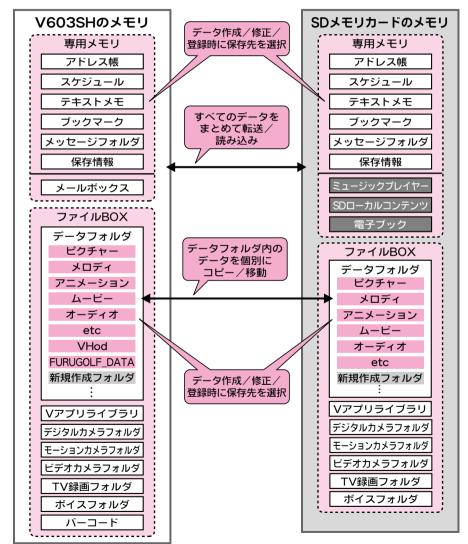
メモリカードのアイコン

SDメモリカードを取り付けると、画面に次のようなアイコンが表示されます。

	SDメモリカードが取り付けられています。
	SDメモリカードが使用中（読み出し中や書き込み中）です。（緑色点滅または赤色点滅）
	SDメモリカードが書き込み禁止です。（赤色点灯）

メモリカードのメモリ管理方法について

SDメモリカードのメモリ管理方法は、基本的にV603SH（本体）と同様です。各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。それぞれのメモリには、下図の方法でV603SHからデータを保存します。

- V603SHとSDメモリカードには、それぞれ別のデータを保存することも、同じデータを保存することもできます。（ウェブのメッセージやブックマーク、Vアプリライブラリ、データフォルダのコピー／転送禁止ファイルなどは、同じデータを保存できないことがあります。）目的に応じて使い分けてください。

メモリカードの利用

メモリカードをフォーマット（初期化）する

フォーマット（初期化）されていないSDメモリカードを使用するときは、V603SHでフォーマットしてください。

- SDメモリカードをフォーマットすると、SDメモリカード内のすべてのデータが消去されます。
- 他の機器でフォーマットしたメモリカードは、V603SHでは正常に使用できないことがあります。（動作が遅くなったり、利用できない機能があります。）
- メモリカードフォーマット中は、絶対にSDメモリカードや電池パックを抜かないでください。SDメモリカードまたはV603SHが破損する恐れがあります。

メニュー ▶ メモリカード ➡ メモリカード設定 ➡ メモリカードフォーマット

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

2 「1YES」を選び、◉を押す。

保存されているデータを確認する

各機能から確認する

「**メモリカードへ切替**」のメニューが表示される機能では、直接SDメモリカード内のデータを利用できます。

1 各機能の画面で、✉（メニュー）を押す。

- ブックマークの画面からは、◉（メニュー）を押します。

■ SDメモリカード内のアドレス帳の確認：アドレス帳の検索画面またはリスト画面で◎（切替）

2 「メモリカードへ切替」を選び、◉を押す。

■ V603SHに登録されているデータの利用：「**本体へ切替**」選択➡◉

■ アドレス帳選択時：「**本体**」／「**メモリカード**」選択➡◉

データフォルダから確認する

SDメモリカード内のフォルダやファイルも、V603SH内のデータフォルダと同様に、いろいろな管理や設定（☞P.13-46〜P.13-48）を行えます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 ✉（メニュー）◎（▣）の順に押す。

SDメモリカード内のデータフォルダ画面が表示されます。

（画面2行目の右端に「▣」が表示されます。）

2 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルの種類に応じて、再生や表示が行われます。

メモリカード内のデジタルカメラフォルダから確認する

デジタルカメラモードで撮影した画像（「**登録先**」を「**メモリカード**」に設定しているとき）は、SDメモリカード内の「**デジタルカメラフォルダ**」に登録されます。

メニュー ▶ メモリカード ➡ メモリカードデータ確認

1 「3デジタルカメラフォルダ」を選び、◉を押す。

「DCIM」フォルダの内容が表示されます。

2 フォルダを選び、◉を押す。

- 撮影した画像は、通常「100IMAGE」フォルダ内に登録されています。

■ 壁紙登録：静止画選択➡◉➡✉（メニュー）➡「**壁紙登録**」選択➡◉➡◉

■ 画像の消去：静止画選択➡✉（メニュー）➡「**消去**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉

3 画像を選び、◉を押す。

■ 別の画像の確認：◎（戻る）

パソコンなど他の機器での画像編集

■ V603SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。

■ デジタルカメラモードの画像をパソコンで加工／編集するときは、SDメモリカード内の元ファイルをパソコンのハードディスクなどにコピーしたあと、コピーした画像ファイルを操作することをおすすめします。

■ V603SHで撮影したデジタルカメラ画像をパソコンで加工／編集し、上書き保存した場合、自動的にDCF規格（☞P.7-9）以外のファイルとなってしまい、V603SHで画像を再表示できなくなることがあります。

デジタルカメラフォルダの静止画は、プリント枚数などを指定（DPOF：☞P.7-45）できます。また、デジタルカメラフォルダの静止画とテキスト／カレンダースタンプを利用して、ポストカードやカレンダーを作成（☞P.7-47）できます。

メモリカード内のモーションカメラフォルダから確認する

モーションカメラモードで撮影した動画（「**登録先**」を「**メモリカード**」に設定しているとき）は、SDメモリカード内の「**モーションカメラフォルダ**」に登録されます。

メニュー ▶ メモリカード ➡ メモリカードデータ確認

1 「4モーションカメラフォルダ」を選び、◉を押す。

■ 名前の変更／動画の消去：☞P.13-46、P.13-47

■ 動画の情報の確認：動画選択➡✉（メニュー）➡「**プロパティ**」選択➡◉

2 動画を選び、◉を押す。

再生が始まります。再生が終わると、自動的に停止します。

■ 再生中にできること：☞P.7-34

■ 別の動画の確認：◎（戻る）

メモリカード内のビデオカメラフォルダ／TV録画フォルダから確認する

ビデオカメラモードで撮影した動画やテレビ視聴中に録画した映像（「**登録先**」を「**メモリカード**」に設定しているとき）は、SDメモリカード内の「**ビデオカメラフォルダ**」／「**TV録画フォルダ**」に登録されます。

メニュー ▶ メモリカード ▶ メモリカードデータ確認

1 「5ビデオカメラフォルダ」または「6TV録画フォルダ」を選び、◉を押す。

■ ビデオカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉
▪撮影した動画は、通常「PRL001」フォルダ内に登録されています。
■ 動画／映像の情報確認：映像選択➡◎（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

2 動画または映像を選び、◉を押す。

再生が始まります。再生が終わると、自動的に停止します。
■ 動画／映像再生中にできること：☞P.7-34

データの転送

V603SHとSDメモリカード間のデータの転送方法は、次のとおりです。

●データ転送は、個人データのバックアップや同機種間（SDメモリカード対応機）での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的でご利用になることをおすすめします。

転送方法	詳　細	転送できるデータ
コピー／移動	1件ずつコピー／移動します。	アドレス帳、スケジュール、テキストメモ、データフォルダ※1、デジタルカメラデータ、モーションカメラデータ、ビデオカメラデータ、TV録画データ※2、ボイスデータ、ウェブのメッセージフォルダ※2、ウェブのブックマーク、Vアプリライブラリ、ステーションの保存情報
一括転送	機能内のすべてのデータを転送し、バックアップファイルとして1つのファイルにまとめて保存します。（転送日のファイル名が付きます。） ●SDメモリカードへの保存後は、V603SHから確認できません。	アドレス帳、スケジュール、テキストメモ、メール（受信メール、送信メール、送信トレイ）、ウェブのブックマーク
	機能内のすべてのデータを転送し、個別のファイルとして保存します。 ●SDメモリカードに保存後も、V603SHから確認できます。	データフォルダ※1、デジタルカメラデータ、モーションカメラデータ、ビデオカメラデータ、TV録画データ、ボイスデータ、Vアプリライブラリ、ウェブのメッセージフォルダ、ステーションの保存情報

※1 ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、オーディオ、etc、ユーザー作成フォルダです。
※2 TV録画データおよびウェブのメッセージフォルダのコピーはできません。

データ転送時のご注意

■ 電池残量が少ないときは、一括転送できません。
■ 著作権で保護されているデータはコピーできません。
●著作権で保護されている（コピー不可）データをV603SHからSDメモリカードに一括転送すると、V603SHからは削除されます。また同様に、SDメモリカードからV603SHへ一括転送したときも、SDメモリカードからは削除されます。
●第三者（お客様以外の電話番号）のボーダフォン携帯電話に転用することはできません。
●SDメモリカードに一括転送した著作権で保護されている（コピー不可）データを再度読み込むことができるのは、お客様のボーダフォン携帯電話だけです。
■ V603SHまたはSDメモリカードの空き容量が少ないときは、データの登録（移動／コピー／一括転送）が正常に行えないことがあります。
■ データの内容によっては、V603SHからSDメモリカードに転送できないことがあります。また、V603SHから一括転送されたデータによっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。

指定したデータをコピー／移動する

●データフォルダ内のファイルを別のフォルダへコピー／移動するときは、P.13-48を参照してください。

1 *アドレス帳のデータをコピー／移動する*

1 アドレス帳を選び、◎（メニュー）を押す。
2 「登録先変更（コピー）」または「登録先変更（移動）」を選び、◉を押す。
3 ◎（圕）を押したあと、メモリ番号を入力する。
■ 登録先の変更：◎（押すたびに「▯」⇔「圕」切替）

アドレス帳以外のデータをコピーする

1 データを選び、◎（メニュー）を押す。
2 「登録先変更（コピー）」、「本体へコピー」、「メモリカードへコピー」のいずれかを選び、◉を押す。

アドレス帳以外のデータを移動する

1 データを選び、◎（メニュー）を押す。
2 「登録先変更（移動）」、「本体へ移動」、「メモリカードへ移動」のいずれかを選び、◉を押す。

データをまとめて転送する

●ご利用の前に、データ転送時のご注意（☞P.12-9）をご確認ください。

メモリカードに一括転送する

メニュー ▶ メモリカード ▶ データ一括転送

1 「❶メモリカードへ保存」を選び、◉を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。

●通常はオフラインモードにする（「❷NO」を選ぶ）ことをおすすめします。

●すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」に設定しているときは、操作3へ進みます。

2 「❷NO」を選び、◉を押す。

■ オフラインモードにせずにデータを一括転送する：「❶YES」選択➡◉

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

4 データの種類を選び、◉を押す。

■「全て」、「アドレス帳」選択時：「❶YES」／「❷NO」選択➡◉

5 「❶YES」を選び、◉を押す。

SDメモリカードへの一括転送が完了すると、データ一括転送の画面に戻ります。

●他の種類のデータを一括転送するときは、操作１～５をくり返します。

■ 一括転送の取消：◎（キャンセル）

注意
●すでに同じファイル名のデータがあるときは、転送できないことやファイル名が変わることがあります。
●暗号化（☞P.12-11）してSDメモリカードに一括転送したアドレス帳、メール、スケジュールは、お客様のV603SHだけで利用できます。

メモリカードから読み込む

●SDメモリカードからデータを読み込むと、V603SH内のデータは消去されます。

メニュー ▶ メモリカード ▶ データ一括転送

1 「❷カードから読込み」を選び、◉を押す。

オフラインモードの設定画面が表示されます。

●通常はオフラインモードにする（「❷NO」を選ぶ）ことをおすすめします。

●すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」に設定しているときは、操作3へ進みます。

2 「❷NO」を選び、◉を押す。

■ オフラインモードにせずにデータを読み込む：「❶YES」選択➡◉

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

4 データの種類を選び、◉を押す。

●選択できないデータの種類は、転送できません。

●アドレス帳、スケジュール、テキストメモ、メール、ブックマーク以外のデータを選択したときは、このあと操作６へ進みます。

5 ファイルを選び、◉を押す。

●ファイルが複数あるときは、ファイル名の転送日を確認して選んでください。

例：2005年３月15日に一括転送したときのファイル名
「050315XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）

■ SDメモリカードに一括転送したファイルの消去：ファイル選択➡◎（消去）➡「❶YES」選択➡◉

6 「❶YES」を選び、◉を押す。

7 「❶実行」を選び、◉を押す。

読み込みが開始されます。読み込みが完了すると、データ一括転送の画面に戻ります。

●他の種類のデータを読み込むときは、操作１～７をくり返します。

■ 読み込みの取消：◎（キャンセル）

暗号化を設定する

V603SH内のデータをSDメモリカードにまとめて転送するときに、暗号化して保存するかどうかを設定します。暗号化してSDメモリカードに保存されたデータが正しく表示できるのは、お客様のV603SHだけです。

●暗号化は、アドレス帳、メール、スケジュール、それぞれ個別に設定できます。

●お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ メモリカード ▶ データ一括転送 ▶ 暗号化設定

1 データの種類を選び、◉を押す。

2 「❶ON」を選び、◉を押す。

■ 暗号化しない：「❷OFF」選択➡◉

●他のデータを暗号化するときは、操作１～２をくり返します。

その他のメモリカード関連機能

メモリ使用状況の確認　SDメモリカード内のメモリの使用状況を確認します。

メニュー ▶ メモリカード

「❶メモリカードメモリ確認」選択➡◉

SDメモリカードのメモリは、お客様が直接ご利用になれる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。
例：64MバイトのSDメモリカード
ユーザー領域は、約60.6Mバイトになります。メモリカードメモリ確認の「カード容量」で表示される数値は、ユーザー領域のメモリ容量です。

SDローカルコンテンツ

HTMLファイルを表示して、SDメモリカード内のファイルやインターネットにアクセスします。

■SDメモリカードにHTMLファイルがないときは、利用できません。
■あらかじめウェブを「ON」に設定しておいてください。（☞ P.1-6）

メニュー ▶ メモリカード ➡ SDローカルコンテンツ

タイトル選択➡◉

- パソコンでSDメモリカードを確認したとき、ローカルコンテンツは「PRIVATE/SDJPHONE/SDコンテンツ」フォルダに保存されています。
- auto runファイルを削除したときは、「**SDローカルコンテンツ**」を利用してHTMLファイルを表示します。

カード手動シンクロ

他の機器で利用したSDメモリカードをV603SHで利用するため、SDメモリカード内の情報を更新します。

メニュー ▶ メモリカード ➡ メモリカード設定 ➡ カード手動シンクロ

データ選択➡◉➡「❶実行」選択➡◉

SDメモリカードの情報更新中の中止：◎（**キャンセル**）➡「❶YES」選択➡◉

- 他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データ編集など）したSDメモリカードをV603SHで使用するときは、必ず「**カード手動シンクロ**」を行い、情報を更新してください。

- SDメモリカードに空き容量がないときは、カード手動シンクロができないことがあります。
- SDメモリカード内のファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまでに時間がかかることがあります。

オートラン

auto runファイルで指定されたローカルコンテンツ対応のHTMLファイルを、自動的に表示するようにします。

■SDメモリカードにauto runファイルがないときは、利用できません。

メニュー ▶ メモリカード ➡ オートラン

「❶手動オートラン」選択➡◉

auto runファイルの削除：「❷**オートラン削除**」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「❶実行」選択➡◉

■auto runファイルを削除しても、ローカルコンテンツ対応のHTMLファイルは削除されません。

削除したauto runファイルは、元には戻せません。また、「**オートラン**」機能は利用できなくなります。

データ管理

データフォルダについて

V603SHのメモリ管理方法について

V603SHのメモリには、アドレス帳やメッセージなど、各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。

- V603SHでデータを作成または入手すると、利用した機能やファイル形式によって専用メモリまたはファイルBOXに自動的に振り分けて保存されるようになっています。
- V603SHのファイルBOXには、最大約12Mバイトまで登録できます。

各機能で作成／入手したデータが保存される専用メモリです。機能ごとに登録できる容量（件数など）が決められています。

各機能で作成／入手したデータの形式によって自動的に振り分けて保存されるメモリです。ファイルBOX全体の容量が決められています。

ファイルBOXのメモリ使用状況の確認

■ 次の操作を行います。

◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「3表示／設定１」選択➡◉➡「1メモリ確認」選択➡◉➡「3ファイルBOX」選択➡◉

補足 専用メモリ内のデータには、「**vファイル**」として、ファイルBOXのデータフォルダに登録できるものがあります。（☞P.13-38）

データフォルダに登録できるファイル

データフォルダには、ファイルの種類別にいくつかのフォルダがあらかじめ登録されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

- 連写画像を撮影／登録したり、テレビ画面を４枚または９枚設定でキャプチャー（☞P.6-10）すると、連写フォルダが自動的に作成されます。

13 データ管理

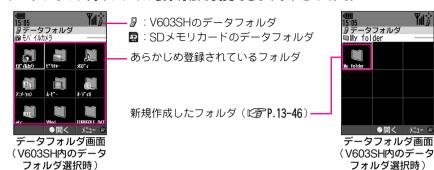
ディスプレイ

データフォルダ画面は、待受画面で次の操作を行うと表示されます。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉

●データフォルダ内のファイル表示方法は変更できます。（☞P.13-5）

データフォルダ画面（V603SH内のデータフォルダ選択時）

データフォルダ画面（V603SH内のデータフォルダ選択時）

各種アイコンについて

■静止画やアニメーションファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
※1	JPEGファイル（.jpg）	JPEG形式の静止画像
※1	PNGファイル（.png）	PNG形式の静止画像
	連写画像（分割画像＋4枚、9枚、25枚のJPEGファイル）（.SRG）	連写モードで撮影した画像
	E-アニメータファイル（NEVAファイル）（.nva）	アニメーション（サウンド付きもあり）
	アニメファイル（JPEGアニメ、PNGアニメ、PNG/JPEGアニメ）※2	アニメーション
	MNGファイル（.mng）	JPEGファイルやPNGファイルを組み合わせた簡易アニメーション

※1 文字が青色のアイコンは［転送可］、文字が赤色のアイコンは［転送不可］

※2 JPEGアニメ、PNGアニメ、PNG/JPEGアニメは、拡張子は表示されません。

■動画ファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
	MPEG-4ファイル（.3gp）	MPEG-4形式のムービー画像
	MPEG-4ファイル（.ASF）	MPEG-4形式のムービー画像
	MPEG-4ファイル（.ASF）	録画したテレビの映像

■サウンドファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
	SMAFファイル（.mmf）	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ（画像付きもあり）［（青）：転送可／（赤）：転送不可］
	メロディファイル（.smd）	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ［（青）：転送可／（赤）：転送不可］
	オリジナル着信音ファイル（.sjm）	自作メロディ
／	ボイスファイル※	お客様が録音した音声［転送可］
	ボイスファイル※	録音したFMの音声［転送不可］
	オーディオファイル（.mp4）	ダウンロードした着うた®［転送不可］

※ ボイスファイルは、拡張子は表示されません。

メモリカード

V603SHでは、V603SHで録音した音楽や撮影した画像や動画などの保存場所として「**SDメモリカード**」を利用できます。また、V603SH内のデータを一括保存したり、作成したデータをSDメモリカード内に直接登録したり、V603SHとSDメモリカード間でデータをコピー／移動することもできます。

●SDメモリカードについて詳しくは、P.12-2を参照してください。

データフォルダの表示方法を設定する

画像一覧／ファイル名一覧を切り替える

ファイル表示画面（☞P.13-7）を画像一覧表示またはファイル名一覧表示に切り替えます。

●ここでの設定は、すべてのフォルダで有効になります。

●お買い上げ時には、「画像一覧表示」に設定されています。

1 **「画像一覧表示」または「ファイル名一覧表示」を選び、◉を押す。**

●これ以降、選んだ方法で表示されます。

ファイルを日付順／名前順に並べ替える

●ここでの設定は、すべてのフォルダで有効になります。

メニュー ➡ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ メニュー（） ➡ 便利機能 ➡ 並べ替え

1 **並べ替え方法を選び、◉を押す。**

フォルダ内のファイル数が181以上あると、並べ替えはできません。また、フォルダ内のファイル数が多いときに並べ替えを行うと、フォルダ内のファイル表示に時間がかかることがあります。

13 データ管理

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

メニュー ▶ データ確認

1 「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

■ SDメモリカード内のデータの確認：✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

2 フォルダを選び、◉を押す。

フォルダ内のファイル（画像一覧またはファイル名一覧）が表示されます。（ファイル表示画面：☞P.13-7）

- フォルダ内のファイルは、日時順や名前順に並べ替えて表示することもできます。（☞P.13-5）

■ フォルダの選びかた：☞P.13-8

画像一覧表示

3 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生または表示されます。

- オーディオフォルダやピクチャーフォルダ内のファイルを再生／表示しているときは、[＊]を押すと前のファイル、[＃]を押すと次のファイルが再生／表示できます。

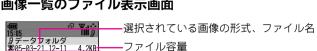
連写画像を確認したとき
分割画像が表示されます。◎を押すと、連写画像内の静止画を1枚ずつ確認できます。
横240×縦320ドットより大きい画像（JPEGファイル）の確認
画面サイズに縮小して表示されます。実際のサイズで表示するときは、✉（メニュー）を押したあと、「**実画像表示**」を選び、◉を押します。

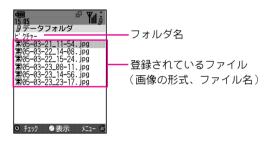
4 データフォルダ画面に戻るときは、[クリア]を押す。

- 赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間で、データフォルダ内のファイルをやりとりできます。（☞P.14-3）
- モーションコントロールカーソル（☞P.1-13）でもフォルダやファイルを選択できます。

ディスプレイ

V603SH内のピクチャーフォルダを選んだときの例です。

■画像一覧のファイル表示画面

選択されている画像の形式、ファイル名
ファイル容量
登録されているファイル
- 画像以外のファイルや、V603SHで表示できない画像はアイコンで表示されます。
- フォルダは「📁」が表示されます。

■ファイル名一覧のファイル表示画面

フォルダを選択する

データフォルダ画面で、目的のフォルダを選び、◉を押します。

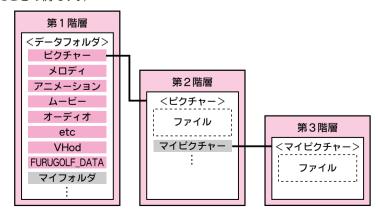
●選んだフォルダ内のファイルやフォルダが表示されます。（第２階層）
さらにフォルダを選び、◉を押すと、下の階層のファイルが表示されます。

●フォルダ内のファイルを選び、◉を押すと、選んだファイルの形式に応じて、表示または再生などが行われます。

データフォルダ画面（第１階層）　フォルダを選ぶ　選んだフォルダ内のファイルやフォルダが表示（第２階層）

フォルダを選ぶ　選んだフォルダ内のファイルが表示（第３階層）

●前の画面（１つ上の階層）に戻るときは、クリアを押します。

●データフォルダでは、新しくフォルダを作ることにより、３階層までの構造でファイルを管理することができます。（下の図は、「**マイフォルダ**」、「**マイピクチャー**」を新規作成したときの例です。）

メモリカードのデータフォルダを利用する

V603SHのデータフォルダとSDメモリカード内のデータフォルダは、メニュー操作で切り替えます。

●現在利用しているデータフォルダの種類は、画面右上のアイコンで確認できます。
（「」：V603SHのデータフォルダ、「」：SDメモリカードのデータフォルダ）

V603SHのデータフォルダを利用中　「メモリカードへ切替」を選ぶ　SDメモリカードのデータフォルダが利用可能

●V603SHのデータフォルダに戻すときは、「**本体へ切替**」を選びます。

データ登録

V603SHで作成したオリジナル着信音やアニメーション、ボーダフォンライブ！で入手したデータやvファイルなどは、データフォルダへの登録時に、登録先を選べます。

●データの登録前に、タイトル（ファイル名）入力画面が表示されることがあります。

●データの登録時には、それぞれのファイル形式に応じたフォルダが最初に表示されることもあります。（下の図は、JPEGファイルを登録するときの例です。）

●登録先に利用できないフォルダは、選択できません。

登録するフォルダを選ぶ　選んだフォルダ内が表示

フォルダ内に同じ名前のファイルがあるときに登録すると、登録するファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00〜99、aa〜zz）が付加されます。

ファイルのメール添付

データフォルダ画面から、各種ファイルを直接スーパーメールに添付して送信します。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

1 ファイルを選び、(メニュー)を押す。

2「メール添付」を選び、●を押す。

- JPEG画像選択時:「1実画像添付」/「3 1/4サイズで添付」選択➡●
- オリジナル着信音選択時:変換形式(P.3-12)選択➡●

3 宛先など他の項目を入力し、スーパーメールを送信する。
(P.3-3)

連写画像内の1枚の画像をスーパーメールに添付する

■次の操作を行います。
●➡「データ確認」選択➡●➡「1データフォルダ」選択➡●➡連写フォルダ選択➡●➡画像選択➡●➡で画像選択➡(メニュー)➡「表示画像のみ添付」選択➡●(以降の操作:P.3-3)

画像を分割してスーパーメールに添付する

■240×320ドットの静止画を4分割して、スーパーメールに添付するときは、次の操作を行います。
●➡「データ確認」選択➡●➡「1データフォルダ」選択➡●➡フォルダ選択➡●➡画像選択➡(メニュー)➡「メール添付」選択➡●➡「2画像分割メール添付」選択➡●➡宛先選択/宛先入力(P.3-3)

■画像分割メールを送信すると、4通分のメール料金がかかります。

プロパティを確認する

メニュー ▶ データ確認

1 データフォルダ画面またはファイル表示画面で、フォルダまたはファイルを選ぶ。

2 (メニュー)を押す。

3「プロパティ」を選び、●を押す。

フォルダやファイルの情報が表示されます。を押すと、情報の隠れている項目を表示できます。

●各項目の内容は、次のとおりです。

項目	内容
ファイル名	ファイル名
タイトル※1	タイトル
ファイル数※2	ファイル数
種類	ファイルの種類
場所	データやファイルの保存場所
合計サイズ	データサイズ(単位:バイト)※3
保存サイズ	V603SHまたはSDメモリカード内で実際に使用しているデータサイズ
作成日時	作成された年日時
コピー転送	メール添付やデータ加工、データフォルダ内でのコピー可/不可※4
保存	データフォルダへの保存可/不可※4
外部転送	SDメモリカードへのコピーや移動の可/不可※4
設定※5	壁紙登録やマイキャラクタ登録の可/不可
フォルダ保護※6	あり/なし
データフォルダ保護	あり/なし
着信音設定※1	あり/なし※4
効果音設定※1	あり/なし※4
グループ着信設定※1	あり/なし※4
デジタルカメラ登録※5	デジタルカメラフォルダへのコピー可/不可
幅※7	画像の横幅(ドット)
高さ※7	画像の縦幅(ドット)

※1 メロディファイルで表示されます。
※2 複数選択されているとき(P.13-47)に表示されます。
※3 複数選択されているとき(P.13-47)は、合計のデータサイズが表示されます。
※4 複数選択されているファイルの内、1つでも該当するときは「不可」または「あり」と表示されます。
※5 JPEG画像で表示されます。
※6 フォルダで表示されます。
※7 JPEG/PNG/MTN/MNG/EVA画像で表示されます。
サイズが40Kバイトを超えるファイルは、空欄となります。

アニメーションの作成

簡単アニメを作成する

最大４枚までの画像と表示するスピードを設定することで、簡単なアニメーションとして楽しめます。

- ●モバイルカメラで撮影した画像、ボーダフォンライブで入手した画像など、PNG形式とJPEG形式のファイルが利用できます。
- ●データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.13-47）してから、作成してください。
- ●指定した画像によっては、元の画像と画質が変わることがあります。

簡単アニメを新規作成する

1 タイトルを入力し、◉を押す。

- ●全角12文字（半角24文字）以内で必ず入力してください。
- ●入力したタイトルは、自動的にファイル名としても登録されます。ファイル名は変更できます。（☞P.13-46）

2 速さを選び、◉を押す。

ここで指定した速さで、番号順に画像が切り替わります。

3 指定先の番号を選び、◉を押す。

4 データフォルダから画像を選び、◉を押す。

- ■ データフォルダの操作：☞P.13-6
- ■ ４枚連写画像の利用：クリア➡ 連写フォルダ選択 ➡◉➡ 連写画像選択 ➡◉➡「1 ４枚をアニメ」選択➡◉
- ■ 連写画像内の１枚の画像の利用：クリア➡ 連写フォルダ選択 ➡◉➡ 連写画像選択➡◉➡「2 １枚を選択」選択➡◉➡画質／画像サイズ選択➡◉➡◎で画像選択➡操作６へ
  - ■画像の変更：◎（変更）
  - ■表示順の変更：◎（戻る）➡操作３からやり直す

5 画質／画像サイズを選び、◉を押す。

- ●横120×縦160ドット以下の画像は、「240×320」には設定できません。
- ■ 画像の変更：◎（変更）➡操作４からやり直す

6 ◉を押す。

画像が指定されます。

- ■ 簡単アニメの再生：◎（メニュー）➡「1再生」選択➡◉
  - ■簡単アニメ作成に戻る：上記操作のあと◎（戻る）
- ■ 画像の変更：画像選択➡◎（メニュー）➡「2画像変更」選択➡◉➡操作４からやり直す
- ■ 画像の圧縮／縮小：画像選択➡◎（メニュー）➡「3圧縮・縮小処理」選択➡◉➡「1圧縮」／「2縮小」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
  - ■画像によっては、圧縮／縮小できないことがあります。
- ■ 画像の消去：画像選択➡◎（メニュー）➡「4消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

7 操作３～６をくり返し、画像を指定する。

- ●最大４枚まで指定できます。（指定する画像の種類やデータサイズによっては、４枚まで設定できないことがあります。）

8 画像の指定が終われば、◎（完了）を押す。

- ■ タイトル、速さ、画像の修正：「2修正」選択➡◉➡下記操作２以降

9 「1登録」を選び、◉を押す。

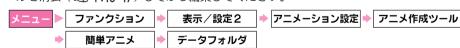
10 ◉を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

- ●別のフォルダを選んで登録したり、SDメモリカードに登録することもできます。

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるときは、ファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

簡単アニメを編集する

- ●データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.13-47）してから編集してください。

1 簡単アニメを選び、◉を押す。

2 タイトルを修正し、◉を押す。

3 速さを選び、◉を押す。

- ■ 画像の追加：番号選択➡◉➡画像選択➡◉➡画質／画像サイズ選択➡◉➡◉
- ■ 画像の変更：番号選択➡◎（メニュー）➡「2画像変更」選択➡◉➡画像選択➡◉➡画質／画像サイズ選択➡◉➡◉
- ■ 画像の消去：番号選択➡◎（メニュー）➡「4消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

4 編集が終われば、◎（完了）を押す。

5「1登録」を選び、◉を押す。

登録先の選択画面が表示されます。このあと、操作７へ進みます。
- タイトルを修正していないときは、新規登録するか上書登録するかの確認画面が表示されます。

6「1新規登録」を選び、◉を押す。

上書き登録する：「2上書登録」選択➡◉（操作完了）

7 ◉を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。
- 別のフォルダを選んで登録したり、SDメモリカードに登録することもできます。

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるときは、ファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

アニメーションの保存形式を変換する

JPEGアニメ、PNGアニメを、「**MNGファイル**」に変換します。
- JPEGアニメ、PNGアニメをパソコンなどへ送信するときに変換します。
- MNGファイルに変換すると、画質が変わることがあります。
- MNG変換できないアニメーションでは、操作できません。

1 ◉を押す。

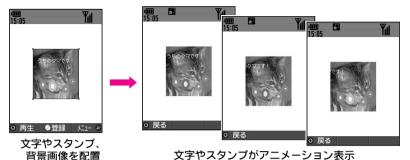
新しいアニメーションとして登録されます。

- JPEGアニメをMNGファイルに変換したファイルは、シャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外では展開できません。シャープ製以外のボーダフォンライブ！パケット対応機に添付送信するときは、PNGアニメからMNG変換したものをご使用ください。
- アニメーションサイズや内容によっては、MNG変換できないことがあります。

13 データ管理

E-アニメータを作成する

内蔵のアニメーション用図形（スタンプ）や文字を組み合わせてアニメーションを作成します。背景画像やBGMも設定できます。

文字やスタンプ、背景画像を配置　　文字やスタンプがアニメーション表示

- E-アニメータは、「**E-アニメータ**」（.nva）形式で登録されます。

E-アニメータ形式（.nva）のファイルは、シャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外では、展開できません。（J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機でも展開できますが、正しく表示／鳴動しないことがあります。）

E-アニメータの文字／スタンプ入力方法

実際にE-アニメータを作成する前に、E-アニメータの文字の入力方法、スタンプの入力方法を覚えておきましょう。

■文字またはスタンプの選択方法

「**スタンプ・文字設定画面**」で、「**1文字入力**」または「**2スタンプ選択**」を選びます。
- 文字／スタンプは、それぞれ最大３個または最大29Kバイトまで入力できます。

１つのE-アニメータに入力可能な文字数およびスタンプ数は、アニメーションの複雑さによって異なります。非常に複雑なアニメーションには、スタンプが１つしか入力できないこともあります。

■文字の入力方法

1 文字を入力する

文字を入力し、◉を押します。
- 入力した文字と、文字の四隅に、選択されていることを示す「□」が表示されます。
- １回あたり最大全角75文字（半角150文字）まで入力できます。

複数の文字やスタンプが入力されているときは、文字を押すたびに四隅の「□」が移動し、移動や消去などを行う対象を選ぶことができます。

13 データ管理

2 文字の位置を移動する

◎で文字の位置を指定し、◉を押します。

- ボタンを押したときの移動幅の設定：Ⓟ（メニュー）➡「✖移動幅設定」選択➡◉➡移動幅（01〜20ポイント）入力➡◉
  - ■移動幅はスタンプ／文字で連動するため、どちらかで移動幅を変更すると、スタンプ／文字両方に設定が反映されます。
- 文字の消去：Ⓟ（メニュー）➡「2消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

3 文字の色を設定する

Ⓟ（メニュー）を押したあと、「4文字色設定」を選び、◉を押します。

●◎で色を選び、◉を押します。

4 文字の動作を設定する

Ⓟ（メニュー）を押したあと、「5文字動作設定」を選び、◉を押します。

●動作を選び、◉を押します。

5 文字を確定する

◉を押して、文字の位置や色、動作設定を登録します。

●続けて、他の文字やスタンプを入力することができます。

- 文字／スタンプの順番変更：文字／スタンプ選択➡Ⓟ（メニュー）➡「3移動」選択➡◉➡◎で文字／スタンプ移動➡◉
- 入力済の文字変更：文字選択➡Ⓟ（メニュー）➡「4変更」選択➡◉➡文字入力（修正）➡◉➡◉

■スタンプの入力方法

1 スタンプの分類を選ぶ

「1固定パターン」（あらかじめ登録されているスタンプ）または「2データフォルダ」（ボーダフォンライブ！などで入手したスタンプ）を選び、◉を押します。

●「2データフォルダ」を選んだときは、V603SH のデータフォルダのアニメーションフォルダが表示されます。

2 スタンプを選ぶ

入力するスタンプを選び、◉を押します。

●選んだスタンプが画面中央に表示されます。

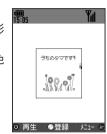
●スタンプの四隅には、選択されていることを示す「□」が表示されます。

補足：複数のスタンプや文字が入力されているときは、[文字]を押すたびに四隅の「□」が移動し、変形や消去などを行う対象を選ぶことができます。

3 スタンプを変形する

下記のボタンで拡大／縮小を選んだあと◉を押し、スタンプを変形します。

●拡大／縮小できる状態になると、スタンプの四隅の「□」が赤色に変わります。

拡大縮小	3	拡大します。
	7	縮小します。
	2	縦方向へ拡大します。
	6	横方向へ拡大します。
	8	縦方向へ縮小します。
	4	横方向へ縮小します。

●上記の各操作は、Ⓟ（メニュー）を押して、メニュー画面から選ぶこともできます。

- スタンプの反転：スタンプ選択➡Ⓟ（メニュー）➡「7上下反転」／「8左右反転」選択➡◉
- スタンプの消去：Ⓟ（メニュー）➡「2消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

補足：スタンプによっては、変形などができなかったり、制限があるものもあります。

4 スタンプの位置を移動する

◎でスタンプの位置を指定し、◉を押します。

●文字と同様に、ボタンを押したときの移動幅も設定できます。（☞P.13-16）

5 スタンプを確定する

◉を押して、スタンプの位置や形を登録します。

- スタンプ／文字の順番変更：スタンプ／文字選択➡Ⓟ（メニュー）➡「3移動」選択➡◉➡◎でスタンプ／文字移動➡◉
- 入力済のスタンプ変更：スタンプ選択➡Ⓟ（メニュー）➡「4変更」選択➡◉➡スタンプ選択➡◉

E-アニメータを新規作成する

●データフォルダのメモリが一杯のときは、E- アニメータを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.13-47）してから、作成してください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ アニメ作成ツール

1 **「2E-アニメータ」を選び、◉を押す。**
一時保存（☞P.13-19）しているE-アニメータがあるときは、「1YES」を選び、◉を押すと、一時保存しているE-アニメータのタイトル修正画面が表示されます。

2 **タイトルを入力し、◉を押す。**
●全角12文字（半角24文字）以内で必ず入力してください。

3 **ステージサイズ（アニメーションの大きさ）を選び、◉を押す。**

4 ***背景に画像を表示する***

1「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

2 画像を選び、◉を押す。

3 ◉を押す。

注意　画像によっては、背景に設定できないことや、文字やスタンプが入力できないことがあります。

背景に画像を表示しない

1「2背景なし」を選び、◉を押す。

5 **番号を選び、◉を押す。**
●ここで指定した番号順に、文字やスタンプが重なって表示されます。

6 ***文字を入力する***

1「1文字入力」を選び、◉を押す。

2 文字を入力する。
■ 文字の入力方法：☞P.13-15

スタンプを入力する

1「2スタンプ選択」を選び、◉を押す。

2 スタンプを入力する。
■ スタンプの入力方法：☞P.13-16

補足　スタンプの内容によっては、他のスタンプや文字、背景が表示されないことがあります。このときは、スタンプを変形、移動したり、文字の順番を変更（☞P.13-16）すると、表示されるようになります。

7 **操作５～６をくり返し、文字やスタンプを入力する。**
■ E-アニメータの再生：◎（メニュー）➡「1一括再生」選択➡◉
　■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎
■ 背景の設定：◎（メニュー）➡「6背景設定」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
■ BGMの設定：◎（メニュー）➡「7BGM設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉
　➡メロディ選択➡◉

8 **文字やスタンプの入力が終われば、◎（完了）を押す。**
●このあと「3修正」を選び、◉を押すと、内容の修正ができます。（☞P.13-19～P.13-20）

E-アニメータは登録すると、あとで編集できなくなります。作成中に一旦保存したあとで編集するときは、「一時保存」しておくと便利です。一時保存できるのは１件です。

9 **「1登録」または「2一時保存」を選び、◉を押す。**
■「2一時保存」選択時：◉（操作完了）

10 **「1YES」を選び、◉を押す。**
■ 取消：「2NO」選択➡◉➡操作９からやり直す

11 **◉を押す。**
データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。
●別のフォルダを選んで登録したり、SDメモリカードに登録することもできます。

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるときは、ファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

一時保存したE-アニメータを編集する

●一時保存データがないときは、新規作成してください。（☞P.13-18）
●データフォルダのメモリが一杯のときは、E- アニメータを登録できません。不要なファイルを消去（☞P.13-47）してから、編集してください。
●登録したE-アニメータは、編集できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ アニメーション設定 ➡ アニメ作成ツール

1 **「2E-アニメータ」を選び、◉を押す。**
一時保存データを編集するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1YES」を選び、◉を押す。**

一時保存データを利用しないときは、「2NO」を選び、◉を押します。このあと、新規作成のタイトル入力画面が表示されます。（以降の操作：☞P.13-18操作２以降）

3 **タイトルを修正し、◉を押す。**

4 **背景を設定し、◉を押す。**

5 **文字やスタンプを選んだあと、◉を押し、内容を修正する。**

■ 文字／スタンプの入力方法：☞P.13-15～P.13-17

■ 背景の変更：◎（**メニュー**）➡「**6背景設定**」選択➡◉➡◎（**変更**）➡画像選択➡◉➡◉

■ BGMの設定：◎（**メニュー**）➡「**7BGM設定**」選択➡◉➡「**1ON**」選択➡◉➡メロディ選択➡◉

6 **編集が終われば、◎（完了）を押す。**

■ タイトル、背景設定、文字やスタンプ設定の修正：「**3修正**」選択➡◉➡操作3からやり直す

7 **「1登録」または「2一時保存」を選び、◉を押す。**

■「**2一時保存**」選択時：◉（操作完了）

8 **「1YES」を選び、◉を押す。**

9 **◉を押す。**

データフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

- 別のフォルダを選んで登録したり、SDメモリカードに登録することもできます。

補足 フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるときは、ファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

アニメーションを確認する

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 **アニメーションを登録しているフォルダを選び、◉を押す。**

■ SDメモリカード内のアニメーションの確認：◎（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

2 **アニメーションを選び、◉を押す。**

選んだアニメーションが再生されます。

■ 再生の停止：◎（**戻る**）

■ アニメーションファイルの利用：☞P.13-21

画像／アニメーションの利用

- 画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

画像の表示を切り替える

データフォルダ内の画像やアニメーション、画像付きSMAFファイルを表示中に[スタジオ]を押すと、画像の表示サイズ（「**等倍（アイコンあり）**」、「**等倍（アイコンなし）**」、「**拡大（アイコンあり）**」、「**拡大（アイコンなし）**」）が切り替わります。

- ファイル形式やデータの内容によっては、表示サイズを切り替えられないことや、切り替えられる種類が異なることがあります。また、表示を「**拡大**」にしたとき、画像のすべてを表示できないことがあります。
- 等倍時には「[等倍]」、拡大時には「[拡大]」が画面上部に表示されます。

メニュー画面からアイコンの表示／非表示を切り替える

■ 次の操作を行います。

◉➡「**データ確認**」選択➡◉➡「**1データフォルダ**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡ファイル選択➡◉➡◎（**メニュー**）➡「**マーク表示ON**」／「**マーク表示OFF**」選択➡◉

- 「**マーク表示ON**」または「**マーク表示OFF**」のメニューが表示されるファイルで、操作できます。

画像／アニメーションを壁紙に登録する

- 「**壁紙登録**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（◎）

1 **「壁紙登録」を選び、◉を押す。**

■ 以降の操作：☞P.8-2「**オリジナル画像を利用する**」操作4～5

▪ 選んだ画像のサイズによっては、表示方法は選択できません。このときは、操作5を行ってください。

画像／アニメーションをマイキャラクタに登録する

- 「**マイキャラクタ登録**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（◎）

1 **「マイキャラクタ登録」を選び、◉を押す。**

2 **表示場面を選び、◉を押す。**

■ 以降の操作：☞P.8-5操作4以降

連写画像を個別の画像として登録する

写メールモードで撮影した連写画像（複数の画像＋分割画像）を、個別の画像として登録します。また連写画像（「▦」表示）内の指定した画像だけを、個別の画像として登録できます。

- 個別の画像は、新しい画像（JPEGファイル）としてデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。（元の連写画像はそのまま残っています。）

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ 連写 ▶ 連写画像を選ぶ

1 ***連写画像内のすべての画像を登録する***

1 （メニュー）を押す。

2「全画像個別登録」を選び、◉を押す。

連写画像内の１枚の画像を登録する

1 で画像を選び、（メニュー）を押す。

- 分割画像も登録できます。

2「表示画像のみ登録」を選び、◉を押す。

フォルダ内の画像を連続して表示する

ピクチャーフォルダ／デジタルカメラフォルダ内の画像を連続表示します。

- 連続表示のスピード時間を変更したり、次の画像へ切り替わるときに、上下左右のいずれかから徐々に表示（ワイプ）するように設定することもできます。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

1 **連続表示を始める画像を選び、（メニュー）を押す。**

2 **「連続表示設定」を選び、◉を押す。**

3 **「連続表示」を選び、◉を押す。**

選択している画像から、連続表示が開始されます。

■ 連続表示の停止：◉

▪ 連続表示の再開：上記操作のあと◉

■ 次の画像へ早送り：連続表示中に（次へ）

連続表示のスピード設定

■ お買い上げ時には、「普通」に設定されています。次の操作で変更できます。
上記操作２のあと「スピード設定」選択➡◉➡速さ選択➡◉

連続表示のワイプ設定

■ お買い上げ時には、「OFF」（しない）に設定されています。次の操作で変更できます。
上記操作２のあと「ワイプ設定」選択➡◉➡「2ワイプ↓」～「6ミックスワイプ」選択➡◉

13 データ管理

画像の編集

データフォルダの画像（静止画）に対して、画像編集を行えます。画像編集の各操作は、編集する画像を表示し（☞P.13-6操作１～３）、次の操作を行ったあとの画面（画像編集のメニュー画面）から操作します。

（メニュー）➡「画像編集」選択➡◉

- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

メニュー画面

画像編集のメニュー画面

- メニュー項目はダイヤルボタンでも指定できます。
- P.13-23～P.13-30では、編集完了までの操作を説明しています。編集した画像の保存方法については、下記を参照してください。

編集後の画像保存

■ 画像編集の各項目で、◉または（決定）を押すと、画像編集のメニュー画面に戻ります。このとき、編集した画像はまだ保存されていません。編集した画像を保存するときは、次の操作を行います。
（保存）➡タイトル入力（最大全角12文字、半角24文字まで）➡◉➡◉

▪ 登録中止：（取消）
▪ 登録先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉
▪ SDメモリカードへ保存：（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

画像サイズを変更する

データフォルダに登録されている画像を、壁紙用やメール添付用などのサイズに変更します。

- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。（画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。）
- 画像サイズが大きいと、画像を表示できないことがあります。
- 「サイズ修正」が選択できない画像は、利用できません。

13 データ管理

固定サイズに変更する

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉） ➡ 画像編集 ➡ サイズ修正

1 「1壁紙用」～「5アラーム時表示用」のいずれかを選び、●を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。

壁紙用	横240×縦320ドット
写メール用	横120×縦160ドット
パワー ON/OFF用	横120×縦130ドット
着信時表示用	横120×縦38ドット
アラーム時表示用	横120×縦51ドット

■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア

2 *画像の表示範囲を指定する*

1 ✣で表示範囲を指定する。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。

画像を拡大縮小する

1 ⓞ（リサイズ）を押す。

画面下部左に「移動」が表示されます。

2 ⓞ（拡大）またはⓞ（縮小）でサイズを変更し、●を押す。

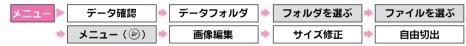
■ 画像をなめらかにする：✉（soft）

3 ●を押す。

4 ✉（保存）を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.13-23）

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

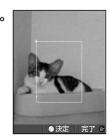
サイズを自由に変更する

1 ✣で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、●を押す。

2 ✣で「＋」を切り出す部分の右下に移動する。

■ 指定のやり直し：ⓞ（戻る）➡操作１からやり直す

3 ✉（完了）を押す。

■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア

■ 以降の操作：上記「固定サイズに変更する」操作２以降

画像に文字を入力する

1 「テキスト貼付」を選び、●を押す。

●「テキスト貼付」が選択できない画像は、利用できません。

■ 文字色の設定：ⓞ（文字色）➡文字色選択➡●

■ 文字を縁取らない：ⓞ（文字色）➡「0縁どり設定」選択➡●➡「2OFF」選択➡●

2 「1フリーワード」を選び、●を押す。

■ 日付の入力：「2日付」選択➡●➡操作４へ

3 文字を入力し、●を押す。

●最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

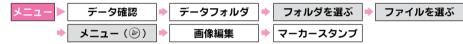
●バーコードの読み取りを利用して、文字を入力することはできません。

■ 文字入力のやり直し：ⓞ（戻る）➡操作２からやり直す

4 ✣で文字や日付の位置を指定し、●を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.13-23）

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

画像にマーカーを入力する

1 マーカーの種類を選び、●を押す。

■ 文字色の変更：ⓞ（文字色）➡文字色選択➡●

■ 文字を縁取らない：ⓞ（文字色）➡「0縁どり設定」選択➡●➡「2OFF」選択➡●

2 ✣でマーカーを付ける位置を指定し、●を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.13-23）

■ マーカーの変更：ⓞ（戻る）➡マーカー種類選択➡●

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変えることができます。

- 画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。連写画像も装飾できます。
- 装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分を抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）

1 「エフェクト」を選び、◉を押す。

●「エフェクト」が選択できない画像は、利用できません。

写メールモードで撮影した連写画像を装飾すると、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の1枚の画像だけを装飾するときは、◎で個別の画像を表示してから操作してください。

2 装飾の種類を選び、◉を押す。

●次の装飾が行えます。

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光る部分を十字に輝かせる効果を表現
シャボン玉	背景にシャボン玉を飛ばすような効果を表現
万華鏡	万華鏡のような効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
線検出	線で描いた絵のような効果を表現
アルミ缶	アルミ缶の側面に貼り付けた効果を表現
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

3 ◉を押す。

このあと、編集した画像を保存します。（☞P.13-23）

■ 編集のやり直し：0（**元に戻す**）

画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わります。装飾された画像が登録できないことや、メール送信できないことがあります。

顔写真を加工する

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。（フェイスアレンジ）

- フェイスアレンジに利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。
- フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工するため、正面を向き顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。また、次のときは、うまく加工できないことがあります。
  - ■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など
- 画像に応じて、顔パーツの位置や大きさを調整できます。（☞下記）
- 「フェイスアレンジ」が選択できない画像は、利用できません。

1 アレンジの種類を選び、◉を押す。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔	ほっそり	細くなった顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔	くしゃ顔	上下に圧縮された顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔	色黒	色黒になった顔
怒る	目、口が怒っている顔	色白	色白になった顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔	カチン	怒りマークを合成

■ 顔パーツの位置や大きさの確認：◎（**顔抽出**）
　■アレンジ画像に戻る：上記操作のあと◎（**戻る**）
■ アレンジのやり直し：◎（**戻る**）

2 ◉を押す。

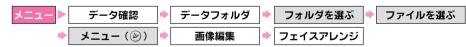
このあと、編集した画像を保存します。（☞P.13-23）

■ 編集のやり直し：0（**元に戻す**）

フェイスアレンジを行った画像をスーパーメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

あらかじめ設定されている顔パーツの位置が、加工する画像の顔とずれているときに、位置や大きさを調整します。

●顔パーツは画像ごとに調整して登録します。

1 ◎（顔抽出）を押す。

現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 ◎（修正）を押す。

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

で顔の輪郭の左上に「＋」を移動　　で顔の輪郭の右下に「＋」を移動　　顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：◎（戻る）

4 右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。

- 画面上部のガイドに従って、操作3と同様に操作します。

右目の位置を指定　　左目の位置を指定　　口の位置を指定

5 指定が終われば、◎（完了）を押す。

確認メッセージが表示されたあと、指定した顔パーツがすべて表示されます。

■ 顔パーツの指定のやり直し：操作2からやり直す

■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：◎（リセット）

6 ◉を押す。

7「1YES」を選び、◉を押す。

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジの画面に戻ります。

- このあと、新規登録した画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工することができます。

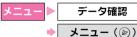
13 データ管理

その他の画像編集

●「フレーム」、「ムービングフォトフレーム」、「回転」、「保存形式」のメニューが表示されるファイルで利用できます。

フレーム

JPEG形式やPNG形式の画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（◎）➡ 画像編集 ➡ フレーム

フレーム選択➡◉➡◉

■ フレームの確認：フレーム選択➡◎（表示）

▪ フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと◎（戻る）

■ 編集後の画像の保存：☞P.13-23

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

ムービングフォトフレーム

JPEG形式やPNG形式の画像に、動くフレームを付け、アニメーション風に仕上げます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（◎）➡ 画像編集 ➡ ムービングフォトフレーム

フレーム選択➡◉➡◉

■ ムービングフォトフレームの確認：フレーム選択➡◎（再生）

▪ ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：上記操作のあと◎（戻る）

■ 編集後の画像の保存：☞P.13-23

■ 編集のやり直し：0（元に戻す）

- 作成したアニメーションは、「E-アニメータ」（.nva）形式で登録されます。

ムービングフォトフレームを付けたファイルは、シャープ製ボーダフォンライブ！パケット対応機以外では展開できません。（J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機でも展開はできますが、正しく表示されないことがあります。）

ムービングフォトフレームのサイズには、横120×縦130ドットと横240×縦260ドットの2種類があります。元の画像サイズによって、次のサイズのムービングフォトフレームが自動的に付きます。

▪ **横120×縦130ドット以下のとき**
横120×縦130ドットのムービングフォトフレームが付きます。

▪ **横120×縦130ドットより大きいとき**
横240×縦260ドットのムービングフォトフレームが付きます。

▪ **横240×縦260ドットより大きいとき**
画像の中心に、横240×縦260ドットのムービングフォトフレームが付きます。

うまく加工できないときは、フレームの種類に応じて画像のサイズを変更したり、お好みのサイズに切り出してご利用ください。（☞P.13-24）

13 データ管理

画像回転 画像の向きを回転させることができます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉） ➡ 画像編集 ➡ 回転

回転の種類選択➡◉※➡◉

※✉（回転）を押すたびに、画像が90度ずつ回転します。

- 編集後の画像の保存：☞P.13-23
- 編集のやり直し：0（元に戻す）

保存形式／保存サイズの変更 画像の形式をJPEG形式（「」表示）やPNG形式（「」表示）に変更したり、画像のファイルサイズを変更します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉） ➡ 画像編集 ➡ 保存形式

保存形式の変更

「1形式」選択➡◉➡ファイル形式選択➡◉➡◎（完了）

- 編集後の画像の保存：☞P.13-23

保存サイズの変更

「2サイズ」選択➡◉➡ファイルサイズ選択➡◉➡◎（完了）

- 編集後の画像の保存：☞P.13-23

注意 保存形式やファイルサイズを変更すると、画質が変わることがあります。

画像の合成

画像合成編集の各操作は、合成する画像を表示し（☞P.13-6操作１～３）、次の操作を行ったあとの画面（画像合成のメニュー画面）から操作します。

✉（メニュー）➡「画像合成」選択➡◉

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、 表示されるメニューが異なることがあります。

メニュー画面　画像合成のメニュー画面

分割画像を作成する

最大４枚の画像を縮小し、１枚の画像内に配置して分割画像を作成することができます。

●分割画像で利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。連写画像も利用できます。
●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。
●指定した番号順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。

分割画像

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 **左上に配置する画像ファイルを選び、◉を押す。**

2 **✉（メニュー）を押す。**

3 **「画像合成」を選び、◉を押す。**

4 **「４分割画像 240×320」または「４分割画像 120×160」を選び、◉を押す。**

5 **番号を選び、◉を押す。**

V603SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

6 画像ファイルを選び、◉を押す。
- 利用できない画像は選択できません。
- 画像の変更：✉（変更）
- 指定する番号から選び直し：◎（戻る）

7 ◉を押す。
分割画像用の画像として指定されます。

8 操作5～7をくり返し、画像を指定する。
- 画像の変更：画像選択 ➡◉（メニュー）➡「2 変更」選択➡◉➡操作6からやり直す
- 画像の消去：画像選択 ➡◉（メニュー）➡「3 消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

9 画像の指定が終われば、✉（完了）を押す。
登録日時のファイル名が自動的に表示されます。
- 登録中止：◎（取消）

10 タイトルを入力し、◉を押す。
- タイトルを変更しないときは、そのまま◉を押してください。
- 登録先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉
- SDメモリカードへ保存：✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

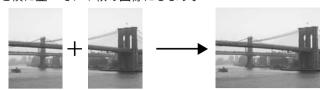
11 ◉を押す。
新しい画像として登録されます。

連写画像内の1枚の画像の利用

■ 操作6で、クリア（画像一覧表示のとき）または◎（ファイル名一覧表示のとき）を押したあと、次の操作を行います。
連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡◎で画像選択➡◉➡操作8へ
- ファイル名のあとに「1/4」～「4/4」などが付加されます。

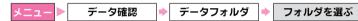
■ 分割画像も指定できます。（ファイル名のあとに「田」が付加されます。）

2枚の画像をパノラマ合成する

2枚の画像を横に並べて、1枚の画像にします。

２枚の画像を選択　　パノラマ合成

画像に応じて次の効果を選べます。

標準	近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらの合成にも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像の合成に適しています。
ドキュメント	説明板などの文字のある画像の合成に適しています。

- パノラマ合成に利用できる画像は、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。
- 2枚の画像サイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成されます。
- 色味が異なる2枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成されないことがあります。

1 1枚目の画像ファイルを選び、◉を押す。

2 ✉（メニュー）を押す。

3「画像合成」を選び、◉を押す。

4「パノラマ合成」を選び、◉を押す。
選んだ画像は左側の画面に表示されます。
- 「パノラマ合成」が選択できない画像は、利用できません。

5「2----------------------」を選び、◉を押す。
V603SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

6 もう1枚の画像ファイルを選び、◉を押す。

7 ◉を押す。

選んだ画像が2枚目の画像として右側の画面に表示されます。
- 画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときは、画像選択画面に戻ります。画像を選び直してください。
- 画像の確認：画像選択➡◉➡「1選択画像表示」選択➡◉
  - パノラマ合成に戻る：上記操作のあと◎（戻る）➡◎
- 画像の変更：画像選択➡◉➡「2変更」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
- 画像の左右入れ替え：◎（入替）

8「効果」を選び、◉を押す。

9「1標準」～「3ドキュメント」のいずれかを選び、◉を押す。

10 画像の指定が終われば、✉（完了）を押す。
合成された画像が表示されます。
●✥を押すと画像が移動し、隠れている部分が表示されます。

11 ◉を押す。
登録日時のファイル名が自動的に表示されます。

12 タイトルを入力し、◉を押す。
●タイトルを変更しないときは、そのまま◉を押してください。
■ 登録中止：◎（取消）
■ 登録先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉
■ SDメモリカードへ保存：✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

13 ◉を押す。
新しい画像として登録されます。

分割画像（画像分割メール）を結合する

画像分割メールに添付されてきた画像の１つを指定することで、４枚の画像を自動的に結合できます。
●受信した画像のファイル名を変更したり、同じファイル名の画像があるときは、正しく結合できないことがあります。
●画像分割メールで送受信した画像を結合すると、画質が変わることがあります。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉） ➡ 画像合成 ➡ 画像分割メール結合

1 ◉を押す。
登録日時のファイル名が自動的に表示されます。

2 タイトルを入力し、◉を押す。
●タイトルを変更しないときは、そのまま◉を押してください。
■ 登録中止：◎（取消）
■ 登録先変更：クリア➡フォルダ選択➡◉
■ SDメモリカードへ保存：✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

3 ◉を押す。
新しい画像として登録されます。

メロディファイルの利用

●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

再生音量を設定する

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ メロディ

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

2「サウンド再生音量変更」を選び、◉を押す。

3 ◌で音量を選び、◉を押す。

着信パターン／効果音に設定する

●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、着信パターンに設定できません。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ メロディ

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

2「着信音設定」または「効果音設定」を選び、◉を押す。
●各項目が選択できないサウンドは、利用できません。

3 着信の種類または効果音の種類を選び、◉を押す。

メロディの編集／音色設定／強弱設定

■ 次の操作を行います。
◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡メロディフォルダ選択➡◉➡メロディ選択➡✉（メニュー）➡「その他の編集機能」選択➡◉
▪ メロディ編集の以降の操作：「データ編集」選択➡◉➡P.9-15操作４以降
▪ 音色設定の以降の操作：「音色設定」選択➡◉➡P.9-13操作10～P.9-14操作13
▪ 強弱設定の以降の操作：「強弱設定」選択➡◉➡P.9-14操作15～18
●メロディファイル（.smd）で、「データ編集」、「音色設定」、「強弱設定」を行うと、オリジナル着信音（.sjm）形式で保存されます。

着うた®の利用

着うた®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

再生する

データフォルダのオーディオフォルダ内に保存されている「着うた®」を再生します。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ オーディオ

1 着うた®を選び、◉を押す。

- 着うた®を着信音に設定する：☞P.13-37
- 再生の停止：◉（押すたびに「停止」⇔「再生」）
- 音量調整：（上げる）／（下げる）
- 前／次曲再生：（前曲再生）／（次曲再生）
- 再生に関する設定：☞P.13-37

注意　スピーカーでの再生時に、曲や再生音量によっては、ひずんだように聞こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。

再生中にできること

再生中の曲を最初から再生する	を押します。 くり返し押すと、前の曲を再生します。
次の曲を再生する	を押します。※1 くり返し押すと、次の曲を再生します。
早送りする	を押し続けます。 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
早戻しする	を押し続けます。 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。
一時停止する	◉を押します。※2 もう一度◉を押すと、再生が再開します。

※1　再生できない曲は、スキップ再生されます。
※2　一時停止中は、早送り（早戻し）や、次（前）曲再生できません。

再生に関する設定

再生設定　曲を再生するときの再生方法を設定します。

■1曲リピートに設定するときは、その曲の表示中（再生中または停止中）に操作してください。

お買い上げ時　1曲リピート

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ オーディオ ▶ ファイルを選ぶ ▶ メニュー（） ▶ 再生設定

再生モード選択➡◉

着信音に設定する

着信音設定　オーディオフォルダ内に保存されている着うた®を着信音に設定します。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ オーディオ

着うた®選択➡（メニュー）➡「着信音設定」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉

vファイルの利用

vファイルのしくみ

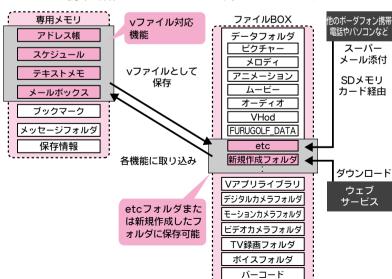
vファイルとは

「**vファイル**」とは、V603SHのアドレス帳やスケジュールなどのデータを、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間でやりとりし、相互で利用できるようにしたファイル形式の総称のことです。
vファイルを利用すると、他のボーダフォン携帯電話やパソコンで作成したアドレス帳やスケジュールなどのデータをV603SHに取り込んだり、V603SHのアドレス帳をパソコンで管理することなどが可能になります。
vファイル対応機能と各ファイル形式は、次のとおりです。

機能	アイコン	ファイル形式	機能	アイコン	ファイル形式
アドレス帳（オーナー情報）	（.vcf）	vCard形式	テキストメモ※1	（.vnt）	vNote形式、Text形式
			メッセージ	（.vmg）	vMessage形式
スケジュール	（.vcs）	vCalendar形式	ブックマーク※2	（.vbm）	vBookmark形式

※1　メモ形式では、「」（.txt）が表示されます。
※2　拡張子「.url」もあります。

vファイルの利用方法

vファイルは、V603SHの専用メモリのデータをデータフォルダに保存すると自動的に作成されます。（V603SHでは、ブックマークのvファイルは作成できません。）
作成されたvファイルは、メールやウェブを利用したり、SDメモリカードを経由して、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間でやりとりできます。

メールを利用するとき

メールを利用するときのvファイルの送信／受信について、簡単に説明します。
操作の詳細については、操作文中の各ページを参照してください。

■メールを利用してvファイルを送信するとき

1 **各機能から、vファイルを作成する。**（☞P.13-40）

2 **データフォルダから添付して、メールを送信する。**（☞P.3-9）
●メールに対応していないボーダフォン携帯電話へは、vファイルは送信できません。

■メールやウェブを利用してvファイルを受信したとき

1 **受信したvファイルを、データフォルダに保存する。**（☞P.4-28）

2 **データフォルダのvファイルを、各機能へ取り込む。**（☞P.13-41）

メモリカードを利用するとき

SDメモリカード内のデータフォルダにvファイルを保存します。このSDメモリカードを他の機器へ直接取り付けると、vファイルが利用できます。また、他の機器でvファイルを保存したSDメモリカードを、V603SHに取り付けて利用することもできます。

ボーダフォン携帯電話とのやりとり

■ vNote形式のテキストメモは、赤外線通信対応のボーダフォン携帯電話で送受信できます。（☞P.14-3）

ボーダフォン携帯電話以外の機器とのやりとり

■ パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応したソフトウェアが必要です。データの内容によっては、V603SHに取り込めないことや、パソコンなどで利用できないことがあります。
■ パソコンやメモリカードドライブの種類によっては、V603SHでフォーマットしたSDメモリカードや、保存したvファイルが読み込めないことがあります。
■ パソコンなどでフォーマットしたSDメモリカードや保存したvファイルは、V603SHで読み込めないことがあります。

SDメモリカードに保存したブックマークは、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどでは利用できません。また、SDメモリカードに保存したvファイルは、内容によって、他の機器では利用できないことがあります。

vファイルを作成（保存）する

vファイルは、アドレス帳などvファイル対応機能のデータを、データフォルダに保存することにより作成します。

1 ***アドレス帳から作成する***

❶アドレス帳を呼び出す。（☞P.5-14）

●オーナー情報から作成するときは、オーナー情報画面を表示します。（☞P.2-22）

❷◉を押す。

注意

アドレス帳に指定着信音、メールコール、メールフォルダが登録されているときは、削除して保存されます。また、ピクチャーコール／メールが登録されているアドレス帳は、画像のサイズによっては、削除して保存されます。

スケジュールから作成する

❶スケジュールの一覧画面を表示する。（☞P.16-19）

❷スケジュールを選び、ⓜ（メニュー）を押す。

テキストメモから作成する

❶テキストメモの一覧画面を表示する。（☞P.4-18）

❷テキストメモを選び、ⓜ（メニュー）を押す。

メールから作成する

❶メールのリスト画面を表示する。（☞ⓞP.4-2操作1～2）

❷メールを選び、ⓜ（メニュー）を押す。

●スカイメロディのvファイルは、作成できません。

2「データフォルダに保存」を選び、◉を押す。

3 タイトルを入力し、◉を押す。

V603SHのetcフォルダのファイル表示画面が表示されます。

●新規作成したフォルダにも登録できます。

■ SDメモリカード内のデータフォルダに保存：ⓜ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉➡☞P.13-48操作4以降

4 ◉を押す。

vファイルを各機能に取り込む

受信したvファイルは、データフォルダに保存（☞ⓞP.4-28）したあと、各機能に取り込むことで利用できるようになります。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ

1 vファイルを選び、ⓜ（メニュー）を押す。

2 ***アドレス帳を取り込む***

❶「アドレス帳へ登録」を選び、◉を押す。

❷メモリ番号を入力して登録する。（☞P.5-5）

スケジュールを取り込む

❶「スケジュールへ登録」を選び、◉を押す。

❷「❶YES」を選び、◉を押す。

テキストメモを取り込む

❶「テキストメモへ登録」を選び、◉を押す。

❷「❶YES」を選び、◉を押す。

メールを取り込む

❶「メールボックスへ登録」を選び、◉を押す。

●V603SHの受信メールボックス、送信メールボックス、送信トレイのいずれかに、自動的に登録されます。

ブックマークを取り込む

❶「ブックマークへ登録」を選び、◉を押す。

❷「❶本体」または「❷メモリカード」を選び、◉を押す。

SVGファイルの利用

V603SHでは、ベクトルグラフィックスフォーマット「SVG-T」（Scalable Vector Graphics-Tiny）のファイルに対応しています。それにより、SVGファイルの表やグラフ、地図などの画像が閲覧できます。

●「SVG-T」の詳細な情報については「http://www.sharp.co.jp/j/」でご案内しています。

●SVGファイルの表示中にⓖ（ガイド）を押すと、利用できるボタン操作が表示されます。

上下左右スクロール	ⓒ
ページスクロール	2（上）／4（左）／6（右）／8（下）
拡大／縮小	3（拡大）／#（やや拡大）／1（縮小）／*（やや縮小）／0（元に戻る）／5（キーアクションモード）

13 データ管理

電子ブックの利用

SDメモリカードに保存されている電子書籍用のデータフォーマット（XMDF形式やText形式）で作成されたデータ（電子ブック）を閲覧できます。電子ブックには通常の「**書籍データ**」と、言葉の意味などを検索できる「**辞書データ**」があります。

- 電子ブックにご利用いただける書籍データの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞ P.8-12）でご案内しています。
- 書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、V603SHではご利用になれないことがあります。
- SDメモリカードの取り扱いについては、P.12-2を参照してください。

書籍データを読む

- 一時停止中のVアプリがあるときや音楽再生中は、書籍データは読めません。

メニュー ▶ メモリカード

1 「8電子ブック」を選び、◉を押す。

電子ブックフォルダの書籍データのリスト画面が表示されます。

- 前回☎を押して閲覧を終了していたときは、終了時のページが表示されます。

■ 電子ブックフォルダ以外のフォルダ内の電子ブックの閲覧：（**メニュー**）➡「**表示フォルダ切替**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉
（次回からもここで選択したフォルダが表示されます。）

2 書籍データを選び、◉を押す。

- 画面上部に表示される「○%」は、現在のページが書籍データ全体の何%ぐらいの位置にあたるかを示しています。

■ タイトルや著者などの情報表示：（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉
■ パスワードが必要なデータ：パスワード入力➡◉➡閲覧画面へ

3 閲覧を終わるときは、クリアまたは☎を押す。

- クリアを押すと、書籍データのリスト画面に戻ります。
- 画面下部に「**リスト**」が表示されているときは、（**リスト**）を押しても書籍データのリストが表示されます。
- 次回閲覧時に続きから読むときは、☎を押します。

補足　書籍データはユーザーショートカットに登録できます。（☞P.16-23）

13 データ管理

閲覧画面での基本操作

■ 横書きか、縦書きかによって操作が異なります。

	横書き	縦書き
上	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
下	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
左	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
右	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

閲覧画面でできること

■ データの先頭や最後に移動するときは、次の操作を行います。
閲覧画面で（**メニュー**）➡「**先頭へ**」／「**最後へ**」選択➡◉

■ 先頭からおおよその位置を%で指定して移動するときは、次の操作を行います。
閲覧画面で（**メニュー**）➡「**%指定移動**」選択➡◉➡**位置**（**00〜99%**）**入力**➡◉

■ 目次を利用し、読む章を表示（目次に対応した書籍データで有効）するときは、次の操作を行います。
閲覧画面で（**メニュー**）➡「**目次**」選択➡◉➡**章選択**➡◉

■ しおりの利用：☞P.13-44

■ 閲覧画面の表示方法を変更するときは、次の操作を行います。
閲覧画面で（**メニュー**）➡「**表示設定**」選択➡◉➡**項目選択**➡◉➡**内容選択**➡◉

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ設定	文字サイズを「小」、「やや小」、「中」、「やや大」、「大」のいずれかに設定します。	中
縦横設定	縦書きと横書きを切り替えて表示します。	縦書き
ルビ表示	ルビを表示するかどうかを設定します。	OFF

- 書籍データによっては、上記の表示設定が利用できないことがあります。

情報の利用／文字列のコピー

■ 書籍データ内に電話番号やE-mailアドレス、URLが入っているとき、これらの情報を利用できます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）
情報選択➡◉➡「**1OK**」**選択**➡◉

- 操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-29）は、利用できません。
- データの内容によっては、利用できないことがあります。

■ 書籍データ内の文字列（最大20文字）を、他の場所にコピーできます。
閲覧画面で（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡◉➡**P.4-16「コピー／切り取り／貼り付けを行う」操作3以降**

マスク情報／ジャンプ情報

■ 書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）やコンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれていることがあります。

- マスク情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、文字列や画像のマスクが反転します。再度◉を押すと、文字列または画像が表示されなくなります。
- ジャンプ情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで（**戻る**）を押すと、元のページに戻ります。

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登録しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧できます。

●しおりは１書籍につき最大２個（最大５書籍）まで登録できます。

メニュー ▶ メモリカード ▶ 電子ブック ▶ 書籍データを閲覧する

1 しおりを登録するページで、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「しおりをはさむ」を選び、◉を押す。

3「1しおり１」または「2しおり２」を選び、◉を押す。

指定したページにしおりが登録されます。

自動しおり

■書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登録されます。（自動しおり１）

次に同じ書籍データの閲覧を行い終了すると、最後に表示していたページが自動しおり１に登録され、前回の自動しおり１は自動しおり２に登録されます。

●自動しおりは１書籍につき最大２個まで登録され、古いものから順に自動的に消去されます。

しおりを登録したページの表示

■閲覧画面で、次の操作を行います。

Ⓜ（メニュー）➡「しおりへ移動」選択➡◉➡「しおり１」／「しおり２」／「自動しおり１」／「自動しおり２」選択➡◉

書籍データ内の画像を利用する

画像の壁紙設定

書籍データ内の画像を壁紙に設定します。

メニュー ▶ メモリカード ▶ 電子ブック ▶ 書籍データを閲覧する ▶ 画像を選ぶ

「壁紙登録」選択➡◉

■ 以降の操作：☞P.8-2「オリジナル画像を利用する」操作4以降

■ 壁紙登録の中止：クリア

●画像によっては、壁紙に設定できないものがあります。

画像内情報の利用

画像に埋め込まれた情報を利用します。

メニュー ▶ メモリカード ▶ 電子ブック ▶ 書籍データを閲覧する ▶ 画像を選ぶ

「リンクへ移動」／「マスクの切替」／「動画の実行」選択➡◉

リンクへ移動	ジャンプ情報では、書籍内の他のページへジャンプします。ウェブへのアクセスやメール送信など、リンク情報を実行するときは、電子ブックの終了確認が表示されます。 （情報の利用／文字列のコピー：☞P.13-43）
マスクの切替	隠された特定の文字列または画像を表示します。
動画の実行	指定のパラパラアニメが動きます。

■ 中止：クリア

辞書データを利用する

文字列の検索

辞書データを利用して言葉の意味などを検索し、検索結果を表示できます。

メニュー ▶ メモリカード ▶ 電子ブック ▶ 辞書を選ぶ

検索文字列の入力欄選択➡◉➡文字列入力➡◉

●検索結果画面から情報を選び、◉を押すと、辞書データの項目が表示されます。

●項目画面での操作は、閲覧画面での基本操作（☞P.13-43）を参考にしてください。

辞書データ／書籍データの情報の確認

辞書データや書籍データの情報を確認します。

メニュー ▶ メモリカード ▶ 電子ブック

データ選択➡Ⓜ（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

■ 情報の続きの確認：上記操作のあと◎（◎：前の行に戻る）

■ 書籍データのリスト画面に戻る：上記操作のあと◎（**戻る**）

フォルダ／ファイルの編集

新しいフォルダを作成する

作成したフォルダは、あらかじめ登録されているetcフォルダと同様に、すべての形式のファイルを保存できます。（☞P.13-3）

●フォルダは第１階層から第２階層までに作成できます。（☞P.13-8）
●あらかじめ登録されているフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、オーディオ、etcなど）内にも新しいフォルダを作成できます。
（同じ階層に、同じフォルダ名では作成できません。）

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

1 **（メニュー）を押す。**
●あらかじめ登録されているフォルダ内にフォルダを作成するときは、フォルダを選び、◉を押したあと、（メニュー）を押します。

2 **「フォルダ作成」を選び、◉を押す。**

3 **フォルダ名を入力し、◉を押す。**
●続けてフォルダを作成するときは、操作１～３をくり返します。

フォルダ名／ファイル名を変更する

●あらかじめ登録されているフォルダの名前は変更できません。
●ファイルの拡張子は変更できません。
●同じ階層に、同じフォルダ名やファイル名は使えません。
●フォルダ保護されているフォルダの名前を変更するときは、あらかじめ保護設定を解除しておいてください。（☞P.13-47）

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

1 **フォルダやファイルを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「名前の変更」を選び、◉を押す。**
■ 着信音設定／効果音設定／グループ設定登録済のファイル名変更：「1YES」選択➡◉

3 **名前を変更し、◉を押す。**
●半角の「¥」／「/」／「:」／「;」／「.」／「<」／「>」／「|」／「?」／「*」／「"」および絵文字は、使用できません。

フォルダ／ファイルを消去する

●フォルダを消去すると、フォルダ内のファイルもすべて消去されます。
●あらかじめ登録されているフォルダは消去できません。
●保護されているフォルダを消去するときは、あらかじめ保護設定を解除しておいてください。（☞下記）

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

1 **フォルダやファイルを選び、（メニュー）を押す。**
■ 複数ファイルの選択：☞下記

2 **「消去」を選び、◉を押す。**

3 **「1YES」を選び、◉を押す。**

「VHod」フォルダ／「FURUGOLF_DATA」フォルダ

■「VHod」フォルダは、Vアプリ「The House Of The Dead MOBILEの体験版」で、「FURUGOLF_DATA」フォルダは、Vアプリ「振るスイング！ゴルフ」で使用するフォルダです。それぞれのフォルダやフォルダ内のファイルは、名前を変更したり、消去できます。ただし、名前を変更したり消去すると、Vアプリが正常に動作しないことがあります。

複数ファイルの選択

■ データフォルダ内のファイルを複数選択するときは、データフォルダ画面で次の操作を行います。
ファイル選択➡◎（チェック）（ファイル選択➡◎をくり返す）
●選択を解除するときは、「☑」が表示されているファイルを選んで、◎（チェック）を押してください。（最大50件まで選択できます。）
●Vアプリで使用中のファイルは、選択できません。
■ 選択をすべて解除するときは、次の操作を行います。
（メニュー）➡「チェックリセット」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

フォルダを保護する

データフォルダ内のデータを、操作用暗証番号を入力しないと操作できないようにします。

●最大10個まで、フォルダ単位で設定できます。
●あらかじめ登録されているフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ムービー、オーディオ、etcなど）のほか、新規作成したフォルダに対しても保護設定できます。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ

1 **フォルダを選び、（メニュー）を押す。**

2 **「便利機能」を選び、◉を押す。**

3 **「フォルダ保護」を選び、◉を押す。**

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

5「1ON」を選び、◉を押す。

■ フォルダ保護の解除：「2OFF」選択➡◉

- 次のフォルダは保護設定できません。
  - ■SDメモリカード内のフォルダ
  - ■モバイルカメラ（ショートカット）フォルダ
- SDメモリカードからV603SHにデータを一括転送すると、データ保護設定は解除されます。
- 保護を設定したフォルダには、Vアプリからアクセスできなくなるため、Vアプリのダウンロードが正常に行えないことがあります。

ファイルをコピー／移動する

データフォルダ内のファイルを、別のフォルダにコピー／移動します。

- コピー／転送不可ファイルは、コピーできません。
- あらかじめ登録されているフォルダへは、該当するファイル形式のファイル（☞P.13-3）だけコピー／移動できます。
- ファイルの種類やデータの内容によっては、コピー／移動できないことがあります。
- 連写画像はコピー／移動できません。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 ファイルを選び、（メニュー）を押す。

■ 複数ファイルの選択：☞P.13-47

2「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。

3「1本体」を選び、◉を押す。

■ SDメモリカードへのコピー／移動：「2メモリカード」選択➡◉

■ 着信音設定／効果音設定／グループ設定登録済のファイル移動：「1YES」選択➡◉

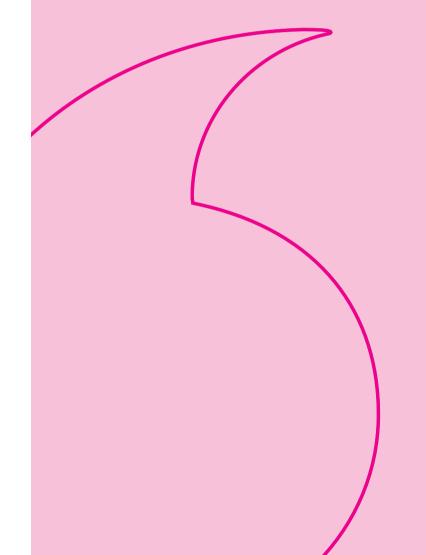
- ■移動の中止：「2NO」選択➡◉
- ■ファイルを移動すると、そのファイルに設定されている各設定は無効になります。

4 コピー先／移動先のフォルダを選び、◉を押す。

5 ◉を押す。

- SDメモリカードが書き込み禁止になっているときは、SDメモリカードへはコピー／移動できません。
- SDメモリカードへコピー／移動したファイルの種類やデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。

補足

同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルをコピー／移動すると、コピー／移動したファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

赤外線通信

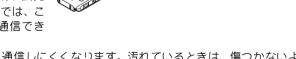
赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信機能を搭載したボーダフォン携帯電話などと、次のようにデータを送受信できます。

1件データ送信	アドレス帳やメールなどの画面で選んだデータを、1件ずつ送信します。
1件データ受信	送信側の操作によりデータを1件ずつ受信します。受信したデータは自動的に識別され、該当する機能のデータとして追加されます。
フォルダ単位送信	データフォルダ全体または、データフォルダ画面で選んだフォルダおよびフォルダ内のすべてのデータを、送信します。
フォルダ単位受信	送信側の操作によりデータフォルダ全体または指定したフォルダおよびフォルダ内のすべてのデータを受信します。
全件データ送信	選んだ機能ごとに、すべてのデータを送信します。
全件データ受信	送信側の操作により指定した機能のすべてのデータを受信します。

- 通信中やボーダフォンライブ！の利用中（メールや情報の送受信中）は、赤外線通信はできません。
- V603SHの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。
  ただし機能によっては、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、送受信できないデータがあります。
- 赤外線通信機能を利用中は、自動的にオフラインモード（☞P.3-6）に設定されます。そのため、着信、通話、ボーダフォンライブ！、ミュージックプレイヤー、カード手動シンクロ、メールやデータの編集中などには利用できません。
  赤外線通信が終了すると、自動的にオフラインモードは解除されます。

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のボーダフォン携帯電話を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。
- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線通信ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 直接日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。

- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

補足 正常に通信できないときは、再接続の確認画面が表示されます。上記のご注意を確認していただいたあと、再接続してください。（「1YES」を選び、◉を押します。）

送受信できるデータ

機能	1件	全件	備考
アドレス帳	○	○	1件データ送受信では、グループ指定、シークレット設定、指定着信音、メールコール、メールフォルダは送受信できません。全件送信すると、オーナー情報（電話番号を除く）も転送されます。
スケジュール	○	○	1件データ送受信では、シークレット設定は送受信できません。
テキストメモ	○	○	ノート形式だけ送受信できます。
メール	○	○	
データフォルダ※	○	○	全件送受信は、データフォルダ全体またはフォルダ単位で行えます。また、著作権で保護されているファイルは送受信できません。
デジタルカメラデータ	○	×	900KバイトまでのDCF形式のファイルの送受信ができます。

※ 着うた®ファイル（.mp4）、Nancyファイル（.noa）を受信したときは、etcフォルダに不明ファイルとして保存されます。

- ブックマークデータも受信できます。

注意
- TV録画データ、テレビ視聴中にキャプチャーした静止画、FM録音データは、赤外線通信で送受信できません。
- SDメモリカード内のデータは全件送信できません。また、SDメモリカード内のアドレス帳、スケジュール、テキストメモのデータは1件送信できません。
- 100Kバイトを超えるファイルは送受信できません。（デジタルカメラデータを除く）

認証パスワード設定

「認証パスワード」は赤外線通信のための専用パスワードです。データの全件送受信では、受信側／送信側とも同じ認証パスワードを入力する必要があります。
この認証パスワードは、はじめて赤外線受信するときなどに表示される、認証パスワード入力画面で入力すると自動的に設定されます。設定された認証パスワードは、このページの操作で変更できます。

メニュー ▶ ツール ➡ 赤外線通信 ➡ 認証パスワード設定

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

2 **認証パスワード（4ケタ）を入力する。**
認証パスワードが設定され、赤外線通信の画面に戻ります。

補足 はじめて赤外線受信する前にこのページの操作を行うと、あらかじめ認証パスワードを設定しておくこともできます。このときは、次に赤外線受信しても、認証パスワードの入力画面は表示されません。

赤外線通信の利用

データを1件ずつ送受信する

データを1件ずつ送信する

赤外線通信を利用した1件送信は、各機能（P.14-3）の画面から行います。

1 各機能のリスト画面で、送信するデータを表示する。

●アドレス帳、スケジュール、テキストメモは、各詳細画面からでも操作できます。

アドレス帳リスト画面

2 （メニュー）を押す。

■ データフォルダ内のデータの送信：「赤外線通信」選択➡◉

3 「赤外線1件送信」を選び、◉を押す。

自動的にオフラインモードになり、タイトルの入力画面が表示されます。

●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、各機能のリスト画面に戻ります。

4 タイトルを修正し、◉を押す。

●タイトルを変更しないときはそのまま◉を押し、操作5へ進みます。タイトルを修正しても、元のデータ名は変更されません。

●デジタルカメラデータのタイトルは変更できません。

5 受信側を待機状態にする。

6 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。

送信を開始します。送信が完了すると、各機能のリスト画面に戻ります。

データを1件ずつ受信する

メニュー ▶ ツール ➡ 赤外線通信 ➡ 赤外線受信

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信し、登録の確認画面が表示されます。

■ 受信中止：◉

■ 受信強制終了：

補足

認証パスワードの入力画面が表示されたとき

●認証パスワード（お好みの4ケタの数字）を入力してください。

●一度入力した認証パスワードは自動的にV603SHに設定されますが、状況に応じて変更することができます。（P.14-3）

●認証パスワードを間違えたときは、赤外線通信画面に戻ります。

2 「1YES」を選び、◉を押す。

データ登録完了後、赤外線通信の画面に戻ります。

■ 登録しない：「2NO」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

データを全件送受信する

●全件データの送受信には、「**暗証番号**」と「**認証パスワード**」の入力が必要です。

■「**暗証番号**」は、V603SHに設定した4ケタの操作用暗証番号（P.1-34）です。

■「**認証パスワード**」は、赤外線通信のための専用パスワードです。受信側の認証パスワードを設定しておくこともできます。（P.14-3）

●データフォルダの全件送受信については、P.14-6を参照してください。

データを全件送信する

メニュー ▶ ツール ➡ 赤外線通信

1 「1赤外線一括送信」を選び、◉を押す。

自動的にオフラインモードになります。

●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、赤外線通信の画面に戻ります。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

3 送信するデータを選び、◉を押す。

4 受信側を待機状態にする。

5 認証パスワード（4ケタ）を入力する。

■ アドレス帳選択時：「1YES」／「2NO」選択➡◉

6 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。

送信を開始します。送信が完了すると、機能の選択画面に戻ります。

●認証パスワードを間違えたときも、機能の選択画面に戻ります。

データを全件受信する

メニュー ▶ ツール ➡ 赤外線通信 ➡ 赤外線受信

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信し、登録の確認画面が表示されます。

■ 受信中止：◉

■ 受信強制終了：

■ 認証パスワードの入力画面表示時：P.14-4

2 ***追加登録する***

1「1追加登録」を選び、◉を押す。

データ受信を開始します。受信が完了すると、赤外線通信の画面に戻ります。

すべてのデータを消して登録する

1「2全消去して登録」を選び、◉を押す。

2「1YES」を選び、◉を押す。

データ受信を開始します。受信が完了すると、赤外線通信の画面に戻ります。

注意

アドレス帳を全件受信するときにすべてのデータを消して登録すると、お客様の電話番号以外のオーナー情報は、消去されます。

フォルダ単位でデータを送受信する

フォルダ単位で送信する

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ

1 送信するフォルダを選び、(メニュー)を押す。

●データフォルダ全体を送信するときは、そのまま(メニュー)を押してください。(フォルダを選ぶ必要はありません。)

2「赤外線通信」を選び、◉を押す。

3「赤外線フォルダ送信」または「赤外線データフォルダ送信」(データフォルダ全体の送信)を選び、◉を押す。

自動的にオフラインモードになります。

●自動的にオフラインモードに設定できなかったときは、データフォルダの画面に戻ります。

●データフォルダ全体を送信するときは、このあと操作5へ進みます。

4 フォルダ名を修正し、◉を押す。

5 受信側を待機状態にする。

6 15秒以内に、「1YES」を選び、◉を押す。

送信を開始します。送信が完了すると、データフォルダの画面に戻ります。

フォルダ単位で受信する

メニュー ▶ ツール ➡ 赤外線通信 ➡ 赤外線受信

14 赤外線通信

1 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信し、赤外線通信の画面に戻ります。

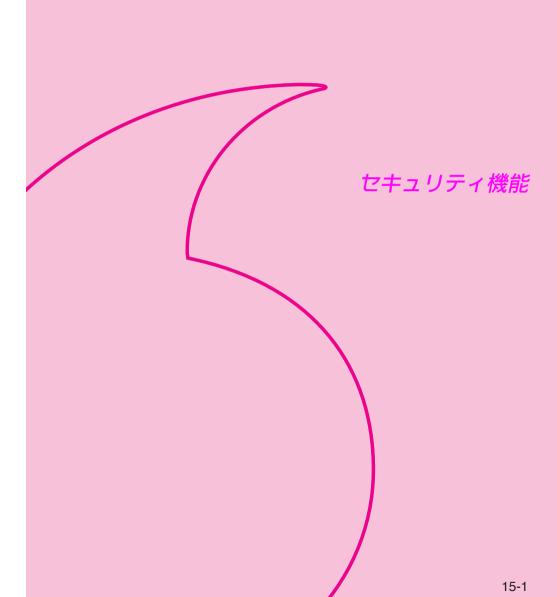
補足

すでに同じ名前のフォルダがあるとき

同じフォルダ内に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

●「1YES」を選び◉を押すと、データを受信し、同じフォルダ内に追加保存します。

●「2NO」を選び◉を押すと、通信を終了し、赤外線通信の画面に戻ります。

セキュリティ機能

操作用暗証番号の変更

現在使用している操作用暗証番号を新しい番号に変更します。
●交換機用暗証番号は、変更できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ 暗証番号変更

1 現在の操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-34
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

2 新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 もう一度、新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
新しい操作用暗証番号を間違えたときは、待受画面に戻ります。

無断で利用されたくないとき

ダイヤル操作禁止を設定する

操作用暗証番号を入力しないと、電話をかけられないようにします。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ ダイヤル操作禁止

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
「🔒」が表示され、ダイヤル操作禁止が設定されます。

ダイヤル操作禁止設定中にできること

■ 待受中
●◎長押し（電源のON／OFF）、◉長押し（誤動作防止の設定／解除）、0〜9／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）
●緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

■ 通話中
●◎（終話）、◯（開始／オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0〜9／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■ 着信中
●◯やエニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）で電話に出る、◉◎（着信中の着信手動転送）、◎（応答保留）、◉（メニュー）＋（「1通話」／「2応答保留」／「3着信拒否」／「※簡易留守録」）

ダイヤル操作禁止を解除する

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。
●通話中でも同様の操作で解除できます。
●電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する

電源を入れるたびに自動的にダイヤルの操作を禁止します。（簡易ロック）

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ 簡易ロック

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 「1ON」を選び、◉を押す。
●このあと電源を切ると、電源を入れるたびにダイヤル操作禁止が設定されます。

簡易ロックを解除する

操作用暗証番号（4ケタ）を入力してダイヤル操作禁止を解除したあと（☞P.15-2）、次の操作を行います。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ 簡易ロック

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 「2OFF」を選び、◉を押す。

アドレス帳の使用を禁止する

アドレス帳を誤って削除したり、他人が使用できないようにします。（メモリ使用禁止）

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ メモリ使用禁止

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 「1ON」を選び、◉を押す。
■ メモリ使用禁止の解除：「2OFF」選択➡◉

メモリ使用禁止設定中は、次の機能は利用できません。
▪アドレス帳の検索、登録、修正、発信［スピードダイヤルでの発信（☞P.5-16）も含む］
▪アドレス帳やオーナー情報を使ったバーコードの作成（☞P.16-34）

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにします。（ダイヤル禁止）

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能 ▶ ダイヤル禁止

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2 「1ON」を選び、◉を押す。
■ ダイヤル禁止の解除：「2OFF」選択➡◉

ダイヤル禁止設定中にできること

■ 緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

電話の着信制限

相手を限定して電話を受けたり、特定の相手からの電話を受けられないようにします。

指定着信許可	登録した電話番号からの着信に限りつながります。それ以外の相手には、話中音が流れます。
指定着信拒否	登録した電話番号からの着信は受けつけず、相手には話中音が流れます。

●着信拒否した電話は、インフォメーションメニュー（☞P.2-18）で「不在着信：○件」と表示され、着信履歴には「着信拒否」として記憶されます。
●電話番号を通知してきた相手に限り有効です。
●非通知や公衆電話からの着信拒否もできます。（☞P.15-5）
●指定着信許可と指定着信拒否は、同時には設定できません。

リストに電話番号を登録する

着信許可または着信拒否の相手先は、最大10件まで登録できます。相手先を登録したあと「指定着信許可」または「指定着信拒否」を「ON」に設定すると、それぞれの機能が有効になります。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能

1 ***着信許可の相手先を登録する***

1「5指定着信許可」を選び、◉を押す。
2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

着信拒否の相手先を登録する

1「6指定着信拒否」を選び、◉を押す。
2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
3「1電話番号指定」を選び、◉を押す。

2「3リスト登録」を選び、◉を押す。
登録済の相手先があるときは、名前または電話番号が表示されます。
■ 相手先の消去：番号選択➡◎（消去）➡「1YES」選択➡◉

3 登録先番号を選び、◉を押す。
●新規に登録するときは、「------------------」が表示されている番号を選んでください。

4 電話番号を入力する。
■ アドレス帳の利用：◎（TEL）➡アドレス帳検索（☞P.5-14～P.5-15）

5 ◉を押す。
直接電話番号を入力した時は電話番号が、アドレス帳から選んだときは名前が表示されます。（アドレス帳に登録している電話番号と同じ番号を入力しても、登録している名前は表示されません。）
●続けて他の相手先を登録するときは、操作３～５をくり返します。

指定した電話番号の着信を許可する

●あらかじめ、着信許可リストに相手先の電話番号を登録しておいてください。（☞P.15-4）
●指定着信拒否を「ON」に設定しているときは、利用できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 指定着信許可

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2「1ON」を選び、◉を押す。
■ 指定着信許可の解除：「2OFF」選択➡◉

指定した電話番号の着信を拒否する

●あらかじめ、着信拒否リストに相手先の電話番号を登録しておいてください。（☞P.15-4）
●指定着信許可を「ON」に設定しているときは、利用できません。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 指定着信拒否

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2「1電話番号指定」を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。
■ 指定着信拒否の解除：「2OFF」選択➡◉

非通知の電話／公衆電話からの着信を拒否する

着信があると、着信音を鳴らさずに着信応答し、おことわりのメッセージを流します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 指定着信拒否

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2「2非通知拒否」または「3公衆電話拒否」を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。
■ 着信拒否の解除：「2OFF」選択➡◉

F22

秘密にしたい電話番号の登録

シークレットメモリを登録する

他人に知られたくないアドレス帳を、シークレットメモリとして登録します。
●シークレットメモリに登録したアドレス帳は、シークレットモード（☞P.15-7）のときだけ表示されます。
●アドレス帳を新規登録する場合にシークレットメモリにするときは、通常のアドレス帳と同様に、名前／ヨミ／電話番号などを登録します。（☞P.5-3）

メニュー ▶ 電話 ▶ アドレス帳検索

1 アドレス帳を呼び出す。（☞P.5-14）

2 ◉を押す。

3 「修正」を選び、◉を押す。

4 「🔑:」を選び、◉を押す。

5 「1ON」を選び、◉を押す。
「🔑:」の行に「ON」が表示されます。

6 ✉（登録）を押したあと、メモリ番号を入力する。（☞P.5-5）

シークレットメモリの解除

■シークレットメモリを通常のアドレス帳に戻すときは、次の操作を行います。
◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「2管理機能」選択➡◉➡「2シークレットモード」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡シークレットメモリ呼出（☞下記）➡◉➡「修正」選択➡◉➡「🔑:」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉➡✉（登録）➡☞P.5-5操作２

注意　操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、シークレットメモリを見られることも考えられます。重大な秘密などの記録用としてではなく、便利な機能としてお使いになることをおすすめします。

シークレットメモリを呼び出す

シークレットモードに設定し（☞P.15-7）、通常のアドレス帳と同様に呼び出します。
電話をかけるときは、☎を押します。
●通常のアドレス帳は「🔑」が点灯し、シークレットメモリは「🔑」が点滅します。
●シークレットメモリの修正／削除なども、通常のアドレス帳と同様に行います。

15 セキュリティ機能

シークレットモードを設定する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能

1 「2シークレットモード」を選び、◉を押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
「🔑」が表示され、シークレットモードが設定されます。

注意　電源を切るとシークレットモードは解除されます。

シークレットモードを解除する

メニュー ▶ ファンクション ▶ 管理機能

1 「2シークレットモード」を選び、◉を押す。
「🔑」が消え、シークレットモードが解除されます。

シークレットモードを解除すると

■シークレットメモリとして登録されている相手から電話がかかってきたり、メールが送られてきても、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。
（指定着信音、メールコールの設定も無効となります。）
また、リダイヤルや着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。
ただし、シークレットメモリとして登録する前のリダイヤルや着信履歴の名前は、表示されます。

15 セキュリティ機能

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定されていた項目を、お買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。（設定リセット）

- ●アドレス帳などの登録内容は消去されません。
- ●お買い上げ時の状態に戻る項目は、P.19-2～P.19-5を参照してください。

 ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ 設定リセット

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2「1実行」を選び、●を押す。

■ 設定リセットの取消：「2キャンセル」選択➡●

アドレス帳などの登録内容を消去する

操作用暗証番号以外の登録内容（アドレス帳やオリジナル着信音など）や履歴などのデータ（メール、ウェブを含む）は、すべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。（オールリセット）

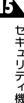
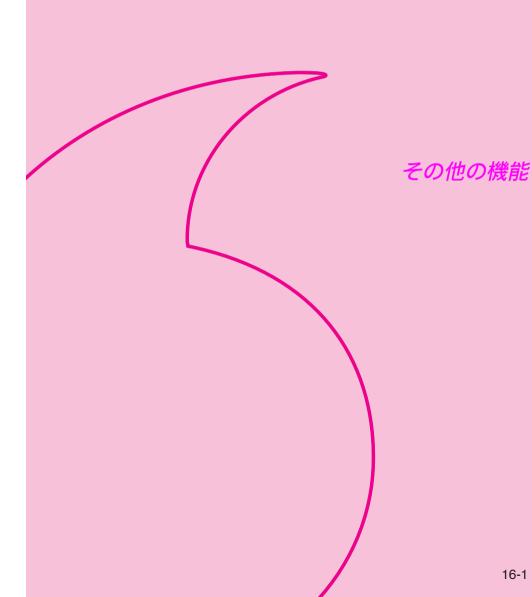
 ▶ ファンクション ➡ 管理機能 ➡ オールリセット

1 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

2「1実行」を選び、●を押す。

■ オールリセットの取消：「2キャンセル」選択➡●

一度、オールリセットで消去された登録内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。

その他の機能

通話時の便利な機能

電波が弱いことをお知らせする

電波状況などにより、通話が途中で切れてしまう恐れがあるときは、アラーム音でお知らせします。(通話品質アラーム)

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示/設定1 ➡ 通話品質アラーム

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 通話品質アラームの解除:「2OFF」選択➡◉

注意 「ON」に設定していても、急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

プッシュトーンを送る

V603SHからポケットベルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作します。

アドレス帳に登録した番号を一括して送る

よく送るポケットベルのメッセージなどを登録しておくと便利です。

●あらかじめアドレス帳にプッシュトーンを登録しておいてください。(☞P.5-3)

●この方法で送るときは、アドレス帳の「☎:」には送りたいプッシュトーンだけを登録してください。電話番号を登録すると正しく送信できません。

1 相手とつながったあと、◎(TEL)を押し、プッシュトーンを登録したアドレス帳を呼び出す。(☞P.5-14〜P.5-15)

2 ◉を押す。

3 「PB一括送信」を選び、◉を押す。

補足 プッシュトーンに「,(ポーズ)」を入力すると、「,(ポーズ)」までのプッシュトーンを一区切りとして送信します。

ダイヤルボタンを押して送る

電話をかけ、相手とつながったあと、ダイヤルボタンを押してプッシュトーンを送ります。

1 相手とつながったあと、送りたい番号を押す。

●アナウンスやアラーム音などに従って、ダイヤルボタンを押してください。詳しくは、接続先の機器やサービスの取扱説明書などを参照してください。

●送ることのできるプッシュトーンは「0」〜「9」、「*」、「#」です。

2 ◎(PB送信)を押す。

サイドキー設定

着信中や待受中にサイドボタンを長く(1秒以上)押したときの動作を設定します。

●クローズポジションのときだけ利用できます。

着信時の動作を設定する

各サイドボタンを長く(1秒以上)押したときの動作を設定します。(☞P.2-11)

●複数またはすべてのサイドボタンに、同じ動作を設定することもできます。

●各サイドボタンのお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	M	S	◀	▶	C
お買い上げ時	OFF	OFF	OFF	OFF	簡易留守録

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示/設定1 ➡ サイドキー設定 ➡ 着信時

1 「1M」〜「5C」のいずれかを選び、◉を押す。

2 動作を選び、◉を押す。

●設定できる着信時の動作(☞P.2-11)は、次のとおりです。

- 応答保留
- クイックサイレント
- 着信拒否
- 簡易留守録
- 留守電センター転送

待受時の動作を設定する

Cを長く(1秒以上)押すと、ボイスレコーダーを起動するように設定します。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示/設定1 ➡ サイドキー設定 ➡ 待受時

1 「1ボイスレコーダー(着信有)」または「2ボイスレコーダー(着信無)」を選び、◉を押す。

■ 動作の解除:「3OFF」選択➡◉

モーションコントロール設定

操作中の動作を設定する

●「モーションコントロールカーソル」（☞P.1-13）や「⊖ボタン代用」（☞P.1-31）、「ビューア時設定」（☞P.1-31）を利用する前に設定してください。

Mボタン設定 メニュー表示中に、Ⓜを押したときにできる動作を設定します。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ モーションコントロール設定 ▶ Mボタン設定

「1モーションコントロールカーソル」／「2⊖ボタン代用」／「3OFF」選択➡◉

ビューア時設定 ビューアポジションのときにV603SHを振ると、Ⓐの短押しと同じ操作ができます。

お買い上げ時 OFF

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ モーションコントロール設定 ▶ ビューア時設定

「1モーションコントロールON」／「2モーションコントロールOFF」選択➡◉

「ビューア時表示方向」（☞P.8-8）を「自動切替」に設定していたときは、「モーションコントロールON」に設定すると、自動切替が解除されます。

モーションコントロールの動作を調整する

V603SHが磁気を帯びたりすると、モーションコントロールセンサーを使用した機能が正常に利用できなくなります。

●次の機能などが利用できなくなったときは、モーションコントロール補正を行ってください。

■モーションコントロールカーソル　■モーションコントロールショートカット
■シェイクカウンター　■シェイクサウンダー　■簡易方位計　■表示方向自動切替

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ モーションコントロール設定

1 **「3モーションコントロール補正」を選び、◉を押す。**

●以降は、画面の指示に従って、操作してください。
●モーションコントロール補正中に着信などがあると、モーションコントロール補正は中断されます。このときは、もう一度はじめからやり直してください。
●簡易方位計を起動しているときに⓪（補正）を押しても、モーションコントロール補正が行えます。

●次のような場所では、モーションコントロール補正を行わないでください。
■磁石を利用した電気製品（映像／音響製品のスピーカー、冷蔵庫や家具の扉）、アクセサリー（磁気ネックレスやブレスレット、ハンドバッグ）、磁気治療器などの近く
■電車や地下鉄、自動車内など　■金属製品（金属製の机や棚など）の近く　■鉄で遮断された屋内など
●モーションコントロール補正を行ったときの温度と、モーションコントロールセンサーを使用する温度が大きく異なるときは、動作の精度に影響がでることがあります。

簡易留守録

電話を受けられないとき、相手のメッセージを録音します。

簡易留守録を設定する

簡易留守録は電源が切れているときやオフラインモードのとき、「圏外」が表示されているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.17-4）

●簡易留守録できるのは、音声メモ（☞P.16-7）やマイボイスメモ（☞P.16-7）と合わせて20件まで、または最長約90秒です。

メニュー ▶ 電話 ▶ 簡易留守

1 **「1簡易留守設定」を選び、◉を押す。**

録音可能秒数が表示され、簡易留守録が設定されます。
（設定完了後、待受画面に戻り「留」が表示されます。）

■ 応答文再生：◉➡「電話」選択➡◉➡「7簡易留守」選択➡◉➡「3応答文再生」選択➡◉
■ 留守録応答／録音中の受話音量の変更：◉➡「電話」選択➡◉➡「7簡易留守」選択➡◉➡「4音量設定」選択➡◉➡「1受話音量連動」／「2サイレント」選択➡◉

応答時間変更

■ 電話がかかってきてから簡易留守録が応答するまでの時間を、０～59秒の間で設定します。（お買い上げ時：９秒）

◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「4表示／設定２」選択➡◉➡「4応答時間」選択➡◉➡設定時間入力（00～59秒）➡◉

■着信音を鳴らさずに簡易留守録で応答：設定時間「00」入力➡◉

■ 簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと併せてご利用になるときは、設定されている呼出時間の短い機能が優先されます。また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると、留守番電話サービスや転送電話サービスが優先されます。

シガーライター充電器に接続すると（車載簡易留守）

■ シガーライター充電器に接続すると、安全運転のため自動的に簡易留守録に設定されます。車載簡易留守の設定を解除するときは、次の操作を行います。

◉➡「ファンクション」選択➡◉➡「4表示／設定２」選択➡◉➡「2車載簡易留守」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

簡易留守録が設定できない状態

■ マナーモード（☞P.3-3）設定中は、簡易留守録の設定／解除はできません。マナーモードを解除してください。

■ 録音できる時間が７秒以下のときや、すでに20件録音されているときは、簡易留守録に設定できません。不要なメッセージを消去してください。（☞P.16-7）

簡易留守録を設定すると

- ■ 着信があると、相手に応答文が流れたあと録音が始まります。
  - ●録音中にV603SHをクローズポジションにしても、録音は止まりません。
  - ●録音中に電話に出る：（録音内容は残りません。）
- ■ 録音が終わると、「」が表示されます。
- ■ 録音後、簡易留守録が設定できない状態（P.16-5）になったときは、簡易留守録は自動的に解除され、「」表示が消えます。（「」は用件を消去するまで表示したままです。）

簡易留守録を設定していないときの操作

- ■ 着信中に次の操作を行うと、応答文が流れたあと、録音が始まります。このときは、その着信に限り留守録音します。（簡易留守録は「OFF」の設定のままです。）
  ◉➡「文字簡易留守録」選択➡◉
- ■ サイドキー設定の着信時の動作（P.16-3）を「4簡易留守録」に設定しているときは、着信中に、設定したサイドボタンを長く（1秒以上）押すと、応答文が流れたあと録音が始まります。（クローズポジション時だけ）
  - ●簡易留守録が設定できない状態（P.16-5）のときには、不要なメッセージを消去してください。（P.16-7）

簡易留守録を解除する

メニュー ▶ 電話 ➡ 簡易留守

1 「1簡易留守設定」を選び、◉を押す。

簡易留守録の設定が解除され、待受画面に戻ります。

録音された用件を聞く

メニュー ▶ 電話 ➡ 簡易留守

1 「2録音再生」を選び、◉を押す。

録音件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まり、待受画面に戻ります。

■ 再生途中の停止：再生中に

再生中に電話がかかってくると
再生は自動的に停止します。電話に出るときは、を押してください。

■再生中にできること（例：3件録音されているとき）

再生中に次の用件を聞く	再生中の用件の頭に戻す	再生中の1つ前の用件に戻す
再生中にを押す。	**再生中にを押す。**	**再生中にを2回押す。**
3件目 / 2件目 / 1件目 —再生→ —再生→	3件目 / 2件目 / 1件目 —再生→ —再生→	3件目 / 2件目 / 1件目 —再生→ —再生→

用件消去

- ■ 再生中に、次の操作を行います。
  クリア➡「1YES」選択➡◉
  - ●次の用件が録音されているときは、続けて再生されます。用件をすべて消去すると、「」が消えます。

通話内容やお客様の声を録音する

通話中の相手の声（音声メモ）や、待受中のお客様の声（マイボイスメモ）をV603SHに録音します。

- ●録音できる時間は、簡易留守録（P.16-5）と合わせて最長約90秒です。
  ただし、録音できる時間が3秒以下になったときや、用件やメモが20件録音されると、それ以上録音できなくなります。
- ●待受中に、長時間（V603SH録音時には最長100分）の音声を録音することもできます。（ボイスレコーダー：P.11-3）

1 *音声メモを録音する*

1通話中に、スケジュールメモを長く（1秒以上）押す。

マイボイスメモを録音する

1待受中に、スケジュールメモを長く（1秒以上）押す。

2「1マイボイスメモ」を選び、◉を押す。

2 録音が開始される。

- ●音声メモのときは、相手の声だけが録音されます。
- ●マイボイスメモのときは、送話口に向かってお話しください。送話口からの距離の目安は、5～10cm位です。

■ 録音終了：◉／スケジュールメモ

音声メモの場合、クローズ終話設定（P.2-3）が「ON」に設定されているときにV603SHをクローズポジションにすると、電話が切れ、録音も終わります。（このときは、残りの録音可能時間は表示されません。）

マイボイスメモを録音中に電話がかかってくると、録音は中止されます。このとき、エニーキーアンサー（P.2-6）の各ボタンで電話に出ることができます。（途中までの録音は保存されています。）

- ●電源を切っても録音内容は保存されています。
- ●マイボイスメモの再生方法や消去方法は、簡易留守録と同様です。（P.16-6、上記）

アラーム設定

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻にアラームを鳴らしお知らせします。
毎日または、指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。（リピートアラーム）
●最大５件まで登録できます。
●アラーム動作時にメッセージや電話番号を表示できます。また、アラーム音の鳴動時間／音量／種類／ランプ／バイブ設定も変更できます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定

1 番号を選び、◉を押す。
●新規に登録するときは、「--------------」が表示されている番号を選んでください。

2「2時刻入力」を選び、◉を押す。

3 アラームの時刻を入力し、◉を押す。
●時刻は必ず24時間制で入力してください。

4「3リピート設定」を選び、◉を押す。

5 *毎日アラームを鳴らす*
1「1デイリー」を選び、◉を押す。

指定した曜日にアラームを鳴らす
1「2曜日指定」を選び、◉を押す。
2 曜日を選び、◉を押す。
曜日が指定され、「☑」が表示されます。
●すでに指定されている曜日を選び、◉を押すと、指定が解除されます。
3 2をくり返し、必要な曜日を指定する。
4 指定が終われば、⊙（完了）を押す。

1日だけアラームを鳴らす（リピートOFF）
1「3OFF」を選び、◉を押す。

6 *メッセージを表示する*
1「4メッセージ」を選び、◉を押す。
2 メッセージを入力し、◉を押す。
●最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

アラーム音の詳細を設定する
1「5サウンド設定」を選び、◉を押す。
以降の操作：☞P.16-10➡⊙（戻る）

オプション（☞P.16-10）を設定する
1「6オプション」を選び、◉を押す。
以降の操作：☞P.16-11➡⊙（戻る）

7 ⊙（完了）を押す。
アラームが設定されます。
●続けて他の時刻にアラームを設定するときは、操作１～７をくり返します。

8 設定を終わるときは、㊞を押す。
待受画面に戻り、「🔔」が表示されます。予告アラーム（☞P.16-11）を設定したときは、リピートアラーム設定画面に「🔔」が表示されます。

アラームの設定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。
●マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。
●「リピートアラーム」に設定すると、アラームを解除するまで毎日または設定した曜日にお知らせします。

アラーム音の停止

■ アラームが鳴っているときに、次の操作を行います。
㊞／Ⓒ
●エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押しても停止します。

電話番号表示／メール予約を設定していると

■ 電話番号表示の設定時は、アラーム音停止後に表示された相手先へ電話をかけられます。
電話番号表示➡⌒➡発信（表示を消すとき：㊞）
■ メール予約の設定時は、アラーム音停止後に表示された相手先へメールを送信できます。
宛先表示➡⊘（メニュー）➡「2メール送信」選択➡◉➡送信画面表示➡⊘（送信）

スヌーズを設定すると

■ 設定したスヌーズ間隔で、くり返しアラームが鳴ります。
●㊞を押してアラームを止めても、スヌーズは解除されません。スヌーズを解除するときは、エニーキーアンサーの各ボタンを押したあと、「1YES」を選び、◉を押します。
●着信があったときは、電話を受けることができます。通話終了後㊞を押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。
●電話番号や予約している送信メールが表示されたときは、スヌーズ設定を解除すると、表示している相手先へ発信／送信することができます。
●スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

注意
あらかじめ登録していたメッセージや電話番号を表示しているときに、別のアラーム設定時刻になっても、メッセージや電話番号の表示を消すまでアラームは動作しません。

補足
- 通話中にアラーム設定時刻になると、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後アラームが動作します。
- アラーム音量調節を「**サイレント**」に設定しているとき、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更でアラーム音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。
- クイックオペレーション（☞P.1-32）で設定したアラームは、「**リピートOFF**」で登録されます。

アラームの各種設定

アラームや自動電源ON、スケジュールの設定時刻のアラーム動作を設定します。

アラーム音選択	アラーム音のパターンを設定します。
アラーム音量調節	アラーム音の音量を設定します。
鳴動時間	アラーム音の鳴っている時間を設定します。
バイブ設定	バイブレータでお知らせするように設定します。
ランプ設定	ランプの点灯方法（モバイルライト／スモールライト）を設定します。
スヌーズ設定※	アラームをくり返し鳴らすとき、何分ごとに鳴らすかを設定します。
予告アラーム設定※	設定したアラームやスケジュールを、いつから予告するかを設定します。
電話番号※	電話番号を表示して、そのあと電話をかけることができます。
メール予約※	アラームが動作したあと、保存したメールを送信します。

※ 自動電源ONでは設定できません。

- P.16-10〜P.16-11の各操作は、次の操作を行ったあとの画面から行います。
  - アラーム設定時：☞P.16-8操作１〜５➡P.16-8操作６「5**サウンド設定**」／「6**オプション**」選択➡◉
  - 自動電源ON設定時：☞P.16-12操作１〜２➡P.16-12操作３「3**アラーム設定**」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉
  - スケジュール設定時：☞P.16-14操作１〜P.16-15操作５➡P.16-15操作６「**アラーム**」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「3**サウンド設定**」／「4**オプション**」選択➡◉

アラーム音選択 固定パターンや固定メロディ、データフォルダに登録したメロディなどから選択できます。

「アラーム音選択」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音の選択➡◉

- アラーム音の設定方法は、着信パターンと同様です。（☞P.9-3）

アラーム音量調節 「**サイレント**」、「**音量１**」〜「**音量５**」、「**ステップ**」に設定できます。

「アラーム音量調節」選択➡◉➡◎（音量調節）➡◉

鳴動時間 ２〜99秒の間で、１秒単位で設定できます。

「鳴動時間」選択➡◉➡時間入力（02〜99秒）➡◉

バイブ設定 バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。

「バイブ設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

- バイブパターンは通常着信の設定となります。

ランプ設定 点灯させるランプの種類やカラーパターン、点滅パターンが設定できます。

モバイルライト設定時

「ランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」選択➡◉➡カラーパターン選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉

スモールライト設定時

「ランプ設定」選択➡◉➡「2スモールライト」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉

ランプ消灯

「ランプ設定」選択➡◉➡「3OFF」選択➡◉

スヌーズ設定 ２〜20分の間で、１分単位で設定できます。

「スヌーズ設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡くり返す間隔入力（02〜20分）➡◉

■ スヌーズなし：「**スヌーズ設定**」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

予告アラーム設定 設定時刻前にアラームが鳴るように設定できます。

アラーム設定時

「予告アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡予告時間入力（02〜99分）➡◉

■ 予告アラームなし：「**予告アラーム設定**」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

スケジュール設定時

「予告アラーム設定」選択➡◉➡「2分単位設定」〜「6月単位設定」選択➡◉➡予告設定（15分前や１週間前など）➡◉

■ 予告アラームなし：「**予告アラーム設定**」選択➡◉➡「1OFF」選択➡◉

電話番号 電話番号を表示して、アラーム音停止後、電話をかけられます。

■「**メール予約**」を設定しているときは、利用できません。

「電話番号」選択➡◉➡電話番号入力➡◉

■ アドレス帳の利用：◎（TEL）➡（以降の操作：☞P.5-14）

メール予約 アラーム動作時に、送信トレイに保存したメールを送信します。

■「**電話番号**」を設定しているときは、利用できません。

「メール予約」選択➡◉➡送信メール選択➡◉

アラームを解除する／再設定する

アラーム解除 設定したアラームを解除します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定 ➡ 解除する番号を選ぶ

「2解除」選択➡◉

- アラームが解除され、「🔔」や「🔔」が消えます。
- 解除しても登録内容は消えません。同じ内容でアラームを動作するときは、アラームの再設定を行ってください。

アラーム消去 設定したアラームを消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定 ➡ 消去する番号を選ぶ

「3消去」選択➡◉

アラーム再設定 解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定もできます。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ リピートアラーム設定

アラームの再設定

再設定する番号選択➡◉➡「1設定」選択➡◉➡◎（完了）

アラームの内容変更

変更する番号選択➡◉➡「1設定」選択➡◉➡（以降の操作：☞P.16-8操作２以降）

指定時刻に自動的に電源を入れる

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV603SHの電源を入れます。（自動電源ON）

- 自動電源ONを「ON」に設定すると、「OFF」に設定するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- 自動電源ON動作時に、アラーム音を鳴らすこともできます。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 自動電源ON

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 自動電源ONの解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

2 「2時刻入力」を選び、◉を押す。

3 自動電源ONの時刻を入力し、◉を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。

■ アラームの設定：「3アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉（詳細設定：☞P.16-10〜P.16-11）

4 ◎（完了）を押す。

自動電源ONの設定時刻になると

■電源が切れていたとき

自動的に電源が入ります。アラーム音を「ON」に設定していたときは、自動電源ONの設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプでお知らせします。

- マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。（画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。）

■電源が入っていたとき

アラーム音を「ON」に設定していたときは、自動電源ONの設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプでお知らせします。

- アラーム音を「OFF」に設定していたときは、何も動作を行いません。

- 通話中に自動電源 ON の設定時刻になると、アラームを「ON」に設定していても、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後㊀を押すとアラームが動作します。
- アラーム音量調節を「**サイレント**」に設定しているとき、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更でアラーム音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。
- アラーム音を止めるときは、㊀／Ⓓ／エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押します。

指定した時刻に電源を切る

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV603SHの電源を切ります。（自動電源OFF）

- 自動電源OFFを「ON」に設定すると、「OFF」に設定するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ 自動電源OFF

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 自動電源OFFの解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

2 時刻を入力し、◉を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。

自動電源OFFの設定時刻になると

自動的に電源が切れます。

- 通話中やシェイクカウンター起動中のときは終了後、メール作成中やカメラ撮影中などのときはすぐに確認画面が表示されます。
  - ■約１分間何も操作せずそのままにしておくか、「1YES」を選び、◉を押すと電源が切れます。（編集中のデータは消去されます。）
  - ■操作を継続するときは、「2NO」を選び、◉を押します。
- 送信予約メールを設定していても、確認画面は表示されずに電源が切れます。

スケジュール機能

日時の決まった予定（スケジュール）と、期限の決まった用件（アクションアイテム）の２種類の予定が登録できます。

- 他の機能を操作しているときでも（☞P.1-29）、スケジュール／アクションアイテムの登録／編集／消去ができます。
- 操作中の他の機能によっては、登録／編集／消去ができない項目があります。
- V603SH／SDメモリカードともに、スケジュールとアクションアイテムを合わせて400件まで登録できます。
- 画像の表示方法の設定など、各種設定が行えます。（☞P.16-17）
- アクションアイテムは、用件が終わったあと、完了操作を行ってください。（☞P.16-17）

補足 赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間でスケジュール／アクションアイテムのやりとりができます。（☞P.14-4）

スケジュールを登録する

スケジュールの登録

- アラームを設定したり、アラームのオプションも設定できます。

メニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 スケジュール（新規スケジュール作成）を押す。

- もう一度スケジュールを押すと、カレンダー画面から月日が選べます。

スケジュール画面

2 開始／終了日時を入力する。

- 開始日時と終了日時を、西暦４ケタ、月日時分２ケタずつで入力します。
- 開始日時は必ず入力してください。

3 *１回だけの予定*

1 ◉を押す。

くり返しの予定

1 ◎（周期）を押す。

2「2 毎日〇〇：〇〇」～「5 毎年〇〇／〇〇」のいずれかを選び、◉を押す。

- 日時を29～31日に設定し、「4 毎月」を選択したとき、29～31日が存在しない月では、スケジュールは設定されません。

3 くり返す回数（00～99回）を入力し、◉を押す。

- 「5 毎年」を選んだときは、くり返す回数は設定できません。

■ くり返す回数変更：◎（回数）

4 ◉を押す。

4「件名」を選び、◉を押す。

5 件名を入力し、◉を押す。

- 件名は最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。必ず入力してください。

6 *スタンプを設定する*

1「スタンプ」を選び、◉を押す。

2 スタンプを選び、◉を押す。

内容を入力する

1「内容」を選び、◉を押す。

2 内容を入力し、◉を押す。

- 最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

アラームを設定する

1「アラーム」を選び、◉を押す。

2「1 ON」を選び、◉を押す。

- このあと「1 アラーム時刻」を設定しないと、スケジュールの開始時刻にアラームが鳴動します。

■ メッセージを表示する：「2 メッセージ」選択➡◉➡メッセージ入力➡◉

■ アラームの詳細を設定：「3 サウンド設定」選択➡◉➡☞P.16-10➡◎（戻る）

■ オプション（☞P.16-10）を設定：「4 オプション」選択➡◉➡☞P.16-10～P.16-11➡◎（戻る）

3 ◎（完了）を押す。

各種設定を行う

1「オプション」を選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.16-17「スケジュールの各種設定」➡◎（戻る）

7 すべての項目の設定が終われば、◎（完了）を押す。

登録の確認画面が表示されます。

■ SDメモリカードへ登録：◎（）

■ 登録先の変更：上記操作のあと◎（）

8「1 YES」を選び、◉を押す。

スケジュールを登録した日付のカレンダーに、アンダーラインが表示されます。スタンプを設定したときは、選んだスタンプが表示されます。

登録したスケジュール当日

■ まだ設定時刻になっていないスケジュールがあると、待受画面に「」（アラームONのとき）または「」（アラームOFFのとき）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

16 その他の機能

アクションアイテムの登録

メニュー ▶ ツール ▶ スケジュール

1 文字（新規アクションアイテム作成）を押す。

2 件名を入力して、◉を押す。

●件名は最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。必ず入力してください。

3「期限」を選び、◉を押す。

●期限日時は西暦４ケタ、月日時分２ケタずつで入力します。必ず入力してください。

4 *１回だけの予定*

1 ◉を押す。

●このあと、操作５へ進みます。

くり返しの予定

1 ⊙（周期）を押す。

2「2毎日○○：○○」～「5毎年○○／○○」を選び、◉を押す。

●日時を29～31日に設定し、「4毎月」を選択したとき、29～31日が存在しない月では、アクションアイテムは設定されません。

3 くり返す回数（00～99回）を入力し、◉を押す。

●「5毎年」を選んだときは、くり返す回数は設定できません。

■ くり返す回数変更：⊘（回数）

4 ◉を押す。

5 *スタンプを設定する*

1「スタンプ」を選び、◉を押す。

2 スタンプを選び、◉を押す。

内容を入力する

1「内容」を選び、◉を押す。

2 内容を入力し、◉を押す。

●最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

優先順位を決めておく

1「優先度」を選び、◉を押す。

2「1未設定」～「3低」のいずれかを選び、◉を押す。

各種設定を行う

1「オプション」を選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.16-17「スケジュールの各種設定」➡⊙（戻る）

6 すべての項目の設定が終われば、⊙（完了）を押す。

■ SDメモリカードへ登録：⊙（SD）

■登録先の変更：上記操作のあと⊙（本体）

7「1YES」を選び、◉を押す。

アクションアイテムの完了時

■ 完了したアクションアイテムは、次の操作で完了済にしてください。

◉➡「ツール」選択➡◉➡「3スケジュール」選択➡◉➡⊘（メニュー）➡「表示切替」選択➡◉➡「6全件一覧表示」選択➡◉➡完了したアクションアイテム選択➡◉➡◉➡「1YES」選択➡◉

●完了済のアクションアイテムは、スケジュール画面には表示されません。

●完了済のアクションアイテムは、完了日時を入力できます。

■ 完了済のアクションアイテムを自動消去するときは、P.16-20を参照してください。

アラーム設定の指定時刻になると

アラームを「ON」に設定していたときは、アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

●SDメモリカード内のスケジュールの開始時刻になっても、アラームは動作しません。

●アラームを「OFF」に設定しているときは、何も動作を行いません。

●マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。（画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。）

●アラーム音の停止、電話番号表示設定、スヌーズ設定は、P.16-9を参照してください。

●通話中に予定時刻になると、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後⊚を押すとアラーム音が鳴ります。

●アラーム音量調節を「**サイレント**」に設定している場合、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更でアラーム音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。

スケジュールの各種設定

スケジュールやアクションアイテムの設定時刻の動作を設定します。

項目	内容
シークレット設定	予定をシークレットデータにします。
アラーム	設定方法は、スケジュールの「**アラーム**」と同じです。（☞P.16-15操作６）
ピクチャーメモ※1	スケジュールに画像を設定し、予定時刻に表示します。
電話※2	予定時刻に電話番号を表示して、電話をかけることができます。
メール予約※2	予定時刻に送信するメールを設定します。
日付色	カレンダーに表示される日付色を設定します。
自動消去保護	登録内容を自動的に保護するかどうかを設定します。
待受表示設定	待受表示内容の設定を有効にするかどうかを設定します。
優先度	設定方法は、アクションアイテムの「**優先度**」と同じです。（☞P.16-16操作５）
状態	予定の状態を設定します。

※1　スケジュールだけに設定できます。

※2「**電話**」「**メール予約**」の設定方法については、P.16-11を参照してください。

●P.16-18～P.16-19の各操作は、次の操作を行ったあとの画面から行います。

■スケジュール登録時：☞P.16-14操作１～P.16-15操作５➡P.16-15操作６「**オプション**」選択➡◉

■アクションアイテム登録時：☞P.16-16操作１～４➡P.16-16操作５「**オプション**」選択➡◉

シークレット設定	「ON」に設定した予定は、シークレットモード（☞P.15-7）設定時だけで表示されます。

お買い上げ時 OFF

「シークレット設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

●「ON」に設定したスケジュールは、シークレットモードで表示されます。

ピクチャーメモ	撮影した静止画や動画、データフォルダの画像などが設定できます。

■スケジュールだけに設定できます。

静止画を撮影して登録する

「ピクチャーメモ」選択➡◉➡「1モバイルカメラ」選択➡◉➡「1写メールモード」選択➡◉➡撮影（☞P.7-11）➡◉

動画を撮影して登録する

「ピクチャーメモ」選択➡◉➡「1モバイルカメラ」選択➡◉➡「2ムービー写メールモード」選択➡◉➡撮影（☞P.7-21）➡「1登録」選択➡◉

データフォルダから選択する

「ピクチャーメモ」選択➡◉➡「2データフォルダ」選択➡◉➡「1ピクチャー」～「3ムービー」選択➡◉➡画像選択➡◉

ピクチャーメモの解除

「ピクチャーメモ」選択➡◉➡「3設定解除」選択➡◉

日付色	7色の中から設定できます。

お買い上げ時 カレンダー設定色

「日付色」選択➡◉➡カラー選択➡◉

●日付色を設定していても、表示内容が「1週間詳細表示」のときは、表示されません。

待受表示設定	待受画面に予定を表示するかどうかを設定します。（予定1件ごとに設定できます。）

お買い上げ時 ON

「待受表示設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

●他人に見られたくない予定は「OFF」にすることをおすすめします。

スケジュールの表示

■ スケジュールを待受画面に表示するときは、カレンダー表示形式（☞P.8-3）を「2スタンプ＋スケジュール表示」に設定します。

待受詳細表示の設定

■ スケジュールを待受画面で表示するときに、詳細を表示するかどうかを設定します。
◉➡「ツール」選択➡◉➡「3スケジュール」選択➡◉➡✉（メニュー）➡「待受表示内容」選択➡◉➡表示内容選択➡◉

自動消去保護	「ON」に設定すると、消去したくないスケジュールを自動的に保護します。

お買い上げ時 OFF

「自動消去保護」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

16 その他の機能

状態	予定の状態を、「予定」または「完了」に設定します。

「状態」選択➡◉➡「1予定」／「2完了」選択➡◉

スケジュールを確認する

メニュー ➡ ツール ➡ スケジュール ➡ スケジュールを確認する日を選ぶ

1 確認するスケジュールを選び、◉を押す。

■ データフォルダ登録：✉（メニュー）➡「データフォルダに保存」選択➡◉➡タイトル入力➡◉➡登録先選択➡◉

●優先度／状態マークの表示は、以下のとおりです。

マーク	優先度	状態	マーク	優先度	状態
□（緑）	未設定	予定	☑（緑）	未設定	完了
□（黄）	低	予定	☑（黄）	低	完了
□（赤）	高	予定	☑（赤）	高	完了

優先度／状態マーク

2 確認を終了するときは、◎（戻る）を押す。

表示内容の切り替え

■ 表示内容を切り替えるときは、次の操作を行います。
◉➡「ツール」選択➡◉➡「3スケジュール」選択➡◉➡◎（切替）
●◎（切替）を押すたびに、「アクションアイテム表示」→「1週間詳細表示」→「1ヶ月スタンプ表示」→「スケジュール表示」→「全件一覧表示」→「スタンプ＋詳細表示」の順に表示が切り替わります。

■ 表示される内容は設定（制限）できます。（☞P.16-21）

スケジュールの件数／作成者／管理番号の確認

■ 登録済のスケジュールの件数は、次の操作で確認します。
◉➡「ツール」選択➡◉➡「3スケジュール」選択➡◉➡✉（メニュー）➡「件数確認」選択➡◉

■ 登録済のスケジュールの作成者／管理番号は、次の操作で確認します。
◉➡「ツール」選択➡◉➡「3スケジュール」選択➡◉➡スケジュールを確認する日選択➡◉➡スケジュール選択➡✉（メニュー）➡「詳細」選択➡◉
●スケジュールの新規登録時に自動的に設定された管理番号が表示されます。作成者はオーナー情報（☞P.2-22）の名前が表示されます。
●表示内容を「スタンプ＋詳細表示」、「1週間詳細表示」、「1ヶ月スタンプ表示」のいずれかに設定しているときは、詳細メニューは表示されません。

スケジュールを編集する

メニュー ➡ ツール ➡ スケジュール ➡ スケジュールを確認する日を選ぶ

1 編集するスケジュールを選び、◉を押す。

2 ✉（メニュー）を押す。

16 その他の機能

3「編集」を選び、◉を押す。

4 項目を選び、◉を押す。
●編集方法は、スケジュールの登録時と同様です。(☞P.16-14操作2以降)

5 編集が終われば、◎(完了)を押す。

6「1新規登録」または「2上書登録」を選び、◉を押す。

スケジュールを消去する

1件消去 スケジュールを1件ずつ消去します。

メニュー▶ツール▶スケジュール▶スケジュールを確認する日を選ぶ▶消去するスケジュールを選ぶ▶メニュー(✉)▶1件消去
「1YES」選択▶◉

1日消去 スケジュールを1日単位で消去します。

メニュー▶ツール▶スケジュール▶スケジュールを消去する日を選ぶ▶メニュー(✉)▶全消去
「2 1日スケジュール全消去」/「6 1日アイテム全消去」選択▶◉▶「1全て」/「2保護以外」選択▶◉▶操作用暗証番号(4ケタ)入力▶「1YES」選択▶◉

過去/全件消去 過去またはすべてのスケジュール/アクションアイテムを消去します。

メニュー▶ツール▶スケジュール▶スケジュールを消去する日を選ぶ▶メニュー(✉)▶全消去
「1過去スケジュール全消去」/「3スケジュール全消去」/「4完了アイテム全消去」/「5予定アイテム全消去」/「7アクションアイテム全消去」/「8全データ消去」選択▶◉▶「1全て」/「2保護以外」選択▶◉▶操作用暗証番号(4ケタ)入力▶「1YES」選択▶◉

その他のスケジュール関連機能

自動消去設定 最大登録件数を超えた、スケジュール/アクションアイテム(完了)を古い順から消去します。

お買い上げ時 OFF

メニュー▶ツール▶スケジュール▶メニュー(✉)▶自動消去設定
「1スケジュール」/「2アクションアイテム」選択▶◉▶「1自動消去ON」/「2自動消去OFF」選択▶◉

カレンダー曜日色設定 曜日ごとに色を設定できます。

メニュー▶ツール▶スケジュール▶メニュー(✉)▶カレンダー曜日色設定
曜日選択▶◉▶色選択▶◉

表示設定 スケジュールの表示方法を設定します。

メニュー▶ツール▶スケジュール▶メニュー(✉)▶表示切替
「1スタンプ+詳細表示」〜「6全件一覧表示」選択▶◉

切替表示設定

■ スケジュール画面で◎(切替)を押すと、表示内容が切り替わります。(☞P.16-19)このときに表示される内容を設定(制限)することができます。
◉▶「ツール」選択▶◉▶「3スケジュール」選択▶◉▶✉(メニュー)▶「表示切替」選択▶◉▶「7切替表示設定」選択▶◉▶表示方法選択(※)▶◎(チェック)▶(表示方法選択▶◎をくり返す)▶◉
※ 表示するときは「□」の行を、表示しないときは「☑」の行を選択します。

簡単な操作で機能を呼び出す

よく使う機能やデータなどを簡単な操作で呼び出して利用できます。(ユーザーショートカット)

●ユーザーショートカットの呼び出し方は、ダイヤルボタンを長く(1秒以上)押して呼び出す方法(☞P.16-22)と、ユーザーショートカットの画面が表示したあとで、V603SHを「上」、「左」、「右」のうち2つの方向に振る動作の組み合わせ(モーションパターン)で呼び出す方法[モーションコントロールショートカット(☞P.1-14)]の2種類があります。
●お買い上げ時に登録されているユーザーショートカットとそれぞれの呼び出し方は次のとおりです。変更もできます。(☞P.16-23)

ユーザーショートカット	ダイヤルボタンでの呼び出し	モーションコントロールショートカットでの呼び出し(モーションパターン)
アドレス帳検索	1(長押し)	—
自動応答メール設定	2(長押し)	—
簡易電卓	3(長押し)	—
リピートアラーム設定	4(長押し)	—
着信設定	5(長押し)	—
画面表示設定	6(長押し)	—
受信メール	7(長押し)	上・上
簡単メール宛先※	8(長押し)	左・左
TVnano(EPGアプリ)	*(長押し)	—
Vアプリライブラリ	◎(長押し)	—

※ お買い上げ時は「スカイメール」に設定されています。(☞P.3-17)

●9、0、#も利用できます。(☞P.16-23)

ユーザーショートカットを利用する

ダイヤルボタンでユーザーショートカットを呼び出す

1 **ダイヤルボタン（1～9、*、0、#）または◎を長く（1秒以上）押す。**

登録している画面が表示されます。

- ◎を押したあと、表示する画面のダイヤルボタンを押しても利用できます。
- データが登録されているときは、登録されているデータが表示／再生されます。

ユーザーショートカットが利用できないとき

次のときは、その機能内へのユーザーショートカットは利用できません。

- メール機能、ウェブ機能、ステーション機能、Vアプリ機能を機能停止（OFF）にしているとき
- SDメモリカードが取り付けられていないとき

ユーザーショートカットに登録しているデータを消去していたとき

ユーザーショートカットでデータを表示しようとすると、確認画面が表示されます。「1YES」を選び◉を押すと、ユーザーショートカットが消去され、ユーザーショートカットの画面に戻ります。

モーションパターンでユーザーショートカットを呼び出す

ビューアポジションでもユーザーショートカットを呼び出せます。

- クローズポジションでは利用できません。
- ユーザーショートカットの画面で「」が表示されないときは利用できません。そのときはⓜを押して「」を表示させてください。

1 **ⓜまたは◎を押す。**

ユーザーショートカットの画面が表示されます。

2 **モーションパターンの動作（☞P.16-23）を行う。**

- 10秒以内［タイムアウトする時間（☞P.16-23）］に1番目と2番目の動作が認識されると、それぞれの動作の認識音が鳴り、登録しているユーザーショートカットが表示されます。認識音の音量は設定できます。（☞P.9-6）

- モーションパターンの動作は、1番目の動作の認識音を確認したあと、2番目の動作を行うと認識されやすくなります。
- 10秒以内（タイムアウトする時間）に動作を行っても認識されなかったときは、エラー音が鳴り、認識できなかったことが表示（「NG」）されたあと、ユーザーショートカットの画面に戻ります。
- 10秒以内（タイムアウトする時間）に動作を行わなかったときは、エラー音が鳴ると同時に「**タイムアウト**」が表示され、ユーザーショートカットの画面に戻ります。
- 「」を表示しているときにⓜを押すと、「」が消えてモーションコントロールショートカットは動作しなくなります。

- V603SHを強く振りすぎないでください。誤ってV603SHを投げてしまったり、手首を痛めたりする原因になります。
- V603SHを落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- モーションコントロールショートカットは振り方の個人差により、正しく認識しないときがあります。認識しやすいモーションパターンを登録してご使用ください。
- モーションコントロールショートカットが正常に利用できなくなったら、モーションコントロール補正（☞P.16-4）を行ってください。

ユーザーショートカットに登録する

ユーザーショートカットやユーザーショートカットを呼び出すダイヤルボタン（☞P.16-21）の登録や変更を行います。

- ユーザーショートカットに登録できる画面では、「」が表示されます。

1 **機能一覧またはファイル一覧で、登録する機能名やファイル名を選ぶ。**

2 **スケジュール/メモを長く（1秒以上）押す。**

3 **登録先を選び、◉を押す。**

■ 上書き登録時：「1YES」選択➡◉

- ユーザーショートカットに登録すると、自動的に登録名が付きます。登録名は変更することもできます。（☞P.16-24）
- Vアプリを◎（長押し）に登録することもできます。（☞ P.11-3）
- 上書き登録した内容を消去すると、お買い上げ時の登録内容に戻ります。

モーションコントロールショートカットを設定する

ユーザーショートカットを呼び出すときのモーションパターンの登録や変更を行います。

- モーションパターンの動作の認識が終わる（タイムアウト）までの時間も設定できます。

1 **◎を押す。**

2 **ユーザーショートカット項目を選び、（メニュー）を押す。**

3 **「モーションコントロール」を選び、◉を押す。**

4 ***モーションパターンを登録／変更する***

1「1モーションコントロールON／OFF」を選び、◉を押す。

2「1ON」を選び、◉を押す。

■ 登録済のモーションパターンを削除する：「OFF」選択➡◉

3「1上（1往復）」～「3左（1往復）」のいずれかを選び、◉を押す。（1番目のモーション）

- ◎（ガイド）を押すと、モーションを説明するグラフィックが表示されます。

4「1上（1往復）」～「3左（1往復）」のいずれかを選び、◉を押す。（2番目のモーション）

設定したモーションパターンが表示されます。（、、）

このとき◎（練習）を押すと、設定したモーションパターンの練習ができます。

- すでに登録されているモーションパターンは登録できません。エラーが表示され、4の画面に戻ります。他のモーションパターンを設定してください。

タイムアウトする時間を設定する

1「2タイムアウト設定」を選び、◉を押す。

2タイムアウトする時間を入力し、◉を押す。

- お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。01～60秒まで設定できます。

その他のユーザーショートカット関連機能

名前変更 ユーザーショートカットの名前を変更します。

◎➡項目選択➡◎（メニュー）➡「名前変更」選択➡◉➡名前修正➡◉
●絵文字は入力できません。

消去 ユーザーショートカットを消去します。

◎➡項目選択➡◎（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ストップウォッチ

最長24時間まで、1/10秒単位でタイムを計測できます。計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記録できます。
●計測したタイムは、最新の5件までのラップタイムと合わせて、V603SHまたはSDメモリカードのテキストメモに登録できます。
●電池残量が少なくなると、ストップウォッチの動作は中止されます。

メニュー ➡ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ ストップウォッチ

1 ◉を押す。
タイムの計測が始まります。
■ ラップタイムの記録：◎（LAP）
■ビューアポジション操作時：C（1秒以上）／◀

2 止めるときは、もう一度◉を押す。
途中でラップタイムを記録すると、最新の5件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。
■ テキストメモ登録：◎（メニュー）➡「テキストメモ登録」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
■ 登録済のタイムの確認：◎（メニュー）➡「テキストメモ参照」選択➡◉➡登録箇所選択➡◉
■ 再スタート：◉
■ 計測タイムの消去：◎（リセット）
■ビューアポジション操作時：S（1秒以上）

3 終わるときは、◎または クリア を押す。
■ ストップウォッチ動作中／停止中：「1YES」選択➡◉

補足
●ストップウォッチを終了すると、計測したデータはすべて消去されます。保存するときは、計測終了後テキストメモに登録してください。
●計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。◎で通話終了後、計測中の画面に戻ります。
●アラーム（☞P.16-8）を設定しているときは、ストップウォッチ終了後に音が鳴ります。（ストップウォッチ動作中は、お知らせしません。）
●ストップウォッチ動作中は、スポットライトを点灯させることはできません。
●計測中にクローズポジションにしても、ストップウォッチの動作は継続します。

キッチンタイマー

設定した時間が経過すると、アラームとランプでお知らせします。
●最長60分まで、1秒単位で設定できます。

メニュー ➡ ファンクション ➡ 時計／アラーム機能 ➡ キッチンタイマー

1 設定する時間（00分01秒～60分00秒）を入力し、◉を押す。
●入力を間違えたときは、◎でカーソルを移動し、入力し直します。◉を押したあとは、下記の「**時間の変更**」の操作を行います。
●60分（60：00）以上の数字を入力したときは、タイマー起動時間の入力画面に戻ります。
■ 時間の変更：◎（編集）➡時間入力➡◉

2 ◉を押す。
タイマーのカウントダウンが始まります。

3 止めるときは、もう一度◉を押す。
■ 再スタート：◉
■ 設定時間へ戻る：◎（リセット）

4 終わるときは、◎または クリア を押す。
■ キッチンタイマー動作中／停止中：「1YES」選択➡◉

設定時間になったときの動作

■ メッセージが表示され、アラームとランプでお知らせします。［アラーム音：パターン1（固定）、音量：「**サウンド再生音量**」に連動、ランプ：「**サウンドランプ設定**」に連動、バイブ：OFF］
●アラームを止めるときは、◉を押します。約60秒間そのままにしておいても止まります。
●マナーモードに設定しているときは、バイブレータでお知らせします。（バイブパターン：バイブ1、音量／ランプ：マナーモードの設定内容に連動）
●アラーム音とマナーモード設定中のバイブレータは固定です。変更することはできません。
●着信中や通話中にタイマー起動時間になったときは、通話終了後◎を押すと、起動時間のお知らせが表示されます。

補足
●キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。◎で通話終了後、キッチンタイマー動作中の画面に戻ります。
●操作中に 文字 を長く（1秒以上）押して、マナーモードを設定／解除することができます。
●アラーム（☞P.16-8）を設定しているときは、キッチンタイマー終了後に音が鳴ります。（キッチンタイマー動作中は、お知らせしません。）
●キッチンタイマー動作中は、スポットライトは利用できません。
●キッチンタイマー動作中にクローズポジションにしても、キッチンタイマーの動作は継続します。

シェイクカウンター

V603SHを振ったときに振った回数を数えられます。
- シェイクカウンターはビューアポジションやクローズポジションでも利用できます。
- 終了するまで回数（カウント）を数えていく方法と（カウントアップ）、あらかじめ設定した回数がきたら終了する方法があります。（カウントダウン）
- カウント認識できる強さを設定できます。（カウントレベル設定）
- 最大99999回まで数えられます。
- 数えた回数は、V603SHまたはSDメモリカードのテキストメモに登録できます。

メニュー ▶ ツール ▶ シェイクカウンター

1 カウントアップする

1「1カウントアップ」を選び、◉を押す。

カウントダウンする

1「2カウントダウン」を選び、◉を押す。

2 セットする回数（1～99999回）を入力し、◉を押す。

2 ◉を押す。

3 V603SHを振る。

回数が数えられます。

- カウントダウン中に設定回数になったときや、カウントアップ中に最大回数（99999回）になったときは、アラームとランプでお知らせします。［アラーム音：パターン1（固定）、音量：「**サウンド再生音量**」に連動、ランプ：「**サウンドランプ設定**」に連動、バイブ：OFF］
  - ■アラームを止めるときは、◉を押します。約60秒間そのままにしておいても止まります。
  - ■マナーモードに設定しているときは、バイブレータでお知らせします。（バイブパターン：バイブ1、音量／ランプ：マナーモードの設定内容に連動）
  - ■アラーム音とマナーモード設定中のバイブレータは固定です。変更することはできません。

4 止めるときは、もう一度◉を押す。

- 数えた回数をテキストメモに登録する：◎（**メニュー**）➡「**テキストメモ登録**」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉
  - ■登録済の回数は、テキストメモの操作で確認します。（☞P.4-18）
- 再スタート：◉
- カウントの消去：◎（**リセット**）

5 終わるときは、◎または［クリア］を押す。

- カウント動作中／停止中：「1YES」選択➡◉

カウント認識できる強さの設定（カウントレベル設定）

■ P.16-26操作1のあと、次の操作を行います。

◎（**メニュー**）➡「**カウントレベル設定**」選択➡◉➡「1レベル1」～「5レベル5」選択➡◉

- 「1レベル1」～「5レベル5」の順にカウント認識が弱くなります。

- V603SHを強く振りすぎないでください。誤ってV603SHを投げてしまったり、手首を傷めたりする原因になります。
- V603SHを落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- シェイクカウンターが正常に動作しなくなったときは、モーションコントロール補正（☞P.16-4）を行ってください。

- アラーム（☞P.16-8）を設定しているときは、シェイクカウンター終了後に音が鳴ります。（シェイクカウンター動作中は、お知らせしません）
- 次のときは、カウント動作は継続します。
  - ■V603SHをクローズポジションにしたとき　■パネルセーブが動作したとき

シェイクサウンダー

V603SHを振ったときにスピーカーから効果音が鳴ります。
●データフォルダのファイルを効果音に設定できます。ただしSDメモリカード内のデータやファイルによっては、効果音に設定できないことがあります。

 ▶ ツール ▶ シェイクサウンダー

1 *音量を指定する*

1 (上げる)または(下げる)で音量を指定する。

●音量は、次のように変わります。

(上げる)	(下げる)
1→2→3→4→5→Shake※1	Shake※1→5→4→3→2→1

※1「Shake」を選んだときは、振る強さによって音量が変わります。

マナーモードに設定したときの音量はマナー設定変更(☞P.3-4)の内容に従います。(お買い上げ時は「**サイレント**」)

効果音を設定する

1 (メニュー)を押す。

2「1ホイッスル」〜「9オリジナル」のいずれかを選び、●を押す。

●「1ホイッスル」〜「8シャッフル」のいずれかを選んだときは、このあと操作2へ進みます。
●「9オリジナル」を選んだときは、(スケジュール/メモ)を押すたびに、「**リスタートモード**」と「**コンティニューモード**」が切り替わります。

リスタートモード	V603SHを連続して振るとき、振るたびに鳴っている効果音が停止して、最初から再生されます。
コンティニューモード	V603SHを連続して振るとき、鳴っている効果音が最後まで再生したあとで、くり返し再生されます。

●「8シャッフル」を選んだときは、振る方向とV603SHの傾きによって音色が変わります。
●「7拍手」または「9オリジナル」を再生しているときは、●を押すと停止します。

3 メロディなどを選び、●を押す。

2 V603SHを振る。

効果音が鳴ります。

効果音が鳴っているときのランプ動作は、「**サウンドランプ設定**」の設定内容に従います。(☞P.9-6)

3 終わるときは、(電源)、(クリア)、(戻る)のいずれかを押す。

●V603SHを強く振りすぎないでください。誤ってV603SHを投げてしまったり、手首を傷めたりする原因になります。
●V603SHを落とさないように注意してください。故障の原因となります。
●シェイクサウンダーが正常に動作しなくなったときは、モーションコントロール補正(☞P.16-4)を行ってください。
●パネルセーブ動作中は、V603SHを振っても効果音は鳴りません。

簡易方位計

画面に方位計を表示して、現在の向きを確認できます。
●方位計は北を指して表示されます。V603SHを動かしても方位計は自動的に北を指します。
●方位計には、「2D」と「3D」の２種類があります。
●お買い上げ時には、「3D」に設定されています。

メニュー ▶ オススメ(◎)

1「簡易方位計」を選び、●を押す。

●(メニュー)を押すたびに、方位計の表示は切り替わります。(「3D」⇔「2D」)

●V603SHは地磁気を検知するセンサーや移動などの加速度を検知するモーションコントロールセンサーを内蔵しており、簡易方位計はこれらのセンサーを利用しています。衛星を使った位置決定システム(GPS)には対応していません。そのため、実際とは違う方位が表示されることがあります。簡易方位計が指す方位はあくまで目安としてご利用ください。
●以下のような環境では、実際とは違う方位が表示されることがあります。
- 電車や地下鉄、自動車などへの乗車中
- 金属製品(金属製の机や棚など)の近く
- 鉄などで遮断された屋内
- エレベーター内およびエレベーターの近く
- 磁気の強いもの(☞P.1-13)の近く

●方位計が２D表示のときは、できるだけV603SHの画面を水平にした状態で、また、３D表示のときはある程度以上傾けない状態でご利用ください。

簡易方位計を起動しているときに◎(**補正**)を押すことにより、モーションコントロール補正を行うことができます。方位に誤差が生じたときはモーションコントロール補正を行ってください。(☞P.16-4)

バーコード読み取り

印刷されたバーコードをモバイルカメラで撮影して読み取ったり、ボーダフォンライブ！などで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取ることができます。
バーコードの読み取り方法には、次の種類があります。

通常モード	1つのバーコード(JANコード)またはQRコードを読み取ります。(複数に分割されているQRコードを自動的に認識し、読み取ることもできます。)
連続モード	複数のバーコード(JANコード)またはQRコードを連続して読み取ります。

●バーコード（JANコード）、QRコードのいずれかを自動的に判別し、読み取ることができます。
●連続モードで読み取れる回数は、バーコード（JANコード）が最大50回、QRコードが最大16回までです。ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続して読み取りできないことがあります。
●モバイルカメラで撮影して読み取るときは、V603SHを縦向きにしてお使いください。
●フォーカスロック状態で認識すると、ピントの自動調整の動作なしに、すぐに認識を開始します。また、マニュアルで自由にフォーカス位置を設定できます。
●光学ズーム／デジタルズームは利用できません。

●操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-29）は、バーコード読み取りはできません。
●バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
●室内などでバーコードを読み取る場合に、体の一部やV603SHの影がバーコードにかかっているときは、読み取れないことがあります。このようなときは、モバイルライトを利用されることをおすすめします。
●画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。

●JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。（ただし、JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は、読み取ることができません。）
●QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。
●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

モバイルカメラで撮影して読み取る

バーコード専用モードで読み取る方法と、文字入力中に読み取る方法があります。

バーコード専用モードで読み取る

読み取った文字を、コピーして他の画面にペーストできます。また、「TEL:」や「MAILTO:」など、特別な意味を持った文字が含まれているときは、アドレス帳やメールに文字を入力したり、インターネットに接続できます。

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ バーコード

1 「1バーコード読み取り」を選び、◉を押す。

接写モードでモバイルカメラが起動します。

●V603SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、バーコード読み取りは起動できません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

■ モード切替：[スケジュール]（**通常⇔連続**）
■ モバイルライトの利用：[#]（「**点灯（接写撮影用）**」⇔「**消灯**」切替）
■ 明るさの調整：◎（☞P.7-29）

2 読み取るバーコードを画面に表示させる。

3 ◉を押す。

ピントの自動調整（☞P.7-8）を行ったあと、バーコードの読み取りが開始されます。

●接写モードで読み取りにくいときはAFモードを切り替えてください。

■ AFモード切替：[文字]（押すたびに「**標準**」→「**マニュアル**」→「**接写**」切替）
■ 読み取りの中止：◎（**中止**）➡P.16-30操作2からやり直す

フォーカスロック（☞P.7-8）を行って、バーコードを読み取ることや、マニュアルでフォーカス位置を設定することもできます。（☞P.7-28）

4 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.16-32

読み取り結果の表示サイズ変更

■ お買い上げ時には、文字サイズは「中」、画像サイズは「等倍」に設定されています。
■ 読み取り結果表示中に、次の操作を行います。
◎（**メニュー**）➡「**表示サイズ設定**」選択➡◉➡「**1文字サイズ設定**」／「**2画像サイズ設定**」選択➡◉➡**サイズ選択**➡◉
■ 読み取り結果表示中に[スケジュール]を押しても、表示サイズを切り替えることができます。（画像等倍時には「1」、画像2倍時には「2」が画面に表示されます。）
■ 読み取り結果表示中の表示サイズ切替は、受信メール、送信メールやウェブの設定には反映されません。

読み取りのやり直し

■ 読み取り結果表示中に、次の操作を行います。
◎（**戻る**）➡「**1YES**」選択➡◉➡**P.16-30操作2以降**

連続モードでの読み取り後の操作

■ 読み取りが終了すると、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
●連続して読み取るとき
「**1YES**」選択➡◉➡**次のバーコードを画面に表示する**➡◉
●読み取りを終了するとき
「**2NO**」選択➡◉

分割されているバーコードのとき

■ 読み取りが終了すると、次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
●読み取るとき
「**1YES**」選択➡◉➡**次のバーコードを画面に表示する**➡◉
●読み取りを中止するとき
「**2NO**」選択➡◉➡「**1YES**」選択➡◉
■ 分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示／保存できません。
■ 読み取り中は、分割されている個数と、読み取り済の個数が画面1行目に表示されます。（例：「1/4」…4分割の1個目）

■読み取り結果を利用した各操作

電話をかける※1	「TEL:」の付いている番号※2を選択➡◉➡「電話」選択➡◉➡
メール送信する※3	「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡「メール送信」選択➡◉➡「1スーパーメール送信」/「2スカイメール送信」選択➡◉（以降の操作：☞P.3-3）
メール本文に利用してメール送信する	（メニュー）➡「メール送信」選択➡◉➡「1スーパーメール送信」/「2スカイメール送信」選択➡◉➡読み取り結果確認➡◉ ■読み取った文字の利用：読み取り結果確認画面で（切出）➡切り出す最初の文字にカーソル移動➡◉➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡◉（メール送信操作：☞P.3-3）
アドレス帳に登録する※1、※3	「TEL:」の付いている番号※2/「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡「アドレス帳登録」選択➡◉（以降の操作：☞P.5-6操作4以降）
インターネットに接続する※4	先頭に「http://」の付いているURLを選択➡◉➡「ウェブアクセス」選択➡◉➡☞P.4-27「URLを利用する」2
データフォルダに登録する（画像/メロディ）	画像/メロディ選択➡◉➡「データフォルダに保存」選択➡◉➡タイトル入力➡◉➡登録先選択➡◉
登録	（メニュー）➡「読取データの登録」選択➡◉➡タイトル入力➡◉ ●登録できるのは最大10件です。（登録した読取データの確認：☞P.16-34）
コピーする	（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡コピーする最初の文字にカーソル移動➡◉➡コピーする最後の文字にカーソル移動➡◉ 選んだ文字が記憶されます。このあと他の画面にペーストします。

※1　含まれている文字が「TEL:¥」のときに利用できます。
※2　0から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても、「TEL:」と同様の扱いになります。
※3　含まれている文字が「¥@¥」のときに利用できます。
※4　含まれている文字が「http://¥」のときに利用できます。
●「¥」は英数字1文字以上を示します。

注意　先頭に「TEL:」の付いている電話番号（0から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても同様）、「@」が含まれているE-mailアドレス、先頭に「http://」の付いているURLがないとき、それらを利用した各操作は行えません。

読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれている

■P.16-31操作4の画面で右のように、アドレス帳（「MEMORY:」のとき）やメール（「MAILTO:」のとき）用の項目と内容が表示されます。このあと◉を押すと、表示されている内容をアドレス帳登録画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。まとめて入力できるものには破線のアンダーラインが付きます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降は破線のアンダーラインは付きません。）

その他の機能

文字入力中の読み取り　文字入力中にバーコードを読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で（メニュー）➡（読取）➡「1バーコード読み取り」選択➡◉➡バーコードを画面に表示➡◉➡◉

- ●V603SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、起動することはできません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。
- ●次のときは、文字入力中のバーコード読み取りはできません。
  - ■バーコード読み取り結果を保存するときのタイトル入力中
  - ■テキスト貼付/マーカースタンプの文字入力中
  - ■通話をしているときの文字入力中
  - ■赤外線通信時のタイトル入力中
  - ■通話中のアドレス帳作成時
  - ■操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-29）
  - ■画像編集して保存するときのタイトル入力中
  - ■Vアプリ起動中

データフォルダ内のバーコードを直接読み取る

メニュー ➡ Vodafone live! ➡ データフォルダ

1「ピクチャー」を選び、◉を押す。
■ フォルダ表示中：フォルダ選択➡◉

2 読み取るバーコードファイルを選び、◉を押す。
バーコードの画像が表示されます。

3（メニュー）を押す。

4「バーコード読み取り」を選び、◉を押す。
読み取り結果が表示されます。
■ 読み取った結果を利用した各操作：☞P.16-32

分割されているバーコードの読み取り

■ 分割された次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- ●自動的に読み取るときは、次の操作を行います。
  「2自動選択」選択➡◉
  - ■自動読み取り失敗時：「1個別選択」選択➡◉➡ファイル指定➡◉
- ●読み取りを中止するときは、次の操作を行います。
  「3キャンセル」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

- ●サイズを変更したバーコードは読み取りできないことがあります。
- ●バーコードの種類によっては、確認メッセージが表示され、読み取りできないことがあります。

16 その他の機能

読取データを確認する

登録した読み取り結果（読取データ）を確認します。

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ バーコード

1 「3読取データ確認」を選び、◉を押す。

●このあと読取データを選び✉（メニュー）を押すと、読取データの情報確認（プロパティ）や名前の変更、消去などが行えます。操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.13-11、P.13-46、P.13-47）

2 読取データを選び、◉を押す。

読み取り結果が表示されます。

●表示した読み取り結果を再び登録することはできません。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.16-32

■ 読取データ確認画面に戻る：◎（戻る）

バーコード作成

V603SHのオーナー情報、アドレス帳、メール、テキストやデータフォルダのメロディ、画像（ピクチャー）を利用して、バーコードファイルを作成します。作成したバーコードファイルはデータフォルダに登録したり、スーパーメールに添付して送信できます。

●操作中に他の機能を呼び出しているとき（☞P.1-29）は、バーコード作成はできません。

バーコード専用モードを利用する

１回の操作につき、１つの情報（オーナー情報、アドレス帳、メール、テキスト、メロディ、画像）を選び、バーコードとして作成します。

●すでにV603SHに登録されている情報から選んで作成したり、新たにアドレス帳やメールの内容などを入力して作成することもできます。

●１つのバーコードに登録できる文字数の目安は、数字だけを入力したときは513文字、漢字だけを入力したときは131文字となります。

●情報量が多いときは、自動的に分割バーコードが表示されます。（一度に最大3416バイト［16分割］まで）

●作成したバーコードは、V603SHのピクチャーフォルダに登録されます。

入力した情報量（バイト）
可能情報量
15:05
バーコード作成
アドレス帳
0/3416(0/16)
☎:<未登録>
✉:<未登録>
:<未登録>
取消　選択　参照
現在の分割数
最大分割数

バーコード作成画面（アドレス帳）

オーナー情報からバーコード作成

名前／ヨミ／電話番号／E-mailアドレス／パーソナルデータからバーコードを作成します。

■オーナー情報の郵便番号はバーコード化されません。

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ バーコード ▶ バーコード作成 ▶ オーナー情報

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡✉（作成）➡◉

アドレス帳からバーコード作成

名前／ヨミ／電話番号／E-mailアドレス／パーソナルデータからバーコードを作成します。

■グループ名／オプション設定はバーコード化されません。

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ バーコード ▶ バーコード作成 ▶ アドレス帳

✉（参照）➡アドレス帳を呼び出す（☞P.5-14）➡アドレス帳選択➡◉➡◉➡✉（作成）➡◉

■ バーコード作成中に、新しい情報の入力：項目選択➡◉➡内容入力➡◉

メールからバーコード作成

メールの宛先／件名／本文／添付の情報からバーコードを作成します。

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ バーコード ▶ バーコード作成 ▶ メール

✉（参照）➡「1受信メール」～「3送信トレイ」選択➡◉➡メール選択➡◉➡✉（作成）➡◉

■ バーコード作成中に、新しい情報の入力：項目選択➡◉➡内容入力➡◉（メール作成：☞📖P.3-3）

テキスト（文字）からバーコード作成

入力したテキスト文、電話番号の情報からバーコードを作成します。

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ バーコード ▶ バーコード作成 ▶ テキスト

「テキスト文」／「電話番号」選択➡◉➡テキスト入力／電話番号入力➡◉➡✉（作成）➡◉

メロディ／画像からバーコード作成

データフォルダ内のメロディや画像からバーコードを作成します。

メニュー ▶ オススメ（◎） ▶ バーコード ▶ バーコード作成

「5メロディ」／「6ピクチャー」選択➡◉➡メロディ／画像選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡◉

■ オリジナル着信音選択時：変換形式選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

登録先の変更

■ バーコードを登録する（◉を押す）前に、次の操作を行います。
　㋱（メニュー）➡「1登録先」選択➡◉➡「1本体」／「2メモリカード」選択➡◉

スーパーメールに添付して送信

■ バーコードを登録する（◉を押す）前に、次の操作を行います。
　㋱（メニュー）➡「2メール添付」選択➡◉➡メール作成（☞P.3-3）

作成したバーコードデータの消去

■ バーコードを登録する（◉を押す）前に、次の操作を行います。
　㋱（メニュー）➡「3データ消去」選択➡◉➡消去するデータ選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

バーコード作成中に着信があると

■ 作成中の内容は保存されています。通話終了後、バーコード作成画面に戻ります。

各情報の画面からバーコードを作成する

V603SHに登録しているオーナー情報、アドレス帳、メール、テキストメモ、データフォルダ内のメロディや画像から、バーコードを作成します。

1 各情報の画面で、◉（メニュー）または㋱（メニュー）を押す。

●メールのときは、バーコード作成するメッセージを選んで操作します。

■ データフォルダ内のデータのバーコード作成：データ選択➡㋱（メニュー）➡「便利機能」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡◉（操作完了）

2「バーコード作成」を選び、◉を押す。

操作を開始した情報の種類に応じて、各画面が表示されます。

3 ㋱（作成）を押す。

■ 登録先の変更：☞上記
■ スーパーメールに添付して送信：☞上記
■ 作成したバーコードデータの消去：☞上記

4 ◉を押す。

文字を読み取る

URL、E-mailアドレス、電話番号、英語名などをモバイルカメラで撮影し、読み取ります。また、読み取ったあとに、種類に応じた操作も行えます。

●一度に読み取り可能な文字数は最大半角60文字まで、行数は3行です。
●次のときは、文字読み取りは起動できません。
　■ミュージックプレイヤー再生中　■SDメモリカード手動シンクロ中　■Vアプリ起動中
●モバイルカメラで撮影して読み取るときは、V603SHを縦向きにしてお使いください。
●フォーカスロックすると、自動的にフォーカスを合わせたあと、文字を読み取りできます。また、マニュアルで自由にフォーカス位置を設定できます。
●光学ズーム／デジタルズームは利用できません。
●一部記号などで読み取ることができないことがあります。

メニュー ▶ オススメ（◎）

1「文字読み取り」を選び、◉を押す。

接写モードでモバイルカメラが起動します。

●V603SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、起動することはできません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

■ ミュージックプレイヤー再生中、SDメモリカード手動シンクロ中：終了確認画面表示➡「1YES」選択➡◉
■ モバイルライトの利用：#（「点灯（接写撮影用）」⇔「消灯」切替）
■ 明るさの調整：◎

2 読み取る文字を、画面に表示する。

ピント調整バー（色が濃くなるほどピントが合います）

●画面内の〔〕枠中央に入るように調整してください。
〔〕の端の文字は読み取りにくいことがあります。
●文字読み取り起動時には、反転モード「自動」に設定されています。白抜きの文字など、反転モード「自動」でうまく読み取れないときは、反転モードを切り替えてください。
●オートフォーカスの接写モードで読み取りにくいときは、AFモードを切り替えてください。

■ 反転モード切替：スケジュール（押すたびに「通常文字」（「A」表示）→「反転文字」（「A」表示）→「自動」切替）
■ AFモード切替：文字（押すたびに「標準」→「マニュアル」→「接写」切替）

補足
フォーカスロック（☞P.7-8）を行って、文字を読み取ることや、マニュアルでフォーカス位置を調整することもできます。（☞P.7-28）

3 ◉を押す。

ピントの自動調整（☞P.7-8）を行ったあと、文字の読み取りが開始されます。
複数の行を撮影したときは、このあと◎で読み取る行を指定します。（文字の読み取りは1行単位で行います。）

■ 読み取りの中止：クリア➡P.16-37操作2へ

4 ◉を押す。

文字の読み取りを開始します。

5 読み取りが成功すると、読み取り結果が表示される。

読み取った文字を自動的に判別し、URL、E-mailアドレス、電話番号、英語名などで表示します。種類が異なっているときは種類を変更し、再認識することができます。

■ 読み取りの種類変更：「**3モード切替**」選択➡◉➡切り替える種類選択➡◉
（切り替えた種類により、読み取り結果や変換候補で表示される内容が変わります。）

■ 読み取り結果修正：「**2候補選択（編集）**」選択➡◉➡編集画面へ➡修正する文字にカーソル移動➡候補選択／文字入力➡◉

■ 読み取りのやり直し：◎（**再読**）➡「**1YES**」選択➡◉➡P.16-37操作2からやり直す

読み取り可能文字数を超過したとき
文字数カットの確認メッセージが表示され、カット後の読み取りデータが表示されます。

6 「1OK」を選び、◉を押す。

●このあと、下表のとおり利用することができます。

URL	ウェブアクセス、コピー
E-mailアドレス	メール送信、アドレス帳登録、コピー
電話番号	電話をかける、アドレス帳登録、コピー

■ 読み取り結果を利用した各種操作：☞P.16-32
■ 読み取り結果の表示サイズ変更：☞P.16-31

●続けて読み取るときは、次の操作を行います。
◎（**メニュー**）➡「**続き読み取り**」／「**追加読み取り**」選択➡◉
■続き読み取り…改行をカットしたデータを、前回読み取った結果の末尾に追加します。（前に読み取ったものと同じ種類で読み取ります。）
■追加読み取り…改行も含むデータを、前回読み取った結果の次行に追加します。
●すでに256バイト読み取り済のときは、「**続き読み取り**」または「**追加読み取り**」は行えません。

読み取り可能な文字数であっても、35文字を越えると読み取りにくいことがあります。

文字入力中の読み取り 文字入力中に文字を読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で◎（メニュー）➡◎（読取）➡「2文字読み取り」選択➡◉➡P.16-37操作2以降

V603SHの温度が高いときは、確認メッセージが表示され、起動することはできません。また、読み取り中に温度が高くなったときは、確認メッセージが表示されたあと、読み取りは自動的に終了します。

電池の消費を抑える

電池パックの消費を抑える

通話中の電波の出力を抑え、電池パックの消費を少なくします。（バッテリーセーブ）
●「ON」に設定すると、こちらの話し始めの声が相手側に聞こえにくくなることがあります。
●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

メニュー ➡ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ 省電力設定 ➡ バッテリーセーブ

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ バッテリーセーブの解除：「**2OFF**」選択➡◉

ディスプレイの電力消費を抑える

V603SHは、操作をしない状態（クローズポジションを除く）が一定時間以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ）
パネルセーブが動作するまでの時間を2分〜20分の間（1分単位）で変更したり、動作しないようにします。
●通話中やボーダフォンライブ！利用中など、利用状態によっては、パネルセーブが動作しないことがあります。

パネルセーブを設定する

●お買い上げ時には、5分後にパネルセーブが動作するよう「ON」に設定されています。

メニュー ➡ ファンクション ➡ 表示／設定1 ➡ 省電力設定 ➡ パネルセーブ ➡ ON／OFF設定

1 「1ON」を選び、◉を押す。

■ パネルセーブの解除：「**2OFF（微点灯あり）**」／「**3OFF（微点灯なし）**」選択➡◉（操作完了）

2 パネルセーブが動作するまでの時間（02〜20分）を入力し、◉を押す。

パネルセーブの動作

■ 自動的に画面表示が消えます。
- ●パネルセーブは何かボタンを押したり、着信などがあると、解除されます。（最初に押したボタンは、パネルセーブ解除用としてだけ動作します。ダイヤル入力や各種操作などは、パネルセーブを解除してから行ってください。）
- ●パネルセーブ動作中にV603SHをクローズポジションにすると、効果音設定の「3パワーON」（☞P.9-6）で設定されている音が鳴り、パネルセーブ動作中であることをお知らせします。このあとV603SHをオープンポジションにすると、パネルセーブは解除されます。

補足 パネルセーブが動作するまでの時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

パネルセーブ動作時にスモールライト（オレンジ色点滅）を表示する

●お買い上げ時には、「ランプ表示なし」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定１ ➡ 省電力設定 ➡ パネルセーブ ➡ ランプ表示設定

1 「1ランプ表示あり」を選び、◉を押す。

ランプ点灯なし：「2ランプ表示なし」選択➡◉

簡易電卓

12ケタまでの四則演算やパーセント計算、税込みの計算に便利です。

●簡易電卓の機能は、次のボタンに割り当てられています。

機能	ボタン	機能	ボタン
＋（足す）	◎(左)	RM（メモリ呼出）	文字
－（引く）	◎(右)	M+（メモリ加算）	メニュー
×（掛ける）	◎(上)	．（小数点）	＊
÷（割る）	◎(下)	+/-（符号反転）	＃
＝（イコール）	◉	%（パーセント）	◎
C・CE（クリア）	クリア	tax（税計算）	通話
CM（クリアメモリ）	スケジュール/メモ		

●お買い上げ時には、税率は「５％」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２

1 「9簡易電卓」を選び、◉を押す。

●待受中に金額を入力し◉を押しても、簡易電卓が表示されます。

税率の変更：税率（01〜99％）入力➡通話（１秒以上）

2 簡易電卓を終わるときは、終話を押す。

計算結果の利用

■ 簡易電卓で行った最後の計算結果やメモリ計算で記憶した数値は、文字入力画面に貼り付けることができます。

文字入力画面でメニュー（メニュー）➡「各種情報入力」選択➡◉➡「4簡易電卓」選択➡◉➡計算結果選択➡◉➡P.4-16操作７

補足
- ●計算中に着信があったとき、入力した数値や計算結果、メモリに記憶された数値は消去されません。
- ●メモリ計算ではスケジュール/メモを押して、メモリ内容を消去してから始めてください。
- ●メモリに記憶した数値は簡易電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

マネー積算メモ

順次入力した金額の合計を自動的に計算します。出張時の経費の計算などに便利です。

- ●マネー積算メモには最大31件の金額が入力できます。（合計金額は最大30,999,969円まで、１回の入力は最大999,999円まで）
- ●通話中にマネー積算メモは入力できません。

マネー積算メモ入力 待受中にダイヤルボタンで金額を入力し、明細名を付けて登録できます。

金額を入力➡スケジュール/メモ➡明細名選択➡◉

- ●自動的に入力した日時で登録されます。
- ●時刻設定（☞P.1-26）がされていないときは、日時には「--/-- --:--」が登録されます。

確認 入力したマネー積算メモを確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マネー積算メモ

「1メモ確認」選択➡◉

- 他の金額を確認：◎(上下)
- 明細名／金額の変更：明細選択➡メニュー（メニュー）➡「1明細変更」／「2金額変更」選択➡◉➡変更内容入力➡◉

消去 明細を消去します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マネー積算メモ ➡ メモ確認

消去する明細選択➡メニュー（メニュー）➡「3１件消去」／「4全件消去」➡◉➡「1YES」選択➡◉

明細名変更	あらかじめ登録されている明細名を変更します。

メニュー ➡ ファンクション ➡ 表示／設定２ ➡ マネー積算メモ ➡ 明細変更 ➡ 変更する明細を選ぶ

明細名変更 ➡ ◉

- 最大全角５文字（半角10文字）まで入力できます。
- あらかじめ登録されていた明細名に戻すときは、変更した明細名を消去し、◉を押します。

スポットライト

V603SHを懐中電灯のように利用できます。

点灯	スポットライトを点灯します。

待受中にⓂを連続して２回押す

■ 消灯：ⓒ（連続２回押し）／㊂／クリア

点灯設定	スポットライトの継続点灯時間や点灯カラーの設定をします。

お買い上げ時 継続点灯時間：１分、色：ライチフルーツ（白色系統）

メニュー ➡ ツール ➡ スポットライト ➡ スポットライト設定

継続点灯時間を設定する

「1継続点灯時間」選択 ➡ ◉ ➡ 時間選択 ➡ ◉

点灯カラーを設定する

「2点灯カラー」選択 ➡ ◉ ➡ カラー選択 ➡ ◉

■ 点灯カラーの確認：カラー選択時に◎（点灯）

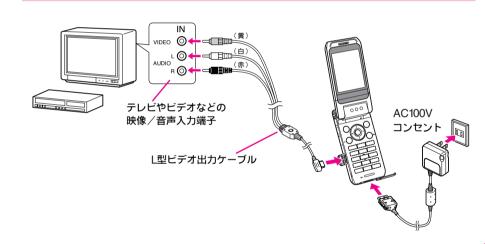
- スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。
- 次のときは、スポットライトが点灯しません。
  - ■モバイルカメラ起動中 ■誤動作防止中 ■ダイヤル操作禁止中 ■通話中
  - ■メール受信中 ■ボイスレコーダー録音中 ■SMAF動作中 ■発信中
  - ■ストップウォッチ動作中 ■キッチンタイマー動作中 ■テレビ／FM視聴中
  - ■メロディファイル再生中

- スポットライト点灯中に電話などの着信があったときは、スポットライトが消灯し、画面のパネル照明が点灯します。
- 次のようなときにスポットライトを点灯すると、設定した点灯時間終了後、画面のパネル照明が点灯します。
  - ■Vアプリ起動中［Vアプリの「**パネル照明**」（☞ P.12-3）を「**常時ON**」に設定しているとき］
- クローズポジションにしてスポットライトを点灯しているときは、V603SHを開くと（オープンポジションにすると）自動的にスポットライトは消灯されます。
- スポットライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

外部出力

テレビやビデオなど他の機器とV603SHを接続し、他の機器にV603SHの画面を出力して見ることができます。

- V603SHと他の機器は、L型ビデオ出力ケーブルで接続します。
- 指定するL型ビデオ出力ケーブル以外のビデオ出力ケーブルはご利用にならないでください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- 画像（TV録画／キャプチャーしたデータなど）や音声によっては、外部出力できないものがあります。
- ビデオカメラモードのファイルやVアプリなどを外部出力しているときは、V603SHの画面では表示されません。
- V603SHに取り付けたSDメモリカード内のデータも見ることができます。
- 外部出力に対応したVアプリ（☞ P.10-5）やモーションコントロールセンサーを使用した機能（☞P.1-13）もテレビやビデオなどの他の機器で表示することができます。
- クローズポジションのときは、外部出力できません。

テレビなどの接続方法

外部出力の設定

あらかじめ、V603SHと他の機器を接続しておいてください。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 表示／設定２ ▶ 画面表示設定

1 「6外部出力設定」を選び、◉を押す。

■ 表示サイズの切替：「3表示サイズ切替」選択➡◉➡「1等倍」／「2拡大」選択➡◉

■ 静止画や動画を回転：「4画像回転表示設定」選択➡◉➡「1回転無し」〜「4270°」選択➡◉

2 「1ON」を選び、◉を押す。

●V603SHの画面にも映ります。

■ 他の機器への出力をしない：「2OFF」選択➡◉

注意

●テレビなどと接続するときやプラグを抜くときは、次の点にご注意ください。
■接続するときやプラグを抜くときは、接続する機器側の電源を一旦「切」にしてください。
■L型ビデオ出力ケーブルはテレビ側のビデオ入力に接続してください。誤ってビデオ出力端子など他の端子に接続すると、故障することがあります。また、L型ビデオ出力ケーブルはV603SH以外へは接続しないでください。
■L型ビデオ出力ケーブルのプラグは、ゆっくりと確実に差し込んでください。また、抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。
■L型ビデオ出力ケーブルを強くひっぱったり、プラグ付近をねじったり、無理な力を加えないでください。V603SHのVIDEO OUT端子やL型ビデオ出力ケーブルが破損する恐れがあります。

●外部出力をご利用になる際には、V603SHと接続したテレビなどの機器で、音量調整を行ってください。また、V603SHを抜く前にはテレビなどの音量が大きくなりすぎていないことをご確認のうえ、テレビなどの電源を切ってください。

●お使いのテレビなどによっては、画面にノイズが出たり乱れることや、表示サイズ切替を「2拡大」にしているときは、画像の一部（上下）が表示されないことがあります。

●外部出力が「ON」に設定されている状態で、光デジタル・ライン入力端子にTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクや光デジタル変換ケーブルなどを接続すると、設定は解除（「OFF」）されます。

補足

●「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池の利用時間が短くなります。

●撮影中の静止画や動画は、外部出力できません。

●ビデオカメラモードのファイルを外部出力しているとき、再生中に㋹を押すと、他の機器への出力を中止し、画面で最初から再生されます。

●表示できない画像が１つでも含まれているとき、アドレス帳画面、アドレス帳リスト表示、データフォルダ画像一覧表示、メールリスト表示は外部出力できません。

●ウェブは表示できません。

連続表示について

外部出力が「ON」に設定されている状態で、静止画を連続して表示（☞P.13-22）すると、接続している他の機器側でも連続して表示されます。〔連続表示ワイプ設定（☞P.13-22）は、他の機器では表示されません。〕

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの利用

ワンタッチで電話をかける

メモリ番号000に登録したアドレス帳（☞P.5-5）には、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクのスイッチを押すだけで、電話をかけることができます。

1 イヤホンマイク端子に、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

2 スイッチを「ピピッ」と音がするまで、長く（１秒以上）押し続ける。

●相手が出たら、お話しください。

3 通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（１秒以上）押し続ける。

電話が切れます。㋓を押しても、電話を切ることができます。

●V603SHをクローズポジションにしても、電話は切れません。

注意

メモリ番号000をシークレットデータにしているときは、シークレットモードにしてから、スイッチの操作で電話をかけてください。（☞P.15-7）

補足

●ダイヤル操作禁止やメモリ使用禁止設定中やTV録画中、FM録音中は、電話をかけられません。（☞P.15-2、P.15-3、P.6-8、P.6-14）

●TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクのコードを、V603SH本体や内蔵アンテナ部分に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。また、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクのコードを、内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。ご注意ください。

●プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。

ワンタッチで電話を受ける

1 イヤホンマイク端子に、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

着信音を鳴る設定にしているときに電話がかかってくると、着信音出力切替（☞P.16-46）の設定により、イヤホンからだけ、またはイヤホンとスピーカーの両方から着信音が聞こえます。

2 スイッチを長く（１秒以上）押し続ける。

電話がつながります。相手とお話しください。

●電話を切る操作は上記と同様です。

イヤホンからのみ着信音を出す

イヤホンマイク端子にTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを差し込んでいるときは、着信音はイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。
これをイヤホンからのみ鳴るように設定します。
●お買い上げ時には、「**イヤホン+スピーカー**」に設定されています。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 音関連機能 ➡ 着信音出力切替

1 「1イヤホンのみ」を選び、◉を押す。
イヤホンとスピーカーの両方から鳴らす：「2イヤホン+スピーカー」選択➡◉

イヤホンマイク端子にTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクなどが差し込まれていないときは、「**イヤホンのみ**」に設定していても、スピーカーから着信音が鳴ります。

外部機器を利用したデータ通信

FAX通信	データ／FAX通信カードなどを介して、FAX通信をします。

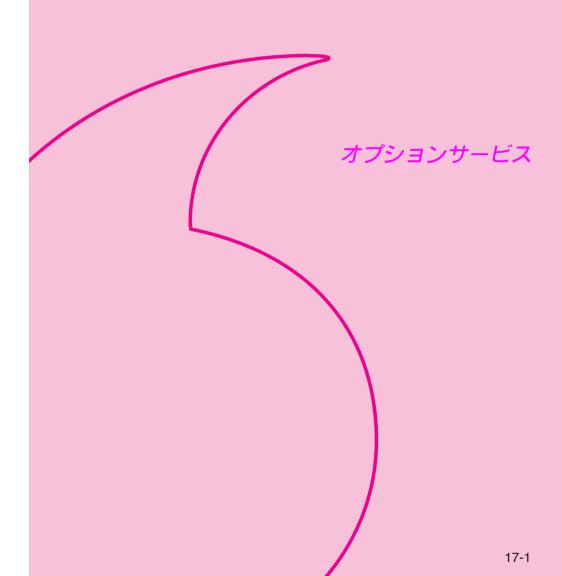
データ／FAX通信カードを接続する
●G3 FAXが送信または受信状態になると、確認画面が表示されます。

パソコン通信	データ／FAX通信カードなどを介して、パソコン通信をします。

データ／FAX通信カードを接続する
●パソコンが通信状態になると、確認画面が表示されます。

FAX通信やパソコン通信を行うときは、電波の安定した場所で行われることをおすすめします。

●パソコン通信を行っているときは、ボーダフォン携帯電話の画面表示が接続されたデータ／FAX通信カードによって変わります。
●ボーダフォン携帯電話は、9600bps高速データ通信対応です。
●データ／FAX通信カードなどの接続方法、FAX通信やパソコン通信の方法については、データ／FAX通信カードなどの取扱説明書をご参照ください。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスが利用できます。

- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、一般電話から操作してください。
- 一般電話からの操作、サービスの詳細については「**サービスガイドブック**」をご覧ください。

転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。（☞P.17-3）
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.17-4）
割込通話サービス	通話中の相手を保留にし、かかってきた別の電話を受けられます。（☞P.17-6）
三者通話サービス	２人での通話中にもう１人に電話をかけ、３人同時に通話できます。また、相手を切り替えながら交互に通話できます。（☞P.17-7）
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、相手の電話番号を表示できます。

転送電話サービス

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

転送先電話番号登録

転送先の電話番号を登録します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 転送サービス ▶ 転送先登録

転送電話番号入力 ▶ ◉

接続中のメッセージが表示されたあと、登録した転送先電話番号が表示されます。

- 一般電話のときは、市外局番から入力してください。

転送先として登録できない電話番号

- 「１」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
- 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
- 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス開始

転送電話サービスを開始します。

■あらかじめ転送先の電話番号を登録しておいてください。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 転送サービス ▶ 転送開始

「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択 ▶ ◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

- 「2なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

転送電話サービス停止

転送電話サービスを停止します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 秘書停止

「1YES」選択 ▶ ◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

転送電話サービス設定確認

転送電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 秘書確認

「1YES」選択 ▶ ◉

設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

転送電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間にⓒを押すと、そのまま通話できます。

- 転送時の着信音を「なし」に設定しているときは、着信音は鳴らず、転送先に転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービス

留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は、「**サービスガイドブック**」をご覧ください。

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始

留守番電話サービスを開始します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 留守番サービス

「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

●「**2なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

留守番電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間にを押すと、そのまま通話できます。

- 転送時の着信音を「**なし**」に設定しているときは、着信音は鳴らず、留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）

留守番電話サービス停止中に着信があると（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

■ 着信中に◉の順に押すと、その着信に限り留守番電話センターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）

■ 留守番電話センターに転送できなかったときは、確認メッセージが表示され、着信中の画面に戻ります。

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.16-3）を「5 **留守電センター転送**」に設定しているときは、着信中に、設定したサイドボタンを長く（１秒以上）押すと、留守電センター転送が行えます。（クローズポジション時だけ）

留守番電話サービス停止

留守番電話サービスを停止します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書停止

「1YES」選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

伝言メッセージ再生

留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 留守録再生

「1YES」選択➡◉➡

- 留守番電話センターに接続後は、アナウンスに従って、操作してください。
  - メッセージの確認を終了する：
  - 留守番電話センター番号を変更して確認：◉➡「**ファンクション**」選択➡◉➡「7 **付加サービス**」選択➡◉➡「7 **留守録再生**」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡➡センター番号入力➡◉➡
    - ■ お買い上げ時のセンター番号は「1416」です。

補足　「」はV603SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

留守番電話サービス設定確認

留守番電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書確認

「1YES」選択➡◉

設定状況が表示されます。

転送電話／留守番電話の呼出し時間設定

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V603SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V603SHの着信音が鳴る時間）を５～30秒（５秒単位）の間で設定できます。

- 電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。
- 着信音を鳴らさないようにしているときは、ここでの設定は無効になります。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

呼出し時間設定

転送電話／留守番電話の呼出時間を設定します。

お買い上げ時 20秒

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 呼出時間設定

呼出し時間選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

注意 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV603SHの簡易留守録（☞P.16-5）と合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。
　例：各サービスの呼出し時間…10秒
　　簡易留守録の呼出し時間…9秒
と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。

割込通話サービス

割込通話サービス設定／解除　割込通話サービスを設定／解除します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 割込設定

「1ON」／「2OFF」選択➡◉

ネットワーク接続後、確認メッセージが表示されます。

割込通話サービス設定確認　割込通話サービスの設定状況を確認します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、確認できません。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 割込確認

「1YES」選択➡◉

ネットワーク接続後、設定状況に応じて、確認メッセージが表示されます。

割込通話着信　通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中に割り込み音が聞こえたら⌒

- 保留中の相手との通話：⌒（切替）
- 通話する相手の切替：⌒（切替）

割込通話サービスをご利用中は、通話中に着信があっても、バイブレータは動作しません。（着信音も鳴りません。）専用の割り込み音が聞こえ、着信中のメッセージが表示されます。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

■ 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスで「**着信音なし**」に設定しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

割込通話中に☎を押すと

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。⌒または☎を押すと、保留中の相手との通話になります。

割込通話中に通話中の相手が電話を切ると

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。⌒または☎を押すと、保留中の相手との通話になります。

三者通話サービス

通話中発信　通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

通話中に電話番号入力➡⌒

相手につながると、通話できます。それまで通話していた相手は、保留になります。
- アドレス帳、リダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリを使ってかけることもできます。

切替通話　相手を切り替えながら通話します。

通話中に⌒

それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。
- ⌒（**切替**）を押すたびに、通話する相手を切り替えられます。

切替通話中に、☎を押すと

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。⌒または☎を押すと、保留中の相手との通話になります。

切替通話中に、通話中の相手が電話を切ると

■「ピピピピ…」と警告音が鳴って、画面に保留通話ありのメッセージが表示されます。⌒または☎を押すと、保留中の相手との通話になります。

通話中転送

切替通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用できます。

切替通話中に◉➡「6通話中転送」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手と、保留中の相手の通話になります。（お客様から電話をかけたときは、引き続き通話料金が課金されます。）

●㊢を押すと、待受画面に戻ります。

三者通話

３人で同時に通話できます。

切替通話中に◉➡「5三者通話」選択➡◉

●三者通話中に「**切替通話**」（☞P.17-7）に切り替えることはできません。

三者通話中転送

三者通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用できます。

三者通話中に◉➡「4通話中転送」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた残りの２人の通話になります。（お客様から電話をかけたときは、引き続き通話料金が課金されます。）

●㊢を押すと、待受画面に戻ります。

三者通話中に、㊢を押すと

■ ２人の相手との電話が同時に切れます。

三者通話中に、通話中の相手のどちらかが電話を切ると

■ 残された相手との通話になります。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

*Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

■ Battery (SHBY01)*
(Type 1 lithium-ion battery)

■ Desktop Holder
(SHEY01)*

■ Video Cable
(SHPU01)*

■ Rapid Charger
(SHCV01)*

■ Headphones (SHLV01)*
(with Built-in TV Antenna)

*May also be purchased separately.

- Address accessory-related inquiries to Vodafone Customer Center, General Information (☞P.18-38).
- V603SH is compatible with SD Memory Cards. SD Memory Card is not included in this package. Purchase SD Memory Card to use Memory Card-related handset functions.

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

■ Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

(Prohibited symbols)	Prohibited Actions
(Compulsory symbols)	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

⚠ DANGER

Handset, Battery & Charger

Use only the specified battery, Charger or Holder.
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit Charger terminals.
Keep metal objects away from Charger terminals. Keep handset away from necklaces, hairpins, etc. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire.
Do not:

- Heat or dispose of battery in fire.
- Disassemble, modify or break battery.
- Damage or solder battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or in extreme heat.
- Use battery for other equipment.

If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

⚠ WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into handset.
Do not place metal or flammable objects in handset, Charger or Holder. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

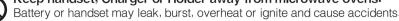
Keep handset out of rain or extreme humidity.
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers.
Keep handset, Charger and Holder away from chemicals/liquids. Fire or electric shock may result.

18 Abridged English Manual

Avoid sources of fire.
Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not use Mobile Light near people's faces.
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Keep handset, Charger or Holder away from microwave ovens.
Battery or handset may leak, burst, overheat or ignite and cause accidents.

Do not disassemble or modify handset.
- Do not open housing of handset, Charger or Holder; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, Charger or Holder. Fire or electric shock may result.

Do not subject handset to shocks.
Subjecting handset, Charger or Holder to shocks may cause malfunction or injury.
Should the handset break, remove the battery and contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If water or foreign matter is inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug Charger and contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance.

If an abnormality occurs:
Should there be unusual sound, smoke or odor, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery and unplug Charger and contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance.

Handset

Preventing accidents
For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand.

Do not swing handset by Antenna, Headphones or handstrap.
May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft.
Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjusting vibration and Ring Tone settings:
Select settings carefully if you have a heart condition or pacemaker.

During lightning storms, turn power off and take shelter.
There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger Care

Use only the specified voltage.
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.
- Charger: 100 VAC
- In-Car Charger:12/24 VDC

Do not use In-Car Charger in cars with a positive earth.
Fire may result. Use In-Car Charger only in cars with a negative earth.

Charger Care
Do not touch blades with wet hands. Electric shock may occur.

- Do not use multiple cords in one outlet. May generate excess heat or fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit Charger terminals
Keep metal away from terminals. May cause overheating, fire or electric shock.

Do not use Desktop Holder in automobiles
Extreme temperature or vibration may cause fire or breakage.

If Charger or In-Car Charger cord is damaged:
May cause fire or electric shock; contact Vodafone Customer Center, Customer Assistance to replace.

Preventing accidents
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

During lightning storms:
Unplug Charger to avoid breakage, fire or electric shock.

Keep Charger & Desktop Holder out of the reach of children
Electric shock or injury may occur.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or ignite.
- If there is leakage or abnormal odor, avoid fire sources. It may catch fire or burst.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

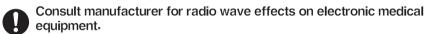
Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemakers or defibrillators should keep handset more than 22 cm away.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers or defibrillators may be near.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules when visiting medical institutions:
- Do not take handset into operating rooms or Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical institutions.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

⚠ CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset care
- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside cars, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage environment
- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Avoid leaving handset in extreme heat (inside a car, etc.).
Handset may heat up and lead to burns.

Inside automobiles:
Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

Charger Care

Charger & In-Car Charger
- Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.
- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.

- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder while in use.
May cause burns.

Long periods of disuse
Be sure to unplug Charger or In-Car Charger after use.

Handset Maintenance
When cleaning, disconnect Charger/In-Car Charger to prevent shock/injury.

Use only the specified fuse.
1A fuse for In-Car Charger. Or may cause breakage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area.
Avoid covering/wrapping Charger/Desktop Holder. May cause damage/fire.

Installing In-Car Charger
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Do not use In-Car Charger when engine is off.
Start engine before use. Or car battery may be weakened.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or ignite.

Do not leave battery in direct sunlight or inside cars. Overheating/fire may occur and battery performance may deteriorate.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid contacts skin or clothes, rinse with clean water immediately.

- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.
- Keep battery out of the reach of children.

- Charge battery within a range of 5℃ - 35℃. Or may leak/overheat. Performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Center, Customer Assistance.
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every 6 months.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or SD Memory Card data. Please keep separate records of Phone Book entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law.
  Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Beware of eavesdropping.
  Digital signals reduce interception, however transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

In Automobiles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect an automobile's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off).
Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5℃ - 35℃ and 35% - 85% humidity.
  Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the Display.
- Handset is not water-proof.
  Keep it away from fluids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in a wet area (restroom, bathroom, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may seep inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided.
  May cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Connect only the specified products to Headphone Connector.
  Malfunction or damage may result.
- Always turn off handset before removing battery.
  If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide.
Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or automobile traffic.

Manner-Related Features

■ Manner Mode

Press Manner Key to automatically mute all Ring Tones and activate Vibration Mode for incoming calls, mail and information.

■ Vibration Mode

Activate Vibration Mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

■ Volume Settings

Decrease or mute Ring Tone Volume for incoming calls/mail/information as well as tones for Web or V-Applications when carrying handset in public places.

■ Whisper Mode

Use Whisper Mode to increase microphone sensitivity, allowing you to lower your voice and speak softly when you must use handset in public places.

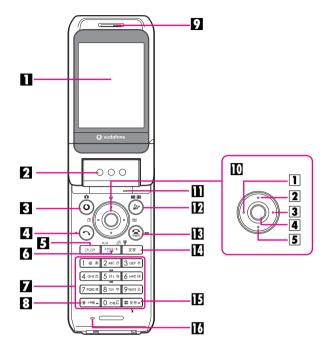
■ Off-Line Mode

Use Off-Line Mode to suspend all handset transmissions. When Off-Line Mode is active, incoming and outgoing calls/mail as well as incoming Vodafone live! information are blocked.

■ Message Recorder

Use Message Recorder to handle incoming calls when it is inappropriate or unsafe to answer.

Handset Parts & Functions

Handset (Front)

1 Display
2 Speaker
3 Vodafone live! & Mobile Camera Key
Open Web Menu. Press for 1+ seconds to activate mobile camera. While TV is active, press to launch TVnano (Electronic Program Guide V-Appli).
4 Start Key
Initiate/answer calls.
5 Clear Key
Delete entries/return to previous window.
6 Schedule/Memo & A/a Key
Save/check schedule or record/play Voice Memos. Toggle between upper/lower case roman letters or standard/small kana in text entry windows and change image display sizes.
7 Keypad
8 [＊ ﾞﾟ/絵] Key
While an image or message appears, press to open previous one.
In alphanumerics entry, open web/mail address prefixes & suffixes, and in kanji (hiragana) entry, toggle Symbol & Pictograph lists. In Standby, press for 1+ seconds to launch TVnano (EPG V-Appli) or other shortcuts.

9 Earpiece

10 Multi Selector

Select menu items, move cursor, scroll, etc. or use for the following:

1 Redial & Notepad Memory Key
: Select dialed numbers or return to the previous window. Press for 1+ seconds to open Notepad Memory.

2 Shortcut Key
: Open User Shortcut list. Press for 1+ seconds to open V-Appli Library (default).

3 Phone Book Key
: Open entries to make calls, send messages or open selected menu items. Press for 1+ seconds to save new entries.

4 Function & Key Guard Key
: Access Functions menu. Press for 1+ seconds to set or release Key Guard.

5 Call History Key
: Open records of received calls. Press for 1+ seconds to adjust Earpiece Volume.

11 Microphone

12 Mail Key

Open Mail menu. Press for 1+ seconds to activate TV/FM.

13 Power On/Off & End Key

End calls, place callers on hold or cancel operations. Press for 2+ seconds to turn handset power on/off.

14 Text/Manner Key (📳)

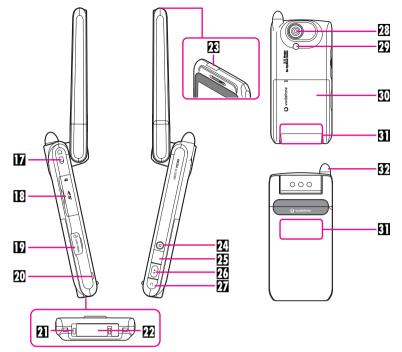
Toggle character types or create Phone Book entries. Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner Mode.

15 # Key

When mobile camera is active, press to toggle Mobile Light on/off. While an image or message appears, press to open next one. In text entry windows, toggle Symbol & Pictograph lists.

16 Microphone

Handset (Side & Back)

17 Strap Eyelet

Attach straps as shown.

18 Memory Card Slot

Insert SD Memory Card here.

19 Video Out/Headphone/Optical Digital/Line In Connector

Connect included Video Cable, Headphones, etc.

20 Small Light

Illuminates red while charging; green while recording TV programs/pictures; and orange while recording FM radio. Set to flash for incoming calls.

21 Charger Terminal

22 External Device Connector

Connect Charger here.

23 Infrared Port

Use for infrared data transmissions.

24 Multi Key

- While mobile camera is active in Viewer position, press to toggle Optical Zoom on/off.
- Double-press to activate Pen Light.

25 Shutter Key
With Display in Viewer position, press to open selected menu items or execute functions. Press for 1+ seconds to activate mobile camera.

26 Zoom/Select Key
Select menu items, move cursor, etc.

27 C Key
With Display in Viewer position, press to open Mail menu, cancel the current operation, return to the previous window, etc. In Standby, press for 1+ seconds to activate TV or FM (only in Viewer position).

28 Camera (lens cover)
Capture still and video images.

29 Mobile Light
Flashes for incoming calls/mail. Serves as a strobe or Pen Light.

30 Battery Cover

31 Internal Antenna

32 Antenna
Extend for TV/FM radio reception. Pull Antenna by top bead until it clicks.

About Antenna
- Antenna is for TV and FM reception and does not affect voice quality.
- Push Antenna back into handset gently after use.

About Internal Antenna
- Do not cover or place stickers, etc. over the area containing Internal Antenna.
- Voice quality is affected depending on how and where handset is used.

Charging Battery

Battery & Charger

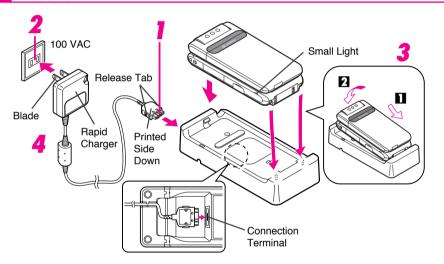
Charge a new battery before use or after a period of disuse.

Battery Life
- Do not use or store battery at extreme temperatures. May shorten battery life. Ideal working temperature is between 5℃ - 35℃.
- Use specified Charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.

Charging
- Do not use Charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move Charger away from TV or radio if interference occurs.

Precautions
- Use a dry cotton swab to keep handset, battery and Charger terminals clean.
- Avoid:
  - Extreme temperatures
  - Humidity, dust and vibration
  - Direct sunlight
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

Battery Disposal
- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop.
  Follow local regulations regarding battery disposal.

Charging with Desktop Holder

1 Insert Charger connector into Desktop Holder until it clicks

2 Plug in Charger

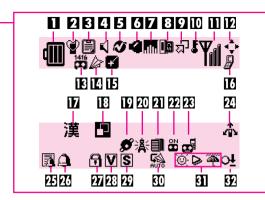
3 Gently insert handset into Desktop Holder
- Fit tabs into slots as shown in 1 and push handset as indicated in 2 until it clicks. Charging starts and Small Light illuminates red (goes out when charging is complete).
- Charging takes approximately 115 minutes (with handset power off). Charging time may vary by ambient temperature.

4 After charging, unplug Charger from outlet and remove handset

Rapid Charger
Insert Charger connector into External Device Connector.

18 Abridged English Manual

18 Abridged English Manual

Display

1 Battery Strength, Pen Light
Strong Moderate Low Empty
and flash when Pen Light is in use.

2 Manner Mode Active

3 Information
There is unread Mail, Web/Station information or Communications/Auto Send Report, or Auto Reply is sent.

4 Speaker Phone Active, Speaker Active, (gray) Station Menu Manual Update

5 Active V-Application, Paused V-Application

6 Line Active, Video Out Active
Mail Server or Service Center transmission in progress.

7 Music Player Active, Voice Recorder Active

8 SD Memory Card Status

9 User Shortcut, SSL
appears if Mobile Internet site can be set as User Shortcut, and appears if it supports SSL.

10 Secret Mode Active
Flashes when a Secret Mode entry is open.

11 Signal Strength, Off-Line Mode, Infrared Transmission
Strong Moderate Low Weak OUT Out-of-Range

12 / / Scroll

13 New Voice Mail

14 Mail
Unread mail except Super Mail

15 Super Mail
Unread Super Mail on the Server
Appears only when Super Mail is subscribed.

16 Handset, SD Memory Card
Accessing handset or SD Memory Card data.

17 Entry Mode
Current Character Type

漢	Kanji (hiragana)
ア	Double-byte katakana
ｱ	Single-byte katakana
Ａ	Double-byte alphanumerics (upper/lower case)
ａ	Double-byte alphanumerics (lower case)
A	Single-byte alphanumerics (upper/lower case)
a	Single-byte alphanumerics (lower case)
1	Single-byte numbers
絵	Pictograph Code
区	Character Code
Ｐ*	Double-byte upper case
P*	Single-byte upper case
ｐ*	Double-byte lower case
p*	Single-byte lower case

*Available in Pager Mode

18 Original, Enlarged
Mail, Web or Data Folder image display size

19 Web
Unread Web information

20 (red) Station
Unread Station information

21 Delivery Report
New Delivery Report

22 Message Recorder Active

23 Message
Message Recorder messages

24 Motion Control Shortcut Active

25 / Schedule
Schedule Alarm On / Off

26 Alarm Set

27 Keypad Lock Active

28 Vibration Active

29 Silent, Rising Tone
Ringer is Silent or set to Rising Tone.

30 Auto Reply Set

31 Weather Indicators
Current forecast (A separate subscription is required.)

32 Key Guard Active

Tip Although Vibration and Ring Tone Level for incoming calls and Vodafone live! functions are set separately, , , and are Incoming Call indicators.

Using Viewer

V603SH features a rotating Display. Rotate Display into Viewer position for use with mobile camera, etc. (☞P.18-30 "Mobile Camera") with handset closed.

To use Display as Viewer with handset closed: 1) Open handset; 2) rotate Display 180 degrees clockwise; and 3) close handset with Viewer facing outward.

1

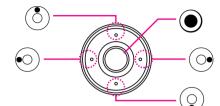
2

3

Symbols

Multi Selector

Use Multi Selector to select menu items, move cursor, scroll, etc.

In this manual, Multi Selector operations are indicated as shown to the right.

Basic Multi Selector Operations

- ◎ : Press ◎ or ◎
- ◎ : Press ◎ or ◎
- ◎ : Press ◎ , ◎ , ◎ or ◎

Menu Items

Use ◎ or ◎ to select menu items. (Example: Select 5 ***Text*** and press ◉.)

Sample screen shots, etc. are provided for reference only. Actual handset windows, menus, etc. may differ in appearance.

Handset Codes

Both Security Code and Center Access Code are needed for handset use.

Security Code

9999 or the 4-digit number selected at initial subscription. Security Code is required to use/change some handset functions.

- ✱ appears when Security Code is entered.
- If incorrect, ***Invalid Code*** appears. Enter correct Security Code.

Center Access Code

The 4-digit number in the contract, required to access optional service via landlines, and to subscribe to fee-based information.

- Write down Center Access Code. If lost, contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.18-38).
- Do not reveal Security Code and Center Access Code. Vodafone is not liable for damages resulting from misuse.

- Change Security Code as needed.
- Do not attempt to change Center Access Code. Contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.18-38) for details.

Basic Handset Operations

Turning Handset On/Off

Activate Handset Power

1. Open handset (clamshell open)
2. Press [Power/End] for 1+ seconds

Deactivate Handset Power

1. Open handset (clamshell open)
2. Press [Power/End] for 2+ seconds

English Display

1. Press ◉ [3] [5]
2. Select [2] *English* and press ◉

Your Phone Number

1. Press ◉ [0]
2. Press [Power/End] to exit

Setting Clock

1. Press ◉ [5] [9]
2. Enter current date and time
3. Press ◉

Initiating a Call

1. Enter a phone number
2. Press [Send]

Making an International Call

International calls can be made directly from handset. An additional contract is required to use this service. (No basic monthly charges or application fees required.) Enter [0] [0] [4] [6] + [0] [1] [0] + country code + area code + phone number. Call Vodafone Customer Center, General Information at 157 from a Vodafone handset or the number for your Subscription Area in "Customer Service" for support.

Example: Calling the United Kingdom

1. Enter [0] [0] [4] [6] [0] [1] [0]
2. Enter [4] [4] (Country Code)
3. Enter the phone number with the area code
4. Press [Send]

Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.

Redial

1. Press [Navigation key] [Redial]
2. Select a phone number and press ◉
3. Press [Send]

Total Charges & Talk Time

1 Press ● 6 0 (Total Charges) or ● 6 2 (Total Talk Time)

2 Press ⌂ to exit

Answering a Call

1 When a call arrives, open handset

2 Press ↶
Alternatively, answer calls by pressing: 0 - 9, ＊, #, スケジュール, クリア, ⊙, ✎, ⊙, ⊙

Placing a Caller on Hold

1 When a call arrives, open handset

2 Press ⌂ to place caller on hold

3 Press ↶ to answer the call

Message Recorder & Voice Mail

Use Message Recorder or Voice Mail to record caller messages.

	Message Recorder	Voice Mail
Message Recorded	Handset	Voice Mail Center
Setting	Press ● 文字	Press ● 7 2, select Ring Tone option (1 ***Call*** or 2 ***No Call***) and press ●
Additional Contract	Not Required	Required
Message Indicator		
Play	Press ● スケジュール	Press ● 7 7 and choose 1 ***Yes*** and press ● Press ⊙ Dial
Delete	During playback, press クリア, choose 1 ***Yes*** and press ●	After playback, press 0
When Handset Power is Off	Not Available	Available
When Handset is Out-of-Range	Not Available	Available

Tip
- While Voice Mail is inactive, press ● and ⌂ to forward an incoming call. (Activates Voice Mail for the one call only. Voice Mail remains canceled.)
- Initiating Voice Mail cancels Call Forwarding.

Forwarding a Call

Forward a call to a specified phone number.

Saving Forwarding Number

1 Press ● 7 1

2 Select 2 ***Set Fwd Number*** and press ●

3 Enter a phone number and press ●

Initiating Call Forwarding

1 Press ● 7 1

2 Select 1 ***Start Fwd*** and press ●

3 Select 1 ***Call*** (with Ring Tone) or 2 ***No Call*** (without Ring Tone) and press ●

Note
Initiating Call Forwarding cancels Voice Mail.

Calling from Call History

1 Press ⊙

2 Select a phone number and press ●

3 Press ↶

Manner Mode

Activate Manner Mode to use handset without disturbing others.

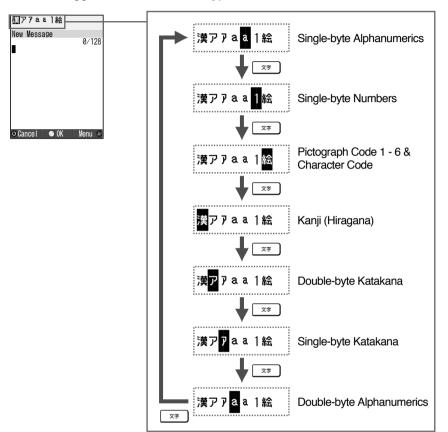
1 In Standby, press 文字 for 1+ seconds
Default Manner Mode Settings:
①Mutes Keypad Sound, Power On/Off, Error or Barcode recognition tone.
②Shake Sound volume depends on Manner Settings.
③Simultaneously invokes: Message Recorder (On), Ring Tone Level (Silent), Vibration (On), LED Indicator (Small Light), Whisper Mode (On), Sound Volume (Silent), Alarm Volume (Silent), Alarm Vibration (On), V-Appli Volume (Silent), V-Appli Vibration (On). Adjust settings as required.

Tip
Canceling Manner Mode
In Standby, press 文字 for 1+ seconds.

Entering Characters

Character Types

Press 文字 to toggle between character types.

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics: Upper & Lower Case	Single-byte Alphanumerics: Lower Case	Single-byte Numbers	Pictograph Code 1-6 & Character Code
1	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2	ABCabc2	abc2	2	2
3	DEFdef3	def3	3	3
4	GHIghi4	ghi4	4	4
5	JKLjkl5	jkl5	5	5
6	MNOmno6	mno6	6	6
7	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
8	TUVtuv8	tuv8	8	8
9	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
0	, . 0 ↵ (Line Break)[1]	, . 0 ↵ (Line Break)[1]	0	0
*	Single-byte Mail/Web Extensions[2]		* - , (Pause)[3]	
#	Log/Single-byte Symbols/Double-byte Pictographs		#	
	Cursor Up			
	Cursor Down ↵ (Line Break)[1]			
	Cursor Left			
	Cursor Right			
文字	Change Character Type			
	Toggle Case + Toggle Mode (upper & lower/lower case)			
クリア	Delete One Character			Delete Code/ One Character
クリア (Long Press)	Delete All			
	Recover up to 64 deleted characters[4]			
	OK			
				Log/Switch Pictograph Code 1 - 6 & Character Code
				Log/Pictograph Code 1 - 6

[1] Insert line breaks in Mail Text, Text Memo & BBS. Press only at the end of text.
[2] Portion of e-mail address or URL appears.
[3] Use - and , (Pause) for phone number entry.
[4] Press once for each character to recover immediately after deleting. [Not available after deleting text with クリア (Long Press).]

Entering Consecutive Characters Assigned to the Same Key
Press to move cursor to the right, then enter the next character.

Editing Characters
Use to move cursor to a character. Press クリア to delete it and then enter another.

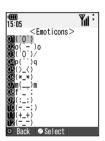
Symbols, Pictographs & Emoticons

Symbols & Pictographs

1. Press [#] to open Log List (up to 20 recently entered Symbols/Pictographs are saved)
2. Press ◎ to toggle the lists: Symbol List, Pictograph Code List (6- 1) and Log List
3. Use ✥ to select a Symbol or Pictograph and press ◉
4. Press ✉ Back to exit

- Single-byte Symbols do not appear in Log List.
- In double-byte character entry, three Symbol Lists appear. Press ◎ to toggle between them.

Emoticons

1. Press ✉ Menu in a text entry window
2. Select 8 ***Emoticons*** and press ◉
3. Select an emoticon and press ◉

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, e-mail addresses, etc. to Phone Book.

Phone Book Entry Items

Item		Description
Name :		Up to 18 single-byte characters.
Reading :		Katakana, alphanumerics and Symbols appear as you enter names (up to 18 single-byte characters including ゛ and ゜).
Phone Number :		Up to three phone numbers (24 digits each).
E-mail :		Up to three mail addresses (60 single-byte characters each).
Group :		Sort entries into 10 Groups (0 - 9). Change Group names or set Ring Tone by Group.
Personal Data :		Add personal details. Use up to 60 single-byte characters.
Secret Mode :		Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret.
Photo :		Select an image to appear when you open a Phone Book entry. Activate Picture Call/Mail to see the image set here for incoming calls/mail.
Option Settings	Personal Ring Tone	Set Ring Tone by caller.
	Incoming Notice	Set Ring Tone by sender.
	Picture Call/Mail	Set images to appear by caller or sender.
	Mail Folder	Messages are sorted into folders.
	Auto Reply	Send a reply automatically to messages from specified senders.

- Save up to 500 entries (000 to 499) in Phone Book (handset).
- Save up to 10,000 entries (0000 to 9999) in Phone Book (SD Memory Card).

Back-up Important Information

Keep a separate copy of important information. When battery is exhausted or removed for long periods, Phone Book entries may be lost. Handset damage may also affect information recovery. Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration.

New Phone Book Entries

Enter a name, reading, phone number and mail address.

1. Press [文字]
2. Enter a name
3. Press ◉
   Characters entered for names appear after [reading icon]:.
   Confirm the reading.

> Correcting Spelling, etc.
> Select [reading icon]: and press ◉. Correct spelling and press ◉.

4. Select ☎: and press ◉
5. Enter a phone number and press ◉
6. Select an icon and press ◉
7. Select [mail icon]: and press ◉
8. Enter a mail address and press ◉
9. Select an icon and press ◉
10. Press [soft key] Save
11. Enter Memory Number (000 - 499)

Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

> Saving to SD Memory Card
> After Step 10, press ◉ [SD icon] to switch to SD Memory Card, then enter Memory Number (0000 - 9999) in Step 11.

Editing Phone Book

1. Open a Phone Book entry (☞P.18-29 "Dialing from Phone Book")
2. Press ◉ Menu
3. Select *Edit* and press ◉
4. Select an item and press ◉
5. Edit contents and press ◉
6. Press [soft key] Save when finished
7. Press ◉
8. Choose 1 *Yes* and press ◉

Saving from Call History

1. Select a phone number (☞P.18-23 "Calling from Call History")
2. Press ◉ Menu, select *Add to Phone Book* and press ◉
3. *New Entry*
   1. Select 1 *New Entry* and press ◉
   2. Follow Steps 2 -11 on ☞P.18-28

   Add to Existing Entry
   1. Select 2 *New Item* and press ◉
   2. Open a Phone Book entry (☞P.18-29) and press ◉
      Select an icon and press ◉, then perform Steps 6 - 8 in "Editing Phone Book"

Dialing from Phone Book

Entry Number Search

1. Press ◉ TEL
   The search method used last appears.
2. Press [soft key] Menu, select *Memory No. Search* and press ◉
3. Enter Memory No. (000 - 499)
4. Select a name and press ◉

> Selecting from Multiple Numbers/Addresses
> Use ◉ to select other numbers/addresses.

5. Press ◉

Search by Reading

1. Press ◉ TEL
   The search method used last appears.
2. Press [soft key] Menu, select *Search by Reading* and press ◉
3. Enter reading and press ◉
   Use up to 18 single-byte characters.
4. Select a name and press ◉

> Selecting from Multiple Numbers/Addresses
> Use ◉ to select other numbers/addresses.

5. Press ◉

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from five different shooting modes.
Use ***Sha-mail*** and ***Camera*** for still images and ***Movie Sha-mail***, ***Motion Camera*** and ***Video Camera*** for video.

	Sha-mail	Camera
Image Size	W 240 × H 320 dots W 120 × H 160 dots W 120 × H 128 dots	W 1632 × H 1224 dots W 1280 × H 960 dots W 1024 × H 768 dots W 640 × H 480 dots
Save to	Handset or SD Memory Card	
File Format	JPEG (.jpg)	

	Movie Sha-mail	Motion Camera	Video Camera
Image Size	W 128 × H 96 dots W 80 × H 60 dots	W 176 × H 144 dots W 128 × H 96 dots	W 320 × H 240 dots
Save to	Handset or SD Memory Card		
File Format	MPEG-4 (.3gp)		MPEG-4 (.ASF)

Camera Shake
If handset moves while shooting, images may blur. Hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self Timer.

Note
Lens Cover
Use a soft cloth to wipe fingerprints and oil off lens cover.
CCD Camera
- Mobile camera is a precision instrument; however, some pixels may appear brighter or darker.
- Shooting/saving images while handset is hot may affect the image quality.
- Subjecting the lens to direct sunlight will damage the camera's color filter.

Using Camera with Handset Closed

Open handset and rotate Display 180 degrees clockwise (☞P.18-18 "Using Viewer"). Then close handset with Display in Viewer position. Holding handset horizontally with Side Keys up, press Shutter Key for 1+ seconds to activate mobile camera.

Using Viewer for Self Portraits

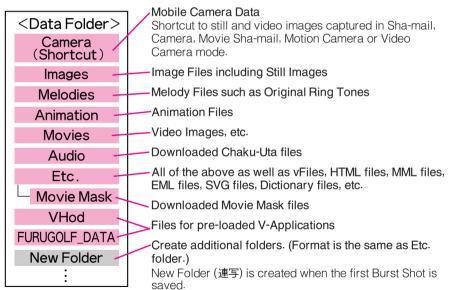
Open handset and activate mobile camera. Then rotate Display 180 degrees clockwise. Turn handset around in your hand so the lens is facing you. Your image appears on Display as a mirror image. After shutter is released, preview image appears reversed.

Capturing Still Images

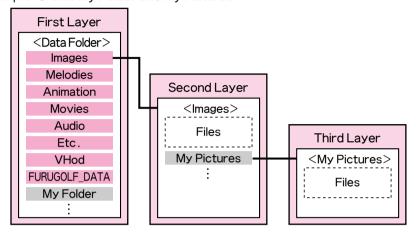
1. In Standby, open handset (clamshell open) and press ◉
2. Select ***Camera*** and press ◉
3. Select 1***Sha-mail*** or 2***Camera*** and press ◉
4. Frame image on Display
5. Press ◉ Shoot or Shutter Key
6. Press ◉ Save to save image
7. Press ☎ to exit

Data Folder

Data Folder Contents

Files created or obtained via Mail/Web are organized in separate folders according to file format. Files are sorted as follows.

File extensions and icons indicate file format. File extensions do not appear for JPEG Animation, PNG Animation and PNG/JPEG Animation.

Data Folder Structure

Create up to three layers to organize files.
Example: Create ***My Folder*** and ***My Pictures***.

Opening Data Folder

1. Press ◉ 8 5
2. Select a folder and press ◉
3. Select a file and press ◉
4. Press the end key to exit

Super Mail Attachments

Example: Attaching an image from Images folder to Super Mail

1. Press ◉ 8 5
2. Select ***Images*** and press ◉
3. Select a file and press the mail key Menu
4. Select ***Attachment*** and press ◉
5. Select Attachment type and press ◉
6. Enter recipient, complete other fields and press the mail key to send Super Mail

Function List

[1] Also available during calls.
[2] Currently not available in Hokkaido, Hokuriku, Kyushu and Okinawa areas.
[3] Currently not available in Tohoku, Niigata, Chugoku and Shikoku areas.

Functions Menu	Description
0. My Number[1]	Open handset phone number
1. Sounds	Call Functions, Volume, Sounds Effects, etc.
2. Privacy	Manage handset security with Keypad Lock, Auto Key Lock, etc.
3. Settings 1	Check Guide or Memory, activate Off-Line Mode, Battery Saving or Signal Alert; access display language, Light, Font, or Group Settings
4. Settings 2	Open Spending Memo; activate In-Car Recorder, User Dictionary or Calculator; or adjust Answer Time, MC Settings, Animation, Manner Settings
5. Clock	Alarm, Clock Display, etc.
6. Charges	Call Charge, Total Talk Time, etc.
7. Services	Activate Optional Services such as Voice Mail and Call Forwarding
8. Vodafone live!	Access Mail, Web, Station, V-Applications, and Data Folder

■ 1. Sounds

Function	Description
0. Call Functions	Set Ring Tones
1. Volume[1]	Adjust volume
3. Sound Effects	Set Sound Effects
5. Ringer Out	Disable handset speaker or use with Headphones
6. Speaker[1]	Set Speaker Phone or Speaker
7. Original Tones	Save Original Tones/Original Voice
8. Instrument Effects	Save Instrument Effects
9. Tone Octave	Set Tone Octave

■ 2. Privacy

Function	Description
0. Keypad Lock	Disable Keypad (handset does not respond when keys are pressed)
1. Auto Key Lock	Disable Keypad automatically when power is activated
2. Secret Mode[1]	Enable to see Secret Mode Phone Book entries
3. Phone Book Lock	Disable Phone Book
4. Restrict Dial	Restrict calling from Keypad
5. Accept Call	Accept calls from designated numbers
6. Reject Call	Reject calls from designated numbers
7. Reset All	Delete all saved information, restore defaults
8. Change Code	Change Security Code
9. Reset Defaults	Reset settings to default values

■ 3. Settings 1

Function	Description
0. Guide[1]	Key ops for functions other than Function Shortcuts
1. Memory	Check memory status
2. Off-Line Mode	Suspend handset transmissions
3. Battery Saving	Set Power/Panel Saving
4. Light Settings	Adjust Backlight, Keypad Light, In-Car Backlight and Brightness
5. 言語選択 (Language)	Toggle between Japanese and English menus
6. Font Settings	Change Font Size, Font Weight and Font Style
7. Group Settings	Change Group Names/Ring Tones
8. Signal Alert	Activate or cancel weak signal alarm
9. SideKey Settings [sic]	Set functions for Side Key (Long Press)

■ 4. Settings 2

Function	Description
0. Display Settings	Set or adjust Display-related settings
1. Spending Memo[1]	Open total expenditures and item list
2. In-Car Recorder	Set/cancel In-Car Message Recorder
3. User Dictionary	Save dictionaries or save/edit entries
4. Answer Time	Set Message Recorder Answer Time
5. Info Menu Settings	Open Information Menu
6. Manner Settings	Change Manner Mode settings
7. MC Settings	Set or adjust Motion Control-related settings
8. Animation	Set/create animation
9. Calculator	Open Calculator

■ 5. Clock

Function	Description
0. Alarm	Set Alarm
1. Auto Power On	Auto Power On
2. Auto Power Off	Auto Power Off
3. Clock Display	Show Clock and Calendar in Standby
5. Stopwatch	Use Stopwatch
6. Kitchen Timer	Use Kitchen Timer
9. Clock Settings[1]	Set Date & Time

■ 6. Charges

Function	Description
0. Total Charges	Show Total Charges
1. Call Charge	Show Last Call Charge
2. Total Talk Time	Show Total Talk Time
3. Call Time	Show Last Call Talk Time
4. Instant Display	Show Charge/Call Time after a call

■ 7. Services

Function	Description
0. Ring Time[3]	Set Call Forwarding/Voice Mail Answer Time
1. Call Forwarding	Set a forwarding number/initiate Call Forwarding
2. Voice Mail	Initiate Voice Mail
3. Cancel Secretary	Cancel Call Forwarding or Voice Mail
4. Check Secretary	Confirm Call Forwarding or Voice Mail status
5. Call Waiting[2, 3]	Set/cancel Call Waiting
6. Confirm Service[2, 3]	Check Call Waiting Setting
7. Play Voice Mail	Listen to caller messages
9. Setup Preset	Set Prefix when dialing from Phone Book

■ 8. Vodafone live!

Function	Description
1. Mail	Open Mail menu
2. Web	Open Web menu
3. Station	Open Station menu
4. V-Appli	Open V-Appli menu
5. Data Folder	Open Data Folder
6. Network Settings	Access Network-related functions or clear Vodafone live! Server addresses

Specifications

V603SH

Weight	Approximately 142 g (with battery)
Continuous Call Time	Approximately 130 minutes
Continuous Standby Time	Approximately 450 hours (when closed)
Charging Time (Power off)	Rapid Charger: Approximately 115 minutes In-Car Charger: Approximately 115 minutes
Continuous TV/FM Reception Time	Approximately 60 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 50 × 99 × 25 mm (when closed)
Maximum Output	0.8 W

- Values above were calculated with battery installed.
- Continuous Call Time is an average measured with a new, fully charged battery, with both Power Saving and Panel Saving off, with stable signal reception. Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with normal signal reception. Standby Time may be less than half this value if handset is out-of-range or signal quality is poor. Standby Time may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Battery Time is a nominal value, measured under stable signal conditions. Battery Time may be less than half this time if handset is used in weak signal conditions.
- Call Time and Standby Time will decrease if Display/Keypad Backlights are used frequently.
- Call Time and Standby Time may decrease when V-Applications are active.
- Station Service may consume more power through automatic updates.
- Call Time and Standby Time may decrease by handset operations or settings.
- Display employs precision technology, however, some pixels may appear brighter or darker.

Rapid Charger

Power Source	100 VAC, 50/60 Hz
Power Consumption	8 VA
Output Voltage/Current	5.6 VDC/500 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 48 × 17 × 46 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

Desktop Holder

Input Voltage/Current	5.6 VDC/500 mA
Output Voltage/Current	5.6 VDC/500 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 58.5 × 25 × 123 mm (without protruding parts)

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	750 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 35.5 × 5.8 × 39.7 mm (without protruding parts)

Headphones (TV antenna built in)

Weight	Approximately 23 g
Cord Length	Approximately 1.6 m

Customer Service

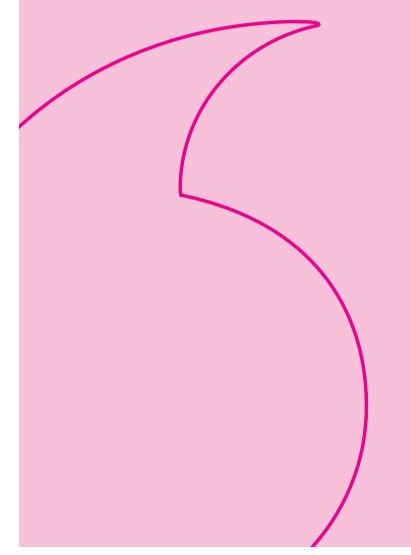
If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Center	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

■：設定リセットで各種設定は初期状態に戻ります。
※1　通話中も実行できます。
※2　北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合、ご利用できません。
※3　東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、ご利用できません。
※4　切替通話中に限り操作できます。また、北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄地域でご契約の場合、現在「**通話中転送**」はご利用できません。

ファンクションメニューの項目	説明
0.ご自分の電話番号※1	V603SHの電話番号を表示します。
1.音関連機能	音に関するメニューを表示します。
2.管理機能	ダイヤル禁止や簡易ロックなど、管理（セキュリティ）に関するメニューを表示します。
3.表示／設定1	画面の照明設定やグループ設定、サイドキー設定などの表示、設定に関するメニューを表示します。
4.表示／設定2	画面表示設定やユーザー辞書登録などの表示、設定に関するメニューを表示します。
5.時計／アラーム機能	時計、アラームに関するメニューを表示します。
6.時間／料金機能	通話時間、料金に関するメニューを表示します。
7.付加サービス	オプションサービスに関するメニューを表示します。
8.ボーダフォンライブ！	ボーダフォンライブ！メニューを表示します。
アドレス帳検索	アドレス帳を検索します。（☞P.5-14）
アドレス帳登録	アドレス帳を登録します。（☞P.5-3）
リダイヤル	以前かけた電話番号を表示します。（☞P.2-4）
着信履歴	着信履歴を表示します。（☞P.2-16）
ノートパッドメモリ	通話中に入力した数字を表示します。（☞P.2-15）

■1.音関連機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.着信設定	「**着信設定**」内の表、ワンコールサイレント：OFF、クローズ終話設定：ON、エニーキーアンサー：ON	P.9-2、P.2-12、P.2-3、P.2-6
1.受話音量調節※1	音量5	P.2-13
3.効果音設定	「**各種効果音の設定**」内の表	P.9-6
5.着信音出力切替	イヤホン＋スピーカー	P.16-46
6.スピーカー設定※1	OFF	P.9-22
7.オリジナル着信音	ー	P.9-13
8.オリジナル音色	ー	P.9-21
9.音色オクターブ設定	ー	P.9-22

■2.管理機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ダイヤル操作禁止	OFF	P.15-2
1.簡易ロック	OFF	P.15-3
2.シークレットモード※1	OFF	P.15-7
3.メモリ使用禁止	OFF	P.15-3
4.ダイヤル禁止	OFF	P.15-3
5.指定着信許可	OFF	P.15-5
6.指定着信拒否	すべてOFF	P.15-5
7.オールリセット	ー	P.15-8
8.暗証番号変更	ー	P.15-2
9.設定リセット	ー	P.15-8

■3.表示／設定1のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ガイド機能※1	ー	P.1-33
1.メモリ確認	ー	P.5-6、P.13-3
2.オフラインモード	OFF	P.3-6
3.省電力設定	バッテリーセーブモード：ON、パネルセーブモード：ON／OFF設定：ON（5分）、ランプ表示設定：ランプ表示なし	P.16-39
4.照明設定	パネル照明ON／OFF：ON（15秒）、キー照明ON／OFF：ON（15秒）、車載時設定：OFF、パネル明るさ調整：明るさ4	P.8-6、P.8-7
5.Language	日本語	P.8-10
6.文字表示設定	文字サイズ設定：すべて中、文字太さ設定：ふつう、書体設定：通常	P.8-4
7.グループ設定	ー	P.5-12
8.通話品質アラーム	OFF	P.16-2
9.サイドキー設定	着信時：OFF（Ⓜ、S、◀、▶）、簡易留守録（D） 待受時：OFF	P.16-3

■4.表示／設定2のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.画面表示設定	壁紙設定：OFF、マイキャラクタ：すべてOFF、ウェイクアップ：OFF、画面パターン設定：背景1、フレーム1、ボタンマーク1、カーソル1、マーク表示設定：ON、アイコン1（電池レベル）、アイコン1（電波状態）、外部出力設定：OFF、インデックスメニュー設定：3Dパターン1、ビューア時表示方向：表示方向1、ダイヤル表示設定：2D	P.8-2、P.8-5、P.8-10、P.8-7、P.8-8、P.16-44、P.8-9
1.マネー積算メモ※1	ー	P.16-41
2.車載簡易留守	ON	P.16-5
3.ユーザー辞書	ー	P.4-14
4.応答時間	9秒	P.16-5
5.インフォメーションメニュー設定	ランプ表示設定：すべてモバイルライト、タイムアウト設定：タイムアウトしない	P.2-19
6.マナー設定変更	簡易留守録：ON、着信音量：すべてサイレント、バイブレータ：すべてON、ランプ設定：スモールライト、マナートークモード：ON、サウンド再生音量：サイレント、アラーム音量：サイレント、アラームバイブレータ：ON、Vアプリ再生音量：サイレント、Vアプリバイブレータ：ON	P.3-4
7.モーションコントロール設定	Mボタン設定：OFF、ビューア時設定：モーションコントロールOFF	P.16-4
8.アニメーション設定	スクリーンアニメ：OFF、背景アニメ：ON、ボーダフォンライブ！アニメ：すべてON	P.8-9、P.8-10
9.簡易電卓	ー	P.16-40

■5.時計／アラーム機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.リピートアラーム設定	ー	P.16-8
1.自動電源ON	OFF	P.16-12
2.自動電源OFF	OFF	P.16-13
3.時計表示設定	時計大1	P.8-3
5.ストップウォッチ	ー	P.16-24
6.キッチンタイマー	ー	P.16-25
9.時刻設定※1	ー	P.1-26

■6.時間／料金機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.累積通話料金	0円	P.2-21
1.通話料金	0円	P.2-21
2.累積通話時間	0時間0分	P.2-20
3.通話時間	0分0秒	P.2-20
4.即時表示	OFF	P.2-20、P.2-21

19 付録

■7.付加サービスのメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.呼出時間設定※3	20秒	P.17-5
1.転送サービス	ー	P.17-3
2.留守番サービス	留守呼出あり	P.17-4
3.秘書停止（転送／留守番サービス停止）	ー	P.17-3、P.17-4
4.秘書確認（転送／留守番サービス確認）	ー	P.17-3、P.17-5
5.割込設定※2※3	ー	P.17-6
6.割込確認※2※3	ー	P.17-6
7.留守録再生	ー	P.17-5
8.三者サービス※4	ー	P.17-7
9.プリセット登録	国際発信：0046010	P.2-5

■8.ボーダフォンライブ！のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
1.メール	ー	別冊
2.ウェブ	ー	別冊
3.ステーション	ー	別冊
4.Vアプリ	ー	別冊
5.データフォルダ	画像一覧表示	P.13-5
6.ネットワーク設定	ー	別冊

■初期状態に戻る項目（ファンクションメニュー項目以外）

機能	初期設定
マナーモード	解除
簡易留守録	解除
アドレス帳検索モード	メモリNo検索
メモリカードの暗号化設定	アドレス帳、メール、スケジュール：すべてOFF
スポットライト	継続点灯時間：1分、点灯カラー：ライチフルーツ（白色系統）
スケジュール表示切替	スタンプ＋詳細表示
バーコード読み取り／文字読み取り表示サイズ設定	文字サイズ設定：中、画像サイズ設定：等倍
ユーザーショートカット：ダイヤルボタンの長押し／モーションパターン	アドレス帳検索：[1]／-、自動応答メール設定：[2]／-、簡易電卓：[3]／-、リピートアラーム設定：[4]／-、着信設定：[5]／-、画面表示設定：[6]／-、受信メール:[7]／上・上（▲▲）、簡単メール宛先：[8]／左・左（◀◀）、TVnano（EPGアプリ）：[*]／-、Vアプリライブラリ：◎／-
テレビ／FM	音量：1、チャンネル：☞P.6-16、スキップ：OFF、URL：OFF テレビ／FM受信禁止：OFF、オートオフ時間設定：30分、本体クローズ終了設定：OFF、着信時優先動作：着信通知表示／アラーム通知表示、音声出力先：イヤホン優先、TV時パネル明るさ調整：明るさ3、横／縦表示切替：縦表示、表示方向設定：表示方向1、録画（録音）登録先：本体、録画（録音）中着信設定：着信あり、キャプチャー枚数：1枚、キャプチャー間隔：普通

19 付録

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処置
電源が入らない	●⊙を長く（１秒以上）押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックがV603SHに装着されていますか？	●⊙を長く（１秒以上）押してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。 ●正しく装着してください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「O!」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「🔒」表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-25） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.15-2）
ダイヤルしても通話音（プープー…）が出る	●市外局番など0からはじまる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモードが設定されていませんか？（「▮」表示）	●市外局番など0からはじまる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.3-6）
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「O!」表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「🔒」表示） ●ダイヤル禁止が設定されていませんか？	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-25） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.15-2） ●ダイヤル禁止を解除してください。（☞P.15-3）
アドレス帳を使って電話がかけられない	●かけたいアドレス帳をシークレットメモリに登録していませんか？ ●メモリ使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードにしてください。（☞P.15-7） ●メモリ使用禁止を解除してください。（☞P.15-3）
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
画面の表示がちらつく	●蛍光灯の下では、画面の表示がちらつくことがあります。	—
バックライト消灯時画面の表示が暗い	●画面の特性によるもので、故障ではありません。	—
スピーカーで音楽が再生できない	●マナーモードが設定されていませんか？（「♥」表示） ●外部出力が「ON」に設定されていませんか？	●マナーモードを解除してください。（☞P.3-3） ●外部出力を「OFF」に設定してください。

症状	確認すること	処置
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターがV603SHまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックがV603SHに装着されていますか？ ●V603SHが卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●V603SH、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、V603SHの外部機器端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度が５℃～35℃以外になると、充電しないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●周囲温度５℃～ 35 ℃の場所でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。
充電時間が短い	●電池パックに容量が残っている場合は、充電時間が短くなります。	—
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。長時間通話すると、V603SHが熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。 ●テレビ／FM視聴中に発熱することがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。	—
電池の消耗が早い	●使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●「**完全に充電したときの利用可能時間**」、「**電池パックの持ちについて**」、「**電池パックの消耗を軽減するには**」を参照してください。（☞P.1-16～P.1-17）
モーションコントロールセンサーを使用した機能（モーションコントロールカーソル、モーションコントロールショートカット、シェイクカウンター、シェイクサウンダー、簡易方位計、表示方向自動切替など）が正常に利用できない。	●他のモーションコントロールセンサーを使用した機能も同様に利用できませんか？	●モーションコントロール補正を行ってください。（☞P.16-4）

故障の際の連絡先やアフターサービスについては、P.19-21を参照してください。

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが１本以上表示される場所へ移動してください。

■「」表示が出ているとき

オフラインモードが設定されています。（☞P.3-6）
設定を解除しないと、電話の発信／着信、ボーダフォンライブ！の利用／受信など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池残量がなくなっています。（☞P.1-17、P.1-18）
電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.1-25）
設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

■「」表示が出ているとき

ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.15-2）
ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

区点コード一覧

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
―あ―										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
―い―										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
―う―										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
―え―										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
―お―										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
―か―										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
―き―										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
―く―										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
―け―										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
―こ―										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
―さ―										
261										些

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
——し——										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
——す——										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
——せ——										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
——そ——										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
——た——										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
——ち——										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
——つ——										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
——て——										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
——と——										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
——な——										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
——に——										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
——ぬ～の——										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
——は——										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
——ひ——										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
——ふ——										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
——へ——										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
——ほ——										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
——ま——										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
440		漫	蔓							
——み——										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
——む——										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
——め——										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
——も——										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
——や——										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
——ゆ——										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
——よ——										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
——ら——										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
——り——										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
——る～れ——										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
——ろ——										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
——わ——										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

19

付録

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。

■V603SH

項目	仕様
質量	約142 g（電池パック装着時）
連続通話時間	約130分
連続待受時間	約450時間（クローズポジション時）
充電時間（V603SHの電源を切って充電した場合）	急速充電器：約115分 シガーライター充電器：約115分
テレビ／FM連続視聴時間	約60分
サイズ（幅×高さ×奥行）	約50×99×25 mm（クローズポジション時）
最大出力	0.8 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能を「OFF」に設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
  連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V603SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示状態の待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- テレビ／FM連続視聴時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、テレビやFMラジオを視聴できる時間です。
  使用環境／利用場所の電波状況、機能の設定状況などによっては、ご利用可能時間が変わることがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明およびキー照明が点灯している状態での利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。（☞P.1-16）
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

19

付録

■急速充電器

電源	AC100 V、50/60 Hz共用
消費電力	8 VA
出力電圧／出力電流	DC5.6 V／500 mA
充電温度範囲	5 ℃～35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約48×17×46 mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5 m

■卓上ホルダー

入力電圧／入力電流	DC5.6 V／500 mA
出力電圧／出力電流	DC5.6 V／500 mA
充電温度範囲	5 ℃～35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約58.5×25×123 mm（突起部 除く）

■電池パック

電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	750 mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約35.5×5.8×39.7 mm（突起部 除く）

■TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク

質量	約23 g
コードの長さ	約1.6 m

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

保証書とアフターサービス

■保証書

V603SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書に記載しております。

■アフターサービスについて

修理をご依頼になる前に、「**故障かな？と思ったら**」（☞P.19-6）に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付（☞P.19-21）にご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- **保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。**
- **保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。**

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた「**取扱店**」、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞P.19-21）までご連絡ください。
なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後6年です。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切なアドレス帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際にV603SHに登録したデータ（アドレス帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付　ボーダフォン携帯電話から113（無料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）